

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム



翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

SPACE CHANNELS

第1課

タハーラ（清浄）と水

目 次

タハーラ

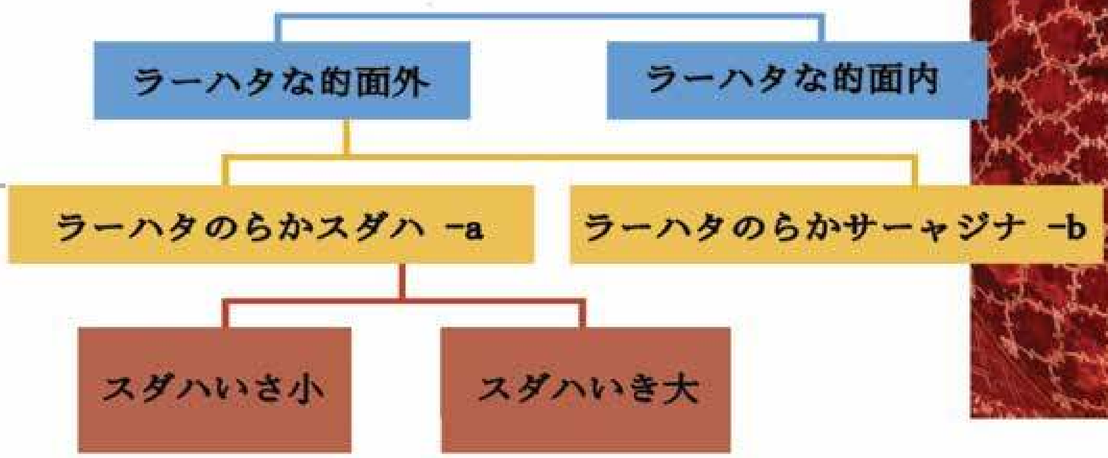
タハーラの字義

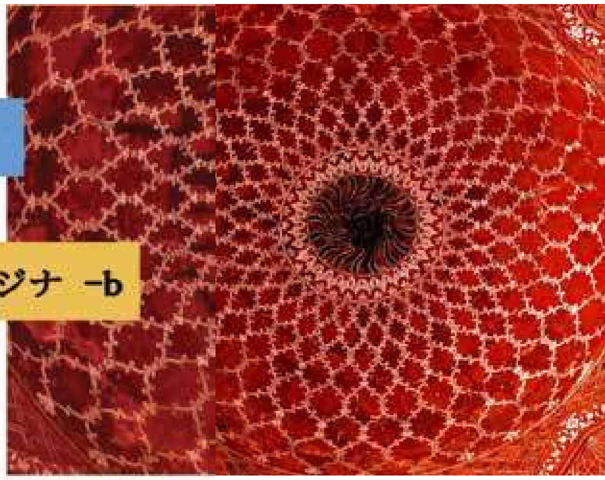
汚染から免れ清潔であること。

タハーラのイスラーム法的意味

ハダス（儀礼上の穢れ）を取り去ることとナジャーサ（穢れ）の除去。

タハーラの分類





1ー内面的なタハーラ：

それは心の多神と神への不服従や全ての心を支配するものを清めることです。タハーラは、心に多神の穢れが存在する限り実現できません。 ｛崇高なアッラーは言いました。「あなたがた信仰する者よ，多神教徒は本当に不浄である。だからかれらの，かれらを聖なるマスジドに近付かせてはならない。あなたがたがもし貧困を恐れても，アッラーが御好みになれば，その恩恵によって（主は）やがてあなたがたを富ませるであろう。本当にアッラーは全知にして英明であられる。｝［悔悟章28節］

アッラーの使徒（彼に平安あれ）は述べました。 実に信仰する者は不浄にはならない。（合意ーブハーリーとムスリムーの伝承 （合意の伝承）

2 ー外面的なタハーラ：

それは、体のハダスとナジャーサから清めることです。

それは2つの部分に分けられます。

1 – ハダスからのタハーラ

ハダス：それは身体から出てくるものや身体で作られたもので、ムスリムがタハーラが条件付けられる礼拝やカアバ聖殿を周回するタワーフなどの信仰行為を妨げるものです。



ハダスは礼拝を妨げる。

ハダス・アスガル（小さいハダス）：

ウドゥー（小浄）を義務付けるもので、大小便やその他のウドゥーを無効にするものです。　そのタハーラはウドゥーを行うことで成し遂げられます。崇高なアッラーは仰せられました。｛信仰する者よ，あなたがたが礼拝に立つ時は，顔と，両手を肘まで洗い，頭を撫で，両足を踝まで（洗え）。｝［食卓章６節］



ウドゥー：ハダス・アスガルの清め

ハダス・アクバル（大きいハダス）：

グスル（沐浴）が義務付けられるもので、性行為や月経などです。

そのタハーラはグスルを行うことで成し遂げられます。崇高なアッラーは仰せられました。｛あなた方がもし大汚の時は，全身の沐浴をしなさい。｝［食卓章６節］

ウドゥーとグスルが不可能な場合のタハーラは、タヤンムム｛（乾いた砂や土地の表面を使った清め）を行います。｝［食卓章６節］



グスル：ハダス・アクバルの清め

2 – ナジャーサからのタハーラ：

それは、体と衣服と場所のナジャーサの除去によってなります。

ナジャーサの除去は義務です。崇高なアッラーはこう仰せられました。｛またあなたの衣を清潔に保ちなさい。｝［包むる者章4節］

預言者は述べました。　墓の中における懲罰のほとんどは排尿の汚れに気を付けなかったことが原因です。」また「誰でもモスクへやって来た時には、注視しなさい。もしサンダルに汚物や埃を見たら、それを拭き取ってそれを履いたまま礼拝をるすることが許されます。　（イブン・マージャの伝承）（アブー・ダーウードの伝承）.



場所の清め

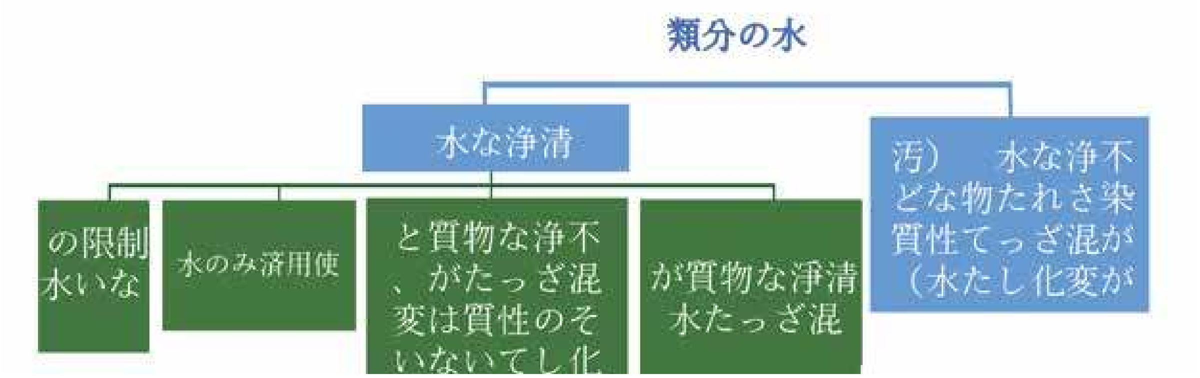


身体の清め



衣服の清め

水



水の分類

第一の部：清浄な水

これは自体が清浄で、他の物を清浄にする水です。

制限のない水：

それは、創造された性質をそのまま残した水で、雨やバラド（霰）（1）のような空から降ったものであっても、地上で流れる、海水や河川水や雨水や井戸水のようなものであっても同じです。崇高なるアッラーはこう仰られました。{そしてわれは，天から清浄な雨を降らす。}［識別章48節］　また崇高なるアッラーはこう仰せられます。　{ かれはまた天から雨を降らせ，それであなたがたを清めるためである。}［戦利品章11節］　また預言者は次のようにいつも祈っていました。　アッラーよ、雪と水と雹で私を私の過ちから清めて下さい　（合意の伝承）

またアッラーのみ使いは海の水についても述べられました。　それ（海水）は清浄で、それの死せるもの（海で死んだもの）は食べても良い（ハラール）です。（アフマドとアブー・ダーウードの伝承）



川



雨



海



井戸

使用済みの水

ウドゥーやグスルを行った者の体から流れる水。　　その水を清めに使用しても問題ありません。イブン・アッバースの伝承によると、　預言者様の妻の一人はジャフナ（盥）（ジャフナ：大きな器。）の中でグスル（大浄・沐浴）をしました。そこでアッラーのみ使いは、そこからウドゥー（小浄）をしようとしたので彼女は言いました。「アッラーのみ使い様。私は不浄な状態でした。」彼はこうお応えになりました。「水は不浄にしません。（ティルミズィーの伝承）



清浄な物質と混ざった水

Eそれは、錆や砂や木の葉などのきれいな物質が混ざった貯水槽などの水です。

そしてそれは水が水の性質を無くすほどの状態にするような影響をうけていないものです。その根拠は、預言者の娘の葬儀の支度をしていた妻たちにかけた次の言葉によります。　彼女（娘の遺体）を3回か5回かあるいはそれより多くーもしそれがふさわしいと考えるならーシドル（シドル：シドル（キリストイバラ）の木葉。粉末にして清掃に使用される。）の入った水で沐浴しなさい。そして最後の回には樟脳を入れなさい。（合意の伝承）



木の葉の混じった水



水槽の錆



土混じりの水

変化した水

水に影響を与える物質によってその性質が変化しお茶屋やジュースのような他のものに変化した時、それによるタハーラは認められません。それは水と呼べないものだからです。



紅茶



ジュース



インク



スープ

ナジャーサ（穢れ）が混じったがその性質を変えなかった水

それは、水に尿や動物の死骸などのナジャーサが入ったが、その性質（匂いや色や味など）の中一つも変わらなかった水です。この水は預言者様のブダーアの井戸に関する次の言葉によりタフール（清浄）です。「本当に　水はタフール（清浄）です。それを不浄にするものは何もありません。」（アフマドとティルミズィーの伝承）

この意味するところは、かつて人々が、その井戸の周囲にゴミを捨てていて、雨でそれが井戸に流れ込んでいたが、その井戸は水が豊富であったためゴミは水に何の影響も及ぼさず、井戸の水は変化しなかったということです。

第二部：不浄な水

それは尿や死体のようなナジャーサ（穢れ）が入って匂いや色や味の三つの性質うちのどれか一つでも変えられた水です。それはイジュマー（学者の合意）によってナジス（不浄）です。それを使用することは許されません。



水を変化させた動物の死体



水を変化させなかった動物の死体

質問

1－基本が、タハーラ（清浄）な水にある時、そうでないと証明されない限り、水は清淨とみなされます。もし清淨であるか、不浄であるか確かでない水があったとするとこの場合はその水は清淨とみなされます。そして、水の清淨さを過度に心配すべきではありません。また水の穢れが疑われる場合、その基本は穢れとみなし、その判断は、その基本に従います。

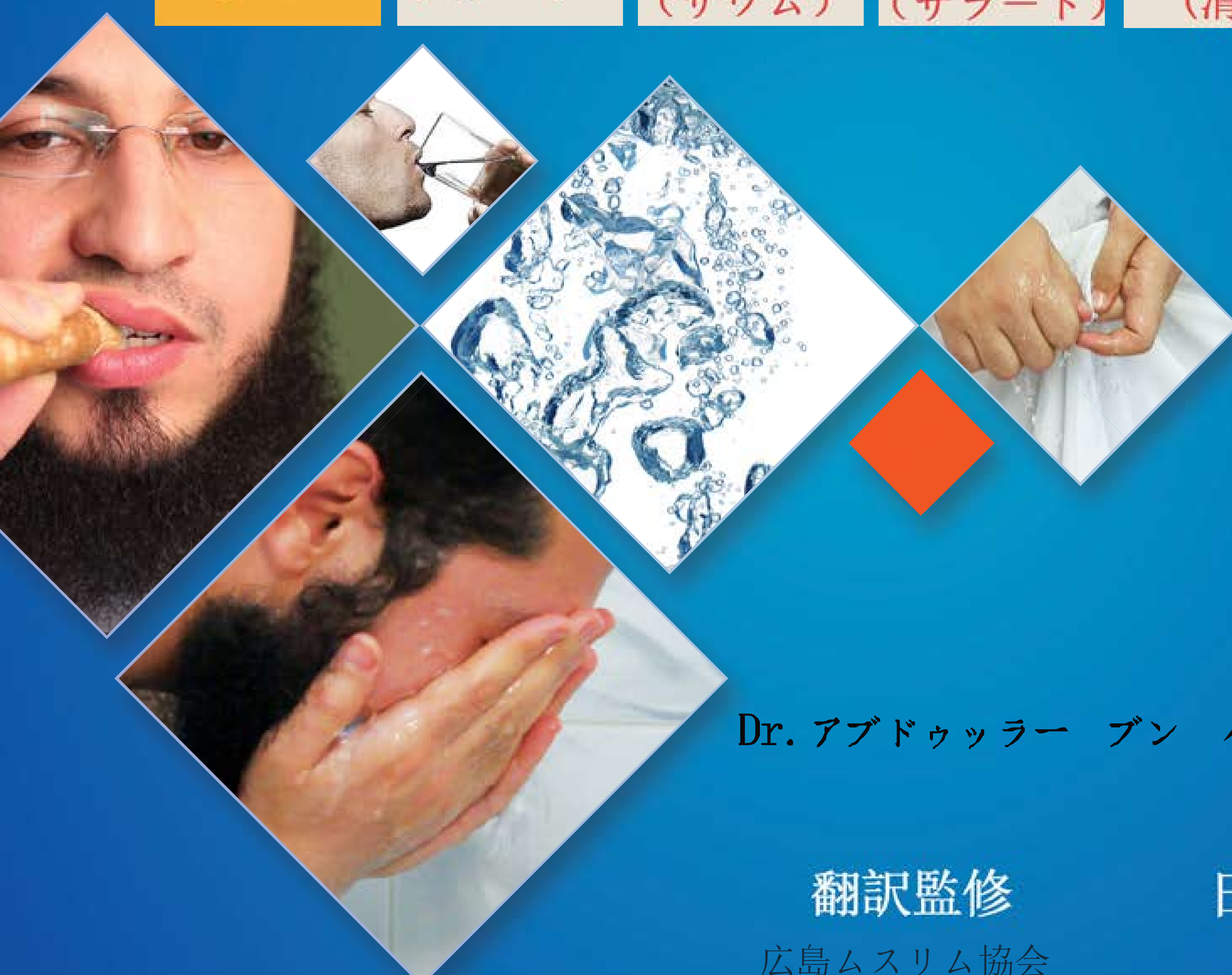
2ーザムザムの水でウドゥー（小浄）を行うことは許されます。その根拠は、預言者様がサジュル（バケツ）（サジュル：大きな桶、革袋。）一杯のザムザムの水を取り寄せられ、それを飲んでからその水でウドゥーを行ったことによります。（アフマドの伝承）



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ナジャーサ（穢れ）に関する規則

第2課 ナジャーサ（穢れ）に関する規則

目 次

ナジャーサの定義：

ナジャーサの語義：

不潔・不浄

ナジャーサの法的意味：

イスラーム法上で除去が義務付けられる穢れ。

イスラーム法上で除去が義務付けられる穢れ。

1－人間の尿と便

モスク内で放尿をしたベドウィン（遊牧民）のハディースで、預言者様は彼に言いました。

これらのモスクは、放尿や排泄の場所ではない。ただ、アッラーを念じ、礼拝を行い、クルアーンを朗唱するための場所なのです。（合意の伝承）

2ー生理の血液

ヤサールの娘であるハウラが預言者様の元へ行き、こう言った時のことです。　アッラーのみ使い様。私は衣服を一枚しか持っていません。そして私は月経中です。」すると預言者は述べました。「月経が止まったら血痕の付着を洗い流し（沐浴してから）、それを纏い礼拝しなさい。（アブー・ダーウードの伝承）

月経の血液を除く他のあらゆる血は清浄です。

それが流血（傷口から流れ続ける血液。）であってもなくても同じです。　その根拠として多神教徒の一人が、礼拝中の一人の信者に弓を射って、その矢が当たったが、彼はそれを引き抜き傷口から血が流れる間も礼拝を続けたという話によります。（アブー・ダーウードの伝承）

3ー食用不可の動物の尿と糞

イブン・マスウードのハディースによると、預言者は便所へ行き、私に三個の小石を持ってくるように仰せられましたが、私は二個の小石を見つけた後、三個目を探しても見つけることが出来ませんでした。そこで動物の（乾燥した）糞を取り一緒に彼へ届けました。彼は二個の小石を取り、糞は捨てて「これは不浄です」」とおっしゃいました。　（穢れ。）（ブハーリーの伝承）

食用可の動物の尿と糞の規定は何ですか？

食用可の動物の尿と糞は清浄です。その根拠はアナス・ブン・マーリクの次のハディースで確定されます　。マディーナにやって来た人々が、病気になりました。預言者様は彼らにサダカ（寄付）のラクダの群を彼らがその尿とミルクを飲むために送りました。
（ブハーリーの伝承）

ブハーリーの伝承

これはイスラーム法に基づき屠畜されることなく自然死した動物の肉です。至高のアッラーは仰せられました。{言ってやるがいい。「わたしに啓示されたものには，食べたいのに食べることを禁じられたものはない。只死肉，流れ出る血，豚肉――それは不浄である――とアッラー以外の名が唱えられたものは除かれる。だが止むを得ず，また違犯の意思なく法を越えないものは，本当にあなたの主は，寛容にして慈悲深くあられる。}
［家畜章145節］

死肉には家畜が屠畜される前に生きたままの状態で切り取られた部分の肉も含まれます。

それから除かれるもの：

1－死んだ魚とイナゴ

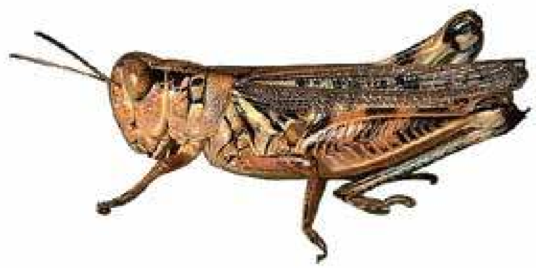
預言者様はおっしゃいました。 2つの死肉と2つの血が私達に許されました。2つの死肉とは、魚とイナゴで（屠殺されることなく食用可）2つの血とは肝臓と脾臓です。
（アフマドの伝承）

2ー蝿のように血の流れない死んだ動物：

預言者はこう述べました。 飲み物の容器にハエが落ちたなら、完全にそれを浸してから取り除きなさい。実にその羽の片方は解毒剤で、もう一方は毒です。 （ブハーリーの伝承）


死体

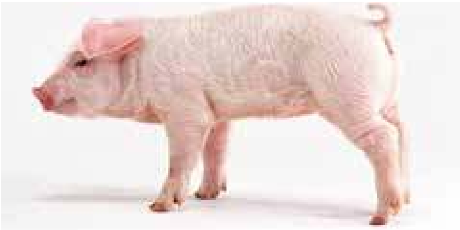

魚


バッタ


蝿

5ー豚肉

至高のアッラーは仰せられました。　｛言ってやるがいい。「わたしに啓示されたものには，食べたいのに食べることを禁じられたものはない。只死肉，流れ出る血，豚肉――それは不浄である――とアッラー以外の名が唱えられたものは除かれる。だが止むを得ず，また違犯の意思なく法を越えないものは，本当にあなたの主は，寛容にして慈悲深くあられる。｝（家畜 章145節）



豚

6ー犬の唾液

預言者様は述べました。　犬があなた方の容器を舐めた場合、七回水洗いをし、その中の一回は土を使って清めなさい（合意の伝承）

舐める：犬が容器の中に舌を入れその舌

を動かすことで、飲んでも飲まなくても違いはありません。



犬の唾液

7ーマズィー

それは前戯の間や性行為を考えた時に出てくる白く淡い粘着性のある液です。それは精液とは異なり噴き出す訳ではなく、またそれに続く倦怠感もありません。恐らくそれが出てくることも感じられないかもしれません。

これは、預言者にマズィーに関して尋ねたアリー・ビン・アブーターリブに次のように答えたハディースによります。

陰茎を洗ってから、ウドゥーを行いなさい　（合意の伝承）

8ーワディー

それは排尿後に時折出る濃く白い液です。

マニー（精液）の清め

これは清浄です。何故ならこれがもし不浄であるなら、預言者はそれを洗うように命じたはずだかれらです。マニーの除去に関しては、もしそれが濡れている時は、洗うことでそれを除きますが、もし乾いているなら、それをこすり取れば十分です。それはアーイシャが語った次の

伝承によります。「アッラーのみ使い様は、
衣服に付着した精液を洗い流し、その水の痕が残ったままの衣服を着て礼拝に向かいました。（合意）

Dムスリムの伝承によると：　私はアッラーのみ使い様ののそれをこすり取り、その御方はその衣服を着て礼拝されたのを思い出しました。（ムスリムの伝承）



洗浄：それが濡れている時



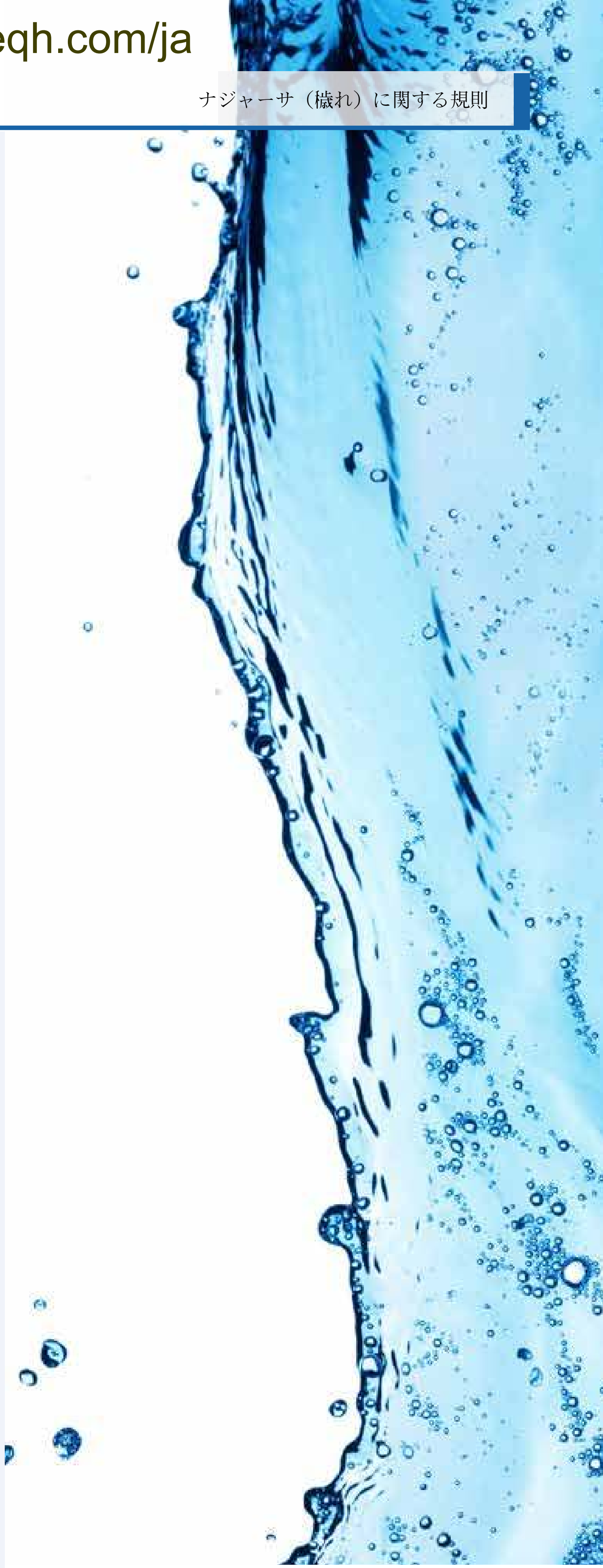
擦る：それが乾いている時

アルコール

アルコールはそれを飲むことはイスラム法において大罪の一つであり、その不浄性は精神的なものですが、物理的には清浄です。　至高なアッラーは仰せられました｛あなたがた信仰する者よ，誠に酒と賭矢，偶像と占い矢は，忌み嫌われる悪魔の業である。これを避けなさい。恐らくあなたがたは成功するであろう。｝［食卓章90節］　アルコールに関してのこの節の意図は精神的な不浄を意味し、マイスィリ（賭博）（マイスィル：博打。）やアンサーブ（据え付けられる像）（アンサーブ：偶像）と同様物理的な不浄ではありません。



酒（アルコール飲料）



ナジャーサの浄化の方法

1－汚れた床または汚れた地面の浄化

ナジャーサが床や地面に降り掛かった時、水または清浄な物質を用いて浄化することができます。モスク内で放尿したベドウィン（遊牧民）についてのハディースによると、預言者はこう述べました。 彼をほっておきなさい。だがサジュル（手桶）（サジュル：水で満たされた桶。）一杯の水かザヌーブ（盥）（ザヌーブ：水で満たされた盥。）一杯の水をその小便に注いで洗い流しなさい。（ハリーク：注ぎなさい。）（ムスリムの伝承）

だが液体のナジャーサが乾燥すると、床はそれにより浄化されます。それは、アブー・キラーバの伝承によります。 地面が乾くと清潔です。（ザカト：清浄になった） （ブハーリーの伝承）



水で地面を洗う



地面の上にある液体のナジャーサ



液体のナジャーサの乾燥

2—不浄な水の清め

ナジャーサの跡が消えるくらいの大量の水を加えることでそれは浄化します。同様に最新の浄化用機器を用いての浄化も可能です。



水を加えることによる浄化



最新機器による浄化

3—ナジャーサが付着した衣服の浄化

ナジャーサが落ちるまで水で洗い、擦って絞ります。



ナジャーサの付いた服の浄化

4ー寝具の浄化

ナジャーサが落ちるまで水でまたは最新の洗浄剤で洗い、擦ります。



寝具の浄化

5ー死んだ動物の皮の浄化

1－食用が許される死亡した動物の皮

これは預言者の次の言葉により、ディバーグ（なめし）で浄化されます。　イハーブ(皮)（イハーブ：なめす前の）は、なめされると浄化されます。（ムスリムの伝承）

ディバーグ：皮を柔らかくして悪臭を取り除くためのいくらかの物質により皮の処理をすること。

しかし死肉ではなく食用が許され，イスラム法に則って屠殺された動物の皮は清浄です。



なめし



食用が許された動物

2ー食用が許されない死亡した動物の皮

屠畜が許されないものはなめしで浄化されません。例えそれが、清潔な状態にあったとしてもです。



食用が許されない動物



6ー離乳前の男児児あるいは女児の尿の浄化

女児の尿は洗い流します。一方男児については、預言者の次の言葉により水を振り掛けるだけで十分です。 女児の尿は洗浄し、男児の尿には水を撒きなさい（アブー・ダーウードの伝承）



女児の尿を洗う



男児の尿に水を掛ける

7ー犬が舐めた容器の浄化

7回洗う中の最初に土を使って洗います。それは預言者の次の言葉によります。 犬が舐めた容器の浄化は七回水で洗う中の最初に土で洗うことです。 （合意の伝承）



土による清め　洗浄による清め

8ーマズィーとワディーの浄化

性器を洗いウドゥーします。それは、アリー・ビン・アブーターリブによる次の預言者の言葉によります。 陰茎を洗いウドゥーを行いなさい。 （合意の伝承）

またどちらかのシミが付着した衣服については、その部分に水を撒くだけで十分です。それは、サハル・ブン・ハニーフが預言者に次のようには尋ねたハディースによります。 私が、私の衣服に付いたそれ（マズィーまたはワディー）をどうしましょうかと言ったところ、アッラーのみ使いは述べました。「その痕に手一杯にすくった水を撒くだけで十分です。

（アブー・ダーウードの伝承）

9ー月経の血液からの浄化

水で洗い、血液の痕が残ったとしても問題でありません。預言者は述べました。 水で十分ですし、その痕も害はありません。

（アブー・ダーウードの伝承）

10ー履物の浄化

どのような履物でもナジャーサの痕がなくなるまで、地面に擦りつけることで浄化することができます。預言者は述べました。 靴を履いて不純物に触れてしまった場合は、土がそれを浄化します。

（アブー・ダーウードの伝承）



履物の浄化は地面に接すること。

11ー地面を引きずる女性の長い衣服（裾）の浄化

女性の衣服の裾にナジャーサが付着した場合は、清浄な場所の上を歩くことで地面がそれを浄化します。預言者は述べました。 その後にあるもの（清浄な土）がそれを浄化するでしょう。（アブー・ダーウードの伝承）



地面が女性の服の裾を浄化。

12ー固形食物の浄化

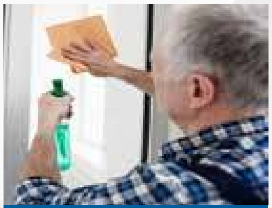


ネズミの遺骸が落ちた脂肪

ナジャーサとその周りの部分を取り除くことで残りの部分が元々清浄であればそれは清浄になります。それは、バターの中に落ちたネズミについてアッラーの使徒が尋ねられたことによります。 ネズミとその周りのバターを取り除き、あなたのバターを食べなさい。（ブハーリーの伝承）

13ー鏡またはガラスのような光沢のある物の表面の浄化

ナジャーサの跡がが除去されるまで拭き取ります。



硝子の浄化は払拭。

ナジャーサの跡がが除去されるまで拭き取ります。

1－物の基本は、ナジャーサを示す言及がない限り、清浄です。

2ーナジャーサがある物に付いたがその場所が分からない時、その物全体を洗浄しなければいけません。

3ーナジャーサが他の物質に変化した時、例えばロバの糞が燃えて灰になった時、その物質は清浄になります。



糞が灰に変化すると浄化する

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

残り水

第三課

残り水

目 次

残り水の定義

残り水
誰かもしくは何かが飲んだ後の容器に残された水を意味します。

基本として残り水は、汚れていると証明されない限りi以下のように清浄です：

1 – 清浄な残り水

a.人間が残した水：

それは、預言者様が生理中のアーイシャの飲み残しの水を彼女が飲んだ同じ場所に口を付けて飲んでいたという伝承によります。（ムスリムの伝承）



b.猫が残した水：

それは預言者が容器から水を飲んだ猫について述べた次の言葉によります。 猫は不浄ではありません。それはあなた達の間をいつも歩き回るものです。 （ティルミズィーの伝承）



食べプッシー



2－不浄な残り水

a.犬の残した水：


犬の残り水

預言者は述べました。犬が舐めた（ワラガ（舐める）：舌を容器に入れて動かすことで、飲んでも飲まなくても同じです。）容器の浄化は、七回水で洗うことです。そしてそれらの初めには砂を使います。（合意の伝承）

b.豚の残した水：


豚の残り水

豚が残した水は、不浄です。至高のアッラーは仰せられました。｛豚肉――それは不浄である―｝[家畜章　145節]　したがってそれによって生産されたものも不浄です。

c.食肉が許される動物とラバ、ロバ、肉食動物、猛禽類などの残り水：

この水は清浄です。何故なら物の基本は、清浄だからで、そのナジャーサを示す根拠がないからです。また預言者の時代彼はロバに乗っていましたしロバは乗られていました。といいます。このことからロバは不浄ではないとわかります。


猫の残り水


肉食獣の残り水


ロバの残り水


食肉動物の残り水

人間の清浄

人間は、それ自身清淨です。例え預言者が、実に信仰する者は不浄ではありません。（合意の伝承）　とおっしゃったようにムスリムであっても、また預言者が女の多神教徒のマザーダ（マザーダ：水が入れられている革袋。）からウドゥーウをしたと伝えられていることから分かるように非ムスリムであっても同じです。一方、クルアーンの｛多信教徒は不浄です。｝（悔悟章28節）　については、これは信仰の不浄で、精神的な穢れを意味するものです。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



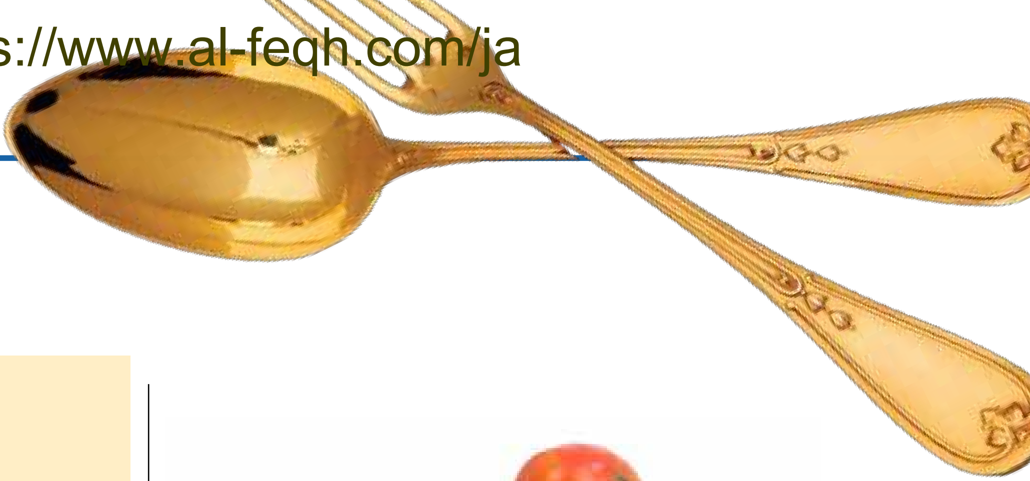
Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

容器

第4課 容器



目 次

容器の定義：

容器

水や他のものを保存する入れ物。

金と銀の容器の使用

1－飲食用

その使用は預言者次の言葉によって禁じられています。　金と銀で作られた容器で飲んだり、それらの皿で食事をしてはいけません。それらは現世では彼らの物であり、来世では私たちの物だからです。」また預言者はこう述べました。「銀の容器で飲む者は、実に腹で地獄の業火を引きずるだけです。（合意の伝承）

2－飲食以外の用途

飲食以外の目的で金と銀の容器を使用することは許可されています。例えばウドゥーなどの為です。それは前述のハディースが飲食に限定していることによります。またウンム・サラマが預言者の髪の毛を入れた銀製のジュルジュル（ジュルジュル：鐘に似た小さな容器）を持っていたというハディースも根拠となります。（ブハーリーの伝承）



金の容器の食べ物



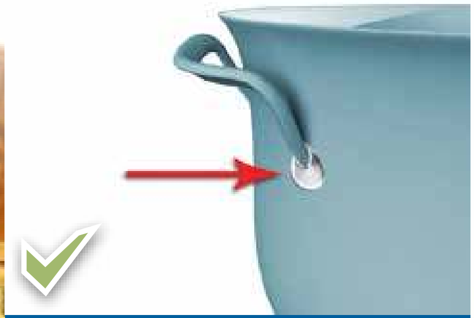
銀の容器の食べ物

銀で溶接された容器の使用

必要のために少量の銀で溶接された容器の使用は許されます。それは預言者の椀が割れたのでそのシャアブ（割れた）（シャアブ：裂け目）場所を銀の鎖で修理したという伝承によります。（ブハーリーの伝承）



ウドゥー用の銀製水差し



銀で溶接された容器の使用



男性にとって金を身に付けること

男性にとって金を身に付けること

男性が金を身に着けることは許されません。それはアブー・ムーサー・アルアシュアリーの伝えるアッラーのみ使い様の次の言葉によります。「私のウンマ（共同体）の男性は絹と金の衣服は禁じられています。しかし女性にはそれは許されます。（テルミズィーの伝承）

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）





Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

トイレ利用の規則



Teharetname

第5課

トイレ利用の規則

目 次

トイレ利用時の義務となること（ワージブ）：

1 - トイレ使用時にはアウラ（恥部）を人目から隠す。それは預言者の次の言葉によります。　人がトイレに入る時に、ジンの目と彼らのアウラの間にあるものを隠すのは、ビスミッラー（アッラーの御名によって）と言うことです。（テルミズィーの伝承）

2－衣服や身体に付着しようとするナジャーサ（不浄なもの）を避ける。もし付着した時には、それを水で洗い流します。アッラーの御使い様は2つの墓の前を通り過ぎ述べました。 2人は懲罰を受けているが、それは大罪で罰を受けてい訳ではません。この者について言えば、小便による汚れを避けていなかったのです。 （小便が付くのを避けたり注意する。）（アブー・ダーウードの伝承）

3－イスティンジャー（水による洗浄）あるいはイスティジュマール（小石等による洗浄）で洗浄すること。アナス・ブン・マーリクは伝えました。　かつてアッラーのみ使い様は砂漠のような空き地で用便を済ませました。そこで私と私ぐらいの少年は水が入ったイダーワ（小さな容器）とアナザ（2）を持って彼の元へ運び、彼はそれを持って洗浄しました。（合意の伝承）

トイレ利用時に禁じられていること

1－砂漠のような解放的な状態で用を足す際にキブラのに面したりそこに背をを向けないこと。

一方、建物内については、キブラに面しないほうが一番良いとされます。預言者様はおっしゃいました： 排便にやって来た時、キブラを向いたり、そちらに背を向けたりして大小便をしてはいけません。（その2方向を避けて）東や西の方を向きなさい。（合意の伝承）

2ー人の通る道や日陰や人の集まる場所で用便をたすこと。預言者様の言葉。 二の呪いをひき起すものから身を守りなさい。」 とおっしゃった時、 人々が「み使い様、その二つの呪いをひき起すものとは何ですか」とたずねると、彼は「人々の通る路上、または、休息のための日蔭で用便することです」とお答えになりました。（ムスリムの伝承）

3ー流れのない浴槽の水など淀んだ水への小便。預言者は述べました。 あなた方はマーウ・ダーイム（淀み水）（マーウ・ダーイム：動きのない淀んだ水。）に小便してはならない。また、そこで沐浴をしてはならない。（合意の伝承）

4ートイレにクルアーンを携帯することは禁じられています。

トイレ利用時に好ましいこと

1－野外で用を足す時は人から離れる。

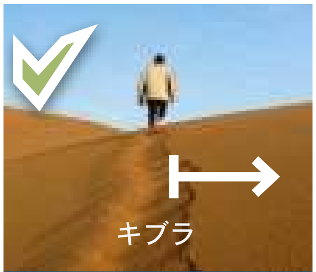
2ートレイに入る際に次のドゥアーを言う。 アッラーホンマ・インニー・アウーズビカ・ミナル・フブスィ・ワル・ハバーイスアッラーよ、私はあなたに男女のシャイターンからのご加護を乞います。」です。（合意）

3ートイレに入る際は左足から入り、出る時は右足から出ます。

4ートイレから出る際は「グフラーナカあなたに許しを求めます）」と言うこと。（アブー・ダーウードの伝承）.


左足から入る


右足から出る



砂漠や野外での用足し


道路での用足し

淀んだ水に放尿すること

淀んだ水に放尿することは、ビルハルツ住血吸虫病を発生させることが確かめられました。この病気は、住血吸虫と呼ばれる寄生虫の一種が作用した結果、発病する病気です。（ギヤース・アフマド著「現代科学に照らした預言者の医術」）

トイレ利用時に嫌われること

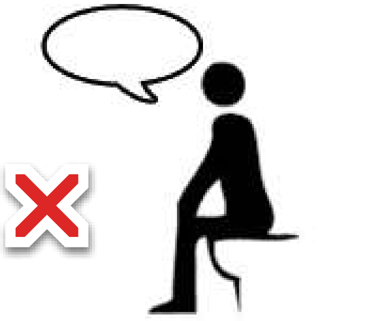
1－必要以外で排尿中に言葉を発したり、誰かと話をすること。これはイブン・ウマルの次のハディースによります。　一人の男が、預言者が用を足している所を通りかかりました。彼は挨拶をしましたが、預言者は返事をしませんでした。（ムスリムの伝承

2－盗難などの恐れがない限り、至高のアッラーの御名が記された物を持ってトイレに入らないこと。

3－右手で排泄器官を触ったり、イスティンジャーやイスティジュマールを行うこと。預言者は述べました 排尿中に右手で陰茎を掴んだり、排泄後に右手で拭かないようにしなさい。（合意）

4－地面の亀裂や巣穴に小便をして、中の動物が害を及ぼしてきたり、それらに害を及ぼさないなようにすること。





用便中の言葉



アッラーの記述があるものをトイレに持ち込むこと



巣穴に小便をすること



クルアーンをトイレに持ち込むこと



預言者は立ったまま放尿することを禁じました。しかし立ったまま尿の飛沫から身を守ることができれば、その状態での放尿も許されます。これはフザイファのハディースで述べられています。アッラーのみ使い様がスバータ（ゴミの山）（スバータ:土や家のゴミなどが捨てられている場所。）にやって来て立ったままで放尿しました。（ブハーリーの伝承）

イブヌ・ムンズィル（伝承者の一人）は、私には座っての小便の方がより好ましいが、立ってやることも許されると語りました。



イスティンジャーとイスティジュマール

イスティンジャー

尿や糞の跡を清潔な水で取り除くこと。

イスティジュマール

尿と糞の跡を石と類似物を使って除去すること。.

イスティンジャーとイスティジュマールの規定

イスティンジャー（トイレの使用後水で清めること）は次のアナス・イブン・マーリクのハディースで定められています　アッラーのみ使い様は、（用をたすために）砂漠のような空き地に入られると、私と私と同じような少年は水が入った小さな容器と短い剣を持って彼の元へ運び、彼はその水でイスティンジャーをしました。（合意の伝承）.

イスティジュマールだけで十分になるには次の２つの条件があります。

１－尿や糞が通常出る場所から広がらないこと。その部分を超えた場合は水を使って洗浄すべきです。

2ーイスティジュマールは前あるいは後ろの排泄器官が汚れの痕跡から綺麗になるまで三度以上拭います。

イスティンジャーとイスティジュマールに潜む叡智

１－不純物の除去と浄化

2ー清潔さと病気の原因を遠ざける

イスティジュマ—ルに使用する物の条件

a－それは清浄であり、不浄なものは許されません。

b－　それは許されたものであり、禁じられた物は使用不可です。

c－汚れた場所を浄化するものであること。

d－骨や糞のような　ものでないこと。サルマーン・アルファーリシーは述べました。 アッラーのみ使い様は、私たちが小便か大便をする時にはキブラを向くことを禁じられました。または、右手で清めのしまつをしたり、3個の石以下で清めたり、ラジーウ（ラジーウ：糞）か骨で清めることをことを禁じました。（ムスリムの伝承）.

e－それが食べ物のような尊重されるべきものや、尊重されるべきものが書かれた紙などではないこと。

イスティジュマールで使用が許される物は、例えば清潔な石やハンカチ（トイレットペーパー）や清潔な紙や布などです。



効き目

・イスティンジャーは単におならをしただけでは行う必要はありません。

・イスティンジャーのほうがイスティジュマールよりより清潔であることで優れています。



布によるイスティジュマール



骨によるイスティジュマール



トイレットペーパー、ティッシュペーパーなどによるイスティジュマール



食べ物によるイスティジュマール



石によるイスティジュマール



貴重な紙によるイスティジュマール

右手でイスティンジャーを行う

用を足した後に右手でイスティンジャーをすることは許されていません。それは預言者の次の言葉によります。

小用中に右手で陰茎を掴んだり、排便後に右手で拭いてはいけません。

（ムスリムの伝承）



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）











Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

フィトラ（本性）のスンナ

第６課

フィトラ（本性）のスンナ

目次

フィトラのスンナ（推奨行為）の定義

フィトラのスンナ

フィトラのスンナ：フィトラはアッラーがその上に人類を創造した本来の性質です。人はそれらの行為によって、最良の性質と様相を所持し存在となることで完結する。

アーイシャによると預言者はこう言われました。　次の十種がフィトラに相当する（スンナ）行為です。それらは口髭を整えること、顎髭を伸ばすこと、スィワークを使うこと、水で鼻孔を洗うこと、爪を切ること、指の関節を洗うこと、腋毛を抜くこと、恥毛を剃ること、水の節約とマドマダです。（ムスリムの伝承）.

１－スィワーク

スィワーク

これは、アラックの木の小枝やそれに類するもので、歯に付いた匂いや食べ物を取り除く為に使用されます。



スィワーク

またスィワークは一日のどの時間帯においても使用することは推奨されています。それは預言者の次の言葉によります。　スィワークは口には清めるものであり、主には喜ばせるものです。（アフマドの伝承）

しかし、特に使用されるケースは以下の通りです：

１－ウドゥーの時：

預言者はこう言われました。　もし、私のウンマ（信者ら）に負担でないならば、私は彼らに清めの度毎にスィワークを使うよう命じたでしょう。（アフマドの伝承）

２ーサラートの時：

預言者はこう言われました。　もし、私のウンマ（信者ら）に負担でないならば、私は彼らに礼拝の度毎にスィワークを使うよう命じたでしょう。　（合意のハディース）

3 ー家に入った時：

ミクダーム・ビン・シュライフは、彼の父がこう語ったと伝えています。 私はアーイシャに『預言者様が家に入った時、最初になさることは何でしたか』と尋ねました。　すると、彼女は『スィワークです。』と答えました。（ムスリムの伝承）

4 ー睡眠から目覚めた時：

フザイファは伝えています。 D預言者様は、深夜の礼拝（タハッジュド）のため起きる度に、スィワークで口を掃除なさいました（シャーサ）（シャーサ：スィワークで口中を擦る。）。（Bブハーリーの伝承）

5ークルアーンを読む時：

アリーは、スィワークの使用を命じた時、預言者が次のように語ったと伝えています。 アッラーのしもべがスィワークを使い、それから礼拝に立つと、天使は彼の後ろに立ち、彼のクルアーン朗誦か言葉などを聞くためにドンドン近づいて来て、彼の口に自らの口を付けるまでになります。すると彼の口から出てくるクルアーンは、全て天使の中に入ってしまいます。ですから、そのクルアーンのためにあなた方の口を清潔にしなさい。（バザールの伝承）



スィワークを使う効用

スィワークを使用する効用から：現世では口に対しての清めであり、来世に於いては、主に対する喜ばせるものです。またそれは、歯を強くし、歯茎を厚くし、声を研ぎ澄まし、使用者に活力を与えます。

2ーマドマダとイスティンシャーク

マドマダ

それは、口に水を入れそれを動かし漱ぐことです。

イスティンシャーク

それは、鼻孔に空気を吸い込むと同時に水を吸い込んで漱ぐことです。



マドマダ



イスティンシャーク

3ーイスティンジャー

イスティンジャー

それは、用を足した後に清浄な水で排泄器官を洗浄し、尿や糞の跡を除去することです。

1ー口髭を切り整える

口髭を切る意図は身だしなみと清潔さと不信仰者に見えないようにすることです。

2ー顎髭を伸ばす

それは、顎鬚をそのままにしておき、除去したり剃ったりしないことです。



顎鬚を剃る。

顎鬚を剃ることは禁じられています。それは、顎鬚を伸ばすままにすることを命じた記述によります。預言者は次のように語りました。口髭を整え（ジュッズー）（ジュッズー：短く切りなさい。）、顎髭を伸ばしなさい（アルフー）（アルフー：そのままにして変化をつけないようにしなさい。）。拝火教徒（マジュース）に同調してはならない！（ムスリムの伝承）

4ー陰毛除去

陰毛除去

恥部の周りの毛を剃ること

陰毛除去の効用

陰毛を剃ることが皮膚の健康と良好を維持するということが科学的に証明されました。何故ならこの部分の多毛は体を害する皮膚炎症をしばしば引き起こす原因になるからです。

5ー男性の割礼と女性の割礼

男性の割礼

亀頭を覆う皮膚を除去すること。

女性の割礼

陰核の余分の皮膜の切除。

男性の為の割礼と女性の為の割礼の根拠は、ウンムアティーヤによる預言者が命じた次の言葉によります。切除は軽くしなさい。陰核の上部の皮膚を切除するに留め、少しの肉も除去しないこと、何故ならそうする事で彼女は微笑し、顔を輝かせ、夫を一層喜ばせるでしょう。（ハキームの伝承）

男性の割礼は義務であり、女性には推奨行為です。

男性の割礼の知恵は、男性性器の亀頭を覆う皮膚の中にある汚れをきれいにすることです。また女性については、彼女の顔を輝かせるものです。



6－爪を切る

それは、爪が長くなるまで放っておかないために短く切ることです。



爪を切る

7－脇の毛の処理

つまり脇の下の毛を除去することです。そうすることで清潔さが達成され、その毛により生じる嫌な匂いを取り除きます。



腋毛の処理

10－指関節の洗浄

指関節

それは、手の背側にある指の関節です。

同様に一部の学者は、それに耳と首とその他の身体の部分の汚れを付け加えています。



指関節

40日

指の爪、脇の下の毛、陰毛と口髭は40日以上手入れをしないことは嫌悪されます。アナス・ブン・マーリクは伝えました　アッラーのみ使い様は私たちに口髭と爪を切ること、陰毛を削ること、脇の毛の処理をする為の期間を40日間以上放置しないように決めました。（ティルミズィーの伝承）.

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

（ウドゥー（小浄

第六課

ウドゥー（小浄）

ウドゥーの定義

ウドゥーの言語的な意味

美しさと清潔。

ウドゥーの法的意味

清めの意志を持って身体の決まった部位に水を使うこと。

ウドゥーの規定

ウドゥーは義務もしくはスンナです。

a- ウドゥーが義務となる3つの行い：

1- サラート（礼拝）：

至高のアッラーは仰せられました。｛信仰する者よ，あなたがたが礼拝に立つ時は，顔と，両手を肘まで洗い，頭を撫で，両足を踝まで（洗え）｝［食卓章6節］


礼拝のためのウドゥー

目 次

2ーカーバ聖殿のタワーフ（周回）：

何故なら預言者は生理中の女性にこう言ったからです。　沐浴して清浄にするまでタワーフを行ってはいけません。（ブハーリーの伝承）


タワーフのためのウドゥー

3ークルアーンに触れること：

至高のアッラーは仰せられました。｛清められた者の外，触れることが出来ない。｝[出来事章79節]



クルアーンに触れるためのウドゥー

b－ それ以外でウドゥ―が望ましいこと。

預言者は述べました。　信仰者以外はウドゥーの状態を保たないものです。（アフマドの伝承）

また以下の時にはそれが好ましいものであることが確認されます。：

礼拝の度に（ウドゥーが無効になっていないとしても）ウドゥーをやり直す。ズィクル（昌念）やドゥアー（祈り）の際、クルアーン朗唱、就寝の前、グスル（沐浴）の前、遺体を運んだ後、例え礼拝をしなくてもいかなるハダス（ウドゥーを無効にする出来事）があった時です。





ズィクルのためのウドゥー



睡眠後のウドゥー



クルアーン朗唱前のウドゥー



遺体を運んだ後のウドゥー

ウドゥーの功徳

1－アッラーの愛を得る原因：

至高のアッラーは仰せられました。{誠にアッラーは，悔悟して不断に（かれに）帰る者を愛でられ，また純潔の者（清浄な者）を愛される。}［雌牛章222節］

2ー審判の日における預言者ムハンマドの共同体の印：

預言者は述べました　私のウンマは、審判の日ウドゥーの痕跡により“グッラ・ムハッジャリーン”（白い鬚と白い足の馬）（グッラ：馬の額にある白い鬚。　ムハッジャリーン:馬の両前足と後ろ足にある白いぶち。またその二つの意味するところは、審判の日にウドゥーをされた場所に光りが存在するということです。）のように集まります。ですのでそのグッラ（光の場所）を延長出来るものはそうしなさい。（合意の伝承）

3ー罪と悪行の償い

預言者様はおっしゃいました。 ウドゥーを行い、かつそれを正確に行った者は、彼の身体から罪がその爪の下からさえも出て行きます。（ムスリムの伝承）

4ー位階を高める

預言者様はおっしゃいました。　あなた方にアッラーがそれによって罪を消して、位階をを上げて下さることを話しましょうか？」人々は言いました。「はい、アッラーのみ使い様！」彼は言いました。「それは、困難や好まない状況（マカーリフ）（マカーリフ：人が嫌う事柄や彼に困難を与える物事。）においても、ウドゥーをきちんと行うこと。マスジドへ向かう歩数を多くすること（遠い道を選ぶこと）。礼拝後に次の義務の礼拝を待ち望むこと。それが評価です。（ムスリムの伝承）

ウドゥーの形式

1－心でニーヤ（意思決定）をする。

2ータスミヤ：「ビスミッラー」と唱える

3ー両掌を3度洗う

4ースィワークを使う：マドマダ（口をすすぐ）時に使う。

5ーマドマダとイスティンシャークとイスティンサールを3度行う。

マドマダ：口に水を入れて動かすこと。

イスティンシャーク：空気を吸い込むとように鼻孔に水をすすり入れること。

マドマダとイスティンシャークは手にすくった一杯の水で一回ごと行う。

イスティンサールとは鼻から水を吹きだすことです。

6ー顔を3度洗い、髭に濡れた手をくぐらせます。

顔の範囲は、縦は額の髪の生え際から顎の先までで、横は耳からもう片方の耳までになります。

7ー右腕を指先から肘まで3度洗い、同様に左腕を洗う。

8ー頭を撫でる：これは腕を洗った後に、手に残った水で直ぐに行います。両手の平で初めは頭の前から後ろへ、そして後ろから前へ戻して撫でます。（1度だけ）

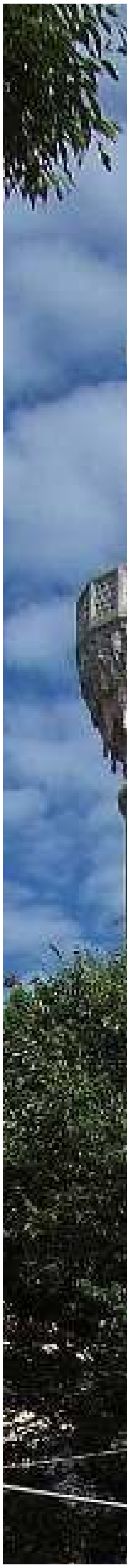
9ー頭を拭った直ぐ後に、手の平を濡らさずに残った水で、耳の内側を人差し指で外側を親指で挟むようにして上から下に拭きます。（1度）

10ー右脚を3度くるぶしまで洗います。同様に左脚も洗います。

11ーウドゥー完了後のドアー（祈り）を次のように言います。　アシュハド　アン　ラー　イラーハ　イッラッラー。　ワハダフー　ラー　シャリーカ　ラ。ワ　アシュハド　アンナ　ムハンマダン　アブドゥフー　ワ　ラスール。（ムハンマドの伝承）

アッラー（神）の他に神はない』と宣言します。また『ムハンマドがアッラーの使徒である』ことも宣言します。）そして「アッラーフンマ__ジュアルニー　ミナ__ッタウワービーナ　ワ__ジュアルニー　ミナル　ムタタッヒリーン」（意味：アッラーよ、私をよく悔悟し、そしてよく浄める者たちの一人として下さい。）そして（ティルミズィーの伝承）

スブハーナカッラフンマ　ワ　ビハムディク。アシュハド　アッラー　イラーハ　イッラーアントゥ。アスタグフィルカ　ワ　アトゥーブイライク。」（意味：アッラーよ、あなたに賞賛と賛美あれ。私はあなた以外に神はないと証言し、あなたに罪の赦しを請い、あなたに悔悟します。）（ナサーイーの伝承）





東京モスク

ウドゥーの形式

1



両掌を洗う（３回）

2



ダムダマ（３回）Kali）

3



イスティンシャーク（３回）

4



イスティンサール（３回）

5



顔を洗う（３回）

6



顎鬚をかき分ける

7



両腕の指先から肘までを洗う（３回）

8



頭をなでる

9



耳を拭う（１回）

10



両足を踝まで洗う（３回）

ウドゥーの条件

1－水が清浄であること。

2－水が合法であること。例えば盗んだ水でないこと。

3－水が肌に届くのを妨げる油や油に似た物質を除去すること。

4－ウドゥーを完全に行うこと。

ウドゥーの義務行為

1－ニーヤ（意図）：それは心で行うものでロに出して行いません。もしウドゥーの行為を、体を冷やしたり清潔にする意図で行われウドゥーのニーヤなしに行われた場合は、そのウドゥは受け入れられません。

2－顔を洗うこと。マドマダとイスティンシャークは、その一部です。

3－両肘を含む両手を洗うこと。

4－頭全体を撫でること。そこには両耳が含まれる。

5－踵と一緒に両足を洗うこと。

6－これらの部分の間を上記の順序で洗う。

ウドゥーのスンナ

1－ウドゥーの最初に両掌を3回洗う。

2－スィワークを使用する。

3－各部位を3回づつ洗う。但し頭と両耳は1回以上を撫でない。

4－ウドゥーの場所は、右から始める。

5－「光の場所」を延長すること。：つまりウドゥーを行う時、踝と肘の上までを洗うということです。

6－水が髭の下にある顔の皮膚に触れるように、指で髭の間を濡れた手でくぐらせる。

7－足と手の指の間を開いて洗う。

8－体の各部分を手でこする。水をかけるだけでは不十分です。

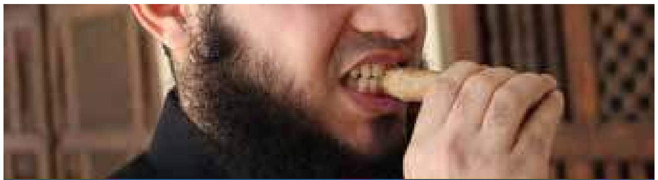
9－水を無駄使いしないこと。預言者は述べました。 このウンマにウドゥーにおいての限度を超える者達がでてくるでしょう。」つまり、彼らはウドゥーの水を浪費するでしょう。
（アブー・ダーウードの伝承）

10－ウドゥーの後のドゥアー（祈願）。預言者は述べました。 あなた方の中でウドゥーを完全にした後次のように祈った者は8つの天国の扉が開け放たれ、その内の望むいかなる所からでも入ることが出来るであろう。「アシュハド・アン・ラー・イラーハ・イッラッラーフ・ワフダフ・ラー・シャリーカ・ラ。ワ・アシュハド・アンナ・ムハンマダン・アブドッラーヒ・ワ・ラスール。アッラーホンマジュアルニー・ミナッタゥワービーナ・ワジュアルニー・ミナル・ムタタッヒリーン。”（私は、アッラー以外に神はなく、唯一にして並ぶ者のないことを証言します。またムハンマドがアッラーの僕であり使徒であることを証言します。アッラーよ、私を良く悔悛する者たちの一人とし、清められた者たちの一人として下さい。）
（ティルミズィーの伝承）

11－ウドゥーの後に2ラクアの礼拝をする。預言者は述べました。 私のこのウドゥーのようにウドゥーをしてから2ラクアの礼拝をし、その間に独り言を言わない者（自身の考えに気がそれない者）は、誰でも過去の罪が赦るされるでしょう。
（合意の伝承）



油（クリームなど）を除去する



スィワークの使用



「光の場所」を延長



指の間を開けて洗う

ウドゥ―を無効にするもの

1－尿や糞やオナラのような2つの道（二つの道：前と後ろの排泄器官。）から出る全てのものです。預言者は述べました。 アッラーは不浄な状態になった者がウドゥーを行うまでかれの礼拝を受け入れません。（ムスリムの伝承）

2ー意識が無くなる眠り。またそれに似た気絶や完全麻酔のようなものもこれに入ります。

3ーラクダの肉を食べること。ジャービル ブン サムラが伝えています。 ある男が預言者様にこう訊ねました。『羊の肉を食べたらウドゥーすべきですか？』（預言者様は）言いました。『はい』（ムスリムの伝承）

4ー性器に直接覆いなしに触ること。ブスラ・ビント・サフワーンは、アッラーの み使い様が次のようにおっしゃるのを聞いたと伝えています。 性器に直接触った者は、ウドゥーを行わなければなりません。（アブー・ダーウードの伝承）



ラクダ肉を食べる



深い眠り

要望

1－睡眠から起きて容器の水でウドゥーを行う時、手を3回洗うまではその容器から水をすくってはいけません。預言者は言いました。睡眠から目覚めて、容器の外で3回手を洗うまでは水の容器の中に手を入れてはいけません。実にどこでその手が夜を過ごしたか分からないからです。（合意の伝承）

2ー全ての洗うべき個所に水を届かせるよう努めることは義務です。特に両手両足の指の間や耳と髭の間。また同様に両方の肘と踝とアキブ（踵）（アキブ：足の後尾。）です。預言者は述べました。 水がかからなかった踵に地獄の災いあれ（ムスリムの伝承）

3ー基本はヤキーン（確信）の上にあります。従って清浄を確信した後で、ウドゥーの無効に疑いを持ったとしたら、「確信の上に建てられる」の原則により彼は清浄です。同様に、もし清浄でないことを確信していて、ウドゥーを行ったかどうか疑いが生じた時は、確信は、清浄でないことですからウドゥーをすべきです。

4ームスリムがウドゥーを行う時、ウドゥーの部分を1回か2回づつ洗ったり、一部の部分を1回、他の部分を2回、また他の部分は3回洗ったりしても、そのウドゥーは正しいですが、最善ではなくなります。

5ー忘れてウドゥーなしで礼拝を行った者は、思い出した時には、その礼拝をやり直さなければいけません。

6ーウドゥーを既に行った後に穢れが付着した場合、付着物を除去すれば良く再度ウドゥーをする必要はありません。何故ならそれは（排尿や排便のような）ハダス（出来事）ではないからです。





耳と髭の間



睡眠から起きた後、容器に直ぐ手を入れる



足指の間を広げる



踵

“

ウドゥーと公衆衛生

国連発行の雑誌「ソース」掲載記事より：イスラーム社会において礼拝のために体系化されたウドゥーやグスルは、第3世界の視覚障害の病気の原因になる病気「トラホーム」の伝染を阻止するの大きな助けになった。世界では5億人の人がこの病気に罹っており、礼拝の前にムスリムに義務付けられているこのイスラーム方式に従うならこれらの人々は、失明を回避できるかもしれないし、むしろ絶滅の段階にまで到達できるだろう。」（出典：ギヤース・アフマド著「近代医学に照らした預言者の医術」）

”

すべきではないこと

1－ウドゥーの時のニーヤを口に出して言うこと。

2－水の浪費。

3－3回以上洗うこと。：

その根拠は、一人の遊牧民が預言者の所にやってきて、ウドゥーについて尋ねたところ、3回ずつ洗うウドゥーを彼に見せた後、次のように語った伝承によります。「このようにウドゥーをしなさい。これに加える者は、罪を犯し、紀を超え、不正を犯したことになります。（アブー・ダーウードの伝承）

但し、洗う部分が3回の洗いだけでは綺麗にならない時には、それ以上洗うことは許されます。例えば、手に油などが付いた場合です。



水の浪費

4－ウドゥーの不完全さ。：

それは、次の伝承によります。「ある男がウドゥーを行ったが足の爪の個所が洗われずに残っていました。預言者はそれを見るとこう言いました。 戻ってウドゥーを完全なものにしなさい。（ムスリムの伝承） するとその者は元に戻りその後に礼拝を行いました。

ウドゥーの不完全さには次の事が入ります：

a-踵を洗わないこと。

b－きつい袖の為、肘を洗わないこと。

c－耳と顎鬚の間を洗わないこと。

d－左手の後ろと左掌を洗わないこと。

ｅ－肌に水が届かない程の油が洗わなければならない部分に付着したままウドゥーを行うこと。

ｆ－水が肌に触れることを妨げる装飾物を指にしたままで女性がウドゥーをすること。

ｇ－水が足指の間に順調に届かないくらいに広げて洗わないこと。

5ー首を拭く。

この部分はウドゥーの部分ではありませんが、必要であればウドゥーの前あるいは後に拭きます。

6ー非イスラム的なドアー（祈願）を唱えること。

例：

ー手足を洗う度に、特別なドアーを唱える。

ーウドゥーを行った者に「ザムザム！」と言うこと。

7ーワスワサ（悪魔の囁き）によってウドゥーを何度も繰り返すこと：

これは、悪魔がその僕に行う欺きで、ウドゥーの無効や欠陥を囁き、度を越したイスティンジャーをしたり何度もウドゥーを繰り返したりして崇拝行為に疲れ果ててしまうことになります。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ホッフ（皮の靴下）と靴下とギブスと包帯とバンドエイドの上

第8課 ホッフ（皮の靴下）と靴下とギブスと包帯とバンドエイドの上からのマスフ（拭うこと）。

ホッフと靴下の定義

ホッフ
革製の足に履く物。

靴下
綿などで出来た足に履く物。

ホッフと靴下のマスフの規定

このマスフは、多数のハディースにより許されます。その中から例えば：アナス・ブン・マーリクはホッフのマスフについて尋ねられ、こう答えました。 かつて預言者様はマスフをしていました。（合意の伝承）

ホッフと靴下のマスフの条件

1 - 両方とも清めの状態になった後に着用します。ムギーラは伝えました。私は預言者様と一緒に旅をしていました。私は、預言者様のホッフを脱がせようと上体をかがめますと、「このままにして下さい。私は清浄な状態でそれに足を入れました。」と言われ、その上をお拭きになりました。（合意の伝承）.

2－それは足と踝までを覆うものでなければなりません。踝の上は足の一部ではないので拭う必要はありません。

3－それは、清浄な物で作られていること。

4－それは、ハラール（合法）な材料であること。男性にとって禁じられている絹のようなものでないこと。

5－マスフは限定された時間の間だけ有効です。何故ならみ使い様は、マスフについて決められた期間に限定されたからです。（定住者には1昼夜、旅行者には三日。）それを越えることは認められません。

6－マスフは、ハダス・アスガル（小さい汚れ）の場合のみで　ハダス・アクバル（大きい汚れ）の場合は清めることはできません。サフワーン・ブン・アッサールは伝えました。アッラーのみ使い様は、私たちの旅行中に、睡眠を取っても排尿排便の際も私達のホッフを三日間脱がないで、マサフ（拭く）するよう命じました。ただ夢精や性行為による精液の放出（ハダス・アクバル）は例外でした。（ブハーリーの伝承）.

これはジュヌブ（精液放出状態にある者）は、清浄になるためのグスル（沐浴）をする際にホッフを脱いで沐浴後、再びそれを穿くことが義務であることを意味します。





ホッフと靴下の拭い方

ホッフの上部を水で濡らした両手で足の指先から脛にかけて1回だけ拭います。右足は右手で、左足は左手で拭います。

ホッフの裏と踵は拭いません。アリーは述べました。 宗教がもし理論に基づいていたなら、足の上よりも足裏を拭うほうがより重要であったでしょう。しかし私はアッラーのみ使い様がホッフの上部を拭っているところを見ました。（アブー・ダーウードの伝承）



両手で拭う



ホッフの裏を拭う



踵を拭う

ホッフと靴下を拭う期間

定住者は一昼夜、旅行者には三日三晩有効です。

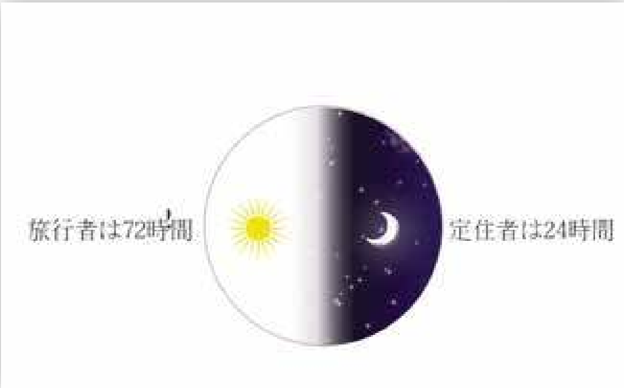
この根拠は次のアリーのハディースによります。み使いは旅行者に三日三晩、定住者に一昼夜を定められました。(ナサーイーの伝承).

マスフの期間を計算する

その期間は、ハダス（ウドゥー失効の原因）の後の最初のマサフから始まります。ですから清めの状態の間に靴下を履いた後、ハダスが起きた後のマスフは最初になります。このマスフから一昼夜つまり24時間が有効期間になります。

例えば、ある者がウドゥーを行い、足を洗って、その後靴下を履きファジュルの礼拝を済ませました。そして午前10時にハダスが起きて、彼のウドゥーは無効になりました。それから午前11時になってサラート　ドゥーハ（朝の任意の礼拝）の為、ウドゥーを行いました。その時、足を洗う代わりに靴下をマスフ（拭い）します。このマスフは、靴下を脱がない限り翌日の午前11時まで有効です。

これは、定住者の場合です。旅行者に関しては、三日三晩です。



マスフを無効にするもの

1－マスフの期間の終了。

2－靴下の一方または両方を脱ぐこと。

3－ハダス・アクバル（グスルが必要な穢れ）の発生。サフワーン・ブン・アッサールは伝えました。 アッラーのみ使い様は、私たちの旅行中に、睡眠を取っても排尿排便の際も私達のホッフを三日三晩脱がないで、マサフ（拭く）するよう命じました。ただ夢精や性行為による精液の放出（ハダス・アクバル）は例外でした。(ティルミズィーの伝承).



靴下を脱ぐことはマスフを無効にする



ギプス、包帯、バンドエイドの上をマサフ（拭う）すること

ギプス、包帯、バンドエイドの定義

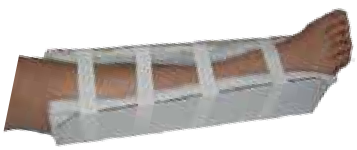
ギプス：

これは折れた手足を元の形に維持することに使われる、石膏や添木などからできたものです。



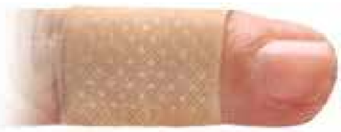
包帯：

これは傷、火傷その他を治療のためにそれで包む布やそれに類似するものです。。



バンドエイド：

これは治療のために傷にくっ付けて使われるものです。



ギプスの上を拭う事が許可される根拠

ジャビールは伝えました。 私達は旅に出かけた際に、我々の一人が石によって頭を負傷しました。この男はその後夢精をもよおし同胞に尋ねました。「私は頭を負傷しているので沐浴の代わりにタヤンムムを行っていいというルクサ（許可）はないだろうか？」同胞達は答えました。「あなたは水が使用できるのだからルクサはありません。」そこで彼は沐浴をして亡くなってしまいました。私達は預言者様の所にやって来た時、そのことが報告されました。預言者様はおっしゃいました。「彼らはその者を殺したのです。彼らにアッラーの呪いあれ。何故彼らは知らなかった時に尋ねなかったのでしょうか、正しい方法が分からないことの薬は質問をすることだけです。布切れで傷を押さえるかそれを巻くかして(そのことについては伝承者の一人ムーサーはどちらか確かではなかったが）、タヤンムムを行えば十分だったでしょう。そしてその布の上は拭って、残りの身体の部分は洗えばよかったのです。（アブー・ダーウードの伝承）.

ギプス、包帯、バンドエイドのマスフの条件

1－ギプスや包帯については、治療を受けている部分とそれを固定するのに必要な囲んでいる部分を越えないことが条件です。

2－ギプスや包帯をする個所は、清浄であることは条件ではありません。、またその期間の制限もありません。その必要性がある限り、例え穢れがハダス・アスガルであってもハダス・アクバルであっても清浄にする時は、その上を拭うことは許されます。しかし、その必要性が無くなれば、それらは取り除かれなければならず、その部分は清めの時に洗わなければなりません。

3－バンドエイドと包帯の場合は、除去と復元が容易なので次の点に注意します。：

a－除去が簡単で、その下の部分を洗うことで傷を悪化させたり治癒の遅れが生じないならそれを取り除き、その部分を洗ってから元に戻します。

b－除去が難しく、傷を洗う事で治癒が長引くなら、その部分を洗う時は、マサフ（拭うこと）をその上に行います。

ギプスと包帯とバンドエイドの上を拭う方法

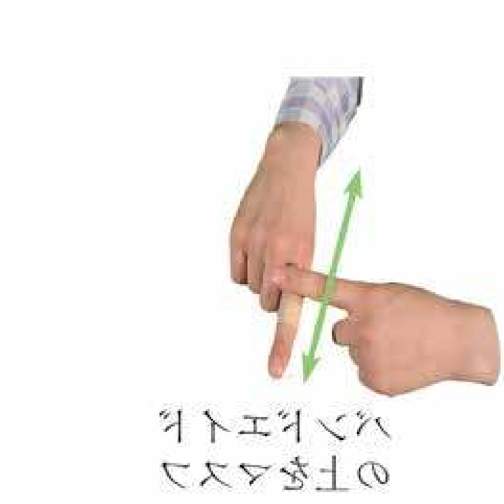
前述の個所の一つに清めの順番がやって来た時は、まずその周りを洗い、その部分の上をまんべんなくマスフします。もしこのギプスなり包帯が洗うべき個所より大きい時は、その部分はマスフする必要はありません。



包帯の上をマスフする仕方



ギプスのマスフの仕方



バンドエイドの上をマスフする仕方



マスフの期間の計算方法



ある人がウドゥーをし、足を洗ってから靴下を履きそしてファジュルの礼拝を行いました。午前10時に彼は、トイレを利用し、ウドゥーが無効になりました。午前11時にドゥハーの礼拝の為、靴下の上をマサフしたウドゥーをしました。これは、靴下を履き続けていれば、翌日の午前11時までマスフすることが許されます。この規定は定住者のものです。旅行者に関しては、三日三晩靴下の上を拭う事ができます。

これは居住者に対する規定で、旅行者については3日3晩になる。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

（グスル（沐浴

第9課

グスル（沐浴）



目 次

グスルの定義：

グスルの言葉の意味：

その物全体に水を行き渡らせること。

グスルの法規的意味：

アッラーを崇拝する意図を持って特定の方法で全身に水を行き渡らせること。

グスルを義務付けるもの

1－マニー（精液）の放出

マニー：性欲によって噴出する粘り気のある白い液体で、その
には気怠さが起きます。それは、卵の腐敗したような臭いを持っ
います。至高なアッラーはおっしゃいました。｛もしあなた方がジュヌブ（精液を放出した状態）であるなら、清めなさい。｝［食卓章6節］ そして預言者は述べました。水（精液）を漏らしたた（ファダハル・マー）時は、グスルをしなさい。（アブー・ダーウードの伝承）.

ファダハル・マー：水を放出すること。水とは精液のこと。

質問

1－もし性的夢を見たとしても精液が出なければ、グスルを行う必要はありません。もし目覚めた後で、それが出た時にはグスルをしなければなりません。

2ー目を覚まして、夢を見たかどうか覚えていないが、身体や服や寝床に精液が付着していた場合はグスルが義務になります。預言者は述べました。 水は水からのものに必要です。（ムスリムの伝承） つまり、水（精液）の放出は故意であろうとなかろうと水（グスルの水）を必要とするということです。

3ー例え精液が自身の陰茎の中に感じても、放出されない場合はグスルの必要はありません。

4ー性欲ではなくある種の病気から放出された場合、グスルの必要はありません

5ージュヌブになって、グスルを行った後で精液が出てきた場合は、再びグスルを行う必要はあ

りません。何故ならそれは、性欲によって出たものではないからです。それに対する用心としてとして最も良いのはウドゥーを行うことです。

6－睡眠から目覚め、何が原因か覚えていないが服が濡れていたら次の3つの状態が考えられます。：

a－それが精液だと確信する。そうすると夢を見たかどうか定かではなくても、グスルは義務です。

b－それが精液ではないと確信する。この場合グスルの必要はありません。したがってその規定は小便の規定です。

c－それが精液かどうか疑わしい状態。その時は、それが何かを追求しなければなりません。もしそれが精液であることを思い出したとすれば、それは精液であり、もしマズィー（精液の前に出る液体）であることを思い出したら、それはマズィーになります。何も思い出さなければ、用心としてとしてグスルが義務となります。

7－精液を見て、いつ夢精をしたか思い出せない時は、グスルと最後に睡眠を取った時間からの礼拝をやり直さなければなりません。

2. 性交

これは男性器と女性器が出会うことです。そして男性の陰茎の先が女性の膣に挿入されることです。例え精液が放出されなくてもそれは性交です。預言者は言いました。割礼を受けた者が割礼を受けた者に入る時、沐浴は義務です。（ティルミズィーの伝承）.

3.不信仰者がムスリムになった時

何故なら預言者がカイス・ブン・アーシムがムスリムになった時にグスルを命じたからです。（アブー・ダーウードの伝承）.

4.月経の終了と出産後の出血が停止した時。

アーイシャの伝えるところによると「預言者はファーティマ・ビント・アブーフバイスに言いました。月経が始まったら、礼拝から離れなさい。そして、終わったらグスルをしてから礼拝を始めなさい。 （合意の伝承）. 出産後の出血も月経と同様であるとイスラーム法学者は同意しています。

5. 死

これは娘のザイナブの埋葬のためのグスルについて預言者が述べた言葉によります。彼女を3回、5回、必要であればもっと洗って下さい。（合意の伝承）



グスルの形式

グスルにおける義務は、グスルのニーヤ（意図）によって全身にを水を行き渡らせることです。これはどのような形式でも可能ですが、預言

者のグスルの形式を見習うことが推奨されます。それは信者の母マイムーナは預言者の沐浴について述べました。 アッラーのみ使い様は、ジュヌブから身を清めるための水を地面に置き、右手で左手の上に水を2回あるいは3回注ぎました。それから陰部を洗い、それから手を地面あるいは壁に2回か3回打ち付けました。それからマドマダとイスティンシャークを行い、顔と腕を洗いました。その後水を頭にかけて、残った全身を洗うと、その場からわきに動いてから両足を洗いました。「そして私は彼に布を差し出しましたが、彼はそれを断りました。彼は身体の残った水を両手で拭いました。（ブハーリーの伝承）.

したがってそのやり方は次の通りです。：

1－両掌を2回あるいは3回洗う。

2ー陰部を洗う。

3ー手を地面か壁に2回あるいは3回打ち付ける。

4ー足を除いて礼拝のためのウドゥーを行う。

5ー頭に水をかける。

6ー身体の残りの部分を洗う。

7ーその場から少し移動して足を洗う。













効果

もし女性が編み髪ならば、ジュヌブあるいは月経のグスルの為に編み髪を解く必要はありません。髪の根元に水が浸透することを確かめて水をかけることで充分です。

月経または出産後のグスルの時は、血痕が無くなればムスクなどの香水を付けたティッシュもしくは綿で血の跡をなぞることが奨励されます。

ジュヌブのためのグスルを行った時は、ウドゥーのニーヤ（意思決定）の有無にかかわらずこのグスルによる礼拝は有効になります。

ジュヌブの状態の者に禁じられる行為

1－礼拝：

｛信仰する者よ，あなたがたが酔った時は，自分の言うことが理解出来るようになるまで，礼拝に近付いてはならない。またジュヌブの時も，旅路にある者を除き，全身を沐浴した後でなければならない｝[婦人章43節]



礼拝

2－カーバ聖殿でのタワーフ（周回）：

預言者は言いました　カーバ聖殿でのタワーフは礼拝と同じです。[ナサーイーの伝承].



タワーフ

3－クルアーンに触れる：

至高のアッラーは仰せられました。｛清められた者の外，触れることが出来ない。｝[出来事章79節]

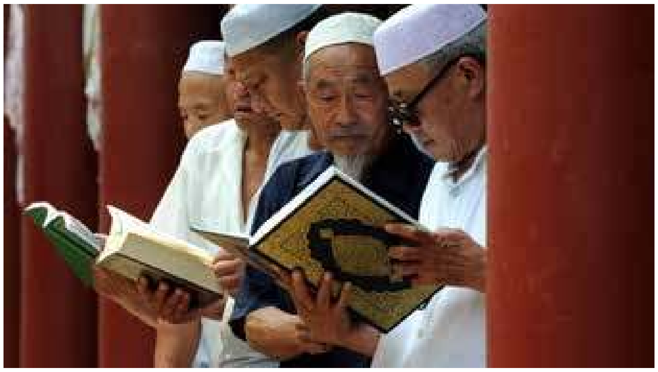
預言者は述べました。清められた者の外、クルアーンを触ってはいけません。(マーリクのムワッタからの伝承).



クルアーンに触れる

4－クルアーン朗誦：

アリーが伝えました。アッラーのみ使い様は、トイレを出た後、私達にクルアーンを朗誦してくださいました。また私達と一緒にらくだの肉を食べた時もジュヌブの状態にいる以外は、何もクルアーンを詠む妨げにはなりませんでした。(ティルミズィーの伝承).



クルアーン朗誦

5ー旅行者以外モスクに留まること：

至高のアッラーは仰せられました。｛信仰する者よ，あなたがたが酔った時は，自分の言うことが理解出来るようになるまで，礼拝に近付いてはならない。またジュヌブの時も，旅路にある者を除き，グスルした後でなければならない。｝[婦人章：43節]



モスクでの滞在

好ましいグスル

1ージュムアの為のグスル：

預言者はこう言いました。　金曜日にジュムアのためにウドゥーを行った者は、そのケースでは完璧ですが、グスルは、より良いことです。（アブー・ダーウードの伝承）.

2ーウムラもしくはハッジでイフラームになる前のグスル：

ザイド・ブン・サービドは伝えました。私は、預言者がは通常の衣服を脱ぎ、（ハッジの為に）グスルをするのを見ました。（ティルミズィーの伝承）.

3ー遺体を洗った後のグスル：

預言者は述べました。　遺体を洗った者には、グスルをさせなさい。（イブン・マージャの伝承）

4ー性交毎にグスルをすること：

アブー・ラーフィウは述べました。預言者様は、ある日、妻達を訪れてそれぞれの所で（性行為を行い）、その都度グスルをしました。そこで私は彼に尋ねました。「アッラーのみ使い様。何故最後に一度のグスルにしないのですか？」すると彼は答えました。「この方がより清浄であり、より良く、より清潔だからです。（アブー・ダーウードの伝承）

すべきではない事

1ー礼拝の時間が終わるまでジュヌブのグスルを遅らせること。

2ー月経が止まったのに、義務の礼拝をしないこと。

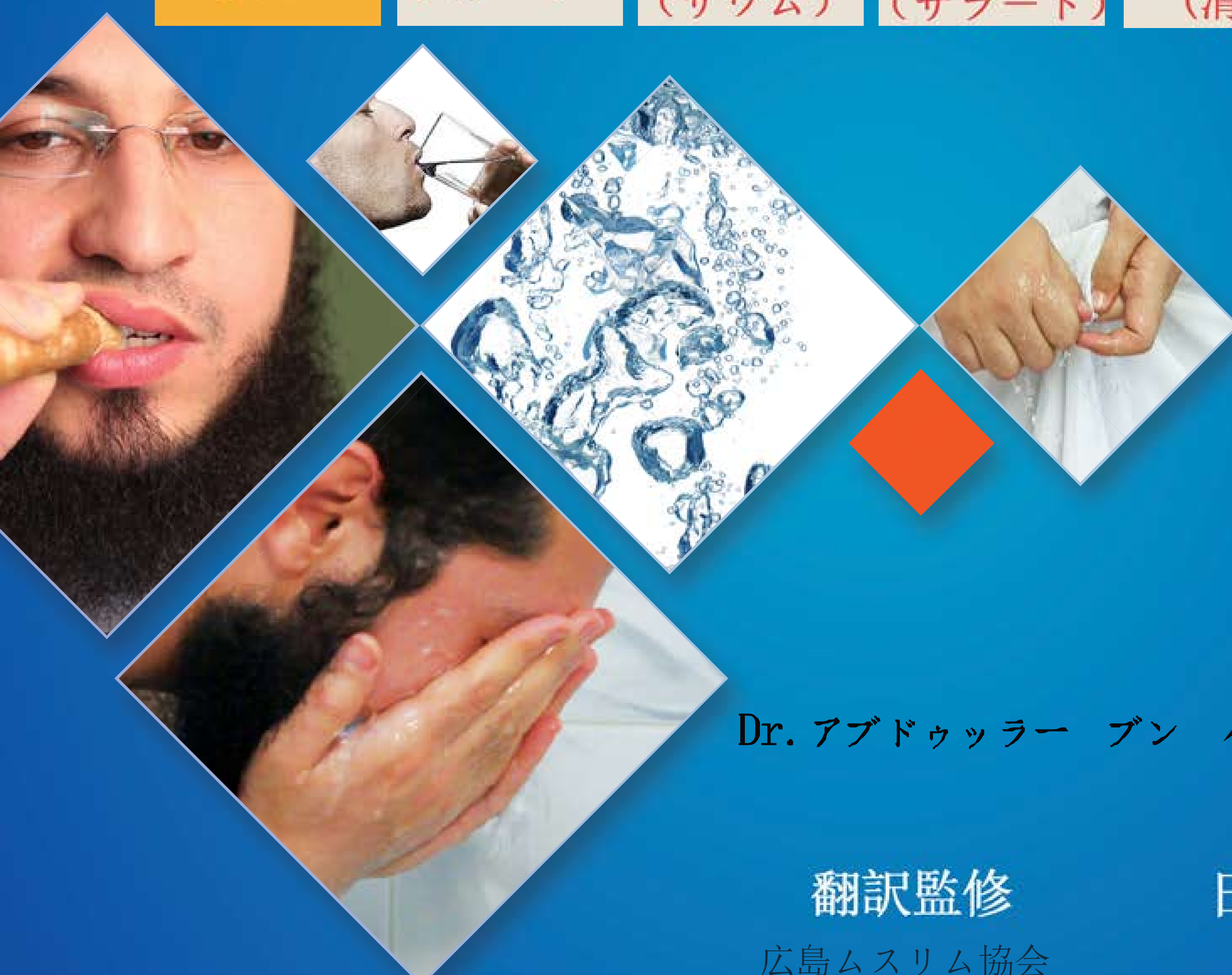
例えズフルの礼拝時間が終了する１ラクア前に月経が終了したとしても、彼女はグスルをしてズフルの礼拝をしなければなりません。預言者は述べました。日が昇る前にファジュルの礼拝の１ラクアでも間に合った者はファジュルの礼拝に間に合ったことになります。また日没の前にアスルの礼拝の１ラクアでも間に合った者はアスルの礼拝に間に合ったことになります。（合意の伝承）.



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

タヤンムム

第10課 タヤンムム

目 次

タヤンムムの定義

タヤンムムの言語学的意味：

何かを志しそれに向かうこと。

タヤンムムの法的意味：

清めのニーヤ（意図）を持ち清潔な土で両手と顔をマスフ（拭う）すること

タヤンムムの規定

タヤンムムは水が存在しない場合、水の使用が不可能な場合、礼拝のようなタハーラ（清め）が義務となることについてはそれが義務となり、クルアーン朗誦のようなそれが好ましい行為に対しては、ムスタハッブ（好ましいこと）になります。

タヤンムムの法的根拠

１－アッラーは仰せられました。｛水を見つけられない場合は，清浄な土に触れ，あなたがたの顔と両手を撫でなさい。｝［食卓章6節］

２－預言者は述べました。私は以前には誰一人として与えられなかった五つ（の特典）を授けられました。即ち、私は一ヶ月の遠征で（敵に吹き込まれた）恐怖によって勝利しました。また私のためにこの大地は礼拝場所としてまた浄めるものとして与えられました。ですから私のウンマの者は、礼拝の時間が来たらそこで礼拝しなさい。（ブハーリーの伝承）.

タヤンムムの法的叡智

１－ムハンマドのウンマ（共同体）への簡便化。

２－病や大寒などのいくつかの状況時に水の使用により起こりえる災難防止。

３－断水による信仰行為の中断を防ぎ、連続的にそれを行うことを可能にする。

いつタヤンムムが定められるか？

1－水の不在時

至高のアッラーは仰せられました。｛水を見つけられない場合は，清浄な土に触れ，あなたがたの顔と両手を撫でなさい。｝［食卓章6節］

至高のアッラーは仰せられました。「水を見つけられない場合は，清浄な土に触れ，あなたがたの顔と両手を撫でなさい。」　（食卓章6節）しかし水を探さなかった場合は、水を見つけられなかった者となりません。

2ー水があってもそれを使用できない時

例えば病人やウドゥーを行うのに助け手のない、動けない老人です。


高年齢者


病人

3ー水の使用によって被害の恐れがある時

その中から：

a－水の使用が病気を悪化させる病人。

b－厳しい寒さの中にあって、水を沸かす手段がなく、水を使用したら病気になるだろうと予想する人物。 これは預言者がアムル・ブン・アル・アースが大寒の為にタヤンムムを行い礼拝を先導した時の行動を了承したことによります。（アブー・ダーウードの伝承）.

c－水が遠い場所にあって、飲むために必要な僅かな水しかなく、他に飲む水を得ることができない者。

タヤンムムの形式

1－両手で土を１回叩く。

２ーそれから塵を減らす為に手のひらに息を吹き付ける。

３ー次に両手で顔を一度拭く。

４ー次に右手の甲を左手の平で、左手の甲を右手の平で拭い、両手の甲を拭います。

タヤンムムの形式の根拠は、アンマールの伝える次のハディースによります。 預言者は両手の平で土をたたき、（手についた塵を除く為に）手の平に息を吹きかけました。そして両手で顔と手を拭いました。（合意の伝承）.

タヤンムムの義務行為

1－ニーヤ（意図）

２ー顔を拭う

３ー手を拭う

４ー順番：顔から始めて次に両掌を拭います。

５ー連続：顔を拭って直ぐに両手を拭きます。

タヤンムムが無効にするもの

1－水の存在

２ー放屁のようなウドゥーを無効にすることの一つでも起きること。

３ー夢精のようなグスルが義務となることが起きること。

４ーウドゥーの代わりにタヤンムムを許可する病気などの理由が無くなること。


水の存在



> **科学的に証明されました。**
> それは、地面の土が、その粒子の間に浄化させる物質を含んでおり、この物質は様々な種類の細菌を撲滅することが出来、またどのような微生物、やウイルスを退治することが出来ことです。

要請

1 - 水の使用が不可能な場合で大小便をした後、タヤンムムによる礼拝は、ウドゥーがあるが大小便を我慢しながら行う礼拝より良い。

2 ー壁や礼拝マットを使ってタヤンムムを行う事は、その上に土や埃などが付着していれば、認められません。

3 ータヤンムムを１度行った者はそれを無効にすることにならない限り、望むだけの義務と任意の礼拝をすることができます。

4 ータヤンムムを行った者がウドゥーを行った者の礼拝を先導することは有効です。預言者はアムル・ブヌ・アル・アースが大寒の為にタヤンムムを行い礼拝を先導した時の行動に同意しました。（アブー・ダーウードの伝承）.

5 ータヤンムムを行い礼拝をした者は、礼拝時間が終了する前に水を見つけたとしても礼拝をやり直す必要はありません。アブー・サイード・アル・フドゥリーの伝承によると 二人の男が旅行に出掛け、礼拝の時間になった時、ウドゥーの為の水がみつかりませんでした。そこできれいな土でタヤンムムを行い礼拝しました。その後、二人は礼拝の時間内に水を見つけました。一人はそれでウドゥーを行い、もう一人は行いませんでした。その後二人は預言者にその事を報告しました。彼は礼拝をやり直さなかった方に「あなたはスンナに従いました。（私の言行に忠実でした。）あなたの礼拝は足りています。」そして礼拝をやり直した同胞には、「あなたには二倍の報酬があります。（アブー・ダーウードの伝承）. と述べました。

6 ータヤンムムを行った者が礼拝前もしくは礼拝中に水をみつけたのなら、ウドゥーをしなければなりません。預言者は述べました 実にきれいな土はムスリムとって清めるものです。それがもし10年間水が見つからなかったとしても。しかし、水が見つかれば水で肌をこするのが良いことです。（ティルミズィーの伝承）.

7 ー水を求める者にとってタヤンムムは、礼拝の最後の時間まで延期することは許されます。しかしもし水の存在が絶望的なら、それを最初の時間に早める方が好ましいことです。何故なら最も良い礼拝は、その時間内の（早い時間の）礼拝だからです。

8 ーもし礼拝の時間が終わってしまう恐れがある時でも、水がありそれを使用することが出来るなら、タヤンムムは許されません。例え礼拝の時間が過ぎてしまってもです。

9ームスリムは、礼拝を妨げるものは、もし水が無くあるいはそれが使用できない時のタヤンムムも出来ない時には、タハーラ（清浄）がなくても時間内に礼拝すべきです。そしてそれをやり直す必要はありません。それは、2つの清めの手段を無くした者と名付けられる規則によります。その根拠は、至高なお方の言葉です。｛だから心を尽してアッラーを畏れなさい。｝[騙し合い章]

10ー水があるにも関わらず、礼拝の時間が終わってしまう恐れがあり、タヤンムムを行った者の礼拝は有効ではありません。例え礼拝の時間が過ぎたとしても彼がすべきことはウドゥーです。



タヤンムムの形式



1 一度両手で土をたたく



2 土に息を吹きかける



3 顔を拭う



4 左手で右手を拭い



5 右手で左手を拭う



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

月経とイスティハーダ（不規則な出血）とニファース（出産後

第11課

月経とイスティハーダ（不規則な出血）とニファース（出産後の出血）



目 次

月経

月経の定義

月経の言語的意味：
物の流れと流動。

月経の法的意味：
女性が健康である時、原因なしに特定の時間に女性の子宮から流れる血液。

月経の血の特質

それは焦げた物のよう濃い黒色で痛みを起こし嫌な匂いがします。女性は月経中は強い暑さを感じます。

月経の年齢

月経が始まる年齢は特に決まっていません。それはその女性の性質や環境や気候によって異なります。ですからね女性が月経の血を見た時、彼女の月経が始まった事になります。

月経の期間

月経には特定の期間はありません。3日間の女性もいれば、4日間の女性もいますが、6日間から7日間が通常です。預言者は長い間月経の期間にあったハムナ・ビント・ジャハシュに述べました。アッラーの知識において、あなたの月経は6日間か7日間です。その後グスルをしなさい。（アブー・ダーウードの伝承）.

要請

1－妊婦は月経をしないのが基本です。もし出産間近に血を見て、陣痛があれば、それはニファースの血となります。もし陣痛が無く、または出産までの時間が長い場合は、月経の血となります。

2－女性の一般的な月経の期間に遅れたり早まったりした場合、例えば月の初めに月経があってその月末にもそれを見るとか一般的には6日間である時にそれより長いとか短いとかしてもそれを気にする必要はありません。血を見た時、それは月経であり、それが終わった時は、清浄になったことになります。

3－女性の清浄は、カッサ（月経が止まった時に出る白い液体）が出たことで分かります。もしそれが出なかった時は、清浄の印は、乾燥です。それは白い綿布を性器に当てて、何も付着することなく乾いたままであることで判断します。

月経の規定から

1．クドラとスフラの規定：

クドラとスフラの定義：

クドラ：

それは黒と黄色間の黒く濁った血です。

スフラ：

スフラは女性から出るの淡黄色の血です。

クドラとスフラの規定：

女性が淡黄色の血または黒と黄色の間の黒く濁った血を見た時に、または通常のように湿っている時、彼女は次の二つの状況のどちらかになります。



清浄の印



スフラの外観



クドラの外観

1－その印を月経の期間中もしくは月経が終了する直前に見た場合：

この状況では、月経の規定が当てはまります。アーイシャの伝承によると、かつて女たちは彼女の所にスフラの付いたクルスフ（クルスフ：綿。）の入ったドゥラジャ（ドゥラジャ：女性が月経の痕跡が残っているかを知るために当てるもの。）を寄越していました。すると彼女は言いました。 急がないでください。白い液体を見るまで待ってください。」白い液体とは月経終了の印を意味しました。（マリクの伝承）.

2ー清浄時にそれを見た場合：

この状況では考慮する必要はありません。グスルもウドゥーも義務ではありません。ウンム・アティーヤは言いました。私達はクドラとスフラは清浄になった後には考慮しませんでした。（アブー・ダーウードの伝承）.

2ー断続的な月経に関する規定

もし女性がある日に月経の血痕を見て、またある日にはきれいになっていたとしたら、次の二つの状況が考えられます。

1－停止することなく血が継続的に流れる場合：

これは、イスティハーダの血です。

2ー断続的に血が流れる場合：

Yan ev hinek caran were ew di hinek wextan de j paqij bibe. Hukm w wiha ye:

a－ 血の流れが１日未満の間停止したなら、その日は月経の期間の一部とみなされます。

b－ 月経終了を示す白い液体を見るといった清浄期間に見た場合は、その期間は清浄になります。その量が多くても少なくても、あるいは一日以内でもそれ以上でも同様です。

イスティハーダ

イスティハーダの定義

イスティハーダ：

これは女性器からの途切れないか僅かな時間しか途切れない連続的な血の流れを意味します。

月経の血とイスティハーダの血の違い

月経の血	イスティハーダの血
粘っこくて黒い	淡い赤
嫌な腐敗臭がある	無臭
塊ができない	塊ができる
子宮の上部からの流れ	子宮の下部の静脈からの流れ
自然で健康な血	病気や疾病や健康悪化による血
決まった時間に流れる	決まった時間がない

イスティハーダを経験している者の様々な状態

始めの状態：イスティハーダが起こる以前は定期的な月経があった。

この場合その女性は通常の月経の日にちを計算し、残りの日をイスティハーダとみなします。アーイシャはファーティマ・ビント・アブー・フバイシュが述べたことを伝えました。アッラーのみ使い様！私は（月経が終わったのに出血があって）は浄くなりません。礼拝を止めるべきでしょうか？」アッラーのみ使い様は彼女におっしゃいました。「いいえ それは血管からのものです。あなたの通常の月経の日数は礼拝を止めて、その後グスルをし礼拝を始めなさい。（ブハーリーの伝承）.

第2の状態：決まった月経の期間がないが、月経の血とイスティハーダの血の区別がつく状態。

この場合にこの女性は2種類の血の区別によって行動します。これはファーティマ・ビント・アブーフバイシュの伝承によるもので、彼女がイスティハーダに苦しんでいたところ預言者はこう言いました。濃い色の血で知られる月経の血であれば、サラートをやめなさい。だがもしイスティハーダの血であったら、ウドゥーを行い礼拝しなさい。何故ならそれは血管からから流れる血だからです。（アブー・ダーウードの伝承）.

第3の状態：月経の期間が不特定で月経の血とイスティハーダの2種類の血の区別がつかない状態。

この場合は、大多数の女性の月経期間によって行動します。それは通常毎月6日から7日間です。月経の血を見た日から数えて、残りの日をイスティハーダとみなします。預言者はハムナ・ビント・ジャハシにこう言いました。6日間か7日間を月経としなさい。それはアッラーの知識の中にあります。それから、グスルをしなさい。そしてあなたが清浄になったのを知ったら、次の23日か24日間礼拝を行い、また断食しなさい。それは、あなたに許されることです。このように毎月行いなさい。それは女たちが月経と清浄の時に行うことと同じことです。（アブー・ダーウードの伝承）.

第4の状態：決まった期間があり、月経とイスティハーダの2種類の血の区別がつく状態。

この場合は、決まった期間によって計算され区別には依りません。何故なら決まった期間は女性にとってより正確だからです。もし通常の日数を忘れた時には、2種類の区別によって行動します。

要請

1－もし月経の期間を知っていていたが、その日数を忘れたなら、大多数の女性の一般的月経の日数を使って計算します。

2－月経の日数は知っているが、それが月初それとも月末かの時期を忘れてしまった場合、月経の日数は月初から数えます。もしそれが月半ばにやって来るがその日を限定出来ない時は、月半ばの最初の日からその日数を数えます。何故なら月半ばの日が正確な時間により近いからです。

3－月経の期間が終了し、イスティハーダの状態にある女性はグスルを行い、綿の布のようなもので女性器を巻きます。これで清浄の規則が適用され、それによって礼拝や断食を行います。ウドゥーの後に流れる血は、彼女を害することはありません。何故ならそれは許されているからです。彼女にはタハーラ（清浄さ）に関してて次の三つの形の中のどれか一つの形があります。

a.礼拝の時間に入った後、それぞれの礼拝のためにウドゥーを行います。それは陰部をきれいに洗ってからしっかりとそこに布を当てした後に行います。預言者はファーティマ・ビント・フバイシュにこう言いました。 その後礼拝ごとにウドゥーを行い、礼拝しなさい。（アブー・ダーウードの伝承）.

b.ズフルの礼拝をアスルの前の時間まで遅らせ、グスルをしてから両方の礼拝を行います。預言者はハムナ・ビン・ジャハシュに述べました。可能であれば、ズフルを遅らせアスルを急ぎなさい。そしてグスルをして2つの礼拝（ズフルとアスル）を纏めて行いなさい。また可能であればマグリブを遅らせ、イシャーを急ぎなさい。そしてグスルをして2つの礼拝（マグリブとイシャー）を纏めて行いなさい。またファジュルのグスルをしてファジュルを行いなさい。また活力があれば断食しなさい。（アブー・ダーウードの伝承）.

c.各礼拝の為にグスルをします。これは7年間イスティハーダに苦しんだウンム・ハビーバの伝承によるものです。彼女はこのことについてアッラーのみ使い様に尋ねました。すると彼は彼女にグスルをするようにお命じになりました。それで彼女は礼拝の度にグスルをしていました。（ブハーリーの伝承）.

4－女性が子宮の手術のような何らかの原因によって出血する時、次の二つの状態のどれかに該当します。：

a.閉経の為月経がないことが明らかな場合。

この場合イスティハーダの規定に該当せず、どんな時でも礼拝の妨げにはなりません。この血は病のために起こった血とみなされます。したがって各礼拝の前にウドゥーを行わなければなりません。

b.まだ月経の可能性があることが明らかな場合。

この場合は

イスティハーダの規定に該当します。

イスティハーダの女性との性交は許されます。何故なら法は、それを禁じていないからです。



ニファース

ニファースの定義

ニファース：

出産が原因で女性の子宮から出る血。

ニファースの期間

ニファースの最小日数の制限はありませんが、最長の日数に関しては、その前に血が止まらない限り通常40日間です。その時は、グスルをして礼拝を行います。

ニファースの規定

1－女性が出産した時－めったにないことですが－出血しなかったら、ウドゥーを行い礼拝します。グスルの必要はありません。

2－出血が40日間以上続き、通常40日後には出血が止まるか、出血が止まるのが近い兆候が表れた時には出血が止まるまで待ちます。しかし、出血が続くならそれはイスティハーダになり、その規定があてはまります。

3－40日目の前に清浄になったら、グスルをし、礼拝や断食をしますし彼女の夫には性交が許されます。

4－40日目の前に一度清浄になったが、その期間中に再度出血した場合は次のことを考慮しなければなりません。：

a.それがニファースの出血であることが分かれば、それはその通りになります。

b.ニファースの出血ではないことが分かれば、彼女は清浄の規定に従います。

5－ニファースは明白に人間の形を持って生まれた時以外には確定されません。もし女性が人間の創造の段階で満期の前のまだ人間として明らかになっていない胎児を流産したとしたら、次の3つの状態があります。：

a.それが妊娠初期の40日以前の時。

それは、腐敗した血の塊です。したがって彼女は、グスルをしてから礼拝や断食をします。

b.それが妊娠80日以後の時。

それはニファースの出血です。

c．それが妊娠40日から80日の間の時。

次のことを調べます。：もしそれに人間としての印が表れてれば、それはニファースの出血です。もしそうでなければ、腐敗した血になります。

月経とニファース時における禁止事項

1．性交

至高なるアッラーは仰せられています。｛かれらは月経に就いて，あなたに問うであろう。言ってやるがいい。「それは不浄である。だから月経時には，妻から遠ざかり，清まるまで近付いてはならない。それで清まった時には，アッラーが命じられるところに従って，かの女らに赴け。誠にアッラーは，悔悟して不断に（かれに）帰る者を愛でられ，また清浄な者を愛される。｝［雌牛章222節］預言者はこの節が啓示された時同胞にこう言いました。妻達と性交以外のことは何でもしなさい。（ムスリムの伝承）.

要請

1－妻が月経中に性交する男性は罪人です。彼はカッファーラ（償い）をしなければなりません。その行為に妻も同意したのであれば彼女にもカッファーラが課されます。

カッファーラ：それは金貨１ディナールかその半分をサダカ（寄付）することです。イブン・アッバースの伝承で預言者は妻が月経中に性交した者に関してこう言いました。 その者は１ディナールか半ディナールをサダカすべきです。（アブー・ダーウードの伝承）.

１ディナールは金4.25グラムです。

2－女性の月経が止まっても、夫は妻がグスルするまで性交を行ってはいけません。至高のアッラーは仰せられました。｛だから月経時には，妻から遠ざかり，清まるまで近付いてはならない。｝ ［雌牛章:222節］ つまり、月経の血痕から清まるまでと言うことです。また次のようにも仰せられました。｛それで清まった時には，｝［雌牛章:222節］つまり、グスル後と言うこと。それから仰せられました。｛ アッラーが命じられるところに従って，かの女らに赴け。｝［雌牛章:222節］ つまり、性交です。

2．礼拝

預言者はファーティマ・ビント・カイスに言いました。月経が始まったら、礼拝を止めなさい。しかし月経が終わったら、グスルであなたからの血を清め、礼拝を行いなさい。（アブー・ダーウードの伝承）.

要請

1－女性は清浄になった時、出来なかった礼拝をやり直す必要はありません。それは、アーイシャが、月経の女性が出来なかった断食は取り戻すのに礼拝はその必要がないことについて尋ねられた伝承によります。彼女はこう答えました。ラマダーン中に月経になった時、私達は断食についてのカダー(取り戻し）は命じられましたが、礼拝のカダーは命じられませんでした。（合意の伝承）.

2ー月経の女性がそれが終わり礼拝の時間の1ラクアが出来るだけの時間がある時には、その礼拝を行わなければなりません。それは礼拝の時間の初めでも最後でも同様です。もし1ラクアが出来ない時間しか残されていない時は、その礼拝は行う必要はありません。

預言者はこう言いました。 礼拝の１ラクアを完了した者はその礼拝に間に合ったことになります。（合意の伝承）.

3．断食

預言者はこう言いました。月経が始まれば、礼拝も断食もしないのではないですか？」彼女達は答えました。「そうです！（ブハーリーの伝承）.

要請

月経の出血がファジュルの前に止まって、断食を始めた時、ファジュルの後までグスルをしていなくてもその断食は有効です。

4．クルアーンに触れること

至高なアッラーは仰せられました。｛清められた者の外，それに触れることが出来ない。｝［出来事章:79節］ 預言者は言いました。クルアーンは清浄の者以外は触る事は許されません。（マーリクが彼の伝承集ムワッタアの中で伝えました。）.

5．カーバ聖殿でのタワーフ（周回）

預言者はアーイシャが月経になった時こう言いました。巡礼者が行うことを行いなさい。ただし月経から清められるまでカーバ聖殿のタワーフはできません。(合意の伝承). またイブン・アッバースは伝えました。預言者は人々にカーバ聖殿での最後の義務としてのタワーフ（別れのタワーフをお命じになりました。しかし月経中の女性は免除されました。(合意の伝承).

6．旅人以外がモスクに滞在すること

至高なアッラーは仰せられました。{信仰する者よ，あなたがたが酔った時は，自分の言うことが理解出来るようになるまで，礼拝に近付いてはならない。また大汚の時も，旅路にある者を除き，全身を沐浴した後でなければならない。}[婦人章43節]

預言者は、おっしゃいました。私は、モスクを月経中の者とジュヌブ（大汚）の者に許可しません。（アブー・ダーウードの伝承）

要請

1－月経中の女性は自身の血でモスクの中を汚してしまう恐れがなければ、モスクの中を通り過ぎることは罪ではありません。これはアッラーの次の一般的な言葉によります。{旅路にある者（横切る者）を除き、}[婦人章43節]

2ーイードの礼拝中は礼拝の場所に月経中の女性がいることは禁じられています。預言者はこう言いました。　月経中の女性はイードの礼拝場所から遠ざからなくてはなりません。(合意の伝承). 例え女性たちが二大祭には礼拝場所に行って説教や善行やムスリムの祈りを見ることが好ましいとされていてもです。

7．離婚

妻が月経中に離婚することは禁じられています。アッラーは仰せられました。{預言者よ，あなたがたが妻と離婚する時は，定められた期限に離別しその期間を（正確に）計算しなさい}[離婚章１節]　つまり離婚する時は定められたイッダ（待婚期間）を受け入れる状態にいることで、妻達が月経中ではない時という意味です。

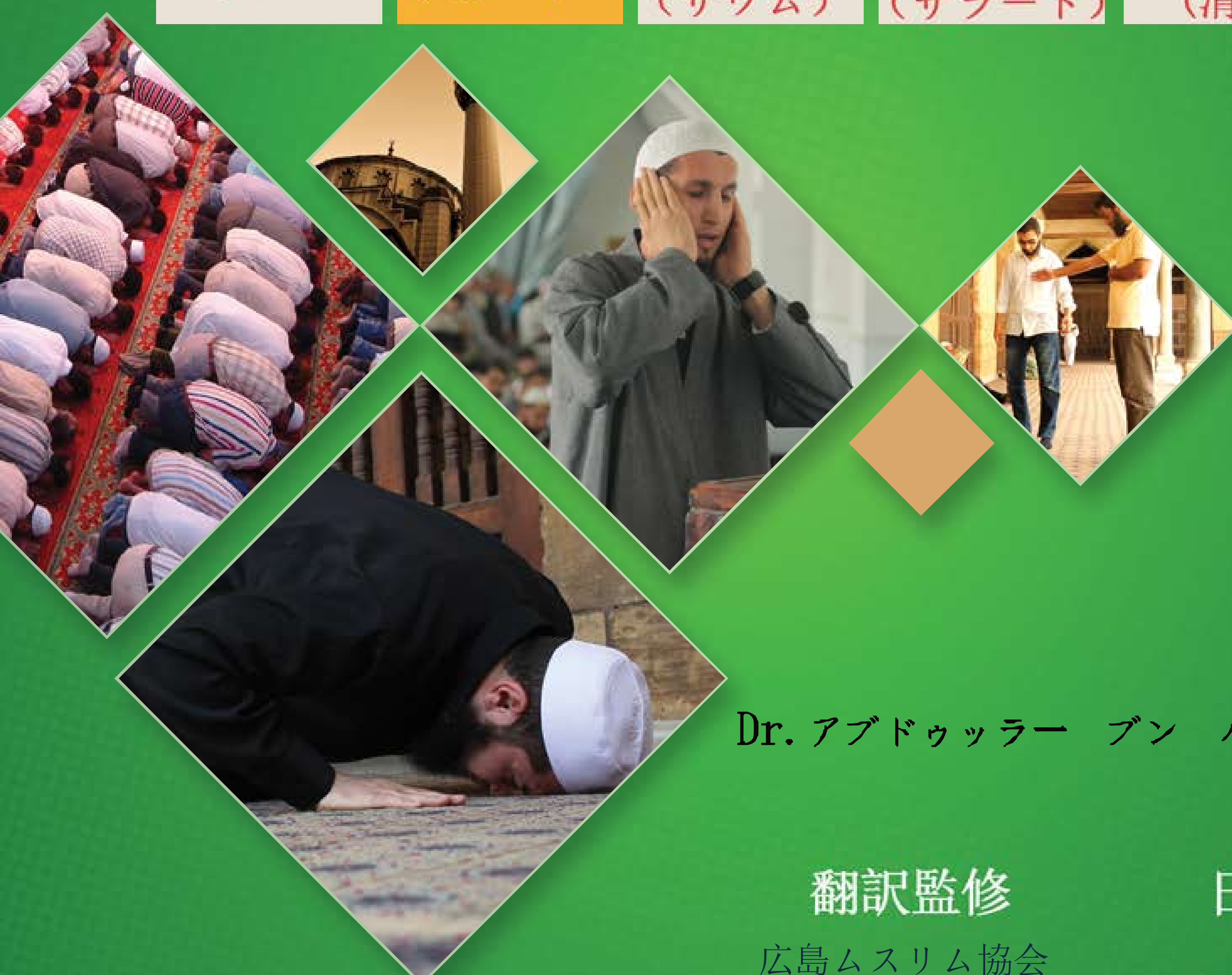
また月経中の女性と離婚することは、禁じられ新しい出来事にも関わらず現実に起きています。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝の位置と規定



礼拝の位置と規定

目 次

礼拝の定義

礼拝の言語的意味：

ドゥアー（祈願）。

礼拝のイスラーム法における意味は:

特定の言葉と行動で唯一神アッラーを崇拝すること。：タクビール（アッラーフ・アクバル：アラーは偉大なりと言うこと）で始まり、タスリーム（アッサラーム　アライクム：あなたに平安あれと言うこと）で終わる。

イスラームにおける礼拝の位置

1．礼拝はイスラームの5 柱の第2の柱。

預言者（かれに平安あれ）は述べました。：イスラームは5つの柱からなる。アッラーの他に真の神はなくムハンマドは神の僕であり使徒であると証言すること、礼拝を行なうこと。・（合意のハディース）

2．礼拝は最良の行い。

アッラーの使徒は述べました。：　最良の行いとはそれぞれの時間の初期に行う礼拝です。．（ティルミズィーの伝承）

3．礼拝は不信仰（クフル）とイスラームの間を分けるものです。

預言者は述べました。：　本当に人間（信者）とシルク（多神）とクフル（不信仰）を分けるものは礼拝の破棄です。．（ムスリムの伝承）

4．礼拝はイスラームの柱です。それで、タウヒード（アッラーの唯一性）の次にイスラームはその上に建てられます。

預言者は述べました。：　最上部はイスラームでその支柱はサラート（礼拝）です。（アフマドの伝承）

https://www.al-feqh.com/ja

礼拝の徳

１．礼拝は、それを行う者にとって光（導びきの手段）です。アッラーのみ使いは述べました。：　礼拝は光である。　（ムスリムの伝承）

Ｎ2．礼拝は、罪を贖う(あがなう)手段です。崇高かつ至高のアッラーは仰せられました。：｛礼拝は昼間の両端において，また夜の初めの時に，務めを守れ。本当に善行は，悪行を消滅させる。これは（主を）念じる者に対する訓戒である。｝［フード章114節］　預言者は述べました。：　もしあなた方の1人の家のドアのすぐ側に川が流れていて1日に5回身体を洗うことを考えてみなさい。その人にダラヌ（ダラヌ：汚れ）がついているだろうか。」かれらは答えました。「何のダラヌもついていないでしょう。」すると彼は述べました。「それは、5回の礼拝と同じです。それによってアッラーは罪を消されるのです。（合意のハディース）

３．礼拝は、楽園へ入る原因です。預言者はラビーア・イブン・カアブが天国で預言者のお供をすることをお願いした時、こう答えました。：　では多くのスジュード（平伏礼）をすることで私を援助して下さい。　（ムスリムの伝承）

礼拝の規定

1日5回の礼拝は、クルアーンとスンナとイジュマー（イスラム学者の合意）によって義務です。

１．クルアーン：

アッラーは仰せられました。：　｛礼拝〔サラート〕の務めを守り，定めの施し〔ザカート〕をなし，立礼〔ルクーウ〕に勤しむ人たちと共に立礼しなさい。｝.［雄牛章43節］

2．スンナ：

預言者（かれに平安あれ）は述べました。
イスラームは5つの柱からなる。アッラーの他に真の神はなくムハンマドは神の僕であり使徒であると証言すること、礼拝を行うこと、ザカートを支払うこと、マッカの聖殿への巡礼を行うこと、ラマダーン月に断食することです。（合意のハディース）

タルハ・ビン・ウバイドッラーの伝承によると、ある男が預言者にイスラームについて尋ねました。預言者はこう答えました。：　昼と夜の5回の礼拝です。」その男は尋ねました。「その他に私に課せられたことは何でしょうか？」預言者は述べました。「ありません。任意の礼拝をすること以外は。　（合意のハディース）

3．イジュマー：

ウンマ（イスラーム共同体）は、１日５回の礼拝が義務であることに合意しました。．

誰に礼拝が義務となるか？

礼拝は、すべての成人で理性ある男性と女性のムスリムに対して義務です。

補いの礼拝

イスラームに入信する以前のすでに過ぎてしまった礼拝を取り戻すことは命じられていません。なぜならイスラームは、それ以前の事を払拭するかです。



礼拝を放棄する者の規定

1ーその義務を否定し礼拝を放棄する者:

もしそのことを知らないなら教えるべきで、それでも拒否し続けるならその人は不信者であり、アッラーとその使徒と全てのムスリムを嘘つき呼ばわりする者です。

2ー怠けて礼拝を放棄する者;

怠けて意図的に礼拝を放棄する者は誰でも、不信仰を行ったことになります。統治者は3日間、その者に礼拝を呼びかけ悔悛を提示します。もし悔悛すれば（解放されます）。もししなければ、背教者として処刑されます。これは預言者の次の言葉によります。：　私達と不信仰者の間にある契約は礼拝です。それを放棄した者は誰でも不信者となります。（ティルミズィーの伝承）

」また；　本当に人間（信者）とシルク（多神）とクフル（不信仰）の間には礼拝の放棄があります。（ムスリムの伝承）



子供の礼拝

子供は7歳になると、練習として礼拝を行うように命じられます。そして10歳になったら痛くないようなやり方で叩いても礼拝させます。預言者はおっしゃいました。：　子供が7歳になったら礼拝を行うように命じ、10歳になったら叩いても礼拝させなさい。（アブー・ダーウードの伝承）.



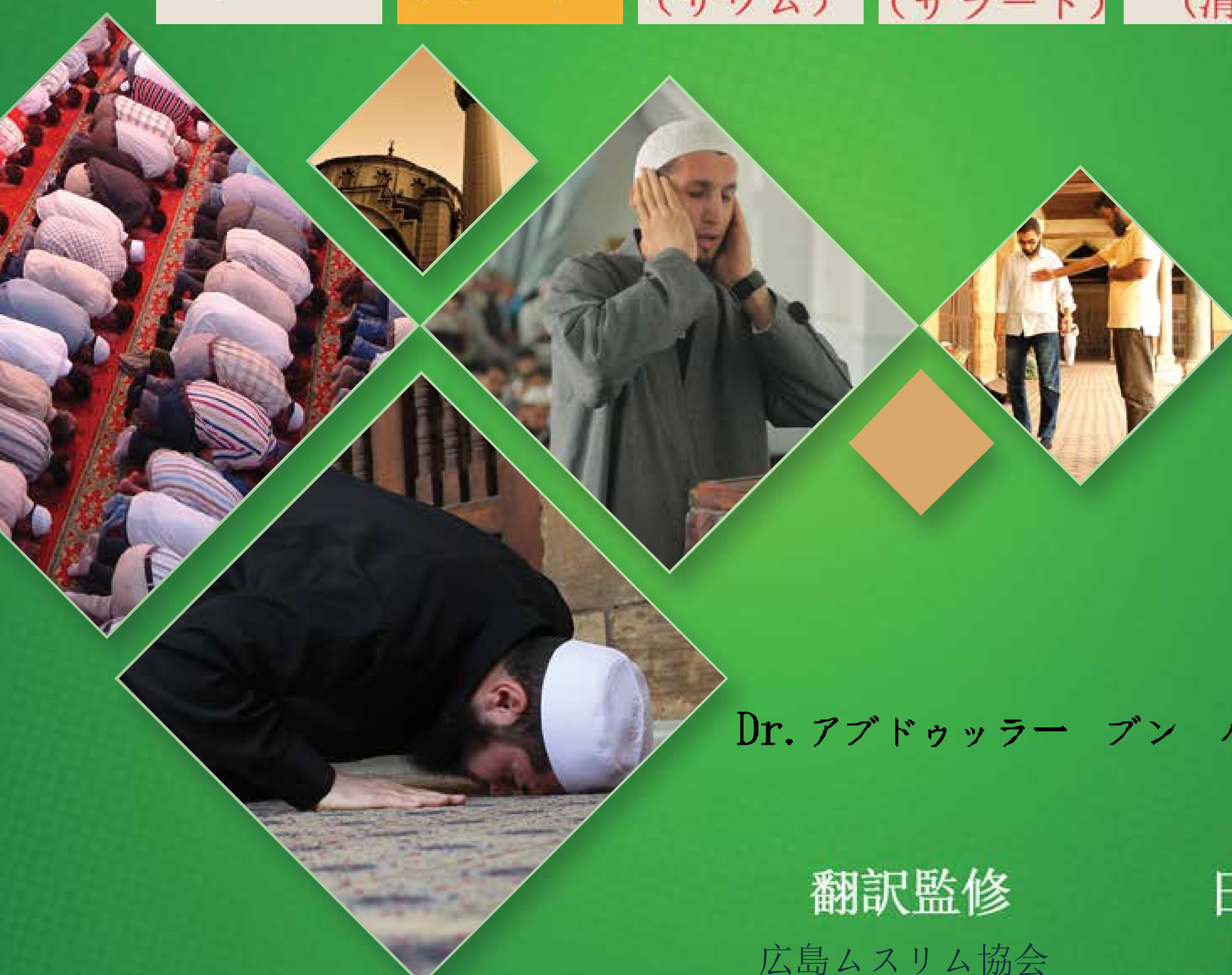


東京モスク

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



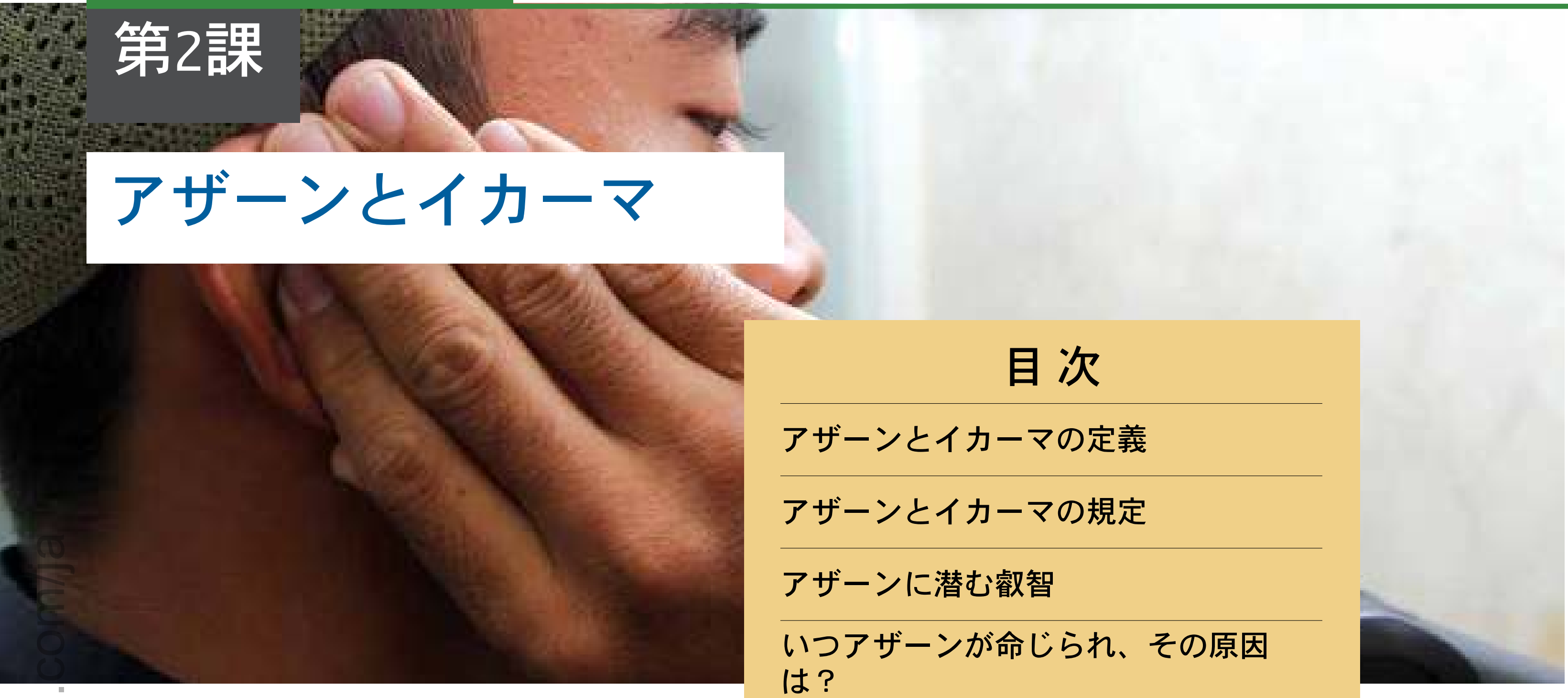
Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

アザーンとイカーマ

第2課



アザーンとイカーマ

目 次

アザーンとイカーマの定義：

アザーン：
特定な祈願により礼拝の時間になったことを知らせること。

イカーマ：
特定な祈願により礼拝が開始することを知らせること

アザーンとイカーマの規定

アザーンとイカーマの規定

旅行時や日常においてその二つは、ファルド・キファーヤ（ファルド・キファーヤ:ムスリムのコミュニティーの一部によって満たされた義務は、コミュニティーの残りの者からそれを行わなかった時の罪が無くなること。）ー1日5回の義務の礼拝時のみーです。何故なら、それらはイスラームの宗教儀礼での表徴だからであり、それらを無視することはできないからです。預言者は述べました。　：　礼拝の時がやって来たら誰かに礼拝の呼びかけ（アザーン）をさせなさい。そしてあなた方の中で一番年上に礼拝の先導をさせなさい。　（合意によるハディース）

2．個人において：

それらはスンナです。ウクバ・イブン・アーミルの伝承によると、「アッラーのみ使いはこう言いました。；　　あなたの主はシャズィーヤ（シャズィーヤ：山頂ので盛り上がっている部分）でアザーンを唱え礼拝する羊飼いに驚きます。そしてアッラーは仰せられます。「われのこの下僕を見なさい。彼は祈りの呼びかけ（アザーン）を行い、祈りの開始を呼びかけ（イカーマ）てから、われを恐れて礼拝を行います。確かにわれは彼の全ての罪を許し、天国に入れます。　（ナサーイーの伝承）



アザーンに潜む叡智

1．礼拝の時間になったこととそれを行う場所を通知する。

2．集団礼拝を促す。

3．礼拝を行うことが最もすばらしい恩恵の一つであることを、怠け易い者に注意し忘れているものに思い出させる。

いつアザーンが定められ、その原因は何？

アザーンはマッカからマディーナへと移住（ヒジュラ）した最初の年に定められました。それは全員が礼拝の時間になったことを知るための合図が必要になったからです。ムスリムたちはそのことで協議しました。すると夜中にアブドッラー・　イブン・ザイドはナークース（ナークース：ベル）を持った男の夢を見ました。彼はその男に言いました。；　“そのベルを売ってくれませんか？”　その男は答えました。；　“それで何をするのですか？”　アブドッラーは言いました。；　“それで礼拝へ呼びかけます。”　その男は言いました。；　“それより良い方法を見せましょうか？”　アブドッラーは“はい”　と言いました。するとその男は彼に知られているアザーンを教え、それからイカーマを教えました（アッダーリミーの伝承）

アブドッラーは言いました。「私は目が覚めるとアッラーのみ使いの元へ行き、私が見た夢について話しました。」すると預言者はこう言いました。「イン・シャーアッラー：　アッラーの御心のままに）、それは真実の夢です。ビラールと立って、それを彼に教えなさい。彼はあなたより声が大きい。　（アブー・ダーウードの伝承）

アザーンの徳

1．ムアッズィン（アザーンの詠唱者）の声を聞いたものは皆、審判の日にアッラーの許で彼のために証言するでしょう。預言者はこう言いました。：　ムアッズィンの声を聞いた人間もジンもその他の者も審判の日に彼のために証言するでしょう。（ブハーリーの伝承）

2．人々がアザーンの中にある徳を知っていたなら、誰もが競って詠唱したでしょう。預言者は述べました。：　人々がもし礼拝への呼びかけの中にあるものと、礼拝の最前列にあるものを知り、そして（それゆえにその役割や場所が満杯になってしまい）くじ引きする（くじ引き：それに優先するものを選ぶためにするもの。）しかその場が見つけられなくなっら、彼らはそうしたであろう（ブハーリーの伝承）

アザーンの有効性の条件

1.分別のつくムスリム男性によって詠唱されること。

2.適切な順番に行われること。

3.言葉と言葉の間が大きく離れていないように続けて行われること。

4.礼拝の時間に入った時に行われること。

アザーンのスンナ

1.キブラに顔を向けること。

2.ムアッズィンは大小の不浄から清浄であること。

3.次の2つの言葉を言う時に右と左に顔を向ける。「ハイヤ・アラッ・サラー、ハイヤ・アラル・ファラー」

4.両耳の後ろに両手の人差し指をあてること。

5.ムアッズィンは美しく大きな声の持ち主であること。

6.アザーンは、適切な発音で明晰にゆっくりと発声されること。



耳の後ろに指を添える

アザーンとイカーマの特質

アザーンの言葉:　“アッラーは偉大なり（これを４回）私はアッラーの他に神はなしと証言する（これを4回）私はムハンマドがアッラーの使徒であることを証言する（これを4回）「礼拝のに来たれ」（これを二回）「成功に来たれ」（これを二回）アッラーは偉大なり（これを2回）アッラーの他に神はなし”（ムスリムの伝承）

イカーマの言葉:　“アッラーは偉大なり（これを2回）私はアッラーの他に神はなしと証言する（これを2回）礼拝に来たれ　成功に来たれ　礼拝はまさに始まった（これを2回）アッラーは偉大なり（これを2回）アッラーの他に神はなし”

アザーンを聞いた者が推奨されること

1.　ハイヤ・アラッ・サラー（礼拝に来たれ）」と「ハイヤ・アラル・ファラー（成功へと来たれ）　以外のムアッジンの文句を繰り返して唱えます。上記の二つの言葉の時には、その後に　ラー・ハウラ・ワ・ラー・クーワタ・イッラー・ビッラー（アッラーの他に諸事を司り事象を変転させせる、いかなる威力もなし）　と唱えます。（ブハーリーの伝承）

2．アザーン終了後、；　アシュハドゥ・　アン・ラー・イラーハ・イッラッラー・　ワフダフ・ラー・シャリーカ・ラ、　ワ・アンナ・ムハンマダン・アブドゥフ・ワ・ラスール、　ラディートゥ・ビッラーヒ・ラッバン・　ワビ・ムハンマディン・ナビーヤー、　ワビル・イスラーミ・ディーナー　意味：私は、並ぶ者無き唯一のアッラー以外に真に崇拝すべきものは無く、ムハンマドは彼のしもべであり使徒であると証言します。私はアッラーが私たちの主であり、ムハンマドが私たちの使徒であり、イスラームが私たちの宗教であることに満足しました。（ムスリムの伝承）

3．アザーンの後に預言者に主の恵みを授けられるように次のように祈ります。： アッラーフンマ・ラッバ・ハーズィヒッダァワティッターンマ、ワッサラーティルカーイマ、アーティ・ムハンマダニルワスィーラタ・ワルファディーラ、ワブアスフルマカーマルマフムーダッラズィーワアッタフ 意味：アッラーよ、この完全なる呼びかけと、確立した礼拝のの主よ、ムハンマドに高い位階と完璧なものをお授け下さい。そして彼を、あなたが彼にお約束になった讃えられるべき立ち所へと、蘇らせて下さい．（ブハーリーの伝承）

4．アザーンとイカーマの間に自分自身の為の祈願（ドゥアー）をおこないます。実にこの時のドゥアーは拒絶されません。預言者は述べました。： 本当にアザーンとイカーマの間のドゥアーは拒絶されません。（アフマドの伝承）

アザーンとイカーマに関する規則

1．ズフルとアスルのような2つの礼拝を纏めて行う時は、1度のアザーンで充分ですが、イカーマはそれぞれの礼拝の度に唱えられなければなりません。

2.イカーマの後に、礼拝の開始が遅れた場合は、後に礼拝が開始する前にまたイカーマを唱える必要はありません。

3.ムアッズィンはアザーンの言葉を間違えないように注意しなければなりません。例えば次の様にです。

a －言葉： “アーッラーフ アクバル” （初めのاアを長く詠む）（意味：アッラーは偉大だろうか？）と質問しているようになる。

b－言葉： “アッラーフ アクバルのアクバール” ب（英語のBと同様）の後にا（英語の長いaと同様）に詠む。

c－言葉： “アッラーフーワクバル” وワの文字を加える．

4－イカーマが唱えられた後に任意の礼拝をするべきではありません。但しイカーマの前に任意の礼拝を既に始めていて、残すところ少しであれば、最後まで礼拝を終了することができます。しかしながら礼拝がまだかなり残っているなら（タスリムなしで）それを中断し、イマームが先導する義務の礼拝に参加しなければなりません。



5－物事の判断が出来る分別のある子供のアザーンは受け入れられます。

6－睡眠や忘却によって終わってしまった礼拝のアザーンとイカーマが規定されたのは、次のハディースによります。「サハーバが未明の礼拝に太陽が昇るまで眠っていた時、預言者はビラールにアザーンを命じた。それから彼らはウドゥーを行い、ファジュルの２ラクアの礼拝をした。それからビラールにイカーマを命じ彼らを先導してスブフの礼拝を行った。」（アブー・ダーウードの伝承）

7.既にモスクにいる者は、理由がない限りアザーンの後にモスクを出ないようにします。アブー・フライラの伝承によると預言者は; あなたたちがモスクにいる時礼拝への呼びかけがあったら、礼拝が終了するまで誰もモスクを出てはいけません。 と言いました。（アフマドの伝承）

８．ムアッズィンは２つのシャハーダ（アシュハドゥで始まる）信仰告白を表す部分を唱える時最初は、声を低めて、二度目に繰り返す時には、高い声で発声するのがスンナです。（アブー・ダーウードの伝承）

禁止事項;

１．アザーンでアルファベットや子音と母音を変えたり、音の発音が本来より短くなったり長くなったりする原因になるメロディーを付けたり歌うように発声すること。

２．アザーンの後に大きな声で預言者への祈りと平安を祈願すること。

３．一部の人たちが行っている: “カドカマティッサラー ” を聞いた時に言う言葉: “アカーマハッラーフ、 ワ・アダマハー” ［アッラーは創設し、それを保ちます］

ファジュルのアザーン

ファジュルの礼拝には2度のアザーンが定められています。初めは規定時間に入る前、2度目は礼拝の時間に入ったことを知らせるためです。故に最初のアザーンでは “礼拝は睡眠に勝る” と2度唱えます。これは預言者がビラールに時次のように述べたからです。 スブフ（ファジュル）の最初のアザーンでは呼びかけ（アザーン）を行う時は、「礼拝は睡眠に勝る、礼拝は睡眠に勝る」と言いなさい。（アブー・ダーウードの伝承）



アザーンは悪魔を追い払う。

アブー・フライラの伝承によるとアッラーのみ使いは言いました。：　礼拝への呼びかけがあった時には、シャイターン（悪魔）は放屁しながらアザーンが聞こえないように逃げるでしょう。アザーンが終わると人々の元へ帰ってきます。また報酬を受ける時（報酬を受けるの意味は、イカーマをすること）、にも逃げ出し、終わると戻ってきます。そして人にあれやこれやと囁き、人が既に忘れていた事に関して思い出させ、礼拝中に今どのラクアなのかさえもわからない状態にまで心を揺さぶります。それでその人が、3ラクアか４ラクアか礼拝したか確かでなければ、礼拝の最後に座ったままで２度サジダ（平伏礼）させなさい。（ブハーリーの伝承）

要請

1.アザーンの後でイカーマの前にモスクを出ることは許されません。これはアブー・フライラの伝承による次のハディースによります。「アザーンの後に、ある男がモスクを去る人を見た時に言いました。あの男はアブル　カシム（預言者ムハンマド）に背きました。

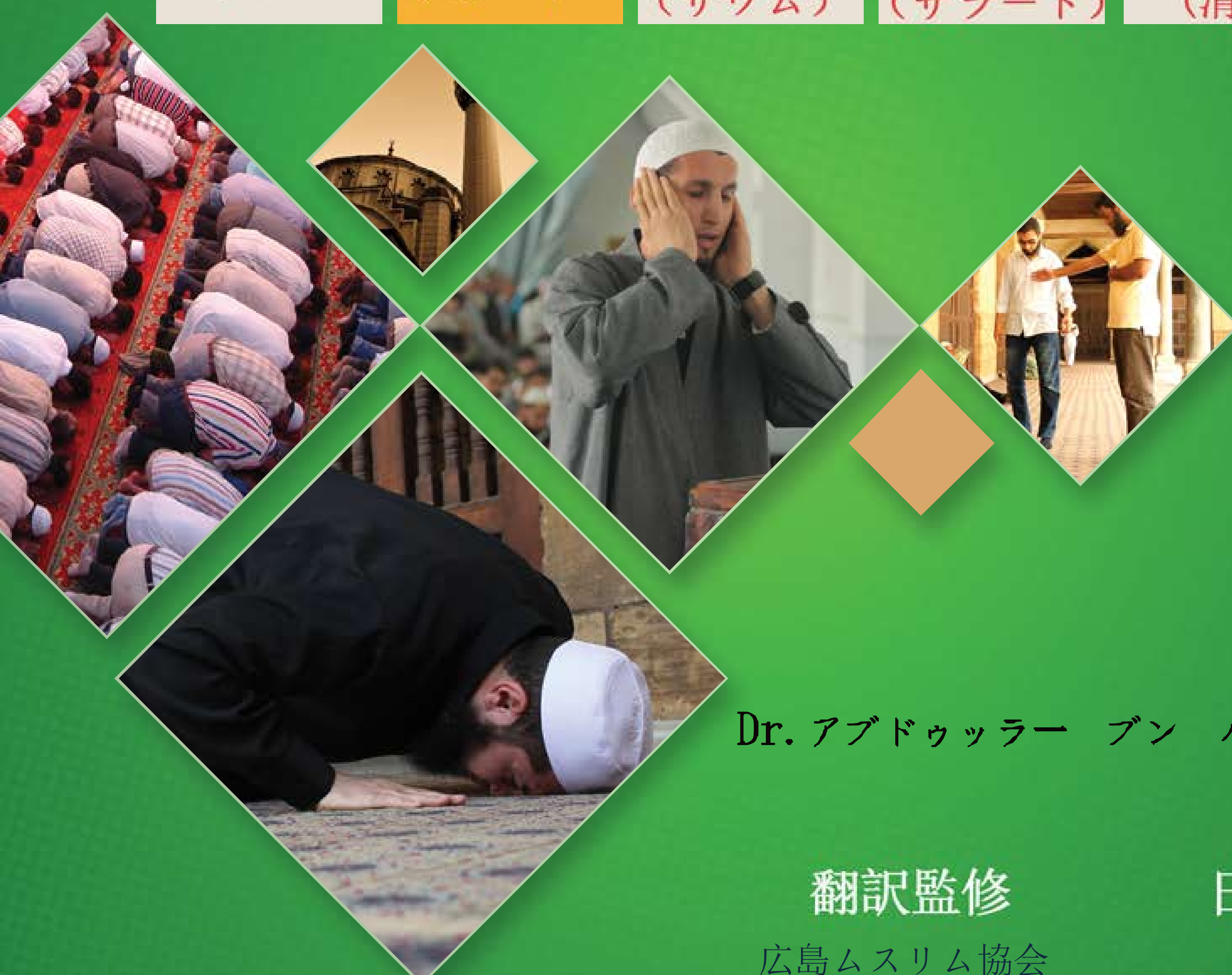
2.任意の礼拝にはアザーンもイカーマもありません。同じくイードの礼拝、雨乞いの礼拝、葬儀の礼拝、日食の礼拝、ただしムアッズィンが日食の礼拝で：　アッサラートゥ・ジャーミーア　［という以外は行われません。］

3.豪雨や極寒の場合、ムアッズィンは　ハイヤ　アラルファラー」の後に「アラー・サッルー・フィー・リハーリクム　と言います。これは、最悪の気象状況でモスクに来ることができなくても仕事場や家の側や何処にいても礼拝は可能ですという意味です。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

有効な礼拝の条件

有効な礼拝の条件

目次

1：礼拝時間に入ること

義務の礼拝には、それ以前では成立しない時間があり、理由がない限りそれより遅れては成立しない時間があります。至高のアッラーは仰せられました。：｛本当に礼拝には，信者に対し定められた時刻の掟がある。｝［婦人章103節］

つまり：限定された時間内に定められ。

アブー・ムーサー・アル・アシュアリーの伝承によると；　ある質問者がアッラーのみ使いの元へやって来て礼拝の時間にについて尋ねましたが、彼は何も答えませんでした。ファジュルの時間になった時、彼は、ファジュルの礼拝に立ちました。その時人々は、まだ暗くお互いに気が付かない程でした。その後、太陽が天頂から傾いた時、ズフルの礼拝を行いました。そして太陽は昼の真ん中になったと言う者がいました。彼は、人々より知識がありました。そこで預言者はアスルの礼拝を行いました。その時太陽はまだ空に昇っていました。その後、日が落ちた時、マグリブの礼拝を行いました。それから夕映えの赤みが消えた時、イシャーの礼拝を行いました。それからファジュルの礼拝は次の日まで遅らせ、それが終わった時、「太陽が昇った！または、ほとんど昇りきるところだ！」と人が言うほどでした。次にズフルの礼拝を昨日のアスルの時間に近づくまで遅らせ、それからアスルの礼拝を遅らせ、終わった時に「太陽が赤くなった」と人が言うほどでした。それからマグリブの礼拝を夕焼けの赤い色がなくなる時まで遅らせました。それからイシャーの礼拝を夜の最初の三分の一まで遅らせました。それから朝にんると、彼は質問者を呼び、時間はその2つの間にあると言いました。」また他の伝承によると。「そして彼は次の日、夕焼けの赤色が消える前にマグリブの礼拝を行いました。　（ムスリムの伝承）.

礼拝の時刻：

1．ファジュル（夜明け前）の礼拝時刻：

本当のファジュルーそれは東の方向から現れる白い光ーが現れてから太陽が昇るまでの時間。

2．ズフル（正午）の礼拝時刻：

太陽が子午線（天頂）から移動する時から物の影がその長さと同じになる時まで、また太陽によって出来た最初の影が子午線から方向を変えるまで。これは全ての物質は西の方向へその影を投じ、太陽が昇るとこれは連続的に減少し、その影は停止してから長さを増加し始めます。この長さの増加が始まる時が正午になります。

3．アスル（午後）の礼拝時刻：

ズフルの時刻が終わってから物体の影が太陽によって出来た最初の影が子午線から方向を変えた後、その高さ（長さ）の2倍になる時まで。

4．マグリブ（日没）の礼拝時刻：

日没から夕焼けの赤い光が消えるまで。それは、日没の時、地平線上に現れる赤い光です。

5．イシャーの礼拝時刻：

マグリブの終わった時間から夜半分の時間まで。預言者は述べました。：　イシャーの礼拝時間は夜半分までです。　（ムスリムの伝承）

しかし現在では礼拝時刻を礼拝用カレンダーで容易に知る事ができます。

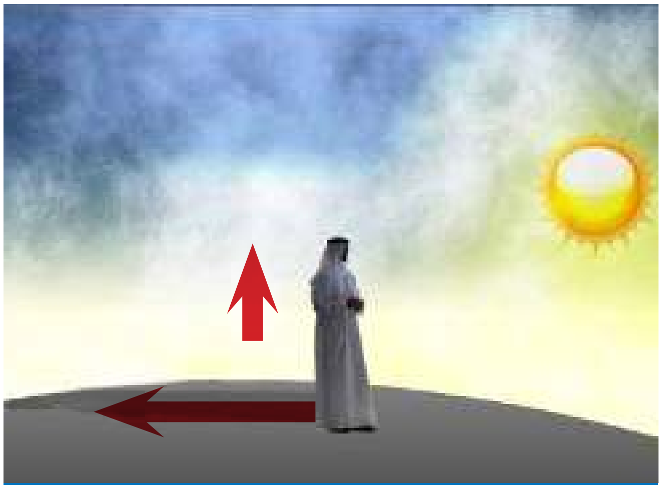




サラートル・ファジュル（夜明け前の礼拝）



サラートル・ズフル（正午の礼拝）



サラートル・アスル（午後の礼拝）



サラートル・イシャー（夜の礼拝）



サラートル・マグリブ（日没の礼拝）

禁止事項;

– アウラが分かるピッタリとした服や薄くて透ける服での礼拝やアウラが剥き出しの礼拝、男性は特に裾が足首より下にくる長い洋服を着た礼拝。

– 絵が描かれた服での礼拝や生き物の絵がある場所での礼拝や絵や画像のあるサッジャーダ（礼拝用の敷物）の上での礼拝

– 墓地のあるモスクでの礼拝。預言者は言いました。：　実にあなた方の先人達は預言者と敬虔な方のお墓を礼拝所としました。だから、あなた方は墓地を礼拝所にしてはいけません。実に私はそれを禁じます。（ムスリムの伝承）

要請

1.礼拝の時間が終わる前に1ラクアだけでも時間内であれば、その礼拝は有効です。これは預言者の次の言葉によるものです。：　礼拝の1ラクアでも（時間内に）行った者は礼拝に間に合ったことになります。（合意のハディース）

2.睡眠や忘却により逃した礼拝は素早くそれを実行することが義務です。それは、次の預言者の言葉によるものです。：　礼拝を忘れた者は思い出した時にそれを行わなければならず、他に贖える方法はありません。（合意のハディース）

第2:不浄からの清め

1．小汚からの清め：

それは、ウドゥーになります。預言者は言いました。：　アッラーは汚れた状態になった者の礼拝をウドゥー（清め）を行うまで、受け入れません。（ブハーリーの伝承）.



2．大汚からの清め：：

それは、グスル（全身沐浴）になります。それは崇高なアッラーの次の御言葉によります。：｛あなたがたがもし大汚の時は，全身沐浴をして清めなさい。｝［食卓章6節］



礼拝中に穢れになったり、その状態であることを思い出した者は誰でも、その礼拝は無効になります。そしてタスリーム（礼拝最後の挨拶）をしないで清めの為にそこを去る事が義務となります。何故ならタスリームは礼拝の最後に行われるのですから、その礼拝は中断されたことになり、まだ終了したことになりません。

第3：衣服、身体と場所の清め

1． 衣服の清め：

これは、至高なアッラーの次の言葉によります。： ｛またあなたの衣を清潔に保ちなさい。｝ ［包る者章4節］



衣服の清め

2． 身体の清め：

これは2つの墓の前を通りかかった時の預言者の言葉によるものです。： これらの墓の者らは懲罰を受けているが、それは重罪を犯したためではありません。排尿による汚れに気を使わなかった（その男は自分の尿を取り除かず、その汚れに気を使いませんでした。）ためです。 （アブー・ダーウードの伝承）

3． 場所の清め：

これは、ベドウィン（遊牧民）がモスク内で放尿をした時、預言者はこう述べたハディースによります。： 彼（ベドウィン）を放っておきなさい。だが放尿した場所にバケツ1杯（水で満たされた大きなバケツ一杯）の水を掛けなさい。 （掛ける）（合意）



場所の清め

礼拝と汚物

汚物が付着していることに気づかず、あるいはそのことを忘れて礼拝した者は、その礼拝は、有効です。次のハディースによります。 アッラーの使徒様は、礼拝中に履物を脱ぎました。それで後ろにいる人々も履物を脱ぎました。彼は礼拝を終えると言いました。「何故履物を脱いだのですか？」彼らは答えました。「アッラーの使徒様、私達はあなたが脱ぐのを見たので私達も脱ぎました。」彼は言いました。「天使ジブリールが私の元へやって来て2つの履物に汚物が付着していたと教えてくれました。したがって誰でもモスクに来た時は、履物を裏返してそれを見なければなりません。もし汚物があれば、地面にこすり付けてそれを履いたまま礼拝を行いなさい。（アブー・ダーウードのハディース）

礼拝中に自らの履物に汚物を見た場合はそれを取り除かなければなりません。その後、既に礼拝をしたラクアから数えて礼拝を続行します。これは上記のハディースに従ったものです。しかし除去が困難な場合は、そのサラートは無効となります。

大地はその全てが、礼拝所です。

大地全体何処でも礼拝所になるので、そこでの礼拝は有効です。預言者は述べました。： そして大地（地面）は私のために礼拝所と清めるものとされました。ですから私の共同体の者は礼拝の時間が来たら、礼拝を行いなさい。（合意のハディース）

しかし、いくつかの禁じられた場所、例えば墓地（それは葬儀の礼拝が除かれるということ。）やトイレの中での礼拝といった例外があります。預言者は述べました。 墓地とトイレ以外の大地全体は礼拝所です。（ティルミズィーの伝承）． またラクダの水場も禁じられます。これは次の預言者の言葉によります。： ラクダの水場で礼拝を行ってはならない。 （ティルミズィーの伝承） ラクダの水場とはラクダが寝たり休んだりする場所です。



トイレの中での礼拝



墓地での礼拝

第4：アウラ（恥部）を覆う：

男性のアウラ（覆うべき部分）：へそから膝の間

礼拝における女性のアウラ：顔と両手の平以外の身体全体





両肩を覆うこと

礼拝する者は礼拝中に腕と首の間を覆うことが義務です。これは、預言者の次の言葉によります。：　あなた方は皆、肩を何かで覆うことなく礼拝することは許されません。（合意のハディース（ブハーリーとムスリムの伝承）

第5：キブラに面すること:

キブラとは栄誉なるカアバ聖殿（マッカの聖モスクの中心にある立方体の建物）のことです。　至高なるアッラーは仰せられました。：｛あなたの顔を聖なるマスジドの方向に向けなさい。あなたがたは何処にいても，あなたがたの顔をキブラに向けなさい。｝［雄牛章144節］

次のいくつかの事柄を守ることは義務です。：

１．アル・マスジドル・ハラーム（聖モスク）で礼拝する者は誰でも顔をカアバ聖殿に向けることが義務です。しかしカアバから遠い所で礼拝する者は、カアバの方向に向きます。何故なら彼はカアバそのものに向くことが出来ないかもしれないからです。このことについて預言者は述べました。：東と西の間にあるものはキブラです。（ティルミズィーの伝承）.

２．乗り物に乗車中の者の任意の礼拝：出来るだけ礼拝の最初にキブラを探し、できなかった時には乗り物の向いた所に向かって礼拝します。それは　アッラーのみ使いは乗り物に乗っている時にはそれが向かうどの方角でも称賛し（賞賛するとは任意の礼拝をすることです。）、ウィトル（奇数）の礼拝をしていました。ただし義務の礼拝はそこではしませんでした。（アブー・ダーウードの伝承）



聖モスクの中で礼拝する者

キブラの方角を知らない者は何をすべきでしょうか？

キブラの方角を知らない者は、もし建物の中や近くに人がいれば尋ねる、もしくはモスクにあるミフラーブ（礼拝場のくぼみ）やコンパスや太陽や月やそれに似たものによってキブラの方向を確認します。しかし、もしそれでも分からなければ、一番正確だと思われるほうに決めます。それは至高なお方の次の言葉によります。：

｛出来る限りアッラーを畏れよ｝［騙しあい章:16節］





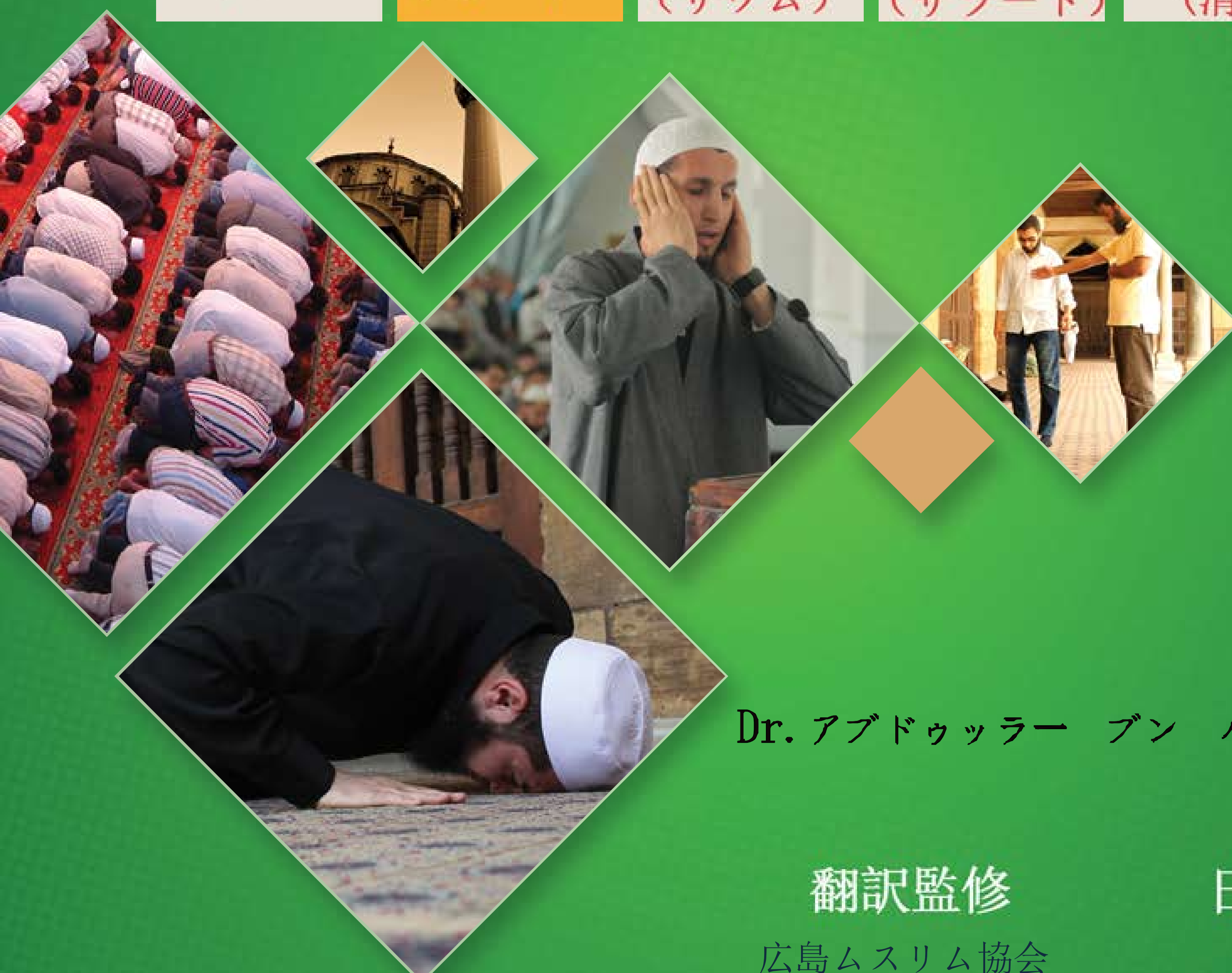
カアバから遠い所で礼拝する者



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝における礼儀から

第４課

礼拝における礼儀から



礼拝は偉大な崇拝行為です。その行為においてムスリムは崇高なアッラーに身体と心を持って向かいます。それ故に礼拝を完璧な状態で捧げる為に、心と身体を準備して向かうことが必要です。こういった理由で次の事項が礼拝の遂行の為に命じられました。

目 次

1ー誠実さ：

至高なるアッラーは仰せられました。：　｛かれらの命じられたことは，只アッラーに仕え，かれに信心の誠を尽し，純正に服従，帰依して，礼拝の務めを守り，定めの喜捨をしなさいと，言うだけのことであった。これこそ真正の教えである。｝［明証節5節］

アッラーは、いかなる多神教や評判を気にしたり見せびらかすことなくアッラーの為だけに誠実に行われた行為以外は受け入れません。

２ー完全な小浄（ウドゥー）：

これはウドゥーを完全な形で行うことです。

アブー・フライラーは、アッラーのみ使いがこう言ったと伝えました。：　　アッラーがあなた方の位階を上げ、罪を消して下さる行いへ導きましょうか？」彼らは答えました。「はい　アッラーのみ使いよ。」彼は言いました。「（極寒などの）望ましくない状態(望ましくない状態とは寒さなどの人間にとって困難な状態)での完璧なウドゥー、モスクへ歩いて行くこと、礼拝の後に次の礼拝を待つこと、それがアル・リバート（アル・リバート:　　アッラーへの服従に心を留め続けること）です。（ムスリムの伝承）



３－礼拝に早い時間に向かうこと：

これは礼拝を待つ徳を得る為にモスクへ早い時間に向かうことです。

アブー・フライラの伝承によると、彼はアッラーのみ使いがこういったと伝えました。：　礼拝の時間を待つ間、あなた方の誰でも礼拝の状態に居続けます。（ブハーリーの伝承）.

４．アッラーを唱念（ズィクル）：

−家を出る際に次のように唱えアッラーを唱念します。：　ビスミッラー。タワッカルトゥ　アラッラー。ワ　ラー　ハウラ　ワ　ラー　クウーワタ　イッラー　ビッラー。

アッラーの御名において。私はアッラーにこの身を委ねます。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。（アブー・ダーウードの伝承）.

アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカアン　アディッラ、アウ　ウダッラ、アウ　アズィッラ、アウ　ウザッラ、アウ　アズリマ、アウ　ウズラマ、アウ　アジュハラ、アウ　ユジュハラ　アライヤ。

アッラーよ、私は自分が迷いまた迷わされることから、また過ちを犯しまた犯されることから、また不正を働きまた不正を受けることから、また無知に陥りまた無知に陥らされることから、あなたにご加護を求めます。（アブー・ダーウードの伝承）

− モスクに行く際は次のように言う事でアッラーにズィクルします。：　アッラーフンマジュアル　フィー　カルビー　ヌーラン、ワ　フィー　リサーニー　ヌーラン、ワ　フィー　バサリー　ヌーラン、ワジュアル　ミン　ハルフィー　ヌーラン、ワ　ミン　アマーミー　ヌーラン、ワジュアル　ミン　ファウキー　ヌーラン、ワ　ミン　タハティー　ヌーラン、アッラーフンマ　アアティニー　ヌーラン　アッラーよ、私の心に光を、私の舌に光を、私の視覚に光を、私の後ろに光を、私の前から光を、私の上から光を、私の下から光を、アッラーよ、私に光をお与え下さい。（ムスリムの伝承）

５．礼拝へ穏やかに静かに歩いて行く：

これは預言者の次の言葉によるものです。：　イカーマ（礼拝開始の呼びかけ）を聞いたら、礼拝（の為にモスク）へ歩いて行きなさい。しかし静かに（アッサキーナ）（アッサキーナ：歩く時に平穏にゆっくり）また穏やかに（アル　ワカール）（アル・ワカール：平静さ、伏し目、キョロキョロしない）に歩き、急いではいけません。集団礼拝のどの部分からでも参加しなさい、そしてその後に逃したラクアを完了させなさい。（合意のハディース）.

６．モスクへ出入りの際の唱念（ズィクル）：

－　モスクに入る際に右足から入り、次のように言います。：　アウーズ　ビッラーヒルアズィーム、ワ　ビワジュヒヒルカリーム、ワ　スルターニヒルカディーム、ミナッシャイターニッラジーム　私は偉大なるアッラーに、寛大なる御顔に、そして原初よりの彼の権威において、呪われるべき悪魔からのご加護求めます。（アブー・ダーウードの伝承）ビスミッラーヒ　ワッサラートゥ　ワッサラーム　アラー　ラスーリッラー」「アッラーフンマフタフ　リー　アブワーバ　ラハマティク。　アッラーの御名において、そしてアッラーの使徒に祝福と平安あれ。」「アッラーよ、あなたの慈悲の扉を私にお開き下さい。（ムスリムの伝承）

－　モスクを去る際には左足から出て、次のように言います。：　ビスミッラーヒ　ワッサラートゥ　ワッサラーム　アラー　ラスーリッラー。アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　ミン　ファドゥリク。アッラーフンマァスィムニー　ミナッシャイターニッラジーム　アッラーの御名において、アッラーの使徒に祝福と平安がありますように。アッラーよ、私にあなたの恩恵をお与え下さい。アッラーよ、私を呪われるべき悪魔からお守り下さい。（ イブン・マージャの伝承）

７．2ラクアの礼拝を済ませるまで座らないこと：

預言者は言いました。：　モスクへ入った際は、座る前に2ラクアの礼拝を行いなさい。（合意のハディース）

８．指を絡み合わせたり、連結させないこと：

預言者は言いました。：　ウドゥーを行う者はそれを完璧に行い、モスクへ向かい、既に礼拝の状態にあるので指を絡み合わせてはいけません。　（アブー・ダーウードの伝承）

９．「アッラーへ」の唱念に集中すること：

礼拝を待つ間、礼拝にやってくる人の邪魔をすることなく、アッラーへの唱念とドゥアー（祈願）とクルアーン読唱に集中すること。

１０．礼拝中では謙虚であること：

これは、礼拝の神髄であり魂です。謙遜さと心の不在な礼拝は、魂のない死体のようだからです。イブン・ラジャブは言いました。：“謙遜の基礎は、心の柔らかさと細やかさと静けさと謙虚さとアッラーの御前の卑下と苦悩です。心が謙遜であれば、残りの身体の部分もそれに従います。何故ならそれらはそれに従属するものだからです。”（イブン・マージャの「アル・フシューウ（謙遜）」より）



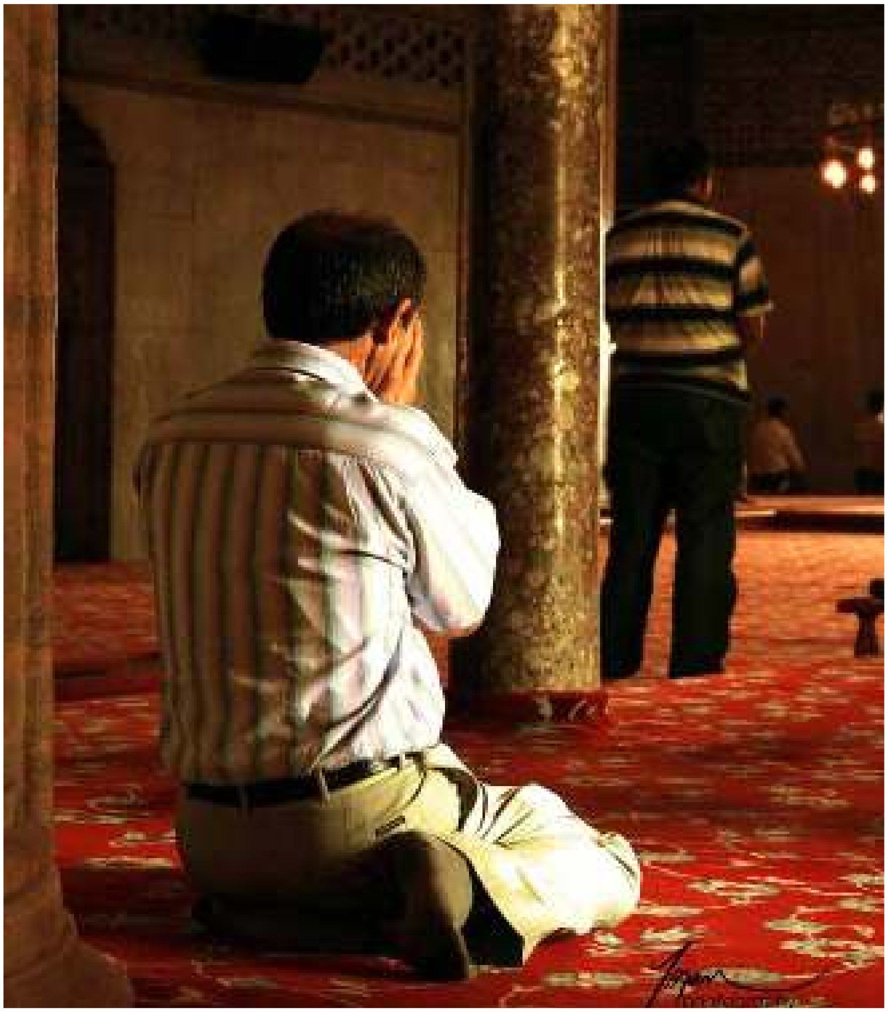
１１．預言者（彼に平安あれ）のスンナを守ること：

礼拝はそれに従うことが義務である信仰行為です。それで預言者が行わなかったり、言わなかったことを行ったり、言ったりしてはいけません。何故なら預言者はこう言ったからです。：

あなたがは私がするように礼拝しなさい。

（ブハーリーの伝承）

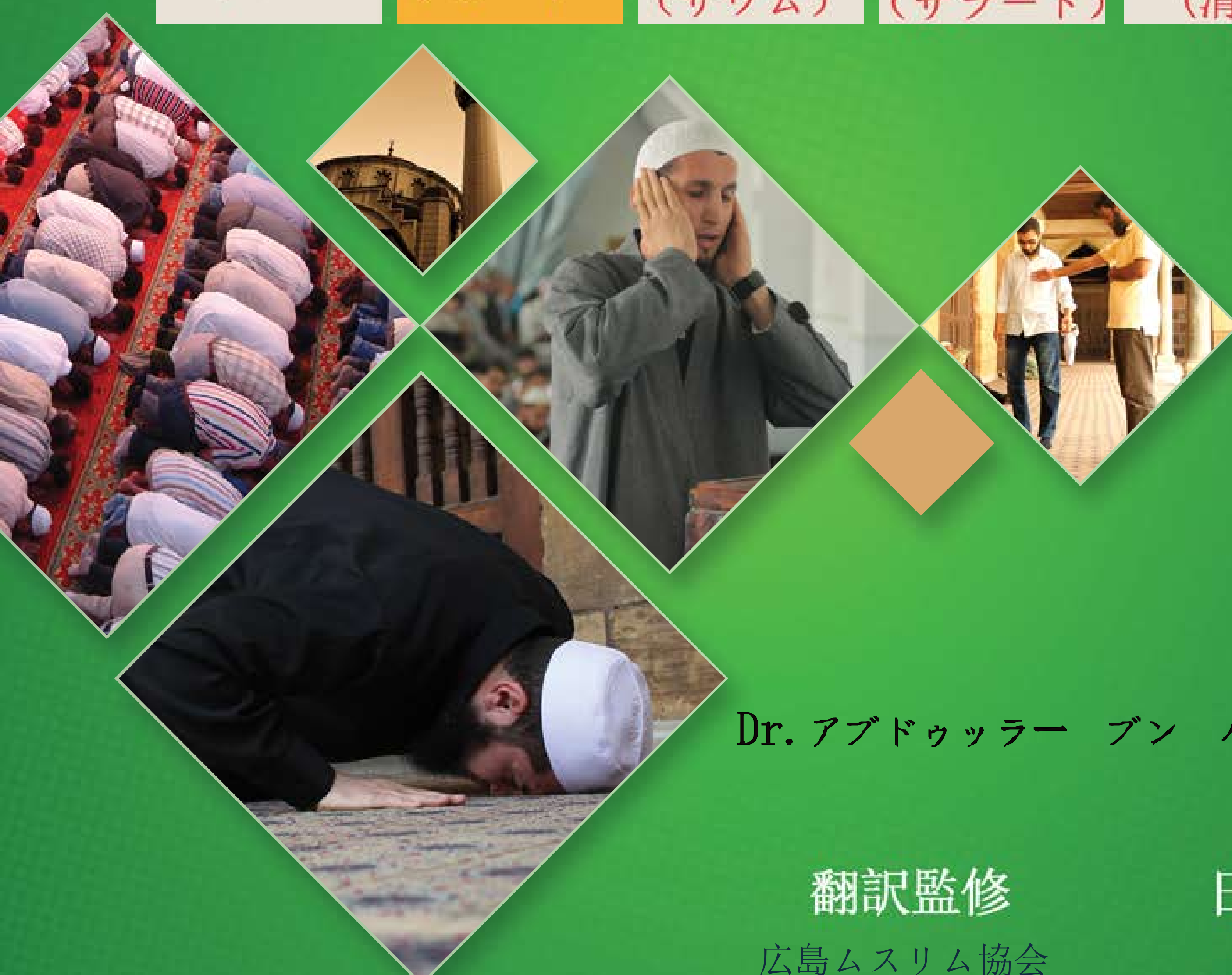




図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝者のストラ（礼拝者の前の仕
（切り

第５課



礼拝者のストラ（礼拝者の前の仕切り）

礼拝者のストラの定義

礼拝者のストラ：
礼拝者が礼拝中に自分の前を歩く人との間の仕切りとして、自らの前に置くもの。

ストラの合法性

ストラは、旅行中でも日常でも、義務の礼拝でもと任意でも、モスクの中でもそれ以外でも、それを用いることが定められています。預言者は述べました。：　あなた方の誰もが礼拝を行う時、ストラへ近付き、それに向かって礼拝させなさい。（アブー・ダーウードの伝承）

ワハブの伝承によると:　　預言者はミナーで礼拝の先導をし、礼拝中自らの前に木製の短い杖を立て2ラクアの礼拝を行いました。（アフマドの伝承）

目 次

ストラの規定

ストラを使用するのは義務です。預言者はイマームにも単独で礼拝する者にもストラを置くよう命じました。そしてその事項について強調しました。よって礼拝中にムスリムはストラを自らの前に置くのが義務で、ストラと自らの間を歩く者の通行を禁じます。これは次の預言者の言葉によります。：　ストラの方向以外には礼拝しないこと、そしてあなたの前を歩く者がないように。だがもしそれを拒否する者がいたら、戦いなさい。（イブン・フザイマの伝承）

ストラに潜む叡智

ストラは様々な理由で定められました。その幾つかは次のようです。

1ー礼拝者の前の通行を禁じること。何故なら彼の専念を中断させるからです。

2ー礼拝中に礼拝者が妨げられることなく、深く考えられるようにする。

3ーロバや犬や女性が通過することによる礼拝の無効を避けること。これはアブー・ダッルの伝えるハディースによります。：　アッラーのみ使いは言いました。「あなた方の中で誰でも礼拝する時、彼の前にサドルの端のような物があればそれがストラとなります。もしそれがない時には、目前にロバや女性や黒い犬がいたらその礼拝は無効になるでしょう。」私（伝承者）は言いました。「アブー・ダッルよ、何故赤でも黄色でもなく、黒い犬なのですか？」彼は返答しました。「私の兄弟の子息よ！私はアッラーのみ使いに同じことを尋ねました。すると彼は「黒い犬はシャイターン（悪魔）です」と言いました。（ムスリムの伝承）

ストラに関する幾つかの規則

1．ストラは、イマームと一人で礼拝する者両方の為になります。マァムーン（イマームの後ろで礼拝する者）は、イマームのストラが、彼のストラになります。イブン・アッバースの伝承によると、；　私は丁度思春期になる頃、アターン（雌ロバ）（アターン：雌のロバ）に乗ってミナーへ到着しました。アッラーのみ使いは礼拝の先導をしていました。私はその一部の列の前を通り過ぎ、ロバから降りて放牧しました。そして私は礼拝の列に入りました。しかし誰もそれに反対しませんでした。（合意のハディース）。





2．礼拝する者の前の通行は許されません。その通行人は罪を犯すことになります。預言者は言いました。：　礼拝中の者の前を通過する者が、彼に課されるものをもし知ったとしたら、通過するより40日待つほうを選んだでしょう。　アブー・ナドルは言いました。：　（彼が40日と言ったか一か月かまたは一年と言ったかはわかりません。）（合意のハディース）

しかし、ストラの後ろを通過したり、または礼拝者がストラを置かなかった場合は、スジュードの場所　の後ろで彼から遠い所を通過することは罪になりません。



3．礼拝者は、目前を通過する者を止めることは義務です。アブー・サイード・アル・フドゥリーの伝承によると、彼はアッラーのみ使いがこう言うのを聞きました。

：　自らの間と人々の間にあるストラとなる物へ向かって礼拝する時誰かが目前を通過しようとしたら、その者を妨げなさい。もしそれを拒否したら、戦いなさい。そのような者は悪魔です。（合意のハディース）.

4．学者の中のある集団は、マッカのアル・マスジドル・ハラームの礼拝を例外としました。彼らは、人々にそこでは礼拝者の前を通過することを困難を排除するという一般的な根拠原理により許可しました。何故なら、アル・マスジドル・ハラームで礼拝する者の目前を通過することを禁じることは、大きな困難が生じることになるからです。

5．礼拝のストラはマスジドの壁や柱の一つあるいは整理棚あるいは杖のようなものを置いてそれに向かって礼拝することでもできます。

6．礼拝者とストラの間は牡羊の通路が作れる幅です。それはサハルのハディースによります。彼は述べました。；　アッラーのみ使いの礼拝場と壁（ストラ）の間は、牡羊の通路程の広さでした。（合意のハディース）





女性が通過する事で生じる礼拝の無効化

ロバと女性と黒い犬が通過する事について述べているハディースはロバと黒い犬と女性を比較しているのではありません。この３種類の主語を同じ文章で示しているのは同じ理由で礼拝を無効にするからではありません。したがって黒犬が礼拝を無効にした理由と女性またはロバが原因で損じた礼拝の無効化を同じ理由として挙げることは適切ではありません。

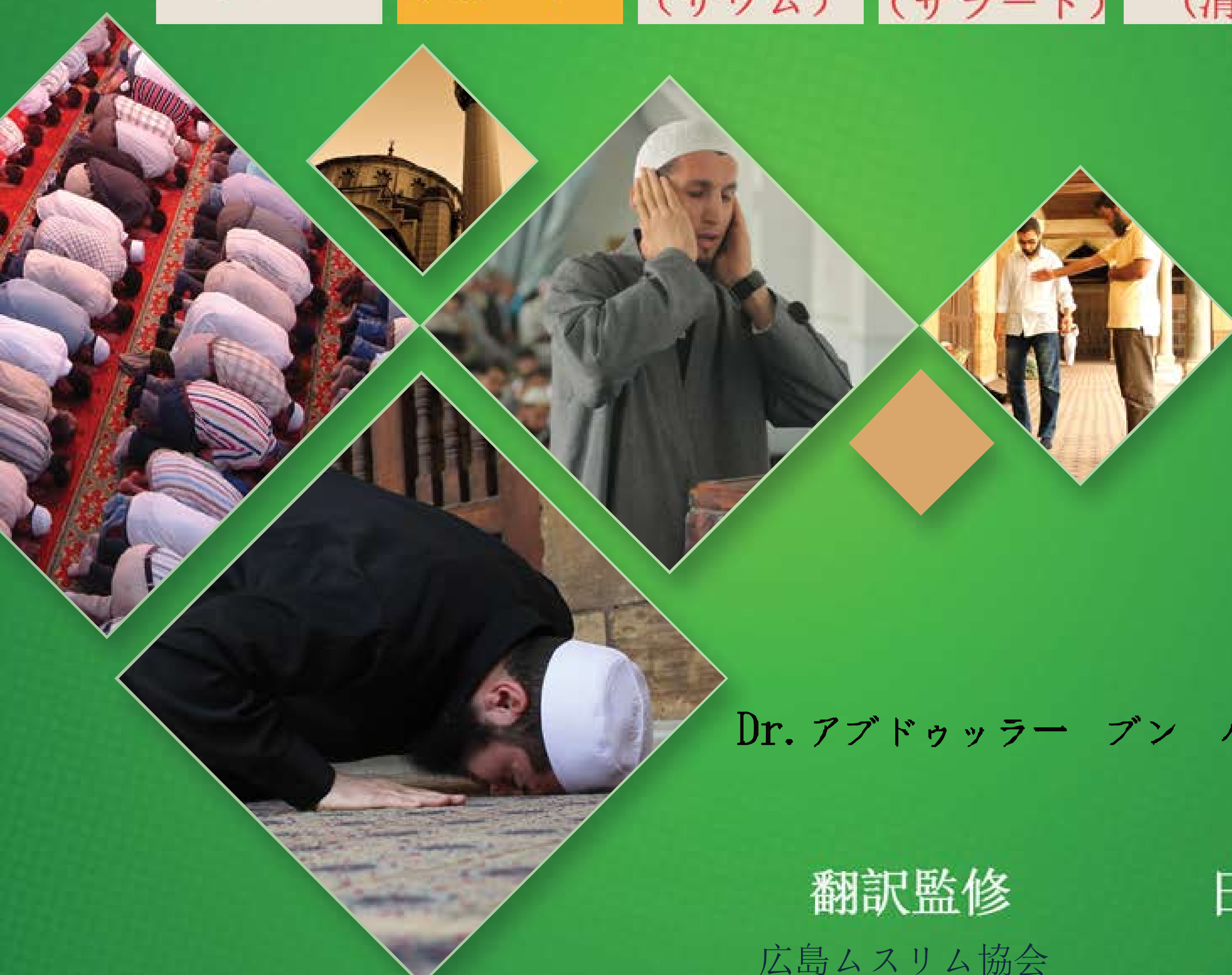
上記の事から黒犬は悪魔として示されていますが、女性あるいはロバが悪魔ということを意味しません。同じ文章で言及されていますが、これらの三つは原因が異なるかもしれません。たとえ犬の原因については他のものを除いて本文に言及されていますが、それは残りのものとは異なり、同じではないことを示しているのです。

しかしながら女性の通過によって生じる礼拝の無効化は、礼拝者の前を女性が通過する動きによって男性の注意を惹き、礼拝に集中できないという原因を導き出す事が出来ます。このように女性は一般的に他の男性が通過する時よりも、男性の注意を惹きます。それでーアッラーだけがすべてをご存知ですがーイスラーム法で女性は礼拝を無効化する原因だと考えられます。これはまた礼拝中の謙虚さを維持する役目を担っています。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝の特質

第6課　礼拝の特質

預言者ムハンマドは：私が礼拝するのを見たように礼拝しなさい。 と述べました。（ブハーリーの伝承）

アーイシャの伝承によると、彼女は言いました。；　アッラーのみ使いはアッラーフアクバル（アッラーは偉大なり）と言って礼拝を開始し、アルハムドゥリッラーヒ　ラッビルアーラミン（ファーティハ章）を朗誦しました。そして、ルクーウ（屈折礼）した時は、頭は下げることも上げることもせずむしろその中間にありました。そしてルクーから起き上がる際に、完全に立ち上がるまでスジュード（平伏礼）しませんでした。そして、サジダ（額ずくこと）から起き上がる時に、完全に座るまで再びサジダを行いませんでした。また2ラクア度にアッタヒーヤを唱えました。座った状態では、右足を立てて左足は寝かせました。またシャイターン（悪魔）の座り方と、犬が座る時にするような地面に腕を伸ばす姿勢を禁じました。そしてタスリーム（アッサラーム　アライクムと言うこと）で礼拝を終了しました。（ムスリムの伝承）

目 次

キブラに向かいイフラームのタクビールを唱えること

－　礼拝を行う者はキブラの方向へ向かい、最大の謙遜を持って至高のアッラーの御前にいると意識して立ちます。

－　そして礼拝を行うという意思を心の中に持ち、その意思を持つ場所は心です。声に出すことは許されません。何故ならそれはビドア（後世の逸脱，歪曲）だからです。預言者は述べました。：　行動とは意思によるものです。誰でも、その人に対するアッラーの報酬はその意図（意思）したことによる。（合意のハディース）.

－そして両手を両肩もしくは両耳と同じ高さに挙げて：“アッラーフ・アクバル” と言います。（ムスリムの伝承）

－そして胸の下に置いた左手の上に右手を置き、右手は左手首を握ります。（アフマドの伝承）

イスティフターフ（開始の祈り）とアルファーティハの朗誦

－礼拝者は頭を低くし視線をサジダ（平伏叩頭）の場所へ向け次のようにイスティフターフ（開始の祈り）を口に出さずに初めます。（.......）：　スブハーナカッラーフンマ　ワ　ビハムディカ、ワ　タバーラカスムカ、ワ　タアーラー　ジャッドゥカ、ワ　ラー　イラーハ　ガイルカ。

アッラーよ、あなたに賞賛と讃美あれ。あなたの御名は祝福され、あなたの貴さは至高です。あなたの他に神はおりせん。　（ムスリムの伝承）

–その後次のように口に出さずに言います。：アウーズ　ビッラーヒ　ミナッシャイターニッラジーム　私はアッラーに呪うべきシャイターンからのご加護を求めます。ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム 仁慈あまねく慈悲深き、アッラーのみ名によって（ムスリムの伝承）



–その後、開端章（アルファーティハ章）を詠み、その後 アーミーン と言います アッラーよどうかこの祈りを受け入れて下さい。（ブハーリーの伝承）

–続いて初めの2ラクアでは、別の章かクルアーンの中から自分にとって易しい節を選びを詠みます。ファジュルとマグリブとイシャーの初めの2ラクアは声に出して詠みます。

ルクーウをしてから身体を起こすこと

礼拝者は両手を挙げ(アッラーフ　アクバル」と言ってルクーウに移ります。両手を両膝を掴むように指を広げて膝の上に置きます。背中と頭を同じ高さにして)：　スブハーナ　・ラッビヤル　アズィーム　」（x3回）意味：（私の偉大なる主に称賛あれ）と言います。（ティルミズィーの伝承）



それから身体を起こしながら（もしイマームであったり独りで礼拝しているのなら）：　サミアッラーフ・リマン　ハミダフ（ティルミズィーの伝承）　意味：（アッラーはかれを賛美する者（の祈り）を聞きました）と言います。それから全員（イマームと後ろの礼拝者）と一人で礼拝する者は次のように言います。：ラッバナーワラカルハムド。ミルアッサマーワーティ　ワ　ミルアルアルディ　ワ　マー　バイナフマー、ワ　ミルア　マー　シィタ　ミン　シャイイン　バァドゥ。　意味：（私たちの主よ、あなたにこそ賞賛あれ。あなたへの讃美は天地とその間にあるもの、そしてあなたのお望みになるその他全ての物を満たします。）その時ルクーウの前に立っていた時のように両手は胸の上に置くことが奨められています。（ティルミズィーの伝承）

スジュード（座礼）ととそれから身体を起こすこと

–礼拝者は「アッラーフ　アクバル」と言ってまず膝を地面に付けてから両手、そして額と鼻を付けてサジダ（平伏叩頭）します。手の平を両耳と両肩の横で広げて地面に付けます。指はキブラに向けて置き、両サーイド（それは手と肘の間の部分）（腕）を床よりも上へ挙げ、両ウドド（それは肘から肩にかけての部分）（腕の上部）は身体から離し、腹部は両太腿から離します。そして：　スブハーナ　・ラッビヤルアァラー。（アブー・ダーウードの伝承）　（ブハーリーの伝承）（ムスリムの伝承）

– それから両手を挙げずにアッラーフアクバルと言って頭を上げ、左足を床に寝かしたままで、右足は立ててその指はキブラの方向へ向けて座ります。両手は指をキブラに向けた状態で両太腿の上へ置き、次のように唱えます。：　アッラーフンマグフィル　リー、ワルハムニー、ワジュブルニー、ワフディニー、ワルズクニー。　意味：（アッラーよ、私を赦し、私にお慈悲をかけ、私を癒し、私を導き、、私に恩恵を与えて下さい。）（ムスリムの伝承）（ティルミズィーの伝承）

– 次に「アッラーフ　アクバル」と言い、初めのサジダのように2度目のサジダをします。

–　そして頭を挙げながらアッラーフ　アクバル」と言い、少しの間座ります。マリク・ビン・フワイリスのハディースの伝承によるとこの座っている状態をジャルサトゥル・イスティラーハ（休息の着座）と呼び、預言者の礼拝の仕方を描写する際に次のように述べました。：預言者は少しの間座るまでは立ち上がりませんでした。（ブハーリーの伝承）.



–そして アッラーフ　アクバル」と言いながら、2番目のラクアの為に両

手を添えて起き上がります。（ブハーリーの伝承）

−それから初めのラクアのように2番目のラクアの礼拝を行いますが、初めのラクアのようにイスティフターフのドアーは唱えません。

タシャッフド

初めの2ラクアの終了の際に、左足を地面に寝かせ右足を立てながら最初のタシャッフドのために座ります。両手は太腿の上に置き、左手は伸ばし、右手のヒンスィル（小指）（（3）ヒンスィル：手の端にある指。小指。ビンスィル：その次の指。薬指。ウスター：その次の指。中指。サッバーバ：その次の指。人差し指。イブハーム：その次の指。親指。）とビンスィル（薬指）を握りサッバーバ（人差し指）を立て、ウスター（中指）とイブハーム（親指）で輪を作ります。タシャフドを唱えながら、挙げた人差し指で指さしながらそれを見つめ、次のように唱えます。：アッタヒーヤートゥ　リッラーヒ、ワッサラワートゥ、ワッタイイバートゥ。アッサラーム　アライカ　アイユハンナビーユ　ワ　ラハマトゥッラーヒ　ワ　バラカートゥフ。アッサラーム　アライナー　ワ　アラー　イバーディッラーヒッサーリヒーン。アシュハドゥ　アッラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワ　アシュハドゥ　アンナ　ムハンマダン　アブドゥフ　ワ　ラスールフ。　意味：（全ての賞賛と祈りとよき行いの属するアッラーに挨拶がありますように。預言者よ、あなたの上に平安とアッラーのご慈悲と祝福がありますように。私たちに、そしてアッラーの敬虔なしもべたちに平安あれ。私はアッラー以外に神は無いことを証言します。私はムハンマドがアッラーのしもべであり使徒であることを証言します。）（ブハーリーの伝承）

−　それからもし2ラクア以上の礼拝であれば、両手を挙げ「アッラーフ　アクバル」と言います。残りのラクアではファーティハ章以外は詠みません。



−　礼拝が終わる時は、タワッルクの姿勢で座り、続けて最後のタシャッフドをします。タワッルクは、横にした左足を、右側に現れるように立てた右足の下に置くということです。最後のタシャッフドは、最初のタシャッフの後、次のように唱えます。：　アッラーフンマ　サッリ　アラー　ムハンマディン　ワ　アラー　アーリ　ムハンマド。カマー　サッライタ　アラー　イブラーヒーマ　ワ　アラー　アーリ　イブラーヒーマ、インナカ　ハミードゥン　マジード。アッラーフンマ　バーリク　アラー　ムハンマディン　ワ　アラー　アーリ　ムハンマド。カマー　バーラクタ　アラー　イブラーヒーマ　ワ　アラー　アーリ　イブラーヒーマ、インナカ　ハミードゥン　マジード。　意味：アッラーよ、あなたがイブラーヒームと彼の一族に祈りをお与えになったように、ムハンマドとムハンマドの一族にも祈りをお与え下さい。あなたこそ全ての讃美と栄光の主です。アッラーよ、あなたがイブラーヒームと彼の一族を祝福されたように、ムハンマドとムハンマドの一族を祝福して下さい。あなたこそ全ての讃美と栄光の主です。）（アブー・ダーウードの伝承）（ブハーリーの伝承）

−そして預言者は言いました。：　アッラーフンマ　インニー　アウーズ　ビカ　ミン　アザービジャハンナム。ワ　ミン　アザービルカブル。ワ　ミン　アザービ　ジャハンナム。ワ　ミン　フィトゥナティルマハヤー　ワルママート。ワ　ミン　シャッリ　フィトゥナティルマスィーヒッダッジャール。　意味：（アッラーよ、私はあなたに地獄の懲罰、墓の懲罰、生と死の試練、偽キリストの災難からのご加護を願います。）（ブハーリーの伝承）

タスリーム

礼拝終了時に礼拝者は彼の右側に次のように言ってタスリーム（挨拶）を行います。：　アッサラーム　アライクム　ワラフマトゥッラー　その次に左側を向き同じように唱えます。（ムスリムの伝承）



イフラームのタクビール



ファーティハの朗誦



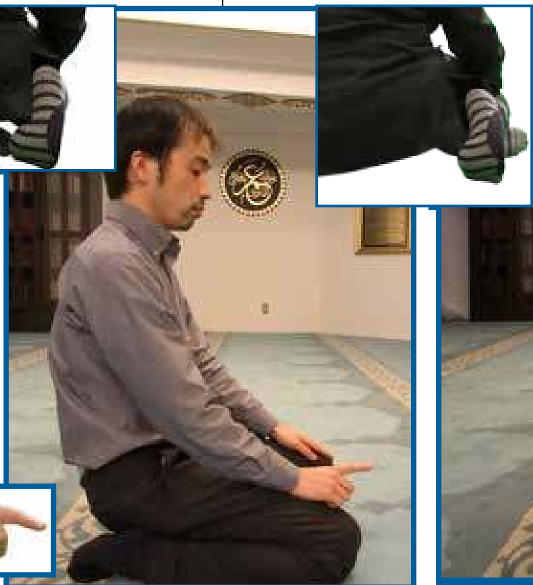
ルクーウ（屈折礼））とそれから体を起こす



スジュード（平伏礼）とそこから体を起こす



二つのサジダの間の座礼



最後のタシャフッドのための座礼



タスリーム

礼拝の後の幾つかのアズカール（唱念と祈祷）

-アスタグフィルッラー（x3回）」意味（私はアッラーに罪の赦しをお願いします）。「アッラーフンマ　アンタッサラーム、ワ　ミンカッサラーム、タバーラクタ　ヤー　ザルジャラーリ　ワルイクラーム。　意味　アッラーよ、あなたこそが平安の主で、平安はあなたからのものです。崇高さと栄誉の主に称えあれ。）（ムスリムの伝承）

－　ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク　ワ　ラフルハムド。　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイイン　カディール。アッラーフンマ　ラー　マーニア　リマー　アァタイタ、ワ　ラー　ムゥティヤ　リマー　マナァタ。ワ　ラー　ヤンファウ　ザルジャッディ　ミンカルジャッド。　意味（唯一で並ぶ者無きお方、アッラー以外に神はいません。大権と讃美はかれの御許にあり、彼は全能のお方です。アッラーよ、あなたが与えたものを禁じる者はなく、あなたが禁じれば他に与える者はおりません。（現世における）どんな優れた境遇も、あなたの御許での真の幸福を益することはありません。（ブハーリーの伝承）

－ラー　イラーハ　イッラッラーフ　ワハダフ　ラー　シャリーカ　ラフ。ラフルムルク、ワ　ラフルハムドゥ　ワ　フワ　アラー　クッリ　シャイン　カディール。ラー　ハウラ　ワ　ラー　クーワタ　イッラー　ビッラー。ラー　イラーハ　イッラッラー。ワ　ラー　ナァブドゥ　イッラー　イーヤーフ。ラフンニァマトゥ　ワ　ラフルファドゥル　ワラフッサナーウルハサン。ラー　イラーハ　イッラッラー。　ムフリスィーナ　ラフッディーナ　ワ　ラウ　カリハルカーフィルーン。　意味（唯一で並ぶ者無きお方、アッラー以外に神はいません。大権と讃美はかれの御許にあり、かれは全能のお方です。至高至大のアッラーの他にいかなる威力も強大なるものもありません。アッラー以外に神はなく、私たちはかれ以外を崇拝しません。恩恵と超越性はかれにこそ属し、そしてかれにこそよき誉れがあります。アッラー以外に神はいません。例え不信者たちが忌み嫌おうとも、私たちはアッラーに誠意を尽して仕えます。）（ムスリムの伝承）

－　アッラーフンマ　アインニー　アラー　ズィクリカ、ワ　シュクリカ、ワ　フスニ　イバーダティク。　意味（アッラーよ、あなたを唱念すること、あなたへの感謝、あなたをよく崇拝することにおいて私に力をお貸し下さい。）（アブー・ダーウードの伝承）

－アーヤトゥル・クルシー、スーラトゥル・イフラース、アル・ファラクとアンナースを読唱すること。（アブー・ダーウードの伝承）

-また次のように唱えます。：　アッラーフンマ　インニー　アスアルカ　イルマン　ナーフィアー。ワ　リズカン　タイイバー。ワ　アマラン　ムタカッバラー。（アン・ナサーイーの伝承）ファジュルの礼拝後のタスリームの後でこれを唱えます。意味　（アッラーよ、私はあなたに有益な知識を、よい糧を、そして（アッラーに）受け入れられる行為を求めます。）（アン・ナサーイーの伝承）.

事項

女性は礼拝の特質において男性と全て同様です。

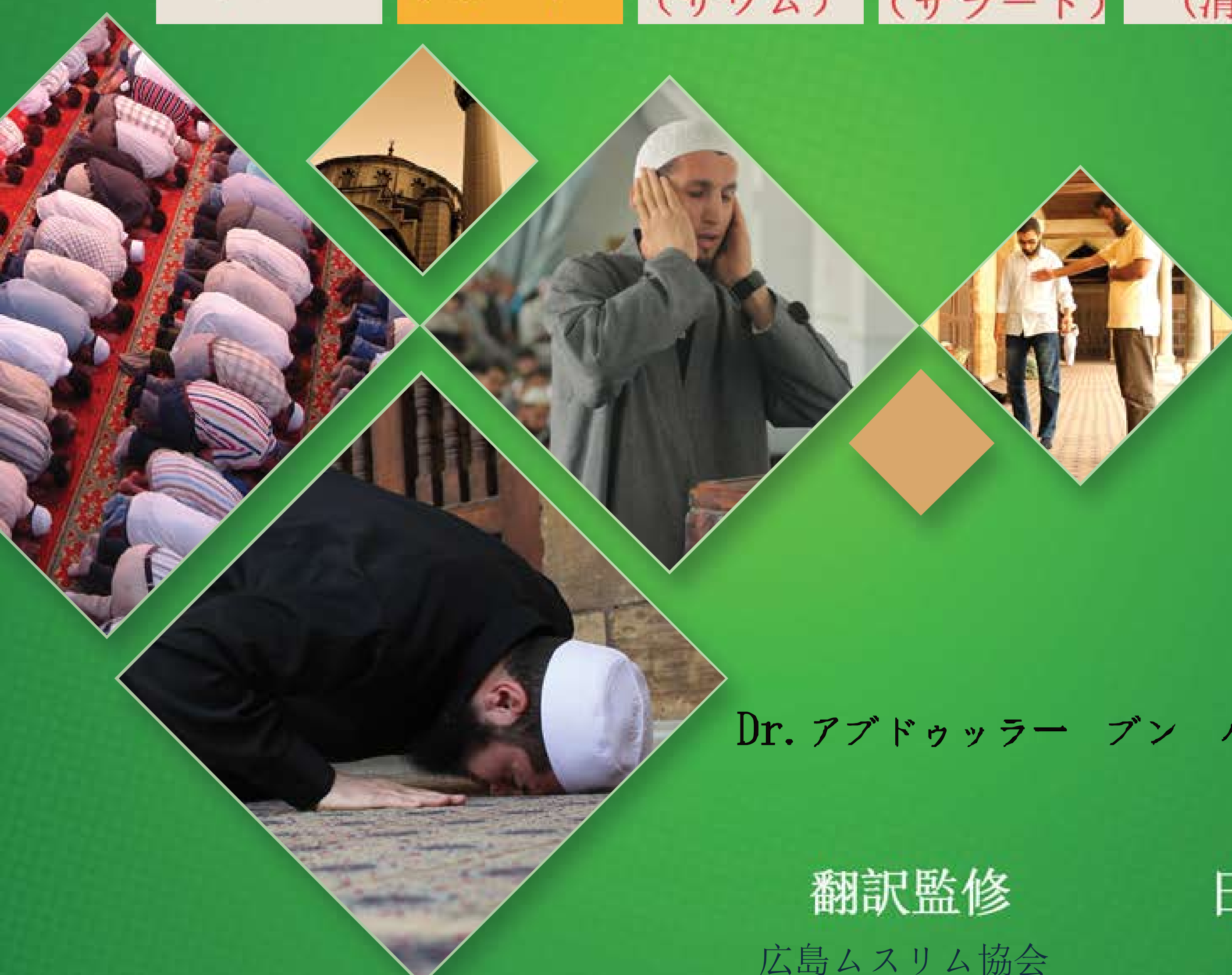




図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝の規定

第7課　礼拝の規定

1 ー座って礼拝する

a．任意の礼拝において

座って行う任意の礼拝は有効で、立って行う場合の半分の報酬があります。これは預言者の次の言葉によります。：　もし立って礼拝すれば、それはより良いことです。そして座って礼拝する者は立って礼拝する者の半分の報酬が与えられます。また横になって礼拝する者は座って礼拝する者の半分の報酬を得ます。　（ブハーリーの伝承）

しかし正当な理由で座って礼拝する者は完全な報酬を得ます。預言者は述べています。：　もしある者が病気になったり旅行した場合、旅行せずに健康であった時に行った事が記述されるでしょう。　（ブハーリーの伝承）

b．義務の礼拝において

もし立つことが出来れば、義務の礼拝では座る者の礼拝は認められません。

目 次






２－ニーヤ（意思表示）

ニーヤに関するいくつかの規則

１．礼拝の最中に礼拝を止めるというニーヤ（意思）を持つことは許されません。礼拝を中止することを意図した者は、彼の礼拝は中断されます。彼は最初からその礼拝をやり直さなければなりません。

２．礼拝を任意の礼拝という意思で始めた場合、途中で義務の礼拝に変更することはできません。

３．義務の礼拝を独りで行うという意思で礼拝を始めた者は、その後、集団がやって来て集団礼拝を始めた場合、彼は礼拝を任意のものにするという意思に変更する事ができます。この場合は2ラクアの礼拝を終えた後、集団と一緒に礼拝します。

３－ファーティハ章を詠む

もし礼拝者が（声に出して詠む）イマームに続いてサラートを行っていたとしても、ファーティハ章を詠むことは義務です。ウバーダ・イブン・アッサーミトは次のように伝えています。；私達はファジュルの礼拝時にアッラーのみ使いの後ろにいました。アッラーのみ使いは、朗誦しましたがその朗誦が困難になりました。そして礼拝の先導を終えると尋ねました。「あなた方はおそらくイマームの後で朗誦していましたか？」私達は。「はい　、そのように。アッラーのみ使い様」と言いました。み使いは言いました。「ファーティハ章以外はそうすることを止めなさい。なぜならファーティハ章を朗誦品しない者には、礼拝は存在しないからです。（アブー・ダーウードの伝承）

４－アーミーンと言うこと

これは全ての礼拝者、先導する者も、先導される者も、一人で礼拝する者も、義務の礼拝でも任意の礼拝でも、声に出す礼拝でも出さない礼拝でも等しくスンナです。声を出さない礼拝では、声に出さず、声に出す礼拝では声に出して言います。

その根拠は、預言者の次の言葉です。：イマームが「アーミーン」と言った時は、「アーミーン」と続けなさい。本当に天使と共に「アーミーン」と答える者の過去の罪は許されるでしょう。（ブハーリーの伝承）

イマームが無言でいる箇所

1．イスティフターフ（開始）の祈りのために開始時の「アッラーフ　アクバル」とファーティハ章の朗誦の間の無言。

2．ファーティハ章とその後に詠むスーラ（章）の間にイマームが無言でいるといったスンナは定まっていません。

3．クルアーン朗誦の終わった後とルクーウの前の無言。



６－義務の礼拝のカダー（取り戻しの礼拝）と任意の礼拝で声をだして詠むこと

礼拝を逃し、その礼拝を取り戻したい場合は、声をだして詠みますか、出さないで詠みますか？これはどの礼拝を行うかによって異なり、取り戻す時間には関係ありません。それ故に声を出す礼拝を取り戻す時は、それを行うのが昼であっても声を出します。

タラウィーフや月食などの声を出す根拠がある礼拝以外は、任意の礼拝は声を出さないのがスンナです。

７－両手を掲げる

次に述べる箇所では両手を掲げます。

１．イフラウームのタクビール

２．ルクーウのタクビール

３．ルクーから起き上がる時

４．初めのタシャッフドの後に立ち上がる時



８－ラクアに追いつく

もしイマームと共ににルクーウをすることが出来た場合（初めに集団礼拝に入る時）全てのそのラクア（礼拝の単位）を終了したと考えられます。これは次の預言者の言葉によるものです。：ルクーウを行う者は皆そのラクアに追いつきました。　（アブー・ダーウードの伝承）

９－どの形の後もそのまま留まること

礼拝の各形の度に少しの間その状態のまま留まる事は礼拝のそれがなければ礼拝が成り立たない重要な柱の一つです。アブー・フライラの伝承によるハディースによると。；　アッラーのみ使いがモスクに入ると、一人の男が入ってきて礼拝しました。その後その男はアッラーのみ使いの処にやって来て挨拶しました。アッラーのみ使いは挨拶を返し、言いました。「元の場所に戻って礼拝しなさい。あなたはまだ礼拝していないのですから」その男は戻り、以前に礼拝したように礼拝しました。それから預言者の元へ行き挨拶をしました。預言者は再び言いました。元の場所に戻って礼拝しなさい。あなたはまだ礼拝していないのですから」

このような事が３度繰り替えされると、その男は言いました。「あなたを真理をもって遣わしたお方に誓って、私はこれ以上上手くできません。どうぞ教えてください。」預言者は答えました。「礼拝の為に立った時は、まず「アッラーフアクバル」と言いなさい。それから、クルアーンのあなたにとって容易なところを詠みなさい。それからルクーウを平静になるまでしなさい。次に立っている間にバランスが取れるまで体を起こしなさい。そしてスジュードの状態で平静になるまでスジュードしなさい。その後座っている状態で平静になるまで頭を上げなさい。あなたの礼拝全てでこのように行いなさい。（ブハーリーの伝承）

１０－舌を動かすこと

クルアーン読誦、またはタクビールやアッラーの唱念は心の中だけで唱えるだけでは不十分です。それを発音すべきでが、少なくとも舌と唇を動かして朗誦すべきです。

１１－スジュードの体勢

スジュードは7つの骨の上にあります。それは預言者の次の言葉によります。：アッラーのしもべがサジダするとき、7つの部位も一緒にサジダします。それは、顔と両手の平と両膝と両足です。 （合意のハディース）.



１２－人差し指で示す



タシャッフドを唱える間に人差し指で合図することはスンナです。それはワーイル・イブン・フジュルの伝える次のハディースによります。：　そしてみ使いは指を立てました。そして私は、ドゥアーを唱えながらその指を動かしているのを見ました。（アン・ナサーイーの伝承）



禁止事項

ニーヤを声に出して言うこと

「ラッバナーワラカルハムド」の後に「ワッシュクル」を加えること。この言葉は、アッラーのみ使いによって定められていません。

タシャフッドの際に「サイイドゥナー」と加えたり、礼拝中に預言者への祝福の祈願を唱えること。

最終のサラーム時の初めのサラームを言う際に、右手を右側へ向けたりその後のサラームで左手を左側へ向けること

礼拝終了後直ぐに一人が「ハラマン」と言って、もう一人が「ジャマアン」など似た言葉を言って互いに握手すること

礼拝後に王座の節を詠んだ後に(スブハーナッラーヒ・ファユサッビフーン・・・)と言うこと。

祈願とアッラーへのズィクルの後に顔を拭うこと。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝の柱（必須事項）とその義務とスンナ

第８課

礼拝の柱（必須事項）とその義務とスンナ

第1：礼拝の柱

礼拝の柱：

それが構成される基本的部分であり、どのような状況でもそれを無視することが許されません。ゆえにこれは不可能でない限り、故意であっても不注意であっても破棄されません。

１．ニーヤ（意図）

２．義務の礼拝において可能であれば立つこと。

３．イフラームのタクビール（開始のタクビール）。

４．アル・ファーティハ章を詠むこと。

５．ルクーウ（屈折礼）

６．ルクーウから身体を起こすこと。

７．７つの身体の部位でのスジュード（平伏礼）

８．2度のサジダの間のジュルース（座礼）

９．最後のタシャッフドの為に座ること。

１０．最後のタシャッフドを唱えること。

１１．最後のタシャッフドで預言者への祝福を祈願すること

１２．タスリーム（礼拝の最後に「アッサラーム　アライクム」と言う）

１３．全ての礼拝の柱を落ち着いて行うこと。

１４．上記に言及されたものを順番に行うこと。

目次

この礼拝の柱を行わない者はどうしたらいいでしょうか？

１．意図的にそれを行わない者の礼拝は無効になり、礼拝を全てやり直すことが義務です。

２．無意識にそれを行わなかった者は、次の2つの状態のどちらかになります。

a)次のラクアで同じ部分に行き着くまで、その抜けた部分を覚えていなかった場合。この時点でその部分を省いた先程のラクアは数えずに、先ほどの部分で現在のラクアを仮定します。その後、忘却の為の追加の平伏礼（スジュード）を行います。

例：最初のラクアでファーティハ章を詠み忘れていたことを、2度目のラクアでファーティハ章を詠んでいて思い出しました。そこでこのラクアは初めのラクアとなり、その前のラクアは無効となります。

b)次のラクアの同じ柱に到達する前にラクアの柱を忘れたことを思い出した場合は、それを思い出したら直ぐにその柱を行わなければなりません。

例：ある者がルクーウを忘れ朗誦を終えて直ぐにスジュードしたとします。その後ルクーをしなかった事をスジュードの間に思い出します。この時は、そこで立ち上がりルクーウをして通常通り残りの礼拝の続きをおこなわなければなりません。

第2：礼拝の義務行為

礼拝の義務行為：

忘却のスジュードを行うことが強制されることで、忘れた者は行う必要がありません。

1．礼拝中の姿勢を変える時のタクビール

2．ルクーウの間に“スブハーナ　ラッビヤル アズィーム”という事。

3．一人で礼拝する者とイマームは“サミアッラーフ・リマン・ハミダ” と言いこと。しかしイマームの後ろで礼拝する者には義務ではありません。

4．　“ラッバナー・ワ・ラカルハムド”とルクーウから起き上がりながら唱えること。

5．“スブハーナ・ラッビヤル・アァラー” とサジダしながら唱えること。

6．2度のサジダの間で“ラッビグフィル・リー” と唱えること。

7．初めのタシャッフドでのジュルース（座礼）。

8．初めのタシャッフド

礼拝の義務行為を省く者はどうするべきでしょうか？

1．意図的に省く者の礼拝は無効です。初めから礼拝をやり直さなければなりません。

2．無意識に省いた者の礼拝は有効です。しかしタスリームの前が後に忘却の２回のサジダを行います。



第3：礼拝のスンナ（推奨される行為）

礼拝の特質で言及されたものから全ての条件や柱や義務行為を除いたものがスンナです。それを行わなくても礼拝の有効性に影響しません。またそれをしなくてもスジュード・サフウ（忘却の為のサジダ）をする必要がありません。

礼拝のスンナは2種類：

第１：言葉のスンナ

それらは多数あり、次のようなものです。

１．イスティフターフ：ファーティハ章を詠む前のドゥアー（祈願）

２．タアッウズ：“アウーズ・ビッラーヒ・ミナッシャイターニッラジーム”　と言うこと。

３．バスマラ：　“ビスミッラーヒッラフマーニッラヒーム”　と言うこと。

４．ルクーウとスジュードのタスビー（スブハーナ・ラッビヤル・アズィームとスブハーナ・ラッビヤル・アァラー）で義務の一回目以上の繰り返し。

５．2つのサジダの間の言葉“ラッビグフィル・リー”を一回以上言うこと。

６．ルクーウから起きた後の言葉　“ラッバナー・ワ・ラカルハムド”　に付け加える言葉

７．ファーティハ章の後に追加される詠まれるクルーアーンの章や節。

第2:行為のスンナ

それらは多数あり、次のようなものです。

１．イフティラームのタクビールと一緒に、ルクーウを行う時とそこから体を上げる時、３ラクア目を行うために立ち上がる時、それぞれに両手を上げること。

２．立礼中はルクーウを行う前とその後、右手を左手の上に置くこと。

３．サジダをする場所にを見ること。

４．スジュードの中は脇と腹部から腕を離すこと。

５．イフティラーシュ：　これはジュルース（座礼）中、右足を立て、つま先をキブラの方向へ向け、左足の上に座りつつ左足を地面に寝かせて座ることです。

また2ラクア以上の礼拝の最後のタシャッフド以外で座った姿勢の度にそのようにするのはスンナです。

６．タワッルク：　これはジュルース（座礼）中、右足を立て、つま先をキブラの方向へ向け、左足を右脚の下に置きます。そして右脚の下から左足を右の方へ出します。その時左臀部の上に座ります。2つ以上のラクアの礼拝の最後のタシャッフドの間にこの姿勢になることはスンナです。





イフティラーシュ

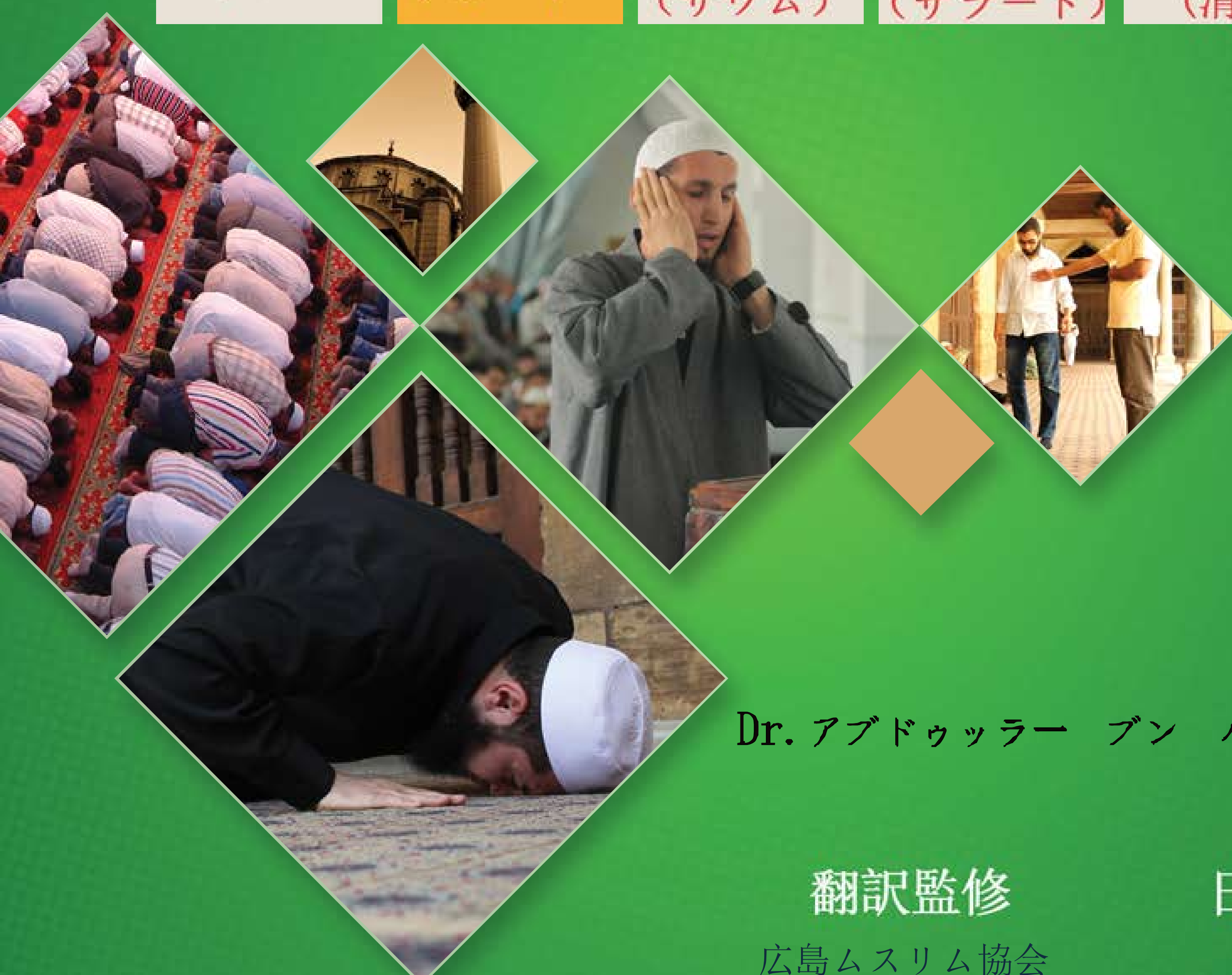


タワッルク

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

礼拝の許可される行為と嫌われる行為と無効にする行為

第９課

礼拝の許可される行為と嫌われる行為と無効にする行為



目 次

第１：礼拝の許可される行為

１．（必要性がある時）礼拝中に歩くこと。これは、キブラの方角にある扉を開けるなど、キブラからは逸れてはならないという条件で起きているから。

２．礼拝中に子供を抱えること。

３．礼拝中に蠍や蛇を殺すこと。

４．礼拝中に必要性があって右や左を向くこと。

５．礼拝中に泣くこと。

６．（礼拝中の外部からの呼びかけなどに）男性はスブハーナッラーと言い、女性は手を叩いて合図すること。

７．クルアーンの節を忘れたイマームを助けること。

８．礼拝中挨拶をする者に指や手で挨拶を返す（手の平を下にむけて、手の甲を上に向ける）こと。

９．誰かに何かを知らせる為に手振りを使うこと。　何か深刻な必要性の為、礼拝中の者に警告すること。

10．何かそれを行う理由があればアッラーを賛美すること。

11．礼拝中、左側に唾や痰を吐くこと。

12．礼拝中に前を通過する者を妨げること。

第2：礼拝の嫌われる行為

１．礼拝から気を逸らせるものが礼拝者の考えを惑わせたり彼の元にあったり、前にあったりした状態で礼拝を始めること。例えば、排尿や排便や放屁を我慢した状態、空腹や渇き、食欲をそそる食事の提供、または礼拝から気を散らせるものに目をやることなどです。

２．無駄な動き。それは礼拝中に畏敬の念や心の平静さを失くさせる行為のことです。例えば、必要なしに動くこと、髭や服や腕時計をいじること、指を鳴らしたり両方の手の指と指を組むことなどです。

３．必要がないのに、顔を左もしくは右に向けて見ること、その時、キブラから体を背けない事が条件で、そうしなければ、サラートは無効になります。



4．手を腰に置くこと。　何故ならこれはユダヤ教徒の行動だからです。

5．礼拝中に口と鼻を覆うこと。

6．服や袖などを巻き上げること。

7．男性は、髪を後ろにまとめて束ねたり、毛髪を編み込むこと。これは男性が両手を後ろで縛られた状態に似てます。何故なら彼がサジダする時、彼の髪の毛は体についてサジダしないからです。

8．礼拝者のキブラの方角や右側に唾を吐くこと。

9．空を見上げること。

10．必要がないのに目をつぶること。

11．スジュードの際に両腕を地面に平らに広げること。

第3：礼拝を無効にする行為

1．礼拝の条件を破ることを行うこと。例えばタハーラ（清浄）を無効にすることが起きるとか意図的にアウラ（覆われなければならない体の部分）を露出したり、キブラから体全体を背けたり、礼拝中に礼拝を中止しようと意図することです。

2．礼拝の柱や義務を意図的に行わないこと。

3．礼拝の動きではない動きを必要がないのに沢山すること。例えば、歩行や沢山の動作など。

4．笑うことや大笑い。

5．意図的に話すこと。

6．意図的に飲食すること。

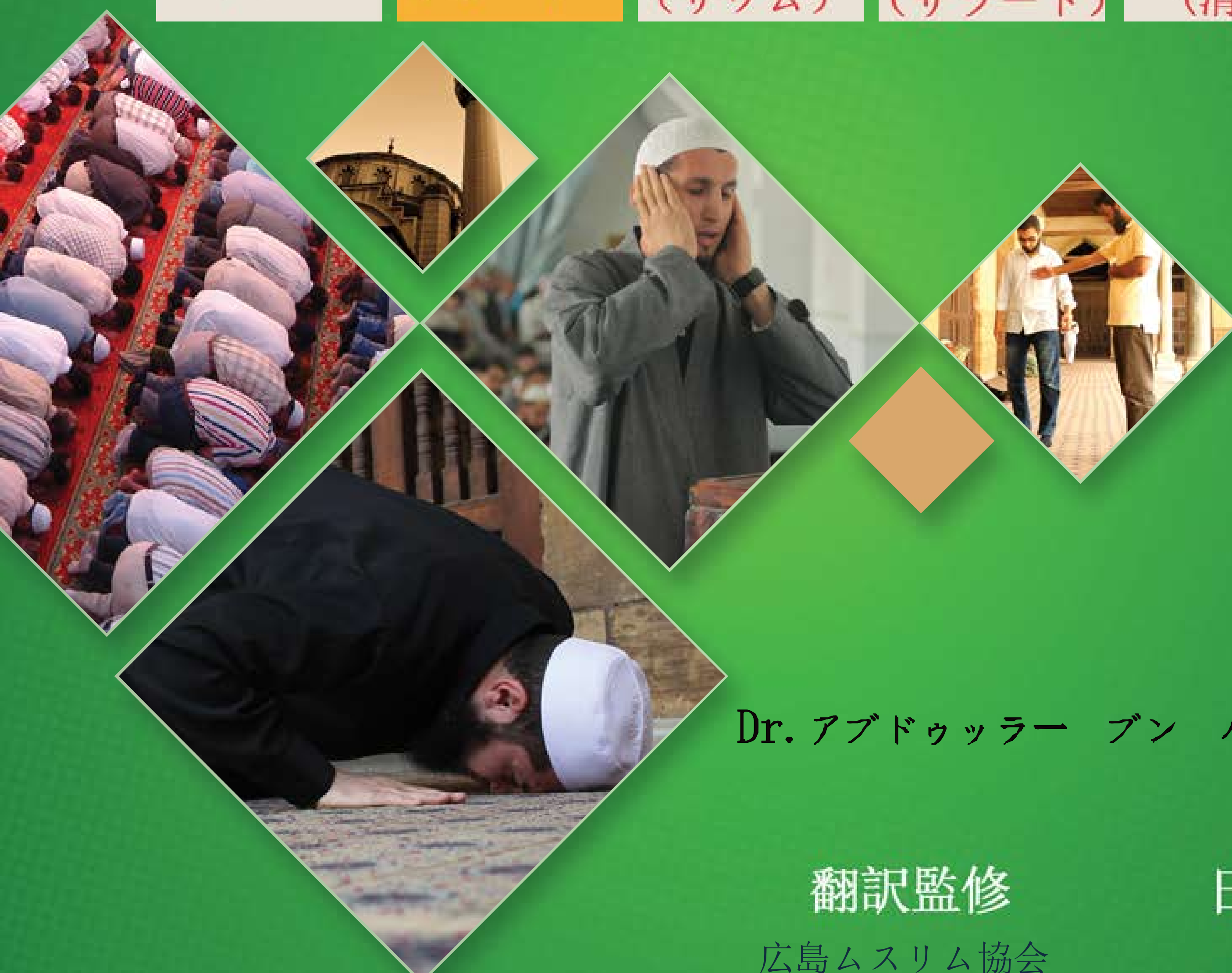
7．意図的にラクアまたは柱を加えること。

8．意図的にイマームの前に最後のサラームを唱えること。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

スジュード サフウ（忘却の平伏）、スジュード シュクル（感

第10課 スジュード　サフウ（忘却の平伏）、スジュード　シュクル（感謝の平伏）とスジュード　テラーワ（クルアーンのサジダのマークでの平伏）

目 次

第1：スジュード　サフウ

スジュード・サフウの定義

スジュード　サフウ（忘却の平伏）：

サラート中に何かを忘れた為に起こった間違いを訂正する為に行う礼拝中の追加の2回の平伏礼

スジュード　サフウの原因

その原因は次の3つです。疑いと増加と不足です。

1．疑い：

疑い：

それは2つの事でどちらが起きたか決められないことです。

礼拝に関する疑いは2つに分かれます。

1．礼拝後の疑い

この疑いについては考慮されるべきではありません。

例えばファジュルの礼拝後、2ラクアをやったか3ラクアをやったかで疑った時、この疑いに関しては考える必要がありません。しかしどちらかに確信したら、確信した方に従って行います。

2．礼拝中の疑い

この疑いは次のような2つの状況で起こります。

a．二つのどちらかに確定出来る場合：

この場合、自分が確定した方で行い、サラームの後に忘却のスジュードを行います。

例えば、ある男がズフルの礼拝中に今2回目もしくは3回目のラクアか疑問が生じたが、それが3回目のラクアであることを確定できれば、彼はそれを3回目のラクアとみなして礼拝を完了し、最後のサラームの後に忘却のスジュードを行います。

この根拠は、次の預言者の言葉です。：　あなた方のうちの誰かが自分の礼拝に疑いを持ったら、一番正しいものを探させなさい。それから（それに従って礼拝を続け）タスリームを唱えさせなさい。その後、2回のサジダをさせなさい。（イブン・ヒッバーンの伝承）


サラームを唱える


忘却のサジダをする

b.二つの内の一つに確定出来ない場合：

この場合は2つある可能性の小さいほうを選び、そこから礼拝を完了します。その後タスリームの前に忘却のためにサジダを行います。

例えば、ズフルの礼拝を行う者がラクアに関して今2回目か3回目なのかを疑ったが、どちらかに決められなかった時、この場合はラクアの少ないほうを基本にします。それは、2回目のラクアとみなし、その礼拝を完了し、その後タスリームの前に忘却のサジダを行います。

この根拠は次の預言者の言葉です。：　礼拝中に疑いが起こり、3ラクアしたのか4ラクアしたのか分からなくなった時は、その疑いを消し去り、確実性を基本として、サラームを唱える前に2回サジダします。　（ムスリムの伝承）


忘却のサジダをする


サラームを唱える

2． 増加：

これは礼拝でルクーウやスジュードなどを余分に追加することです。

サラートにおいての増加が起こる状態は次の2つです。：

a.増加をしている間にそれに気づく。

この場合増加を中止することが義務となり、通常通りサラートを完了し、サラームの後で忘却のスジュードを行います

例えば、ある者がズフルの礼拝をしていて5度目のラクアを行う為に立ち上がり、そのラクアを行っている間にそれに気づいた時は、すぐに座ることが義務となり、礼拝を完了し、サラームの後に忘却のサジダを行います。

b． 増加を完了した後に気づく。

この場合は礼拝を完了し、サラームの後に忘却のスジュードを行います。この根拠は、イブンマスウードの次の伝承によります。本当に預言者は一度ズフルの礼拝で５ラクアの礼拝を行った事がありました。誰かがこう言いました。「礼拝のラクア数は増加されたのでしょうか？」預言者は尋ねました。「どういう意味ですか？」質問者は言いました。「あなたは5ラクアの礼拝を行いました。」その後預言者は最後のサラームを唱えた後に2回のサジダを行いました。（ブハーリーの伝承）

3． 不足

これは、礼拝者がその柱あるいは義務の一部分を省略することです。

1． 柱（ルクン）の不足：

もしその不足の柱が開始のタクビールの時は、その礼拝は無効です。何故なら礼拝は初めから成立しなかったからです。しかし、その柱が開始のタクビール以外であれば、次の二つの状態のどちらかになります：

a.次のラクアの同じところに来た時に不足部分に気が付いた場合

この場合は、不足した部分のラクアは無効になり、現在のラクアをその前のラクアとして数えます。

例えば：最初のラクアでルクーウを忘れ、次のラクアのルクーウをする時に前のラクアでルクーウをするのを忘れたことに気づいたとします。その時、そのラクアは、最初のラクアと見なされ前のラクアを数に入れません。そして礼拝を完了し、サラームの後に忘却のサジダを行います。



サラームを唱える　忘却のサジダをする

b.次のラクアで同じ部分に到達する前に不足部分に気づいた場合

この場合は不足部分に戻ることが義務になり、その部分とその後を続けて行い、その礼拝を完了し、サラームの後に忘却のサジダを行います。

例えば：最初のラクアでスジュード（座礼）と二回目のサジダをすることを忘れ、そのことを二回目のラクアのルクーウから起き上がった後に思い出した場合、彼は前のラクアのスジュードに戻りサジダをしてそこから礼拝を完了します。その後、サラームの後で忘却のサジダを行います。

2． 義務（ワージブ）の不足：

礼拝者が礼拝の義務行為の一つを忘れた時は、次の3つの状態のどれかになります。

a． 礼拝中にその部分から離れる前にそれに気づいた場合。

この場合直ぐにそれをやり直しせばそれ以外何もすることはありません、。

b． 礼拝中にその部分から離れた後で、次に来るルクヌ（柱）に到達する前に、それを思い出した場合。

この場合忘れたところに戻り、それを行ってサラートを完了させ、サラームの後に忘却のサジダを行います。

c．次のルクヌ（柱）に到達した後にそれに気づいた場合

この場合は、その礼拝をそのまま続けて戻りません。しかしサラームの前に忘却のサジダを行います。

例えば：2回目のラクアで2回目のスジュードの後に、初めのタシャッフドを忘れて3回目のラクアの為に立ち上がるために体を起こした時、立ち上がる前にタシャッフドを忘れたことに気づいた場合は、まずしっかり座り直しタシャッフドを行い、そしてサラートを完了し、それ以上何もする必要はありません。

しかし、もし起き上がる前に気づいたが、完全に立ち上がっていなければ座り直してタシャッフドを行います。そしてサラートを完了し、サラームの後に忘却のサジダを行います。

しかし、完全に立ち上がった後に気づいたのなら、タシャッフドに戻る義務はありません。そのまま礼拝を完了してからサラームを行う前に忘却のサジダを行います。

これらの根拠はアブドゥッラー・イブン・ブハイナの伝承によります。　預言者はズフルの礼拝を先導しました。そして2回目のラクアから座らずに立ち上がり、人々は彼と一緒に立ち上がりました。礼拝が終わった時に、人々は預言者がタスリームを行うと予期しましたが、かれは座ったままタクビールを言い、サラームを言う前に2回サジダを行いました。それからサラームを行いました。（ブハーリーの伝承）

前述のことから私たちに、忘却のサジダは、サラームの以前か以後に行うことが明らかにされています。



忘却のスジュード（サジダ）の特質

忘却のスジュードは、スジュードの際のタクビールと座る姿勢に戻る時、また２回のスジュードの間のスジュードの間に言われる事に関して通常のサラートのようです。



タクビールの開始



忘却のスジュード（スジュード・サハウィ）

要請

１．礼拝者が礼拝を完了する前にサラームを唱え、長い時間が経つまで礼拝を完了しなかったことに気づかなかった場合、改めてその礼拝をやり直すことになります。しかし、短い時間の後に思い出した場合、例えば2～3分後だったとしたら、その礼拝を完了した後に忘却のスジュードを行います。

２．イマームの後ろの礼拝者は例えもし忘却の原因の後にその礼拝に参加したとしても、イマームに従って忘却のスジュードを行うのが義務です。

３．もし礼拝者に2つのサフウ（忘却）が集まって、一つはサラームの前にそのサジダを行うもので、もう一つはサラームの後で行う種類のものである場合は、サラームの前に一回サジダをすればよい。

第2：感謝のスジュード

感謝のスジュード：

これは、アッラーの恩恵や楽しい出来事を得ることができたり災難を避けることが出来た時、アッラーに感謝して行うスジュードです。

その根拠は、アブー・バクルの伝える次のハディースによります。　預言者は、喜ばしい事が起こった時や嬉しい知らせがあった時にアッラーに感謝しスジュードを行いました。（アブー・ダーウードの伝承）

感謝のスジュードの特質

感謝のスジュードにはウドゥー（小浄）は条件ではありません。ただ座ってタクビールを唱えて、次のように言います。“スブハーナ　ラッビヤル　アァラー”　そしてアッラーを称賛し、与えられた恩恵に感謝します。それからサラームとタクビールなしにスジュードから立ち上がります。

第3：ティラーワ（クルアーンの特定のサジダの印のある節で）のスジュード

ティラーワのスジュード

これはクルアーンの読誦（または聴いている）者がサジダの印のある節に出会った際に一回サジダをすることです。

この根拠は、イブン・ウマルの次の伝承によります。　預言者は、私たちにサジダがある節を読誦すると、サジダを行い、私たちも（続けて）サジダしました。　（ブハーリーの伝承）

サジダは、クルアーン朗誦者が礼拝中ー声を出す時でも出さない時であっても等しくーあるいはそれ以外でも、サジダの印がある節を詠んだ時に行われます。しかし、ウドゥーは条件ではありません。

テラーワのスジュードの特質

ー読誦者もしくは聴取者はタクビールを唱えて、“スブハーナ　ラッビヤルアァラー　意味：崇高な私の主に称えあれ。そして　サジャダ　ワジュヒヤ　リッラズィー　ハラカフ、ワ　シャッカ　サムアフ　ワ　バサラフ　ビハウリヒ　ワ　クウワティヒ。　意味：アッラーよ、私の顔は彼のお力によってそれを創造し、形造り、そこから耳と目を刻み分けたお方に平伏します。と唱えます。（テルミズィーの伝承）

アッラーフンマクトゥブ　リー　ビハー　インダカ　アジュラー。ワ　ダァ　アンニー　ビハー　ウィズラー。ワジュアルハー　リー　インダカ　ズフラー。ワ　タカッバルハー　ミンニー　カマー　タカッバルタハー　ミン　アブディカ　ダーウード。　意味：　アッラーよ、私のために（クルアーン読誦の）報奨をあなたの御許に書き留めて下さい。そしてそれによって私の罪という重荷を取り除いて下さい。そして私のためにそれをあなたの御許に蓄えて下さい。そしてあなたがあなたのしもべであるダーウード（ダヴィデ）からそれを受け入れたように、私からも受け入れて下さい。（テルミズィーの伝承）

ーそれからタクビールを唱え、礼拝中であればスジュードから起き上がり、礼拝中でなければタクビールやタスリーム無しに起き上がります。

ティラーワのサジダの印が含まれるクルアーンの節：

高壁（アル・アアラーフ)章: 206節	夜の旅（アル・イスラー)章:107節
蜜蜂（アン・ナフル)章:49節	巡礼（アル・ハッジ)章:18節
マルヤム章:58節	識別（アル・フルカーン)章:60節
巡礼（アル・ハッジ)章:77節	アッ・サジダ章:15節
蟻（アン・ナムル):49節	フッスィラ章:37節
サード章:24節	割れる（アル・インシカーク)章:21節
星（アン・ナジュム)章: 62節	凝血章19節：
アッ・サジダ章:15節	

要請

１．乗り物に乗って旅行する者がスジュードの節を読誦したら、そこから降りて読誦によるスジュードを行います。しかしな、それが困難であれば、スジュードの代わりに低く頭を下げます。

２．読唱者が数回スジュードの節を繰り返したら、一度のスジュードを行うだけで十分です。

３．礼拝を行う事が禁止されている時間に読誦のためのスジュードを行っても罪はありません。

４．読誦者がスジュードを行わない場合、聴取者もスジュードを行うべきではありません。これは読誦者は模範とされる者でその読誦が聞かれているからです。

５．聴取者だが聴取の意図がない者、例えば他の事に気を取られていたり、ただの通行人は、スジュードには参加しません。何故ならこの者は読誦者の読誦には続いていないからです。

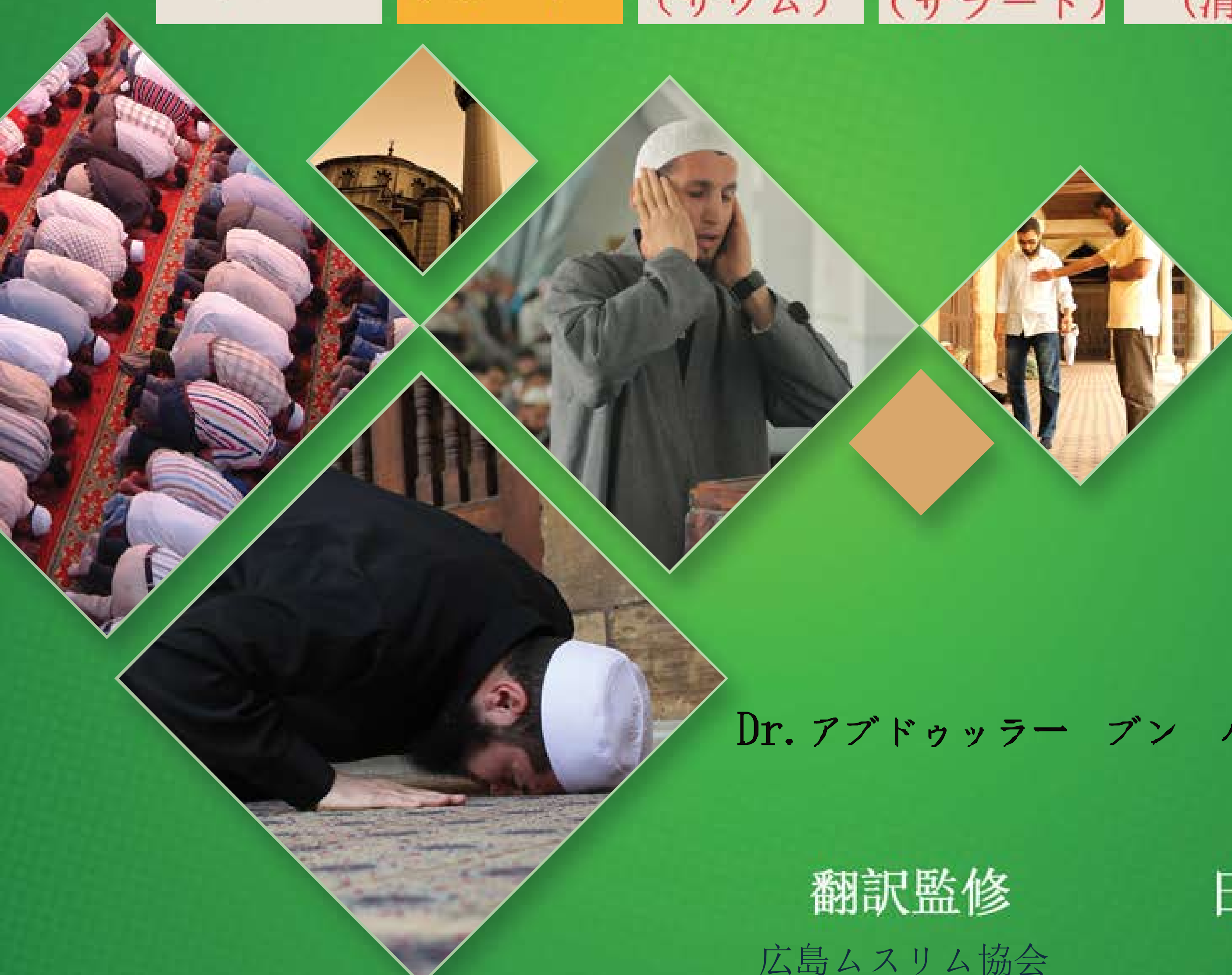


東京モスク

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

集団礼拝

第１１課

集団礼拝



目 次

集団礼拝の規定

集団礼拝は、旅行中でも日常の中でも女性を除く礼拝ができる男性に対して義務行為です。その根拠は、以下のように多数あります。

１．例えば戦闘場での恐怖の礼拝についてアッラーは仰せられました。　｛あなたがかれら（信者）の中にあって，かれらと礼拝に立つ時は，（まず）かれらの一部をあなたと共に（礼拝に）立たせそしてかれらに武器を持たせなさい。｝［婦人（アン・ニサーア:102節］

その中で至高のアッラーは旅行や恐怖の状態での集団礼拝を命じました。したがって安全な状態と（旅行していない）居住状態では集団礼拝は当然より求められることになります。

２．アブーフライラの伝承によるとアッラーのみ使いは述べました。　偽信者にとって全ての礼拝の中で最も重荷なものはファジュル（夜明け前）の礼拝とイシャー（夜）の礼拝です。その礼拝にどれだけの報酬があるか知っていれば、腹ばって（腹這う:這う）でも行ったでしょう。確かに私は礼拝を命じ、それが行われることになり、それから、一人の男性に礼拝を先導するように命じ、その後に私は数人の男性と薪の束を抱え、礼拝に参加しなかった者たちの処へ向かい、彼らが家の中にいるまま彼らの家を火で焼くつもりでした。

．　預言者は集団礼拝に参加しなかった者を焼却したいと願ったのではありません。何故ならそれが義務であり、またこのようにそれに参加しなかった者たちを偽信者と述べることは、それが義務であること以外にはありえないからです。（合意のハディース）





３．盲目の男性のハディースによると、彼はモスクへ案内してくれる人がいなかったので、預言者に自分の家で（義務の）礼拝を行う許可を求めた時、すると預言者は言いました。
。（あなたの家では）礼拝の呼びかけが聞こえますか？」彼は（はい）と答えました。すると預言者はこう言いました。（ではそれに応じなさい。）
（ムスリムの伝承）

４．イブン・マスウードの伝承によると　　明日（来世で）ムスリムとしてアッラーにまみえたいと思う者は礼拝への呼びかけがあった時には、それに答えて遵守すべきである。なぜならばアッラーはあなた達の預言者に様々な導びきの方法を定めました。そして礼拝はその中の一つです。」だからたとえあなた達が自分の家で礼拝したとしても、それはモスクでの礼拝を拒否して家で一人で礼拝する者と同様であり、あなた達は預言者の慣行を無視しそれを捨てたことになります。そしてあなた達が預言者の慣行を捨てるということは、あなた達が正しい道を見失い迷ったことを意味します。浄めを十分に行い、それからモスクに向かう者には、誰であれアッラーは彼が一歩歩く毎にその報償を記録に留め、また彼の来世の地位を引き上げ、彼の罪を取り去ってくれます。私は我々の中では、その偽信が仰知られているムナーフィク（偽信者）以外には礼拝に参集しない者を見ません。またその一方で、自らは歩けないために礼拝の列に加わるまで二人の男の肩に寄りかかって連れてこられた者がいました。
（ムスリムの伝承）



集合礼拝に潜む英知と徳

1．アッラーの信仰における同胞性と愛情を互いに認め合うこと、彼らの間にある愛情の絆を強めること、それなしには信仰が容易ではないことです。何故ならアッラーの信仰における愛情以外に楽園と信仰への道はないからです。

2．偽信仰と地獄の炎からの解放。これは40日間連続で礼拝開始のタクビール（タクビール・イフラーム）を行えた者の為です。アナスはアッラーのみ使いが次のように言ったと伝えています。集団礼拝に参加しなおかつタクビール・イフラームを40日間連続で行いアッラーの為に礼拝した者は、誰でも、2つの解放が記されるでしょう。１つは地獄からの解放であり、もう1つは偽信仰からの解放です。（アッティルミズィーの伝承）

3．ムスリム全体を統合し、善行と良いものへ彼らの心をまとめます。

4．ムスリムたちを彼らの中にある問題について互いにかばいあい助け合うこと。。

5．宗教の儀礼とその強さを表すこと。

6．礼拝の時一つの列に白人、黒人、アラブ人、非アラブ人、年寄や若者、金持ちと貧乏人が、肩を並べ一つのモスクで、一人のイマーム（導師）の後ろで、一つの時間に一つのキブラに向かって、一つの方角へ向かうことで、ムスリムの心を一つにすること。

7．アッラーの敵を激怒させること。何故ならムスリムはモスクでの集団礼拝を守り続ける限り、強力で難攻不落であり続けるからです。

8．罪を消し天国での地位を上げる。アブー・フライラの伝承によるとアッラーのみ使いは言いました。　アッラーが罪を消去しあなた方の地位を上げて下さる行いを教えましょうか？」かれら言った。「はい。アッラーのみ使いよ」彼は言いました。「困難な時にウドゥー（小浄）を行い、モスクへ多くの歩みで行き、礼拝の後に次の礼拝の時間を待ちなさい。それが（アッラーとの）絆です。（ムスリムの伝承）

9．集団で行う礼拝は１人で行う礼拝に比べて27倍の報酬があります。アブドゥッラー・イブン・ウマルはアッラーのみ使いが次のように述べたと言いました。　集団で行う礼拝は１人で行う礼拝に比べて27倍の報酬があります。（ブハーリーの伝承）

何によって集団礼拝に加わったことになるか？

集団礼拝に間に合うためには、イマーム（導師）と一緒に、その礼拝の内１ラクアを礼拝できれば集団礼拝をやったことになります。もし、１ラクアにならない場合は、集団礼拝したことにはなりません。しかし、イマームと一緒にやった分の報酬は、あります。もし別の集団礼拝に参加できることがほぼ予想できるなら、最初から集団礼拝に加わるためにそれを待つことが優先されます。

何によってラクアに加わったことになるか？

ラクアに間に合うためには、ルクーウを行うことです。イマームが先にルクーウを行っていた時には、まず立った状態で開始のタクビール（タクビール・イフラーム）をしてからルクーウに入らなければなりません。一番良いのは、さらにルクーウのためのタクビールも行うことです。もし立った状態でタクビール・イフラームだけにしても受け入れられます。

ジュムアと集団礼拝に参加がしなくても許される原因

１．疑いなく困難が伴う病気

２．大小便を我慢すること。それは礼拝での謙虚さを失わせることになり、体に障ることになるからです。

３．食物の存在と心がそれに止まってしまう状態。ただし、それが参加しないための企みやそれがいつものこととしている場合は別です。

４．生命やそれ以外のものに危機が及ぶ状況。例えば、敵が待ち構えていあたり、危害を加えようとしている恐れがあるような人です。

集団礼拝の規則

１．礼拝にやって来た時、イマームがタクビールをしてるところだったら、そのイマームの行っている状態にすぐに従うべきです。イマームが立礼を行うまで待つべきではありません。

２．モスクでの集団礼拝に理由があって行かなかった人は、できるならその礼拝を集団で行うこと。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

先導とそれに従うこと

第１２課 先導とそれに従うこと

目 次



イマームに最もふさわしい者

順番に示すと次のようになります：

第1：アッラーの聖典（クルアーン）の最良の読誦者：それを暗唱し全ての規定において最も知識がある者。

第2:スンナ（預言者の慣習）を最も良く知る者：その規定と意味を最も良く理解している者です。

第3:ヒジュラ（移住）を初めに行った者：つまり異教徒の地からイスラームの地への移住で先行した者です。しかし、そこに移住がなければ初めに罪を悔いそれからヒジュラした者になります。

第4：最年長者：これは、前述の事柄で人々のレベルが等しい時です。

上記に述べた順序に関する根拠は、アブ ー・マスウード・アル・アンサーリによって伝えられたハディースです。アッラーのみ使いはおっしゃいました。 クルアーンの最良の朗誦者が人々を先導し、朗誦において同じであれば、（預言者の）慣習について最も知識のある者、もしこの点で同じであれば、初めに移住した者、もしこれでも同じであれば、彼らの中で一番早く平安を受け入れた者 () 平安：イスラームを受け入れた最初の者。しかし他の伝承では「最年長」とある。）です。

（スリムの伝承）

この順番は、マスジド （礼拝所）のイマームが選ばれる時やマスジドでの集団礼拝で先導する専従のイマームがいない時に考慮されます。しかし、集団礼拝に専従のイマームがいたり、イマームがその家の所有者であったり、その地域で権威を持つ者（彼がスルターン（王様）やアミール（首長）や指導者などである場合。）であれば、彼は他の者よりも優先されます。預言者の言葉。 人は（許可なしに）他人の領域で先導すべきではなく、他人の家でタクリマ（タクリマ： 特に家主が座るクッション。）に許可な しに座るべきではない。 （ムスリムの伝承）

（スリムの伝承）

イマームとマァムーン（先導される者たちの）立ち位置

1．マァムーンが１人だけの時：　　彼はイマームの右側に立つことがスンナです。イブン・アッバースのハディースによると　　ある夜、私は預言者の左側に立ちました。するとアッラーのみ使いは後ろから私の頭をつかんで、私を彼の右側に立たせました。（合意のハディース）

2．集団礼拝が2人以上の時：イマームは、列の真ん中で彼らの前に立ちます。これはジャビールとジャッ　バールによるハディースによるもので、　彼ら二人の内の１人がアッラーのみ使いの右側に、そしてもう１人がみ使いの左側に立ちました。ジャビールは言いました。「するとアッラーのみ使いは私達全部の手を取って、私たちを導き彼の後に立たせました。　（ムスリムの伝承）

3．列の後で行う独りだけの礼拝は、列が一杯で入るだけの隙間がないと言　った理由がない限り有効にならない。

女性の立ち位置

1．女性が集団で礼拝する場合は（イマームとなる男性がいない場合）、礼拝の先導者は列の前には出ずに、同じ列の真ん中に立つのがスンナです。

2．男性が女性を先導する時は、女性は男性の後ろに立ち、男たちと一緒に集団礼拝する場合は男性の列の後に立ちます。

．男たちと一緒に女　　性の集団が礼拝する場合、スンナ（預言者の慣行）は男たちから離れ、彼女たちの列は男性と同じ列を作ります。これはアブー・フライラの伝承によるもので、アッラーの使徒は言いました。　　女性の列で最良の列は最後の列です。最悪の列は最初の列です。（イブン・マージャの伝承）

イマームに従う際の　いくつかの規定

1．家の中でマイクやラジオから聞こえるイマームの声に続いて礼拝することは無効です。



女性の礼拝



男たちの隣の女性

2．礼拝者の列がマスジドの中の列に続いている限り、礼拝者はマスジドの外からイマームの後に続くことが許されます。

3．礼拝者はマスジドの屋根にいたりイマームより低いところにいても、イマームの声が聞こえる限り、イマームの先導に続くことが許されます。

4．義務の礼拝を行う者は任意の礼拝を行う者に続くことができ、その逆もまた同じです。例えば、タラウィーフの礼拝を行うイマームの背後でのイシャーの礼拝を行ったり、集団礼拝を逃した者と一緒に集団礼拝の報酬を得るための礼拝などです。ジャビール・イブン・アブドッラーの伝承によれば、　ム　アーズは預言者と一緒に礼拝を行い、その後、他の人々の元へ行き礼拝を先導していました。（ブハーリーの伝承）


マスジドの外でイマームに続くこと

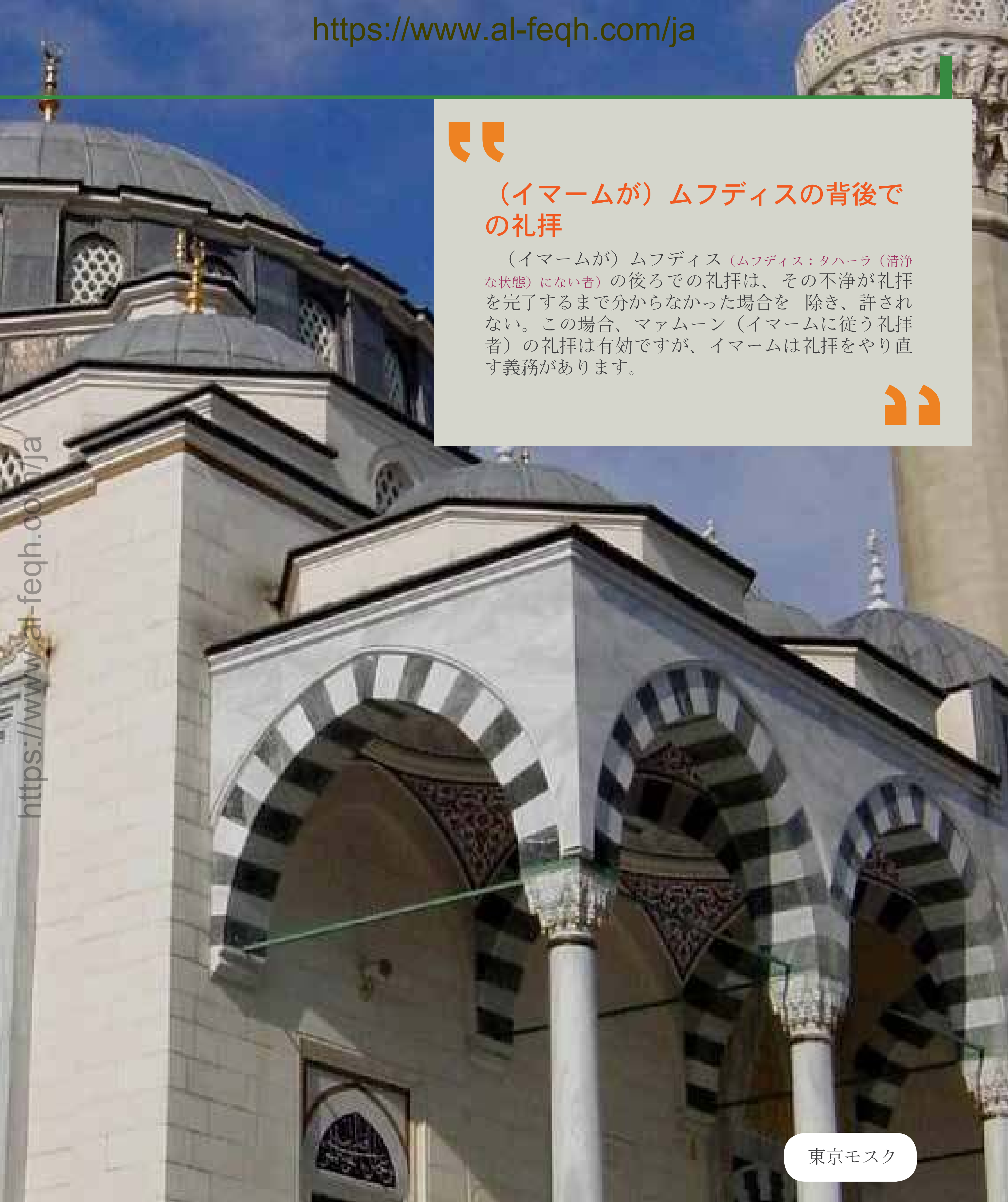
イマームに先行すること

1．ファムーンに関する規定から：イマームの行為の直後に同じ行為を続けてを行うこと。これは預言者の次の言葉によります。　イマームの礼拝　作法に従うべきです。だから彼が「アッラーフ　アクバル」と言ったら、（彼に続いて）そう言いなさい。彼がラクア（屈伸礼）をしたら、（彼に続いて）ラクアしなさい、彼がサジダ（平伏礼）したら、（彼に続いて）サジダしなさい。（合意のハディース）

2．イマームに先行することは禁止：預言者はこれを固く禁じ、次のように述べました。　（ラクアやサジダの際に）イマームより　も先に頭を上げる者はアッラーが彼の頭をロバの頭にするか、彼の声をロバの声にすることを恐れないのでしょうか　（合意のハディース）

3．うっかりイマームに先行する者は、戻ってイマームに従わなければなりません。





（イマームが）ムフディスの背後での礼拝

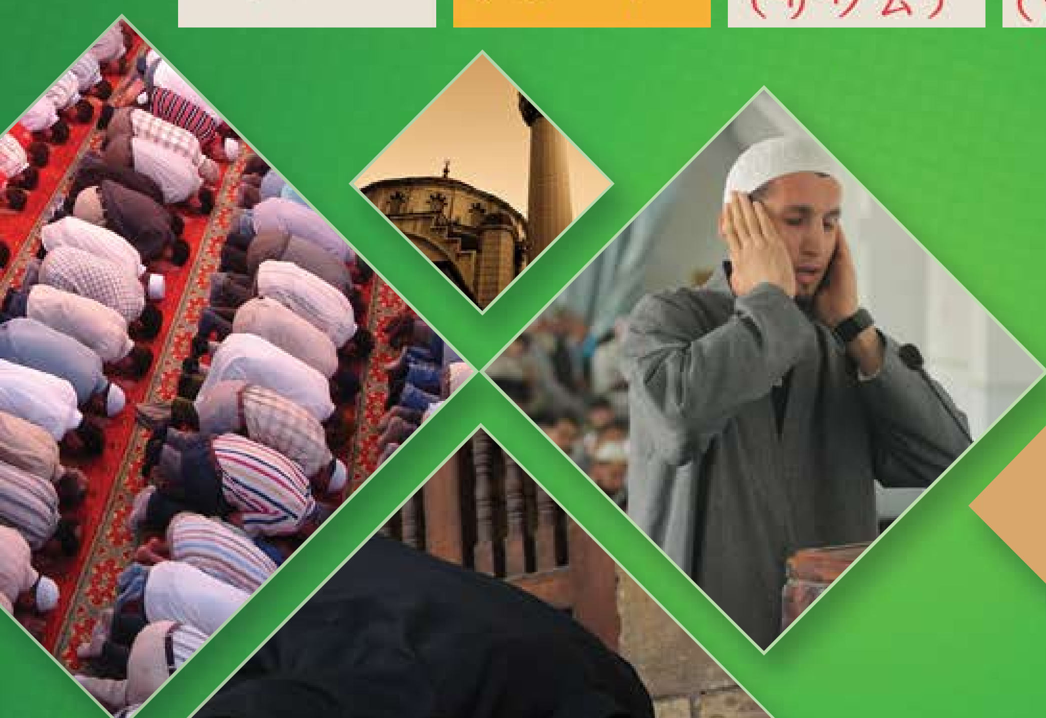
（イマームが）ムフディス（ムフディス：タハーラ（清浄な状態）にない者）の後ろでの礼拝は、その不浄が礼拝を完了するまで分からなかった場合を　除き、許されない。この場合、マァムーン（イマームに従う礼拝者）の礼拝は有効ですが、イマームは礼拝をやり直す義務があります。

東京モスク

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒 （サウム）	礼拝 （サラート）	タハーラ （清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

イスラーム法（シャリーア）で免除される者の礼拝

第13課 イスラーム法（シャリ—ア）で免除される者の礼拝

シャリ—アで免除される者の定義

シャリ—アで免除される理由：
病気、旅行、恐怖

目 次

1．病人の礼拝

病人はその能力に応じて礼拝を行うべきです。もし健康な人のように行う事ができるなら、そのように礼拝し、もしできないのであれば、その能力に 応じて行います。

病人は、立つことが出来れば立って礼拝しなければなりません。立つことが出来ないなら、座って礼拝し、座ることができないのなら、顔をキブラに向けて横になり礼拝をします。横になれない時は、仰向けに寝てその時、可能であれば、両足をキブラに向けます。それも出来ない時は、その状態に合わせて礼拝します。

前述の根拠は、クルアーン

｛だから出来る限りアッラーを畏れな　さい，｝
[騙し合い（アッ・タガーブン)章16節]

とイムラーン・ビン・フサインの伝えるハディース　立って礼拝しなさい。それが出来ないなら、座った状態で、それができないなら、横になって礼拝しない。　（ブハーリーの伝承）

病人の礼拝に関するいくつかの規定

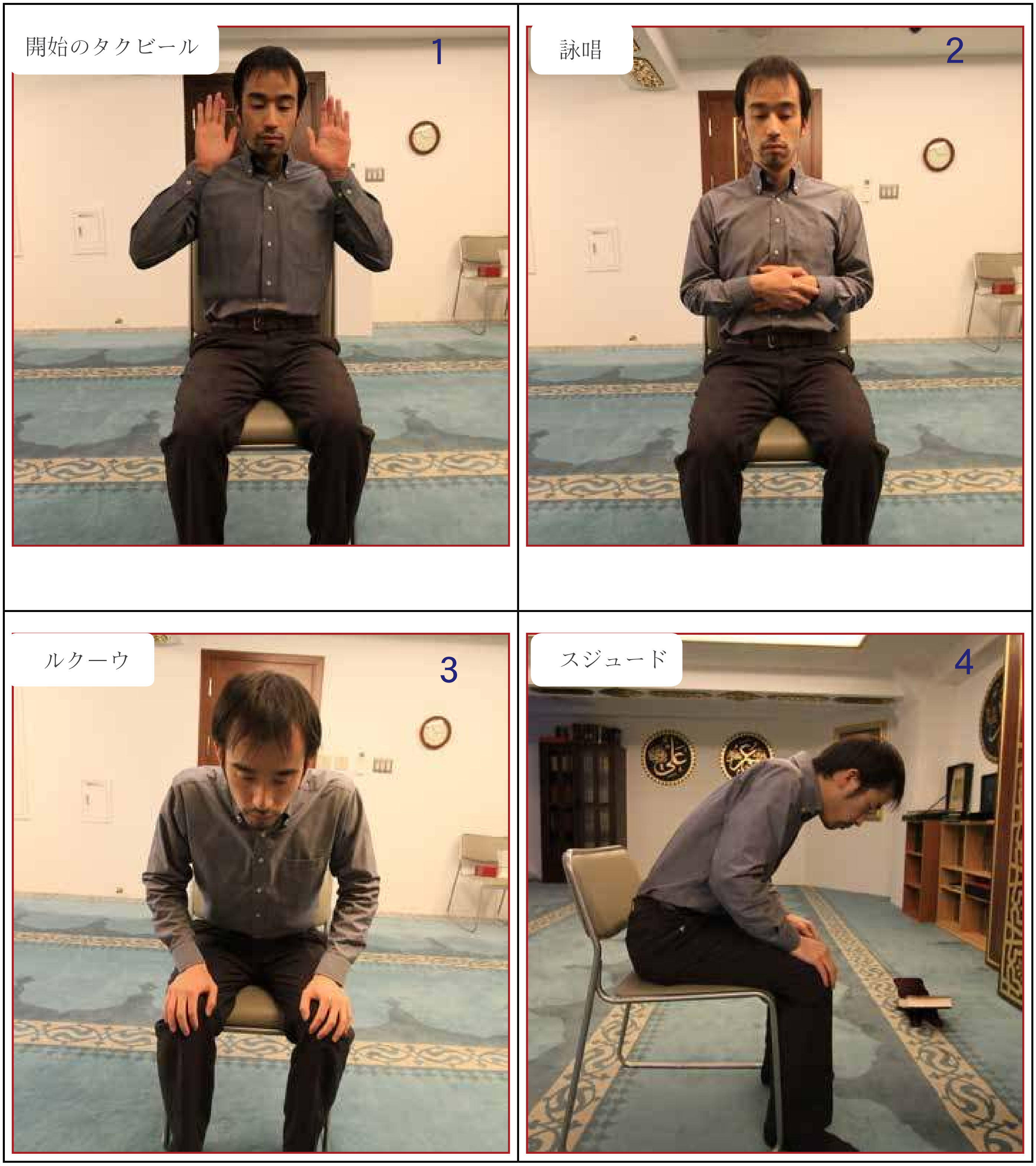
1．病人が座って礼拝を行う時、スジュードが可能であれば、スジュードが義務として課されます。

2．座って礼拝を行う　時、スジュードができない場合は、スジュードとルクーウについては体で示します。スジュードはルクーウより低くなります。もし体で示すことが困難な場合は、頭を使って示します。同様に仰向けで礼拝する場合も、頭で示します。

3．病人が礼拝度にウドゥーを行うことが困難な時や、それぞれの礼拝の時間内に礼拝をすることが困難な場合は、ズフルとアスルを纏めたり、マグリブとイシャーを纏めて、それぞれ都合の良い最初（の礼拝）か次の（礼拝の）時間に纏めて行うことができます。

4．病人は正気である限り礼拝は免除されません。従って病人は病気を理由に礼拝を怠るべきではありません。礼拝を行うように可能な限りの努力をしなければなりません。

5．もし病人が数日間　意識を無くした後、意識が回復した場合は、その時の能力に応じて、礼拝を行います。意識を無くしていた時の礼拝をやり直す必要はありません。しかし1日か2日間のような短い期間の意識の喪失なら、カダー（取り戻し）の礼拝が容易に出来るときに義務となります。


開始のタクビール
1
詠唱
2
ルクーウ
3
スジュード
4

2.旅行者の礼拝

旅行者には4ラカアの礼拝（ズフルとアスルとイシャー）を2ラカアに短縮することが決められています。（またズフルとアスル、そしてマグリブとイシャーの礼拝を連結することができます。）それは次の一節　｛あなたがたが地上を旅する時，もし信仰のない者たちに，害を加えられる恐れのある時は，礼拝を短縮しても罪はない。誠に不信者は，あなたがたの公然の敵である。｝[婦人（アン・ニサーウ)章:101節]

とアナス・ブン・マーリクの次の言葉によ　ります。　我々はアッラーのみ使いと一緒にマディーナからマッカへと出かけました。かれは、マディーナに戻るまで我々と2ラカアの礼拝をしていました。　（ナサーイーの伝承）

旅行で意図されるものは？

通常、旅と名付けられるものは全て旅行とみなされ、そこでは礼拝が短縮されます。



礼拝の短縮

1．旅行者にとって礼拝の短縮は住んでいる土地の住居を離れた後に始ま　る。そして住んでいる土地にいる間はその短縮は許されません。何故なら、預言者は自身の町から出た後以外は短縮しなかったと伝えられているからです。

2．旅行者がある地域に到着し、そこに4日以上の滞在を望んだ時、短縮せずに完全な礼拝を行うことが義務となります。しかし、4日間以内の滞在を意図する場合は短縮することが許可されます。また定まった滞在期間を決めず業務が完了したら戻るという目標がある場合は、例え4日より長く滞在したとしても、戻るまでの短縮が許可されます。

3．旅行者は、在住イマームの背後で礼拝する時、例え（イマームによって先導される礼拝の）1ラクアしか一緒に礼拝できなかったとしても、通常の礼拝を行うことが義務です。

4．もし在住者が礼拝を短縮している旅行中のイマームのの後ろで礼拝するなら、イマームのタスリーム（礼拝の最後の挨拶）の後に（短縮することなく）自分の礼拝を最後まで終えることが義務となります。



2つの礼拝を纏める

1．旅行者と病人は、ズフルとアスルをそのどちらかの時間帯に纏め、マグリブとイシャーをそのどちらかの時間帯に纏めて行うことが許されます。2つの礼拝を初めの礼拝の時間帯に纏めて行う事を「ジャムウ タクディーム」（先行 させた纏め）と呼び、2番目の礼拝の時間帯に纏める事を「ジャムウ　タァヒール」（遅らせた纏め）と呼びます。

2．マスジドで礼拝する者には雨が降って（外出が）困難な理由で礼拝を纏めて行うことが許されます。しかし女性のように家で礼拝する者は、礼拝を纏めて行うことは認められません。

3．必ずしも礼拝の短縮と纏めを一緒にする必要はありま　せん。短縮し纏めて行うこともあれば、短縮せずに纏めて行うこともあります。

バス（乗り物）で旅行する者の礼拝

1．任意の礼拝の場合：

この礼拝は、免除の理由があってもなくても、どのような形で行われても有効です。それは次の伝承によるものです。　アッラーのみ使いはラクダがどの方角を向いていたとしてもラクダに乗った状態で任意の礼拝を行いました。（ブハーリーの伝承）

2．義務の礼拝の場合：

礼拝のために（乗り物から）地面に降りられない、あるいは降りても再び乗ることができない、もしくは敵による命の危機を感じたり、そのようなことがある場合は、その（乗り物に乗ったままの）礼拝は有効です。しかしこれには次のようないくつかのケースがあります。

a）たとえば船の中にいたような場合、キブラに向き、スジュードとルクーウができる時は、通常のやり方での礼拝が義務となります。なぜならそのように行うことが可能だからです。

b）キブラに向くことができるが、スジュードとルクーウができない場合は、タクビール　イフラーム（礼拝　の最初のタクビール）の時にキブラに向くことが義務となります。それからは乗り物が向かう方角に従って礼拝し、ルクーウとスジュードは身振りで行います。



3．サラートル・ハウフ（恐怖または危 険な状態の時の礼拝）

サラートル・ハウフは旅行中でもそれ以外の時でも全ての合法的な戦いにおいて、許可されています。この合法性はクルアーンとスンナに示されています。

1．クルアーンからは、アッラーの次の言葉です。｛あなたがかれら（信者）の中にあって，かれらと礼拝に立つ時は，（まず）かれらの一部をあなたと共に（礼拝に）立たせ、そしてかれらに武器を 持たせなさい。かれらがサジダ（して第1のラクア「礼拝の単位」）を終えたならば，あなたがたの後へ行かせ，それからまだ礼拝しない他の一団に，あなたと共に礼拝（の第2のラクア）をさせ（て礼拝を終わり），かれらに武器を持たせ警戒させなさい。｝[婦人（アン・ニサーウ):102節]

2．スンナについては、アッラーのみ使いがサハーバ（教友）たちと一緒に行った礼拝　と、彼の後にサハーバ（教友）たちが行った礼拝（がその根拠）です。

サラートル・ハウフの特質

恐怖は礼拝のラクア数に影響を与えません。その礼拝が今住んでいる所で行われるのなら、通常通りの完全な形で行います。もし旅行中であれば、短縮で行われます。異なる所は、そのやり方です。そのやり方についていくつかの方法は伝承されていますが、全て許可されています。

ただしこの礼拝を正当化する恐怖は次の　二つの状況のいずれかになります。

第1の状況：敵の攻撃の恐れがあること：

礼拝は、預言者によって伝えられた方法のどの方法でも行う事ができます。最も有名なものはサハル・ブン・アブー・ハスマの伝承によるハディースに述べられています。それは　イマームは人々を2つの集団に分割します。一つの集団は護衛として敵に向かわせ、別の集団は初めのラクアをイマームと一緒に礼拝し、　イマームが２回目のラクアを行う為に立つ時、（礼拝をしていた）集団はイマームから離れ自分で礼拝を完了するニーヤ(意思決定)をして離れて礼拝を続けタスリームを行い礼拝を完了します。それから護衛のために敵に対峙しに行きます。代って初めに（防衛していた）1団がやって来てイマームと共に第2のラクアを行います。イマームがタシャッフドのために座ったとき後ろの集団は立って自分たちの礼拝を続けます。その時イマームは、彼らを待っています。彼らが座ってタシャッフドをするとイマームは、彼らと一緒にタスリームをして礼拝を終わります。　（ブハーリーの伝承）

このやり方は、旅行中や居住地でのファジュルの礼拝のやり方です。しかし、それ以外の礼拝で居住地やマグリブの礼拝の時は、イマームは最初の集団と２ラクアを行い、その後その集団はイマームから離れるニーヤを行い、残りの礼拝を自分たちで行いタスリームでその礼拝を完了します。それから彼らはそこを去り、第二の集団が代　わりにやって来ます。イマームは、彼らと一緒に残りの礼拝をします。イマームがタシャッフドのために座って礼拝を自分で完了する時、後ろの集団は彼から離れて礼拝をするニーヤをしタシャッフドをするために座るまでイマームは彼らを待ち最後のタスリームを行い、彼らも続いてタスリームをして礼拝が完了します。

第2の状況：恐怖心がより強くなり、礼拝が（クルアーンやハディースで）命じられたように行えない時

この状態では可能な　らば、キブラに向かい乗り物に乗ったり、両足で立ったまま礼拝を行います。出来なければ、どの方角でも向かって礼拝します。イブン・ウマルは伝えました。　恐怖心がより強くなった時、キブラを向いたり、違う方向を向いたりして彼らは両足で立ったり、乗り物に乗ったまま礼拝を行いました。（ブハーリーの伝承）

その時、彼らは、スジュードとルクーウは、身振りで示していました。それで歩いている時や、飛行機や戦車の乗っている時には、そ　の状況に従って礼拝します。それは戦場や戦闘が激しいなかでの状態だったり本来の形での礼拝を行うことが出来ない時と同じになります。このことは次のアッラーの御言葉によって証明されます。　あなたがたが，恐れある時は徒歩または騎乗のまま（略式の礼拝をしなさい）。｛あなたがたが，恐れある時は徒歩または騎乗のまま（略式の礼拝をしなさい）。｝［雌牛（アル・バカラ)章：239節］





飛行機の中での礼拝



戦艦の中での礼拝



戦車の中での礼拝

シャリーア（イスラー ム法）の容易さ

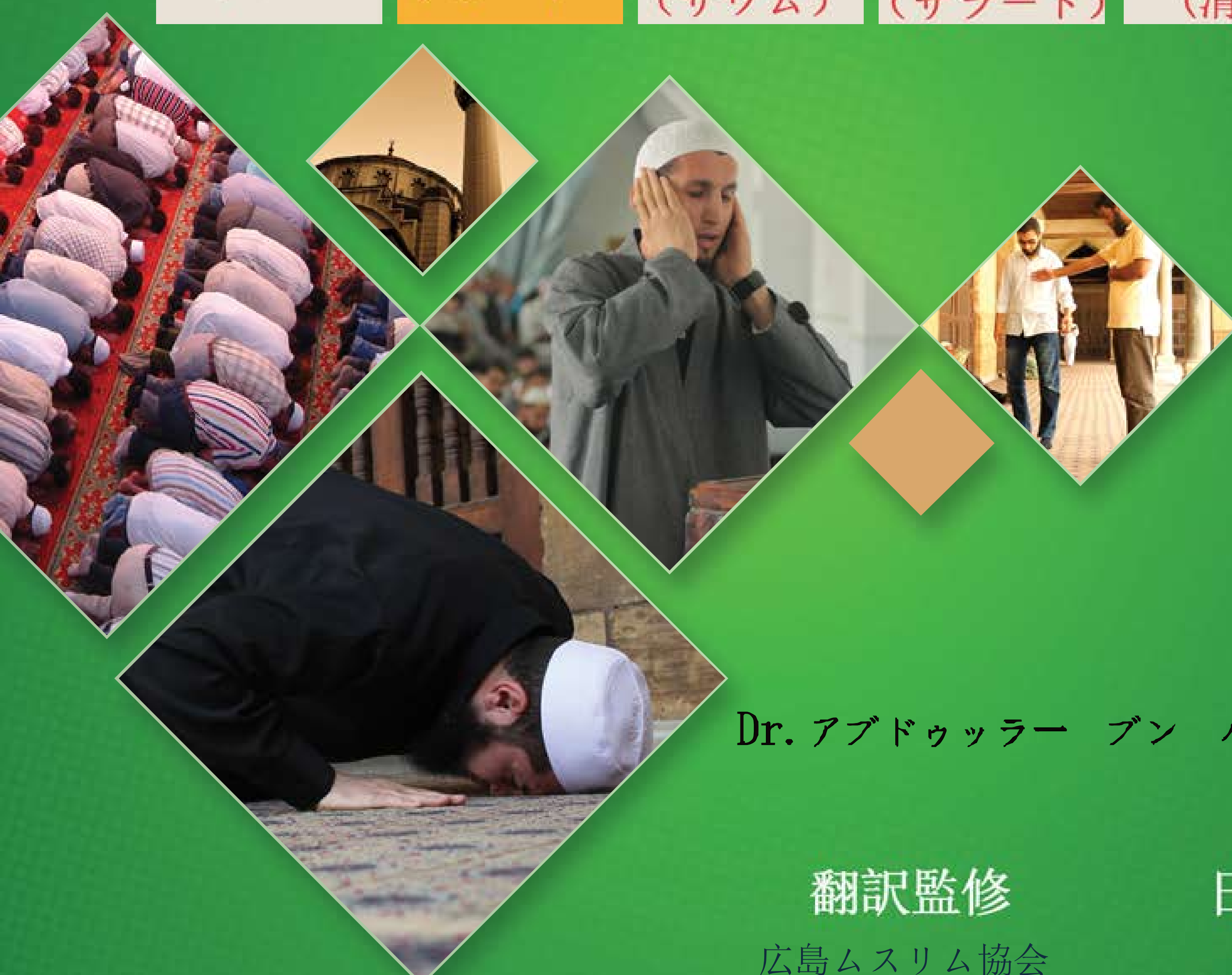
シャリーアの最も重要な特徴のの中から慈悲と容易さ、そして困難を取り除くことがあります。これはシャリーアにおける「困難は容易さを引き出す」という全体的な基本となるものです。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

（サラートル・ジュムア（金曜礼拝

第14課



サラートル・ジュムア（金曜礼拝）

サラートル・ジュムアの規定

サラートル・ジュムアは、成人で、分別があり、その土地の住人 で、その礼拝が免除されていない全ての男性ムスリムに課されるファルド・アィン（各自の義務）です。

その根拠は、次のことによります。

1．クルアーンのアッラーの言葉。 ﴿あなたがた信仰する者よ，合同礼拝の日の礼拝の呼びかけが唱えられたならば，アッラーを念じることに急ぎ，商売から離れなさい。もしあなたがたが分っているならば，それがあなたがたのために最も善い。﴾［合同礼拝（アル・ジ ュムア)章 :9節）］

2．預言者の言葉。 人々が、金曜礼拝を放棄するようになるか、アッラーが彼らの心に封をしたら、それからは、きっと怠慢な者達の仲間となるであろう（ムスリムの伝承).

サラートル・ジュムアが義務ではない者

サラートル・ジュムアは女性、子供、旅行者、それに参加するのが困難な病人には義務ではありません。しか しそれらの人々が他の人と一緒に参加した場合は、その報償は彼らにもあります。もし彼らが参加できなかった時には、いつものズフルの礼拝をおこないます。

目 次

旅行者



子供





女性



病人

ヤウムル・ジュムア（金曜日）の徳

金曜日は一週間のうちで最良の日です。アッラーは、他の共同体がそれから迷い去った後で、この共同体にそれを選びました。その日の徳については　金曜日は一週間のうちで最良の日です。アッラーは、他の共同体がそれから迷い去った後で、この共同体にそれを選びました。その日の徳については

1．預言者は述べました。　　　太陽が昇った最も素晴らしい日は金曜日です。その日、アーダムが創造され、その日、彼は楽園に入れられ、そしてその日、そこから追放されました。
（ムスリムの伝承）

2．アブー・フライラは預言者が次のように語ったと伝えています。　　グスル（全身沐浴、大浄）を行ってから、　金曜礼拝に参加し任意の礼拝を行い、イマームが説教を終えるまで耳を傾け、それから一緒に礼拝を行った者は誰でも、その日とその次の金曜日の間、また更に3日間を加えた期間の罪が許されるでしょう。　（ムスリムの伝承）

3．アブー・フライラは、アッラーのみ使いは次のように述べたと伝えています。　一日五回の礼拝と金曜から次の金曜に至るま　でとラマダーンから次のラマダーンまでの間には、大罪を犯さなければ、罪の償いがあります。
（ムスリムの伝承）

4．フザイファ・ブン・アルヤマーニはアッラーのみ使いの言葉を伝えています。
アッラーは我々以前の民を、金曜日から（他の日に）移しました。それでユダヤ教徒達には土曜日が、キリスト教徒達には日曜日が（礼拝の日）として定められました。そしてアッラーは我々をつれてきました。それでアッラーは我々を金曜日へ導いたのです。そして（礼拝の日は）金曜、土曜、日曜の順におかれたのです。このように復活の日には彼等は我々に続くのです。我々は世界の民族の中で最後の者たち（啓典の民）ではあるが、復活の日は、全ての人々よりさきに審判される最初の者たちです。
（ムスリムの伝承）

5．ヌウマーン・ブン・バシールマンの伝　　承によると　　　預言者は2つのイード（２大祭）の礼拝と金曜礼拝では、至高者章と圧倒的事態章を詠みました。またもしイードと金曜日が同じ日になったら、両方の礼拝でそれを詠みました。
（ムスリムの伝承）

6．太陽が昇った最も素晴らしい日は金曜日です。その日、アーダムが創造され、その日、彼は　そこから追放され、その日、彼の悔悛が受け入れられ、その日、亡くなりました。そしてその日、終末が起きます。その金曜日の夜明けから太陽が昇るまで人間とジンを除いた全ての動物は、終末を恐れて待ちます。またその日（金曜日）の中にムスリムのしもべがアッラーに必要なものを願って礼拝しアッラーがそれを与える時間があります。カアブは尋ねました。それ　は一年に一日でしょうか？私は言いました。「いいえ、毎週金曜日です。」カアブはタウラート（ユダヤ教の啓典）を読んで言いました。預言者は真実を述べました。アブー・フライラは言いました。それから私はアブドゥッラー・イブン・サラーム（ユダヤ教からの改宗ムスリム）に会い、カアブと同席したことについて話しました。アブドゥッ　ラー・イブン・サラームは言

いました。確かに私はその時間（終末）の兆候を知っています。アブー・フライラは言いました。私は彼に言いました。それでは私にそれがいつなのか教えて下さい。アブドゥッラー・イブン・サラームは言いました。それは、金曜日の最後の時間です。私は言いました。どうしてそれが金曜日の最後の時間になるのですか？かつてアッラーのみ　使いが、ムスリムのしもべは、礼拝している時以外にはそれに会わないとおっしゃいました。なのにその時間は礼拝していない時間です。アブドゥッラー・イブン・サラームは言いました。アッラーのみ使いは礼拝を座って待つ者は礼拝するまで礼拝中であると言われなかったですか？彼は言いました。私ははいと言うと、彼はそれがそうです。」と言いましした。（Eb dawud r wayet kiriye）

7．「本当に最良の日は金曜日（ジュムアの日）です。故にその日は、私に沢山のドゥアーをしなさい、何故なら本当にあなた方のドゥアーは私に示されるでしょう。」彼らは言いました。「あなたの体が朽ちてしまった時、どのように私達のドゥアーが示されるのでしょうか？」彼は言いました。　至高なるアッラーは大地に預言者たちの身体を（腐敗から）　禁じました。（アブー・ダーウードの伝承）

金曜礼拝成立の条件

1．時間：他の義務の礼拝と同様に、その時間の前やその時間が終わった後の礼拝は無効です。その時間はズフルと同じです。

2．集団の参加：独りでの礼拝は無効です。集団の最小人数は3人です。

3．住人であること：　それは季節によって移動しない、住居がある村などに住んでいることで、移動テントで暮らす遊牧民に関しては、この礼拝は義務ではないが、行えばそれは有効になります。

4．礼拝の前の２つのホトバ（説教）：預言者がそれを続けていたことによります。

金曜礼拝（サラートル・ジュムア）の特質

ジュムア礼拝は声に出して朗誦する2ラクアの礼拝です。初めのラクアでファーティハ章の後にアル・ジュムア章を、そして第2のラクアでは、ファーティハ章の後に偽信者たち



遊牧民



ジュムアの時間



金曜礼拝は集団で行われる

（アル・ムナーフィクーン)章を、あるいは初めのラクアで至高者（アル・アアラー)章、第2のラクアで圧倒的事態　（アル・ガーシヤ)章を朗誦することはスンナです。

アン・ヌ’マンの伝承　によると預言者は2つのイード礼拝と金曜礼拝の為に至高者章と圧倒的事態章を詠みました。またもしイードとジュムアが同じ日になったら、両方の礼拝でそれを詠みました。（ムスリムの伝承

2つのホトバ（説教）

その規定

2つの説教は、義務です。そしてそれは礼拝が成立するため条件です。もし参加者の大部分がアラビア語が理解でき、その文章の意味を理解することができるのなら、アラビア語で説教が行わ

れます。これはアラビア語の学習を促進することと預言者の導きに反しない為です。しかし、大多数の出席者がアラビア語を理解できないならば、他の言語で行われても構いません。なぜなら説教の本質は教育と指導にあり、ただ演説をすることではないからです。その時、イマームは、クルアーンをできるならアラビア語で述べ、それからその意味を翻訳します。

説教を完成させる要素

ジュムアの説教には柱（必然的要素）はありませんが、一般的に説教としての名が付けられるものの要素を備えています。しかし、説教を完成させるものとして説教師は、以下の要素を盛り込むべきです。

1．アッラーへの称賛

2．二つの信仰告白（シャハーダ）

3．アッラーのみ使い（彼に平安と恩恵がありますように）への祝福

4．アッラーへの恐れ（タクワー）を命じること

5．クルアーンを朗誦

6．訓戒

2つの説教の好ましい行為

1．ミンバル（説教壇）で説教をする

2．ハティーブ（説教者）は説教壇に上がったときにサラームを言うこと

3．２つの説教の間を少し着座することで分けること

4．それら二つを短くすること

5．それらの中で嘆願（ドゥアー）すること

金曜礼拝で禁じられる行為

1．ジュムアの日はイマームが説教をしている時に話をすることは次の預言者の言葉により禁じられています。　あなたが、ジュムアの日にイマームが説教をしている間、連れの者に「静かにしなさい」と言ったら、あなたは無意味なことを話しました。（ブハーリーの伝承）

2．人を跨ぐことは、嫌われる行為です。しかしイマームであるかあるいは空いた場所へ行くにはそうせざるを得ない時は、許されます。



ジュムアに間に合うこと

ムスリムは、金曜礼拝には急いで、早く行くことが求められています。もし礼拝に遅れた時には、イマームと一緒に第二ラクアのルクーウを行えればジュムアの礼拝を完了することが出来ます。もしそれに間に合わなければ、その礼拝はズフルの礼拝として完了します。それゆえジュムアを寝過ごしたりして出来なかった者は、ズフルの礼拝を行います。つまりそれは４ラクアの礼拝になります。

ジュムアの日（金曜日）に推奨されること

1．ジュムアの日に洞窟章を詠むこと。預言者は次のように語りました。　ジュムアの日に洞窟章を詠む者は誰でも２つのジュムアの間にあるものを光が照らします。（ハーキムの伝承）

2．預言者へ祝福の言葉を多くすること。アブー・マスウード・アル・アンサリーの伝承によると、預言者は次のように語りました。　ジュムアの日は、私に祝福の言葉を多くしなさい。何故ならジュムアの日に私を祝福する者は、その祝福が私に示されるでしょう。（ハーキムの伝承）

３．グスル（沐浴）と香水を付けること。預言者は次のように語りました。　ジュムアの日にグスルを行い、できるだけ身を清めて、自らの身体に油や香水をぬり、マスジドへ出掛け、マスジドの中で座って待つ人々を分けて座ることをせずに、任意の礼拝を行い、イマームが説教をする間は沈静を保つ者は、次のジュムアまでの間の全ての罪が許されるでしょう。　（ブーハーリーの伝承）

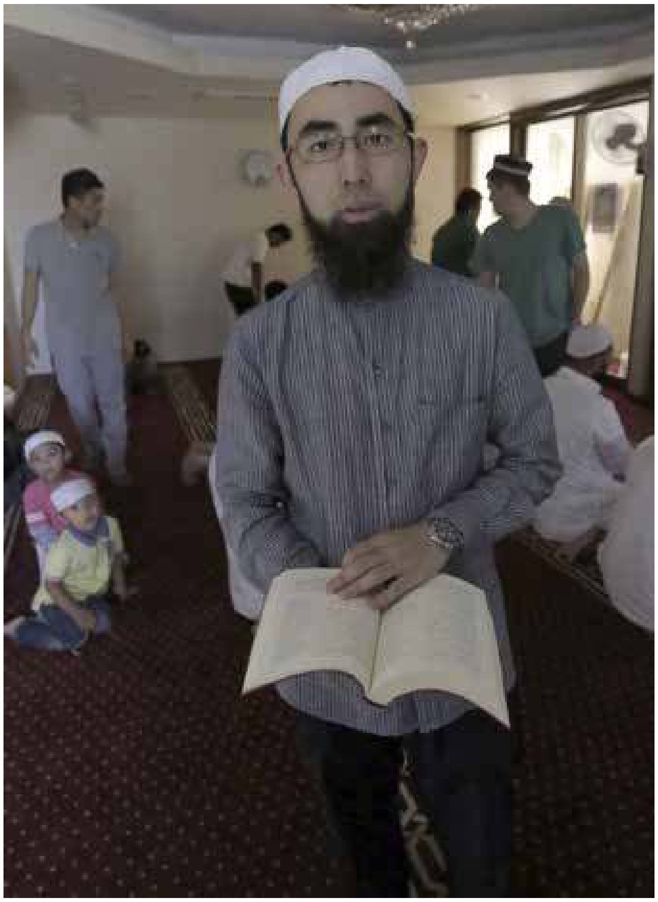
ジュムアについての要請

１．アッラーのみ使いの説教壇のように説教壇は、3段にすることはスンナです。

２．スーラトゥル・ジュムア（ジュムアの章）と呼ばれる　　ものはスンナの一部ではありません。それはジュムアの前に礼拝者たちが座ってアザーンを聞くまでマイクを使ってクルアーン朗誦者の詠むクルアーンを聞くことや、集団でナシーダ（宗教歌）やズィクル（唱念）を唱えたりすることです。　また預言者の時代とその後のカリフ・アブーバクルとウマルの時代にそうであったように、アザーンは、イマームがミンバル（説教壇）に座た時の1度だけでなければなりません。何故なら現在は礼拝の開始を容易に知ることができるので、かつてのカリフ・オスマーンがマディーナの市場で礼拝の開始時間を人々に知らせるために行っていたアザーンの理由はなくなったからです。



3段ある説教壇



３．もし礼拝者がマスジドに到着した際に、イマームが既に説教の最中だった場合、座る前に短い2ラクアの礼　拝を行います。これは預言者の次の言葉によります。　ジュムアの日にマスジドに来た時、イマームが説教を行っていたら、2ラクアの礼拝を行い、その礼拝も長くてはいけません。　（イブン・フザイマの伝承）

４．ハティーブ(説教師)は、ドアー(祈願)の時、人差し指でそれを示し、雨乞いの礼拝（サラート・イスティス　カー）や雨を止めるドアーを除いては、両手を上げません。それはフサィン・イブヌ・アブドッラフマーンの伝える伝承によります。　私はアッラーの御使いが、説教をしているのを見ました。彼はこれこれと言ってドアーを行っていた時、人差し指でそれを示していました。（アフマドの伝承）



人差し指で示すイマーム

5．ジュムアの礼拝の　前にはスンナの礼拝はありません。しかし、アザーンの前に一般的な任意の礼拝を行う事が推奨されます。預言者は述べました。　　ジュムアの日にグスル（大浄）を行い、できるだけ自ら清浄に、自らの身体に油や香水をぬり、マスジドへ出掛け、マスジドの中で座って待つ人々を割って入らず、任意の礼拝を行い、イマームが説教をする間に沈静を保つ者は誰でも、次のジュムアまでの間の全ての罪が許されるでしょう。　（ダーリミーの伝承）

6．ジュムアの後には、2ラクアのスンナの礼拝を行います。イブン　ウマルの伝承によると　アッラーのみ使いはジュムアの後に彼の家で2ラクアの礼拝を行いました。」あるいは次の預言者の言葉では、4ラクアの礼拝をしました。（集団による伝承）ジュムアの後に　礼拝を行う者は、4ラクアの礼拝を行いなさい。　その場合、最も良いのは礼拝を家で行うことです。（ムスリムの伝承）

7．イード（大祭）とジュムアが同じ日になった場合、両方の礼拝を行うことは最も良いことです。それでもしイードの礼拝を行なったら、少なくともズフルの礼拝を行わなければなりません。ただし中央マスジドから非常に離れている　町の住人が、イードの礼拝をした場合は、ジュムアの為に再び戻らなくても許されます。これはイヤース・イブヌ・アビーラムラ・アッシャーミーの伝承によります。「私はムアーウィヤがザイド・イブン・アルカムに次のように尋ねるのを見ました。あなたは預言者様と（同じ日に）2つのイード（ジュムアとイード）の礼拝に参加しましたか？」ザ　イドは応答しました。「はい。彼は朝の早い時間にイードの礼拝を行い、ジュムアの礼拝については参加しない事を許可し、言いました。「ジュムアの礼拝にも参加したい者は誰でもそうさせてあげなさい。　（アフマドの伝承）



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







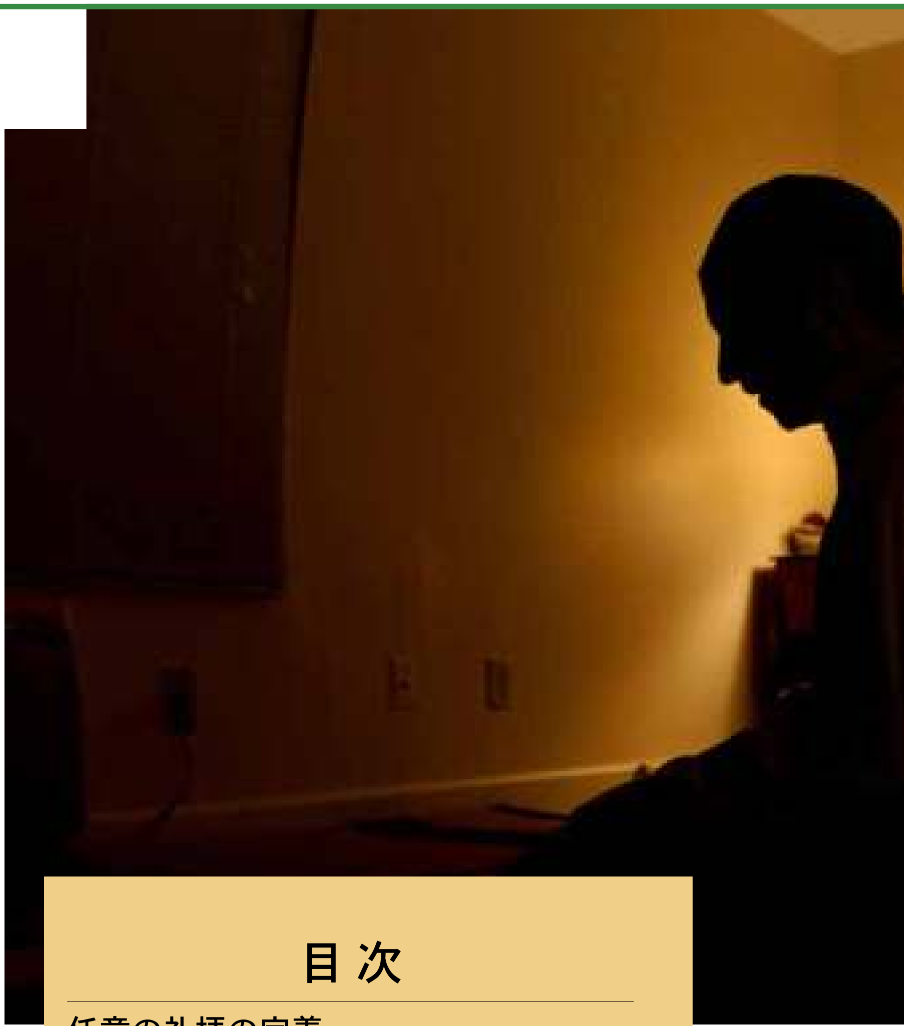
Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

任意の礼拝

第１５課　任意の礼拝



任意の礼拝の定義

任意の礼拝：

この礼拝は、義務ではありません。

任意の礼拝の美徳

１．任意の礼拝はアッラーが彼のしもべをより愛する理由になります。これについては、次の至高なるアッラーの言葉、ハディース・クドゥスィー（神聖ハディース）に記述があります。　私（アッラー）のしもべは任意の礼拝によって、私がかれらを愛するまで私に近付き続けています。したがって私がしもべを愛する時、私は彼が聞く耳、見る眼、握る手、歩く足となります。もし彼が私に願うならば、私は彼にそれを与えます。もし私に保護を求めるならば、私は彼を保護します。　（ブハーリーの伝承）

２．任意の礼拝は義務の礼拝の不足な点を補います。預言者は言いました。　本当に審判の日に最初に審判される人間の行いは礼拝です。我らの主（崇高な御方）は、天使たちにかれのほうが天使よりもご存じであるのに、こう言います。：「私（アッラー）のしもべの礼拝を見なさい。かれは完璧に行ったか、それとも不足があったでしょうか？」もし完璧であれば、そう記されるでしょう。しかし、いくらかでも不足な点があれば、アッラーは仰せられます。「見なさい。私のしもべは任意の礼拝を行いましたか？」もし行っていれば、アッラーは仰せられます。「私のしもべのために彼の義務の礼拝を任意の礼拝で完了させなさい」そして残りの行為も同じように扱われます。（アブー・ダーウードの伝承）

任意の礼拝は家で行われることが最も良い

任意の礼拝は、例えばラマダーン月のタラウィーフのように集団で礼拝する事が推奨されているもの以外はマスジドで礼拝をするより家で礼拝することがより良いことです。預言者は申されました。　本当に人が行う最良の礼拝は、義務のものを除いて家で行われるものです。（ブハーリーの伝承）.

目次

https://www.al-feqh.com/ja



任意の礼拝の種類

任意の礼拝には沢山の種類があります。そのうちの重要なものは以下の通りです：

第１：スンナの礼拝（スナヌ・ラワーティブ）（ラワーティブ:ラーティバの複数形で、恒常的な物事）

これらは義務の礼拝に付属するスンナで、スンナ・ムアッカダ（確実なスンナ）と呼ばれる。

これらのスンナの礼拝の総数は10または12のラクアです。それらは次の通りです：

－ ファジュルの前の2ラクア

－　ズフルの前の4ラクアか２ラクアまたその後の２ラクア

－ マグリブの後の2ラクア

－ イシャーの後の2ラクア

イブン・ウマルの伝承によると、彼は言いました。　私は預言者から10ラクアだと学びました。ズフールの前の2ラクアとその後の2ラクア、家で行うマグリブ後の2ラクア、家で行うイシャー後の2ラクア、そしてスブフ（ファジュル）前の2ラクアです。　（合意の伝承）

またこれに類似する伝承がアーイシャから伝えられていますが、それではズフル前は4ラクアです。（ムスリムの伝承）

義務の礼拝前のスンナ	義務の礼拝	義務の礼拝後のスンナ
2ラクア	ファジュル	＿＿＿
4ラクア	ズフル	2ラクア
＿＿＿	アスル	＿＿＿
＿＿＿	マグリブ	2ラクア
＿＿＿	イシャー	2ラクア

預言者が行った旅行中もしくは自宅における最良のスンナの礼拝はファジュル前の2ラクアです。これはアーイシャが語った次の伝承によります。　預言者様は、任意の礼拝でファジュルの前の2ラクアの礼拝程、強く課していた礼拝はありませんでした。（合意の伝承）

義務の礼拝を妨害しないように2ラクアの礼拝を短縮することはスンナです。これはアーイシャが語った次の伝承によります。　預言者様は、いつもスブフの前の2ラクアの礼拝を短縮したものでした。それは私が彼はウンムル・キターブ（啓典の母：アルファーティハ章）を朗唱しましたか？と言う程でした。（ブハーリーの伝承）

ファジュルのスンナ（2ラクア）のカダー（取り戻す礼拝）は許可されています。：

１．スンナを行わなかったら、スブフの礼拝後にそれを行うこと。カイス・イブヌ・アムルの伝承によると「アッラーのみ使いはスブフの礼拝の後で２ラクアの礼拝をしている男を見て言いました。　スブフの礼拝は2ラクアです。」その男は言いました。「その前の2ラクアの礼拝を行いませんでした。それで今、それを行ったのです。」するとアッラーのみ使いは沈黙されました。（アブー・ダーウードの伝承）

2．日の出後に行うこと。これは次の預言者の言葉によります。　ファジュル（前の）の２ラクアの礼拝を行わなかった者は、日の出後にそれを行いなさい。　（ティルミズィーの伝承）

要請

－　ズフルの後の4ラクアの礼拝の功徳は預言者の御言葉によって確定されています。　ズフルの前に4ラクア、ズフルの後に4ラクアの礼拝を行う者は、アッラーは彼が火獄に入る事を禁じるでしょう。（アブー・ダーウードの伝承）

－　ムアッカダ（確定された）スンナ以外のものでムスタハッバ（好ましい）スンナはアスルの前の4ラクアです。これは次の預言者の言葉によります。　アッラーは、　アスルの礼拝前に4ラクアの礼拝を行う者に慈悲をお与えになります。（アブー・ダーウードの伝承）

－　アスルとマグリブとイシャーの前の礼拝は確定されていないスンナとして定められました。これは次の預言者の言葉によります。　二つのアザーンの間には礼拝がありますと３回言って、３回目には、その後にそれを望む者にはと続けました。（合意の伝承）

－　忘却の為または寝過ごした為に逃したスンナの礼拝をやり直すことは許されます。それが礼拝を行う事が嫌われる時間であってもです。預言者がアスルの礼拝の後、ズフルに続くスンナの礼拝を逃した後にそうしたのが理由です。

第2：サラートル・ウィトル（奇数の礼拝）

その規定と功徳

サラートル・ウィトルはスンナ・ムアッカダ（確定されたスンナ）です。預言者は以下のように述べました。　本当にアッラーはウィトル（1つ）です。そして奇数のものを好まれます。ですからクルアーンの民よ！奇数の礼拝（サラートル・ウィトル）を行いなさい。（アブー・ダーウードの伝承）

かつて預言者はその礼拝を旅行中でも居住地でも行っていました。

サラートゥル・ウィトルの特質

1.サラートル・ウィトルの最小数は1ラクアで、最大数は11か13ラクアです。一度に2ラクアとづつ行い、そして最後に1ラクアを行い奇数の礼拝にします。

2.より完璧な形の最小ラクアは3ラクアです：まず初めに2ラクアの礼拝を行いタスリームを言います。それから１ラクアを行いタスリームを行います。または3ラクアを続けて行い1度のタシャフッドで礼拝することもできます。初めのラクアではファーティハ章の後に至高者章、第2のラクアで不信者たち章、第3のラクアで純正章を朗唱することが好ましいこととされています。これはウバイ・イブヌ・カアブの次の伝承によります。アッラーのみ使いはサラートル・ウィトルの最初のラクアで「サッビヒスマラッビカルアァラー（至高者章））、第2のラクアで「クルヤー　アイユハルカーフィルーン（不信者たち章）　そして、第3のラクアで「クルフワッラフ　アハド」（純正章）　を詠みました。（ナサーイーの伝承）



https://www.al-feqh.com/ja

サラートゥル・ウィトルの時間：

これはイシャーの礼拝の後から夜明け（ファジュル）までの時間です。夜の最後の3分の1に行うのが最も良いと言われています。これはジャービルの伝える次の預言者の言葉によります。　夜の最後の部分にウィトルの礼拝ができないことを恐れる者は、夜の初めにそれをしなさい。」また次の預言者の言葉によりウィトルは２回行いません。「１つの夜に２つのウィトルはありません。（アブー・ダーウードの伝承）　夜の最後に礼拝したい者は、夜の最後にウィトルの礼拝をしなさい。本当に夜の最後の礼拝は、証言されます。それはより良いものです。（ムスリムの伝承）

ウィトルのドアー（祈願）：

ウィトルの礼拝のドアーは、最後のラクアのルクーウの前に行われる。あるいはそこから立った時に行われる。その時、両手を上げ記述されているもので祈る。それは次のようなものである：アッラーフンマフディニー　フィーマン　ハダイトゥ。ワ　アーフィニー　フィーマン　アーファイトゥ。ワ　タワッラニー　フィーマン　タワッライトゥ。ワ　バーリク　リー　フィーマー　アァタイトゥ。ワ　キニー　シャッラ　マー　カダイトゥ。ファインナカ　タクディー　ワ　ラー　ユクダー　アライク。インナフ　ラー　ヤズィッル　マン　ワーライトゥ。ワ　ラー　ヤイッズ　マン　アーダイトゥ。タバーラクタ　ラッバナー　ワ　タアーライトゥ。意味：アッラーよ、あなたが導かれた者の中に私を導いて下さい。あなたが護った者の中で私を護って下さい。あなたがその諸事を引き受けられた者の中で、私の諸事をお引き受け下さい。そしてあなたが与えて下さったものにおいて私を祝福して下さい。そしてあなたが運命付けた悪から私を御護り下さい。あなたこそが判決を下されるお方で、判決される者ではありません。あなたは、あなたが保護された者を辱めることはありません。そしてあなたから敵対された者は、権勢を得ることはありません。私たちの主よ、あなたは祝福に溢れた崇高なお方です。（ティルミズィーの伝承）

（アブー・ダーウードの伝承）（ブハーリーの伝承）

ーイマームがドアーを行っているときマァムーンはその後ろで沈黙しています。そのドアーでは、アッラーへの「あなたは真実によって裁かれます。」といった称賛の言葉は除かれます。

要請

1．ウィトルの後に“スブハーナルマリキルクッドゥー　ス”（アフマドの伝承）（意味：聖なる王者に称えあれ）と３回繰り返し、すのがスンナです。3回目は声を伸ばし、大きく言うのがスンナです。また次の言葉を付け足すこともできますラッビルマラーイカティ　ワッルーフ。（意味：天使たちとジブリールの主に）

2．ドアーの後やウィトルやそれ以外でも顔を拭うことは定めれていません。何故なら預言者の言行には記録されていないから　です。

3．ウィトルのドアーは、一年中許可され、ラマダン月の後半だけに限定されません。それは全ての義務の礼拝においてまた、災難に見舞われた時にはすべての礼拝で推奨されます。

4．礼拝中にクルアーンを完読したことに対するドアーは定められていません。

逃したウィトルのサラートを日中に補うこと

日中に逃したサラートル・ウィトルを補う事が許可されています。その時は、同じ数のラクアを行います。アーイシャの伝承によると　アッラーのみ使いは痛みやその他の理由で夜に任意の礼拝を逃した場合は、日中に12ラクアの礼拝を行っていました。（ムスリムの伝承）



第3：タラーウィーフの礼拝（サラート・タラーウィーフ）

タラーウィーフ:それはラマダンの間に行われる夜の礼拝です。 タラーウィーフと名付けられたのは、人々が礼拝の長さの為に4ラクア毎に休みを取っていた（ヤスタリーフ）ことによります。

サラート・タラウィーフの功徳：

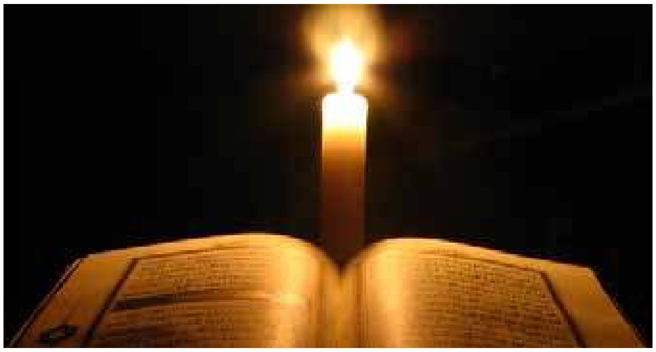
預言者はおっしゃいました。 ラマダーン月に信仰と報酬を求めて礼拝に立つ者は、彼の犯した罪は許されます。（合意の伝承）

タラーウィーフの規定

タラウィーフは祝福されたラマダーン月にアッラーのみ使いが定められたスン ナ・ムアッカダ（確定されたスンナ）です。それは預言者が彼の教友たちと共に預言者マスジドで数晩タラウィーフの礼拝を行いましたが、それからそれを中止しました。それが彼らに義務として課されることを恐れたからです。そして彼の死後、教友たちは、それを再開しました。（ムスリムの伝承）

サラート・タラウィーフのラクア数：

サラート・タラウィーフにおいて行われる最良のラクア数は11 です。何故なら預言者が一番多く行ったラクア数だからです。アーイシャの伝承によるとアーイシャは預言者がラマダーン中にどのように礼拝を行ったかを聞かれた際にこう答えました。 アッラーの預言者はラマダン中もそれ以外の時も11ラクア以上の礼拝は行いませんでした。（合意の伝承）



イシャ―のニーヤ（意図）でのサラート・タラーウィーフ

イシャーの礼拝に遅れてやって来た時、人々がタラーウィーフの礼拝をしていたら、イシャーのニーヤでその礼拝に加わります。そしてイマームがタスリームをした時、立ち上がって自分の礼拝を完遂します。

要請

1．夜間の礼拝（タハッジュド）は一年を通してスンナ・ムアッカダ（確定されたスンナ）です。それを放棄する事は、マクルーフ（嫌われる行為）です。アブドゥッラー・イブヌ・マスウードの伝承によると「アッラーのみ使いの処で、ある男の話になりました。同胞はこの男が朝まで睡眠を取り礼拝に起き上がる事なく、朝を迎えるだろうと言いました。そこでアッラーのみ使いは次のように述べました。 シャイターン（悪魔）が彼の耳に小便をしたのです。（合意の伝承） また人は夜間の礼拝に慣れた後に、それを辞めることは、マクルーフです。

アブドゥッラー・イブ ン・アムル・イブヌ・アルアースは言いました。「アッラーのみ使いは述べました。 アブドゥッラーよ！夜間の礼拝に立っていたのに、突然それを辞めてしまった誰それのようにはなってはいけません。



礼拝の為に起きる

２．就寝時に夜間の礼拝を行うニーヤを持つことは好ましいことです。そして目覚めた者が、睡眠から目が覚めた時の祈願（ドゥアー）を述べ、両手で顔から眠気を拭いさり、スィワーク（小枝の歯ブラシ）を使う事がスンナです。フザイファは伝えました。：アッラーのみ使いは夜間に礼拝に立った時は、口をスィワークで洗浄し（歯の上を通過させて歯を磨く）していました。」また天を見て、イムラーン家章の最後の10節を朗誦することはスンナです。　アブドゥッラー・イブン・アッバースはアッラーのみ使いの妻であり、父方の叔母であったマイムーナの家で夜を過ごしました。アブドゥッラーは言いました。「私はベッドの横向きに眠り、アッラーのみ使いと彼の妻は縦に横になりました。預言者は夜の半分かそれに近くまで睡眠を取りました。そして預言者は目を覚まし、顔から眠気を拭いました。ー別　の伝承では、彼は座り天を見たーそれからイムラーン家章の10節を朗誦しました。ー別の伝承ではイムラーン家章の最後の１０節を朗誦した」

夫は夜間の礼拝の為に目を覚ました時に、妻を起こす事は好ましい事とされています。妻も同じように夫を起こす事が勧められています。預言者は述べました。　夜、夫が妻を起こし2ラクアの礼拝を一緒にあるいは一人で行ったとしたら、二人はア　ッザーキルーンとアッザーキラート（意味：常にアッラーを正念する男性と女性たち）の中に記載されるでしょう。　（合意の伝承）（アブー・ダーウードの伝承）

３．夜間の礼拝で眠気に襲われた者は、それを中止し、眠気が無くなるまで、しばらく横になります。アーイシャの伝承によると預言者は次のように語りました。　礼拝の間　に眠気に襲われた時は、眠気が無くなるまで横になるべきです。うたた寝しながら礼拝を行ったとしたら、（眠気が原因で）罪の赦しを請う代わりに自分を責めてしまうかもしれません。　（合意の伝承）

４．イスティグファール（赦しを願うこと）とドアーは夜の後ろの３分の１に行うことが望ましい。これはアブー・ホライラの伝えた次の伝承によります。　アッラーのみ　使いはおっしゃいました。「アッラーは夜の後ろの3分の1になると、地球に一番近い天に降りてきて仰せられます。「私に祈る者には、私は彼に応えるます。私に求める者には、与えます。私に赦しを乞うものには、赦します。　（合意の伝承）

第4：サラート　ドハー（午前の礼拝）

これは、ドハー（午前）の時間に定められた礼拝です。

ドウーハの時間：

それは日が昇り槍の長さまでに上った時間から（この上昇は日　の出より約20分程です）、ズフルの礼拝の約15分もしくは20分前まで続きます。その最も良い時間は、次の預言者の言葉により、厳しい暑さが始まる時間とされています。　よく改悛する者たちの礼拝は、フィサール（フィサール：フ ァスィールの複数形。母ラクダから離されたばかりの子ラクダ。）（子ラクダ）の足が砂漠の暑さから焼ける（灼熱の砂でラクダの子供の蹄が焼けること）時です。　（ムスリムの伝承）

ドハー礼拝の美徳

ハディース・クドゥスィー（聖なるハディース）で至高のアッラーは仰せられました。　アーダムの息子よ、朝の早い時間に4ラクアの礼拝を私のために行いなさい。そうすれば私はあなたをその終わりの時まで守ります。（ムスリムの伝承）

ドハーの礼拝のラクア数

2、4、6または8ラクアの礼拝を行う事が許可されます。また2ラクア毎にタスリームを行うことが正しく、それは預言者の行いによります。

－　これは、身体のそれぞれの関節（元の意味は、指の骨と残りの手の平。その後、身体の全ての 骨と関節に使われるようになった。）にサダカ（施）を支払う手段の一つです。預言者は述べました。　毎日朝になるとあなた方は皆全ての関節や骨にサダカをすべきです。それはタスビーフ（スブハーナッラーと唱えること）の一つ　一つは施しですし、タフミード（アルハムドゥリッラーと唱えること）の一つ一つは施しですし、タハリール（ラーイラーハ　イッラッラーと唱えること）の一つ一つは施しですし、タクビール（アッラーフアクバルと唱えること）の一つ一つは施しです。また善行を奨めるのは施しですし、悪事を禁じるのも施しです。そしてドハーの2ラクアの礼拝もその一部です。　（ムスリムの伝承）

－　そこで4ラクアの礼拝を行う者は、アッラーは一日彼をお守りになります。ヌアイム・イブヌ・ハンマール・アルガタファーニーは次のように預言者が語ったと伝えた。「至高のアッラーは（ハディース・クドゥスィーで）申されました。 アーダムの息子よ！わたしの為に4ラクアの礼拝を1日の早い時間に行いなさい。そうすれば残りの時間あなたを守りま す。　（アフマドの伝承）

一集団でファジュルの礼拝を行い、日の出までアッラーを唱念した者はハッジとウムラの完全な報酬を得ます。預言者は言いました。　集団でファジュルの礼拝を行い日の出までアッラーを唱念（ズィクル）して座り、2ラクアの礼拝を行う者は誰でも、ハッジとウムラの報酬と同等のものを得るでしょう。」預言者は言いました。「完全に、完全に、完全に、（ティルミズィーの伝承をアル・バーニーが正しいと評価した伝承）

第5：サラート・タヒーヤトゥル・マスジド（マスジドに敬意を払う挨拶の礼拝）

これはマスジドに入った者が、座る前に行うよう定められた2ラクアの礼拝です。

その規定：

それはスンナ・ムアッカダ（確定したスンナ）です。その根拠は、次の預言者の言葉によります。　マスジドに入った者は、座る前に2ラクアの礼拝を行 いなさい。　（合意の伝承）

しかしスンナの礼拝や義務の礼拝がそれに代わることがあります。例えば、ズフルの礼拝のためにマスジドに入った者は、すぐにズフルの前のスンナの礼拝を行った場合、その礼拝は、タヒーヤトル・マスジドに代わったことになり、改めてその礼拝を行う必要はありません。



マスジドへの挨拶

第6：イスティハーラの礼拝

この礼拝は2ラクアに決められています。ア　ッラーのしもべが選択を求められる事柄で混乱した時、決断する前にアッラーの導きを求めて行う礼拝です。礼拝後、預言者様がサハーバ（教友たち）にルアーンの章を教えられたように、彼らに教えた特別な祈願（ドアー）を唱えます。

アッラーの導きを願う祈願（ドアー）：

預言者は述べました。　もしあなた方が何かに迷ったら任意の2ラクアの礼拝をし、それからこう唱えなさい：「アッラーフンマ インニー アスタヒールカ ビ・イルミ カ、ワ アスタクディルカ ビ・クドゥラティカ、ワ アスアルカ ミン ファドゥリカルアズィーム。ファインナカ タクディル ワ ラー アクディル、ワ タァラム、ワ ラー アァラム、ワ アンタ ア’ッラームルグユーブ。アッラーフンマ インクンタタァラム アンナ ハーザルアムラ ハイルッリー フィー ディーニー ワ マアーシー ワ アーキバティ アムリー」（あるいはこう言う：アージリアムリー ワ アージリヒ）「ファクドゥルフ リー ワ ヤッスィルフ リー スンマ バーリク リー フィーヒ。ワ イン クンタ タァラム アンナ ハーザルアムラ シャッル

イスティハーラの現れ

イスティハーラを繰り返しても問題ではありません。そしてアッラーの助言を求める者はそれを明確にする夢を見ることは条件ではありません。アッラーの導きを求め自分で選んだ事に取り掛かるべきです。ただしその選択が親類関係を悪くしたり、罪を侵さないことに限ります。もしその事が成功したら、それが最も良い事であり、もし成功しなかったら、それも等しく最も良い事です。

ッリー フィー ディーニー ワ マアーシー ワ アーキバティ アムリー」（あるいはこう言う：アージリアムリー ワ アージリヒ） ファスリフフ アンニー ワスリフニー アンフ。 ワクドゥル リヤルハイラ ハイス カーナ スンマ アルディニー（こう言った：そして必要なことを述べます。）

意味： アッラーよ、私はあなたの知識による選択を求めます。あなたのお力を求めます。私は偉大なるあなたの恩恵を求めます。あなたこそは何事も可能なお方で、私は無力です。あなたこそご存知で、私は無知です。あなたは不可視なる世界をご存知の御方です。アッラーよ、もしあなたがこのことが私の宗教と生活と事の結末にとって最善であるとご存知ならば（あるいは次のように言う：「私の現世と来世にとって最善であるとご存知ならば」）、私にそれを可能にし、容易くして下さい。それからそれにおいて私を祝福して下さい。そしてもしあなたがこのことが私の宗教と生活と事の結末にとって悪いとご存知ならば（あるいはこう言う：「私の現世と来世にとって悪いとご存知ならば」）、それを私から遠ざけ、そして私をそれから遠ざけて下さい。そしてそれがどんなことであろうと、最善の事を私に可能にして下さい。それからそれによって私を満足させて下さい。」それから必要なことを 言います。（ブハーリーの伝承）

第7：小浄（ウドゥー）の後の2ラクアの礼拝

アブー・フライラの伝承によると「預言者はファジュルの礼拝の時、ビラールにこう言いました。 ビラールよ、イスラームで良き報酬をとり得るあなたの行った行為で最も望ましい行為を私に語ってみなさい。なぜなら私は夜間に（夢の中で）天国にいる私の前であなたのサンダルの音を聞いたからです。」するとビラールはそれに答えて言った。「私は特に価 値のあるような行為をしていません。ただ私は夜となく昼となく完全なウドゥー（小浄）なしにはアッラーが定めた礼拝をしたことはありませんでした。（ブハーリーの伝承）

第8：無条件な任意の礼拝

この礼拝は特別な時間や理由に限定されません。

無条件な任意の礼拝は、礼拝が禁じられている時間を除く全ての時間に行うことが許可されています。

医学における夜半の礼拝

夜半の礼拝は、ホルモン・コーチゾン（副腎皮質ホルモンの一種）の分泌の減少を起こします。そしてそれは特に起きる数時間前に起こります。この期間は夜明け前（夜の後半3分の1）の時間に相当します。この分泌の縮小は糖尿病患者に危険である血糖値の急上昇を防止します。

無条件な任意の礼拝の例

夜半の礼拝

預言者は述べました。 義務の礼拝に次ぐ最善の礼拝は、夜半の礼拝である。（ムスリムの伝承）

またにこう述べました。 本当に楽園には内部の部分が外から見える部屋、そして外部の部分が内から見える部屋があります。 すると一人のベドウィン（アラブの遊牧民）が立ち上がり尋ねました。アッラーのみ使いよ！それは誰の為にあるのです か？預言者は答えました。これは良いことを話す者、貧困者に食事を与える者、いつも断食を行い、人々が眠っている夜にアッラーの為に礼拝を行う者です。（ティルミズィーの伝承）

礼拝の禁止される時間

1．ファジュルの礼拝の後から、日の出後その高さが槍の長さになるまでの時間。通常この期間は日の出から約20分までです。

2．太陽が直接頭上で（子午線で）輝く時から、西の方向 へ傾くまでです。

3．アスルの礼拝から日没まで

この証拠は、次のウクバ・イブヌ・アアミルが伝えるハディースです。 アッラーのみ使いは私達が3つの時間に礼拝を行う事、死者をナクブル（ナクブラ：葬る）することを禁じました。： それらは太陽が明らかに（バーズィガタン）（バーズィガ：明白）昇り、 高くなるまでと太陽が日没へ傾く（タダイヤフ） （タダイヤフ：傾く） 時から、日没までです。 （ムスリムの伝承）

> **禁止された時間に行われる理由がある礼拝**
>
> 理由がある礼拝を行う事は許されます。例えばマスジドへの挨拶の礼やサラートゥル・ジャナーザ（葬儀の礼拝）などで、それがもし禁止された時間帯であっても許されます。

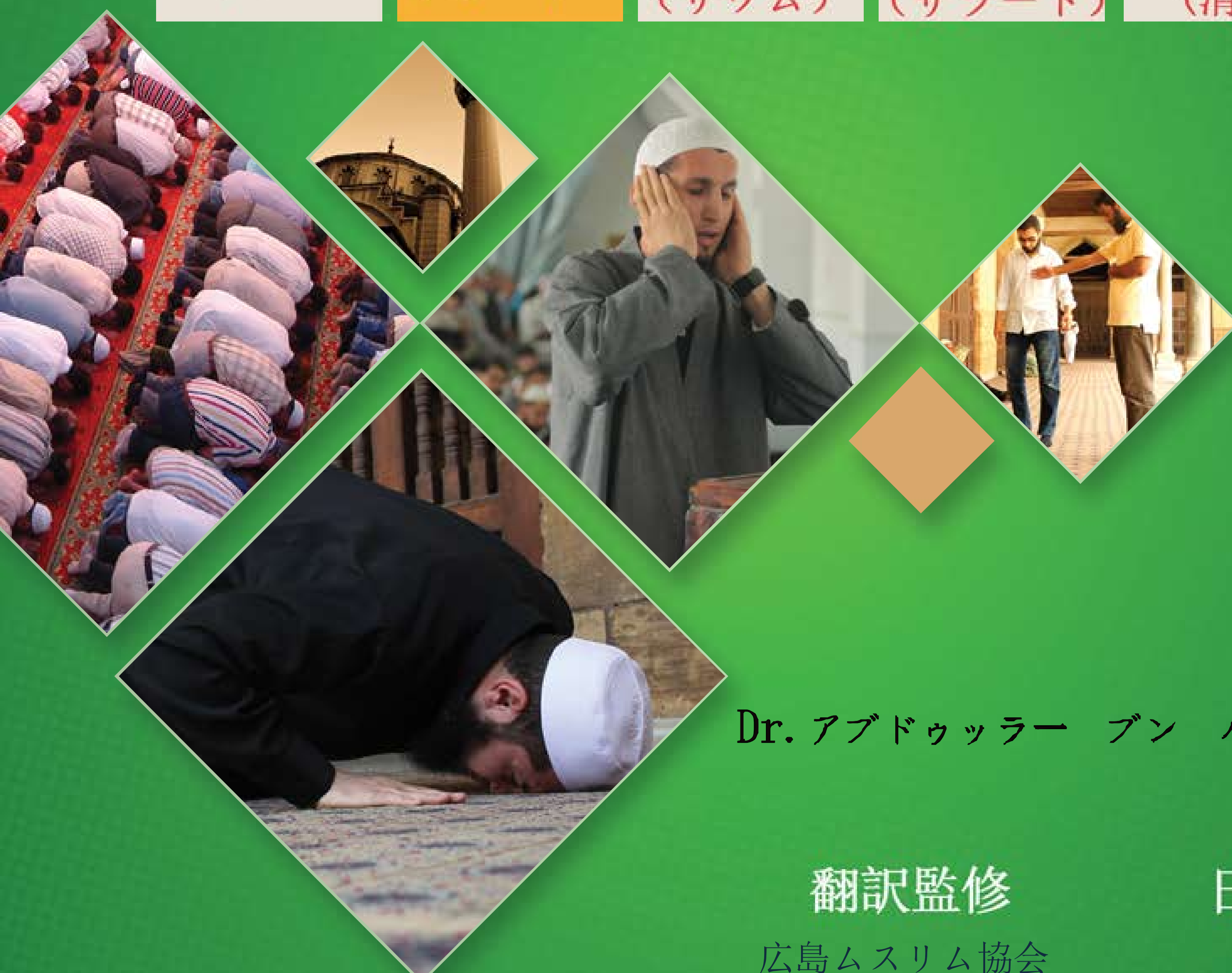




図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

サラートゥル・イスティスカー
（（雨乞いの礼拝

第16課



サラートゥル・イスティスカー（雨乞いの礼拝）

イスティスカ―の定義

イスティスカ―：

これは至高のアッラーに、少雨と旱魃の時に雨を願う事です。

サラートゥル・イスティスカーの合法性の根拠

これはスンナ・ムアッカダ（確定さてたスンナ）です。アブドゥッラー・イブヌ・ザイドのハディースによると　預言者は礼拝場にお出でになり雨乞いの祈願をされました。その時キブラに向かわれて外とうを裏返しにされ、2ラクアの礼拝を行いました。（合意の伝承）

サラートゥル・イスティスカ―の時間帯

それは旱魃や，雨が止まったり、泉と井戸の水が減少したり、もしくは川が干上がったりした時に、許可されます。太陽が上り、槍の長さまで昇ったら、サラートを行う事が推奨されています。その時間は日の出の約20分後で、（2つの祭りの間に行われるサラート）サラートゥル・イードの時間です。

目 次

サラートゥル・イスティスカーの場所

預言者の方法に従っ　て、他の状態の必要がない時は、マスジド内ではなく、礼拝場で行う事がスンナです。



サラートゥル・イスティスカーの特質

この礼拝は、アザーンとイカーマなしの2ラクアです。両方のラクアで読誦は声を出して行います。

礼拝者は最初のラクアで開始のタクビールの後、タクビールを7回唱えます。2回目のラクアでは、スジュードから立ち上がる時に言うタクビール以外に5回タクビ ールを唱えます。

タクビールの度に両手を挙げ、タクビールの間にアッラーを称賛し、預言者に祝福を願います。

礼拝の後にイマームは一つの説教をします。その中ではイスティグファール（罪の赦しを求める祈り）とクルアーンの朗唱を多く行い、それから伝えられている預言者の祈り（ドアー）の言葉による祈りを多く行います。祈りでは懇願するようにし、ア　ッラーに向けて謙虚な態度で困窮し欠乏していることを露わにし、それが届くように両手を高く上げます。

イマームはキブラに面し、アッラーにドアーしながら、かれの外套を裏返し、左を右に、右を左にします。

サラートゥル・イスティスカーのいくつかの規定

1．礼拝を先に行うことは、罪からの改悛や本来の権利者にその権利を返　すことでその不正から脱出することで人々の心を和らげ、彼らへの忠告や警告となります。何故なら罪は雨不足の原因であり、タウバ（改悛）やイスティグファール（罪の許しを請う事）や、タクワー（畏神）は、ドアー（アッラーへの祈願）に応える原因になり、良いものと祝福の原因になるからです。またかれらに施しを奨励することは、慈悲の原因になります。

2．人々がそれに備え　る事が出来るように、サラートゥル・イスティスカーの為に出かける日を限定します。

3．アッラーへの切望を現しつつ謙遜と従順さと自らを卑下し、つつましやかにそこへ出かけていくことはスンナです。このことために飾ったり香水をつけたりすることは、定められていません。イブン・アッバースは、預言者が雨乞いの為に出掛ける時の　様子を描写し次のように伝えています。　本当にアッラーのみ使いは礼拝場に到着するまで謙虚な服装（ムタバッディラ）（ムタバッディラ：装飾や良い身なりを止めること。）で、控えめに、謙遜して外出しました。　（アブー・ダーウードの伝承）

4．説教では両手を挙げ、ドアー（嘆願）とイスティグファール（罪の許し）を多くします。

雨が降った際に好ましい行為

雨の降り始めは、雨の中に立ち身体を雨に晒す事が奨められています。これはアナスが伝えた預言者の行いによります。我々がアッラーのみ使いと一緒にいた時に、雨が降りました。するとアッラーのみ使いは雨に濡れるように服を脱ぎました。我々は尋ねました。「アッラーのみ使いよ 何故このような事をしたのですか？」彼は答えました。「何故ならそれ（雨）は至高の主から新たな創造だからです。　（ムスリムの伝承）







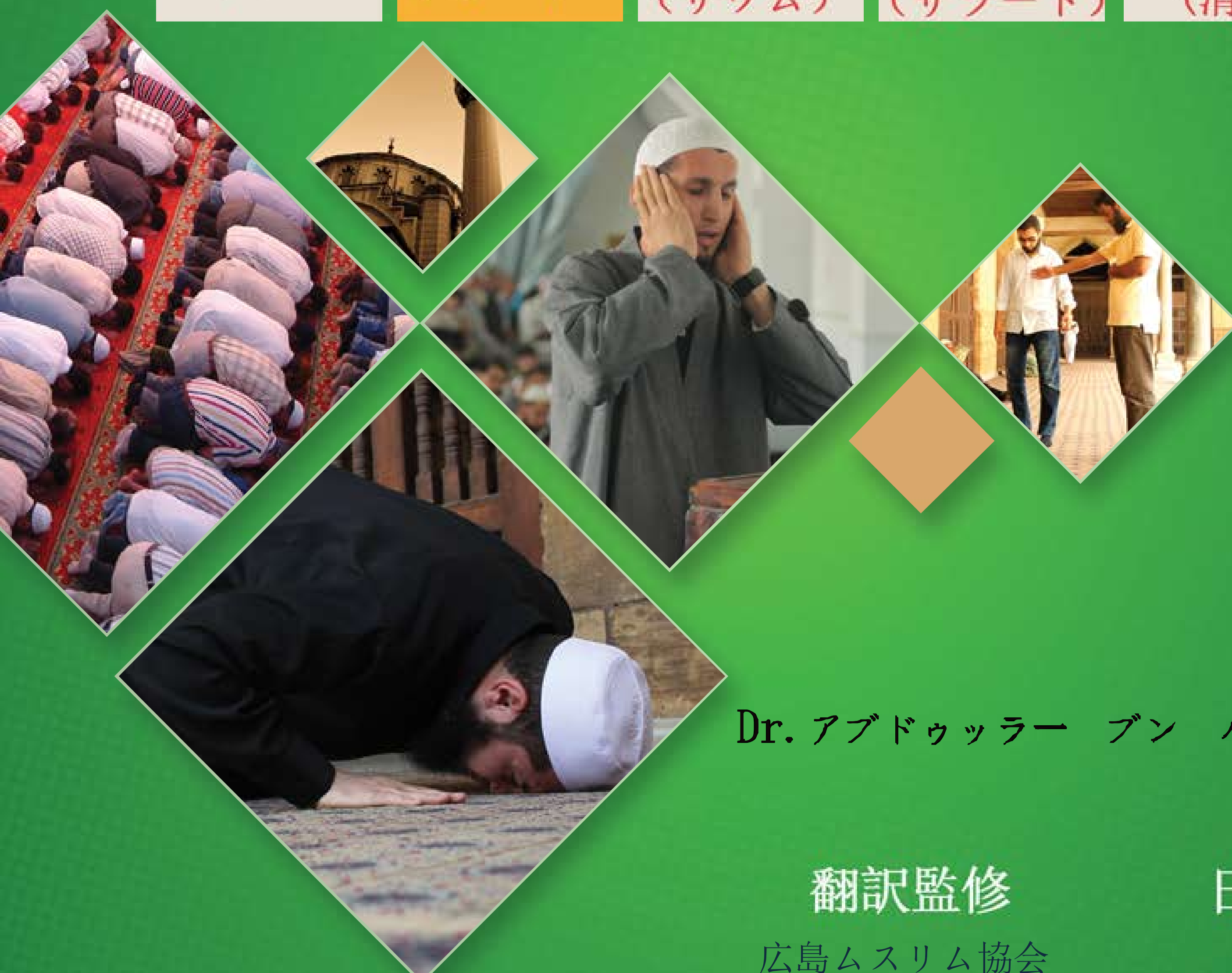
雨は唯一なアッラーからの恩恵です。

ムスリムは、雨がアッラーのしもべへの恩恵と慈悲として降ってくるものであると確信すべきです。一部の人々が言うような「雨は何々（誰々）の結果」ではありません。これはシルク（多神）です。ーアッラーよ私達をその罪からお守り下さい。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

日蝕（クスーフ）と月蝕（フスーフ）の礼拝

第17課

日蝕（クスーフ）と月蝕（フスーフ）の礼拝



目 次

日蝕と月蝕の定義

日蝕（クスーフ）：

日中の太陽の光また　はその一部が消えること。

月蝕（フスーフ）：

夜間の月の光またはその一部が消えること。

日蝕と月蝕に潜む叡智

それら二つは、アッラーの御徴の中の2つの印です。アッラーがそれによってかれに懺悔するように彼のしもべに警告するものです。預言者は述べました。　太陽と月はアッラーの御徴の中の　2つのものであり、それは誰かの生死のために蝕が起こるのではない。アッラーがそれでしもべに警告しているのです。蝕が起きたら礼拝に急いで避難しなさい。　（アブー・ダーウードの伝承）

日蝕と月蝕の礼拝

日蝕と月蝕の礼拝の規定

それはスンナ・ムアッカダ（確定されたスンナ）です。根拠は次の預言者の言葉によります。本当に、太陽　と月はアッラーの印の中の2つのものである。その2つの蝕は誰かの生死の為に起こるのではない。あなた方がそれを見たなら、アッラーに祈り、アッラーを讃美し、礼拝を挙行し、施しをしなさい。（合意の伝承）

その二つの礼拝時間

−この礼拝の時間は日蝕か月蝕の始まりか終わりまでです。

−もし蝕が終了したら、その礼拝を行う者はそれを完了　します。しかしまだ蝕が続いている間のに礼拝を完了したならば、サラートをやり直す必要はありません。代わりにムスリムは祈願とアッラーからの赦しを請い続けます。

それら二つの特質

アーイシャの伝承によると彼女はこう伝えました。　アッラーのみ使いが御在世の時に日食がありました。み使いは人々と礼拝にお立ちになりました。そしてキヤーム（立礼）を長くされ、　それからルクーウに移りそのルクーウも長くし、それからキヤームに移り、それを長く行いましたがそれは最初の時より短かったです。それからルクーウに移りそれ御w長く行い、それも最初の時よりは短かったです。それからサジダ（叩頭）に移りそれを長くしました。それから最初のラクアと同じように2ラクア目を行いました。それから（人々に）お向きになりました。その時既に太陽は明るく輝いていました。み使いは説　教をなさいました。先ずアッラーを称賛し讃美されてから「まことに、太陽と月はアッラーのみ印の中の二つのものです。誰かの生死のために二つの蝕が起こるのではありません。それを見たならアッラーに祈り、称え、礼拝を挙行し、施しをしなさい。」とおっしゃいました。（ブハーリーの伝承）

日蝕もしくは月蝕が起きた時次のようにします：

“アッサラート　ジャーミア”　と言って礼拝に呼びかけます。意味「集団礼拝へ来た　れ」

人々が集まると、イマームは朗誦を声に出してで2ラクアの長い礼拝の先導を行います。最初のラクアでアル・ファーティハ章と長い章を詠み、それからルクーウをして、ルクーウを長く行います。それから上体を起こしながら　“サミアッラーフ　リマンハミダ、ラッバナー　ワラカルハムド”　と唱えます。それからアル・ファーティハ章と最初よりは短い長い章を詠みます。それからルクーウを長く行いますが、最初よりは短くします。それから上体　を起こしながら　“サミアッラーフ　リマンハミダ、ラッバナー　ワラカルハムド”　と唱えます。それから長い二つのサジダを行います。その間のジュルース（座礼）は長くしません。それからタクビールをして二度目のサジダから立ち、二度目のラクアを最初のラクアと同じように、キヤームとルクーウとサジダを行います。しかしその長さは、最初のものより短くなります。それから座ってタシャッフドを行いタスリームで礼拝を終わります。



その二つの礼拝のスンナ：

1．集団で行うこと。もし個人で行われたとしても問題はありません。

2．マスジドで行われること。女性も参加することは禁じられていません。

3．礼拝を長くすること。そのキヤーム（立礼）でもルクーウでも、スジュードにおいてでもです。しかし蝕が消た時は、素早く礼拝を完了します。

4．2番目のラクアは最初のラクアよりキヤーム（立礼）やルクーウヤ、スジュードで短くします。

5．説教は、礼拝の後にすること。そこではアッラーの力を思い出させ、蝕の英知を明らかにし、良い行為を促し、禁じられた行為を避けるように訴えます。

6．アッラーが人々に起きた災難を取り除くまで、ドアー（祈願）や謙虚さや罪の赦しを求めることや施しを多くすること。またそれ以外の善行を多くすること。

7．日蝕のドアーで両手を挙げることは許可されています。これはアブドゥルッラフマーン ビン サムラのハディースによります。彼は言いました。私が預言者のところに行ったと時、彼は礼拝で立って、両手を挙げていました。（ムスリムの伝承）



手引き

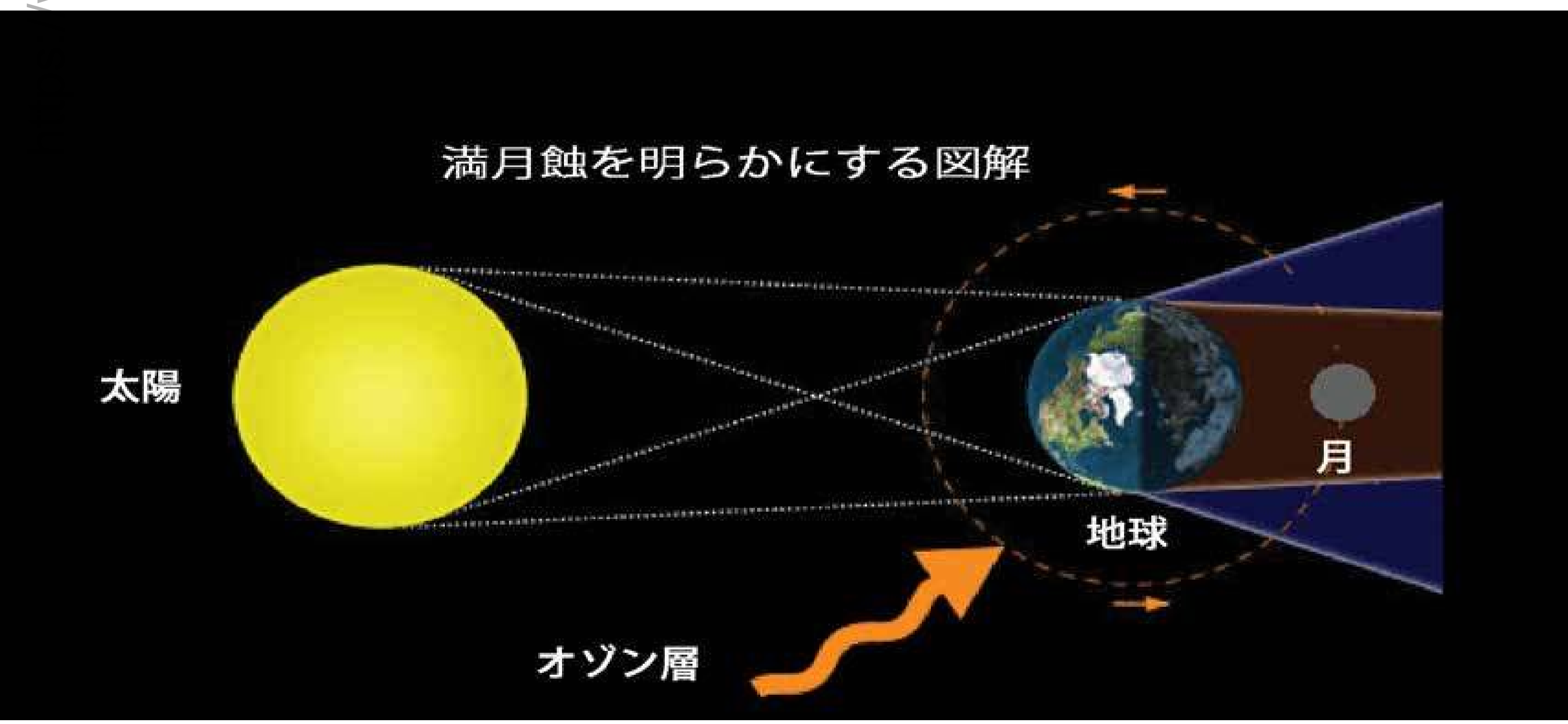
1．もし太陽か月の蝕が消えた後に初めて知ったのなら、その為の礼拝を行われません。

2．太陽もしくは月の蝕の原因に関する近代の科学的説明は、それらがアッラーの多数の印の2つであるという事実を否定せず、かれのしもべにかれを恐れさせ、アッラーの力を思い出させます。したがって、ムスリムは月と太陽の蝕を観察することに集中し過ぎずに、アッラーへの崇拝と嘆願に集中すべきです。アブー・バクルは伝えました。：[アッラーのみ使いが御在世の時に日食がありました。すると衣を引きずったまま外に出てこられました。]これは強い恐怖を示しています。

3．蝕の礼拝でラクアに間に合うには初めのルクーウに間に合わなければなりません。初めのルクーウを逃し、2回目のラクアに間に合った者は誰でも、そのラクアを逃した事になります。彼は、イマームのタスリームの後に逃したラクアをそのやり方で行なければなりません。

4．日蝕の礼拝は礼拝が禁じられている時間でさえも行う事が出来ます。

5．知らせ（ニュース）を聞いただけでその二つの礼拝を行う事は許されません。自分の目で見なければなりません。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

2つのイード（祭り）の礼拝

第18課

2つのイード（祭り）の礼拝



目 次

祭りの明示

ムスリムの祭りは２つです：それは、ラマダーン月の後の「イードゥル・フィトル」（断食明けの祭り）とアラファートの日の後の「イードゥル・アドハー」（犠牲祭）です。アッラーは私たちにジャーヒリーヤ（無知の時代）の祭りと他の創案された祭りをその2つの祭りと取り換えました。アナス・イブン・マーリクの伝承によると　ジャーヒリーヤ時代の人々は毎年2日間の祝日を祝っていたが、預言者がマディーナに到着した時、彼は申されました。「あなた方は1年に2日間の祝日がありましたが、アッラーはそれよりも良い祝日と取り換えて下さいました。それはフィトルの日とアドハーの日です。

（ナサーイーの伝承）

不信仰者の祭に参加したり祝ったりする事は許されません。それらは、最もはっきりとした多神教の印であり、最もはっきりしたその法と指針だからです。至高のアッラーは仰せられました。{あなたに与えられた真理に基づき、かれらの私慾に従ってはならない。われは、あなたがた各自のために、聖い戒律と公明な道とを定めた。}

[食卓（アル・マーイダ)章 48節]

アッラーは2つのイードでイードの礼拝と名付けられた礼拝を定めた。それは、イスラム教で最も重要な明示の一つです。

2つのイード（祭）の礼拝規定

これはファルド・キファーヤ（集団義務）です。充分な数の人々がそれを行う時、残りの人たちの罪は落ちます。ーたとえこの礼拝に出席する指令はとても重要と強調されていてもー預言者は、それを行うことを命じているばかりか、女性の子供や老婆さらに、月経中の女性にも例え礼拝をしなくてもそこへ出かけるよう命じました。それは、その礼拝の恩恵のためであり、その礼拝の確定によるものです。それの義務性に関する証拠は次に述べられます。：

1．アッラーの御言葉{さあ，あなたの主に礼拝し，犠牲を棒げなさい。}

[潤沢（アル・カウサル)章2節]

2．預言者はその礼拝を命じ、女性にも命じました。ウンム・アティーヤは言いました。　アッラーのみ使いは私たちにとフィトルとアドハーに彼女たち（アワーティク（青年期の女性）（アーティクの複数形。月経を迎えて直ぐの若い女性）、フイヤド（月経中の女性）（月経中（ハーイド）の女性の複数形。）と　アル・クンドゥルの所有者（処女の若者）（処女）を出席させるよう命じました。しかし月経中の女性についてはムスリムの祈りと（礼拝から得られる）良いものを目撃するべきですが、礼拝からは退かなければなりません。

（ブハーリーの伝承）



2つの礼拝の時間

その時間は日の出後に太陽が槍の長さ程度の高さに昇った時（それはおおよそ日の出の20分後です）から始まり、太陽が天頂から傾き始める頃までです。

犠牲の時間を設ける為に犠牲祭の礼拝を早めることとフィトルの礼拝をフィトルのザカート（喜捨）を出すための時間を取るために遅めにすることはスンナです。

2つの礼拝の特質

この2つの礼拝はアザーンもイカーマもなく、2ラクアから成ります。そして双方とも声に出して朗誦されます。その特質は次のようになります：

1．最初のラクアで、開始のタクビールと開始のドアーの後、タアッウズ（アウーズビッラーヒ・・・・）とクルアーン朗誦を言う前に7回のタクビールを行います。

2．タアッウズとバスマラとアル・ファーティハ章とその後に一章を朗誦することが定められています。最初のラクアでアル・ファーティハ章の後に至高者章そして第2に圧倒的事態章、もしくは最初にカーフ章、そして第2に月章を朗誦することはスンナです。

3．二回目のラクアで区切りのタクビールの後に5回のタクビールを唱えます。毎回のタクビールごとに両手を挙げないことが正だしい見解です。

4．タクビールの間に、アッラーを賛美しかれを賞賛します。そして預言者に恩恵を願います。

5．タスリームの後に、説教台に上がり、2回の説教を行います。それぞれの説教の間に短い間座ります。

6．説教者はイードゥル・フィトルの2つの説教では、それに相応しい内容を話し、イードゥル・アドハーの説教では、犠牲の動物の規定やその儀式相応しい内容の話しをします。

2つの礼拝の場所

スンナは2つの礼拝をマスジドの中ではなく、ムサッラー（礼拝場所）で行うことです。しかし、もし必要があってマスジドの中で行っても害はありません。

2つの礼拝で奨められる事

1．男性は最良の衣服を着用して美しくします。女性の場合は、着飾らないで礼拝の場所へ出かけます。香水もつけません。

2．マアムーン（イマームに先導される礼拝者）は礼拝に早く到着し、最初の列で礼拝します。

3．礼拝場に行くために通った道とは違う道を通って、可能であれば徒歩で帰宅します。ジャービルの伝承によると　預言者はイードの日は道を変えました。（礼拝へ向かった道とは違う道を通って戻って来られました。）　（ブハーリーの伝承）

4．フィトルの礼拝に向かう前に奇数の数のデーツ（3つか5つ）を食べます。そしてアドハーでは帰宅するまで食べません。

5．フィトルの礼拝を遅らせることは望ましい事です。それはムスリムがザカートゥル・フィトル（フィトルの喜捨）を出して、それが必要とする人へ届く事が出来るようにするためです。一方、アドハーの礼拝の場合は、早く行うことが望ましいです。

2つのイードの規則から

1．イードの礼拝前後にその場で任意の礼拝を行うことはマクルーフ（嫌われる行為）です。但しマスジドに入った際のタヒーヤトゥル　マスジド（マスジドへの挨拶の礼拝）を行うことは除きます。

2．イードの礼拝を逃したか、その一部分を逃した者は、（全部を逃した者は）タクビールと共に2ラクアの礼拝をそのやり方で行い、もしくは（一部を逃した者は）礼拝の逃した部分を補う事で礼拝を完了します。

3．タクビールを唱えること。その言葉は次のようになります。“アッラーフ・アクバル、アッラーフ・アクバル、ラーイラハ・イッラッラー。ワッラーフ・アクバル、アッラーフ・アクバル、ワリッラーヒル・ハムド”意味：（アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーのほかに神はなし。そしてアッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。そしてアッラーに称賛あれ。）または次のように言う事もできます。 “アッラーフ・アクバル。アッラーフ・アクバル、アッラーフ・アクバル　カビーラー」意味：（アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。アッラーは偉大なり。大いにアッラーは偉大なり）”

4．タクビールの際に男性は声を大きくするのはスンナです。女性については低い声でタクビールを唱えます。何故なら女性は声を小さく（低く）する事が命じられているからです。

5．イードル・フィトルの（前記の）タクビールはその日のファジュルの礼拝から始まり、イマームがイードの礼拝に出てくるまで続きます。イードル・アドハーの場合は、タクビールはアラファの日の朝から始まり、アィヤームッ・タシュリークの最後の日（13日目）の日没まで続きます。また礼拝場へ行く途中にタクビールを唱えイマームがやってくるのを待つ間、また集団で義務の礼拝を行った後、また市場や家の中などでもタクビールを唱えます。

手引き

1．ムスリムはお互いにイードを祝して次のように言うことが望ましいこととされます。 “タカッバラッラーフ ミンナー ワ ミンクム”意味:（　アッラーが私たちをそしてあなたがたを受け入れてくださいますように）

2．イードの日である事を喜び、その喜びを現すことは望ましいとされます。またムスリムは近親者や愛する人たちや同胞のムスリムを祝福することも望ましい事です。

3．イードは断絶した親戚関係を結びつけ、仲違えしている人々の間を仲裁するために利用される良い機会です。

4．イードの日に墓参することは定められていません。むしろそれは、イードの中にあ　る喜びと幸せに反することです。

5．アッラーが許可した衣服や食物やエンターテイメントで家族の為に寛大に費やすことが許可されます。それは2つのイードが幸せと喜びと嬉しさの日だからです。至高のアッラーは仰せられました。 ｛言ってやるがいい。「アッラーの恩恵により，またその慈悲により，かれらを喜ばせなさい。それはかれらが蓄積したものに勝る。｝［ユーヌス章58節］

6．イードの日のムスリムの祝賀はイスラムの教えと礼儀に反するものを含む事は許されません。例えば、男女の混合や礼拝を怠ることや禁じられた楽しみや音楽を聞くことなどの禁じられていることです。



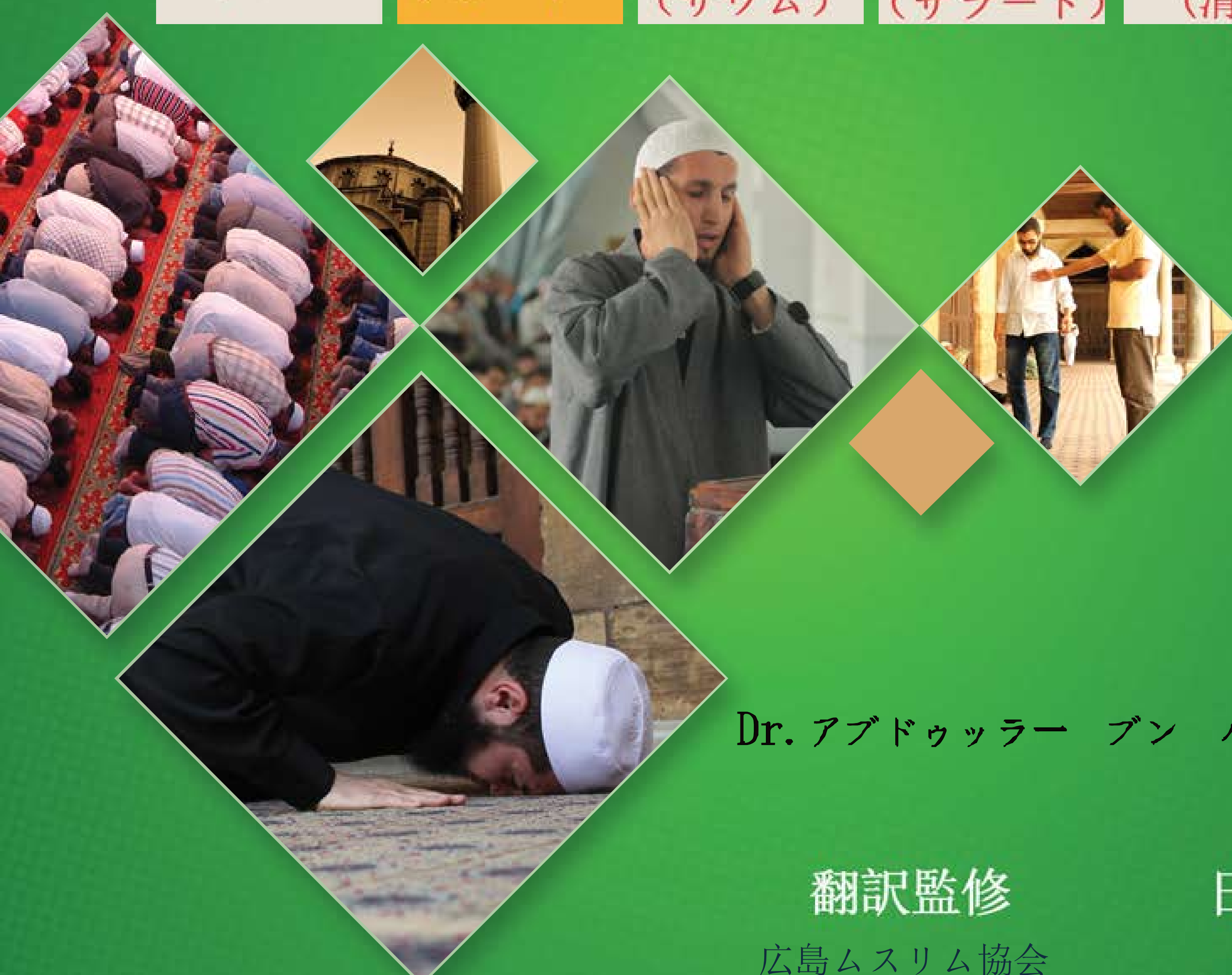


東京モスク

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

サラートル・ジャナーザ（葬儀の
（礼拝

第19課

サラートル・ジャナーザ（葬儀の礼拝）



遺体への準備

死の兆候が表れている者のそばにいて　ラーイラハイッラッラー　と唱えるように促すことは望ましい事です。預言者はこう述べました。（病状が末期的な）亡くなっていく者に「ラーイラハーイッラッラー」と唱えるように指示しなさい。　（ムスリムの伝承）

そしてその人が亡くなったら、両目は閉じられ、服で覆い、急いで葬儀の準備をし、礼拝を行い、埋葬されなければなりません。

洗体と埋葬に関する規定

洗体、タクフィーヌ（布で包む）、墓地への葬列、告別の礼拝、埋葬はファルド・キファーヤ（全体義務）です。充分な人々がこの義務を果たす時、残りの人々からそれを行わない罪が落ちます。



目 次

洗体の規則

１．死者の洗体のためには、信頼出来て、公正で誠実で洗体の規則を良く知る人を選ぶべきです。

２．洗体では（それを行う人は）故人が遺言した人が優先されます。もし洗体の規則を良く知っていれば、その後は、より近い肉親の順番になります。もしいなければそれ以外の人でその知識がある人が優先されます。

３．男の洗体は、男性たちが行い、女性は女性たちが行います。夫婦の片方には、それぞれ相手を洗体する権利があります。それはアーイシャによる預言者の次の言葉によります。　あなたがもし私より先に死んでも、あなたは傷つけられることはないでしょう。私があなたを洗い、覆い、礼拝を行ってから葬るからです。
（イブン・マージャの伝承）

男性と女性はそれぞれ7才以下の子供を洗体することが出来ます。しかし不信仰者を洗体することは、男性であれ女性であれムスリムには許されません。同様に遺体を運ぶことや、遺体を包むことや告別の礼拝を行うことも、例えそれが父親のような近親者であっても許されません。

４．戦場で殉教した者は洗体せず、包みも礼拝も行わず、戦死した時のままの衣服で埋葬します。

５．流産して死亡した胎児は。性別問わず、４ヶ月に達していたら、洗体し、包み、礼拝して埋葬します。何故なら胎児は4ヶ月後には人間となっているからです。

６．遺体を洗浄する為に使用される水は清浄でムバーフ（許されたもの）であることが条件です。またその場所は隠された場所で、洗体に関係ない人が存在しないことが条件になります。

遺体の洗体方法

１．遺体は洗体の為のベッド（台）の上に置かれ、それからそのアウラ（恥部）を隠し、そして衣服を脱がします。その時故人は部屋やそれに似たところで人々の視線から保護されます。

２．洗体する者はその時、両手を布切れで覆う事が奨められています。

３．洗体者は遺体の頭を座ったような状態に近くなるまで起こし、手を遺体の腹部を絞るように動かします。その後、陰部（前と後ろ）を洗浄し、そこに付着している汚れを洗います。

４．洗体の前に心でニーヤ（意思決定）を行い。「ビスミッラー」と唱えます。

５．礼拝の為のウドゥー（清め）を行うように洗体者は遺体にウドゥーを行います。ただし口を濯ぐことと鼻に水を通すことの代わりに口と鼻をさっと拭けば充分です。

６．遺体の頭と髭はシドルを含む水、または石鹸またはそれに似た物で洗います。（シドルは蓮の木の名前です。シドルの水とはシドルの葉が加えられた水です）。

７．身体の右側を洗いそれから左側、そして残りの身体の部分を洗います。

８．最後の洗浄には水に樟脳を加えることが好ましいとされています。

９．遺体は水気を取り乾いた状態にします。

１０.女性の髪は3つ編みにされて、後ろでまとめられます。

注意事項

－　ワージブ（義務）は清潔が達成されるのなら、1度洗浄することです。しかし、清潔が達成されたとしても、3度洗浄することはムスタハッブ（好ましい行為）です。

－　水がない為、または遺体が火などによって傷ついていて、遺体を洗浄することが困難であれば、代わりにタヤンムム（砂による清め）を予め行います。

－　遺体の洗体者は、洗体後に、グスル（沐浴）を行うことが好ましい事とされています。





遺体は洗浄の為の特別な台の上に置かれる



遺体を洗浄する者は手に布を巻く



遺体の頭を挙げる



遺体の腹部を押して絞る



礼拝のためのウドゥーのように遺体にもウドゥ―をに行う



遺体の頭と髭をシドルの葉が入った水で洗浄



遺体の右側を洗ってから左側を洗う



遺体を乾かす

遺体を布で包む（タクフィーヌ）

1．男性のタクフィーヌは3枚の白い綿の布で包むことがスンナです。それは全身を覆い、肌を晒したりする物ではなく、高価ではない布です。

女性は5枚の綿製の布になります。それは腰部の布、頭のベール、ブラウスと2枚の全体を巻きつける布です。

男児は1枚の布で包まれますが、3枚の布でも許可されます。女児は1枚のブラウスと2枚の全体を巻く布になります。

2．用意される3枚の布は、香水が付けられます。預言者は次のように述べました。　遺体に香水を付ける時は、奇数回付けなさい。（布に香水を付ける）（イブン・ヒッバーンの伝承）

3．これらの布はそれぞれが重ねられ切り離された布で、それらの間に琥珀、樟脳、ムスクまたそのような香りの混合を付けます。しかし故人がムフリム（忌避状態にある）である場合を除きます。それでイフラームの布は香もしくは香水を付けるのが禁じられています。預言者の伝えるところによると：　ハッジの最中に死んだ者に香水をつけた手で触ってはいけません。（ブハーリーの伝承）



包む布に香水を付ける

4．遺体はこれらの布の上に仰向けで寝かせます。そして一番上の布の左端を取り、右側に折り返します。それから右端を左側に折り返します。それから2番目と3番目の布も同様に扱われます。その後布の余分な部分は頭の上に引っ張られ、バラバラにならないように、紐で結びます。それは埋葬の時に解かれます。



遺体を仰向けに寝かせる

5．遺体の全身を覆うのは義務です。しかし、全身を覆うのには短い服しかない時には、頭を覆い、足はイズキル（甘い香りの植物）（香りの良い植物）で覆います。ハッバーブがムスアブ・ビン・ウマイルのタクフィーン（布で包むこと）についての話しを次のように述べています。預言者は我々に彼の頭を覆い、足にイズキルを被せるように命じました。（ブハーリーの伝承）



全身を覆う

6．イフラームの状態（巡礼中）に亡くなった人は自分が着ていた2枚のイフラーム（巡礼着）で埋葬され、男性の巡礼者の頭は覆ってはいけません。預言者は述べました。　シドルが含まれた水でその者を洗浄し、2枚の服（布）で包みなさい。アル・アヌト（香水）（死者を包む布に混ぜた香水を付けること）は使用せず、頭を覆ってはなりません。（頭は覆ってはならない）彼はタルビヤ（巡礼の時に唱える言葉）

(ラッバイカッラーフンーマラッバイクと言うこと)を唱えながら審判の日に復活させられるでしょう。(ブハーリーの伝承)



葬儀の礼拝

葬儀の礼拝の柱

1．可能であれば立つ

2．4度のタクビールを唱える

3．ファーティハ章を唱える

4．預言者に祝福を祈願する

5．亡くなった方の為にドアーすること

6．上記の事項を順序どおり行う

7．タスリームを唱える

葬儀の礼拝のスンナ

1．朗誦の前のイスティアーザ(「アウーズビッラーヒ…」と唱えること)

2．自分自身と他のムスリムの為に祈願(ドゥアー)する

3．声を出さずに朗誦

4．列を多くする。3列かそれ以上にする。

葬儀の礼拝の特質

故人が男性の場合はイマームは彼の頭のところに立ちますが、故人が女性の場合は、故人の身体の真ん中の辺りに立ちます。マアムーンはイマームの後ろに他の礼拝のように立ちます。それから、イマームは

4度のタクビールを次のように唱えます。:

1．初めのタクビールを唱え、それが「アル・イスティアーザ」と「ビスミッラーヒルラフマーンニルラヒーム」に続く最初のタクビールですが、「アル・イスティフタ」(サラート開始の際の祈願)は唱えず、アル・ファーティハ章を詠みます。

第2のタクビールを唱えて、最後のアッタシャフッドで表現されたように預言者に祝福を祈願します。(アッラーホンマ・サッリ・アラームハンマディン・・)

第3のタクビールを唱えて、故人の為、自分自身と他のムスリムの為にドアー(祈願)を行います。例えば次のような言葉を言います。　アッラーフンマグフィル ラフ ワルハムフ。ワ アーフィヒ、ワァフ アンフ。ワ アクリム ヌズラフ。ワ ワッスィウ ムドゥハラフ。ワグスィルフ ビルマーイ ワッサルジワルバラドゥ。ワ ナッキヒミナルハターヤー カマー ナッカイタッサウバルアブヤダ ミナッダナス。ワ アブディルフ ダーラン ハイラン ミン ダーリヒ。ワ アハラン ハイラン ミン アハリヒ。ワ ザウジャン ハイラン ミン ザウジヒ。ワ アドゥヒルフルジャンナ。ワ アイズフ ミン アザービルカブリ ワ アザービンナール。 意味:　アッラーよ、彼を赦し、彼にご慈悲を与え、彼を癒し、お守り下さい。そして彼によい住まいを与え、その入り口を広げ、水と雪と雹で彼を清めて下さい。そしてあなたが白い服を汚れから清浄にされたように、彼をその過ちから清めて下さい。そして彼に(生前の)彼の住処よりも素晴らしい住処を、彼の(生前の)家族よりも素晴らしい家族を、彼の(生前の)配偶者より素晴らしい配偶者を引き換えにお与え下さい。そして彼を楽園に入れ、墓の災難と業火の懲罰から彼をお護り下さい。　もし故人が女性の場合は、主語代名詞を女性に変更して下さい。(ムスリムの伝承)

もし故人が赤ん坊もしくは流産した胎児(母の胎内から十分な成長前に流産した胎児)の場合は、次のように唱えます。アッラーフンマジュアルフ ズフラン リワーリダイヒ、ワ ファラタン(ファラタンとは先駆を意味します。) ワ アジュラン ワ シャフィーアン ムジャーバー。アッラーフンマ サッキル ビヒ マワーズィーナフマー ワ アァズィム ビヒ ウジューラフマー。ワ アル ヒクフ ビサーリヒルムウミニーナ、ワジュアルフ フィー カファーラティ イブラーヒーム。ワ キヒ ビラハマティカ アザーバルジャヒーム。 意味:「アッラーよ、(夭折した子を)彼の両親の先駆　、そして来世での報奨とし、必ず受け入れられる執り成し人として下さい。アッラーよ、彼によって両親の善行の秤を重くし、彼らの報奨を偉大なものにして下さい。(ムスリムの伝承)

また(来世において)彼を信仰者たちの中でも敬虔な者の仲間に入れ、そしてイブラーヒームの保護のもとにおいて下さい。あなたの慈悲で彼を地獄の懲罰からお護り下さい。

4．4回目のタクビールをして、しばらく無言でその後、右側のみにタスリームを唱えるか通常のタスリームのように左右に2度唱えます。



遺体の運搬と葬列と埋葬

葬儀の礼拝が終了したら、早急に遺体を墓へ運ぶのがスンナです。葬儀に参列した者は遺体を運ぶ事に参加することは奨められています。また遺体を墓穴に入れる者は次のように唱えることがスンナです。　ビスミッラーヒ・ワ・アラー　ミッラティ・ラ　スーリッラー。　意味：　アッラーの御名において、アッラーの使徒の宗教　に従って。　（Tirmiz　r wayet　kiriye）　続いて遺体をラハド（初めに堅い土に墓穴を真っ直ぐ下に掘って、遺体を埋める為に、キブラの方向に穴を掘ったもの）に右体側を下にして、顔をキブラの方角に向けて、安置します。そのからカフヌ（包み布）を縛る紐を解きます、そしてラハドを土で覆います。

埋葬に立ち会った人々は両手の平を土　で満たし、墓穴へ3度注ぐことがスンナです。すると墓穴は完全に砂で覆われます。それから墓は土で覆われ地面からシブル（手の平の親指の先から小指の先までの長さ）の高さまで土を盛ります。そこに石や小石をのせて水を振りかけます。墓のどちらかの端もしくは両端に、印として岩石が置かれても問題ではありません。


遺体の運搬に参加


ラハド


両手を土で満たしそれを墓穴に投げる。


墓の印

タアズィヤ（故人の家族を慰める）

故人の家族を慰めることは、好ましい事です。何故ならそれにより彼らの心を晴らし、彼らの困難を軽減し、忍耐することを促すことになるからです。

また慰めはその目的にかなうものであればどのような言葉でも正しいものになります。うな形ででも言うことができます。例えば預言者は次のように言っていました。 リッラーヒ マー アハザ、ワ ラフ マー アァター ワ クッル シャイイン エンダフ ビアジャリン ムサンマー ファルタスビル ワ ルタハタスィブ。 意味：アッラーが取ったものと与えたものは、アッラーに属する。そしてかれの御許にあるもの全てには、決められた定命がある。それゆえよく耐え、自らの処遇 についてよく考えを巡らせなさい。（ブハーリーの伝承）

もしくは アァザマッラーフ アジュラカ、ワ アハサナ アザーアカ ワ ガファラ リマイイティカ。 意味：アッラーがあなたの報奨を偉大なものとして下さいますよう。あなたの哀悼をよきものとし、故人の罪が赦されますよう。

墓地への訪問

死者への祈りと来世へ注意を促す意図で行う墓参は男性に対してはスンナです。それは預言者の次の言葉によります。 私はあなた方が墓地を訪 れることを禁じました、しかし（これからは）そこを訪問しなさい。なぜならそこはあなた方に来世を思い出させてくれるからです。（ムスリムの伝承）

> ### 葬列に参加する女性
>
> 女性が葬列に続くことは定められていないことです。これはウンム・アティーヤの伝承によるものです。 私たちは葬列に参加することを禁じられました。その禁止は私たちに決定されたものではなかったですが。（イブン・マージャの伝承）

墓参での伝えられている祈願（ドアー）は次のようなものです。： アッサラーム アライクム ダーラ カウミン ムゥミニーン、ワ インナー インシャーアッラー ビクム ラーヒクーン 意味：あなたに平安がありますように。信仰者の住居よ。 本当に私たちは、アッラーがお望みになるなら、あなた方の元へ参ります。（ムスリムの伝承）

また アッサラーム アラー アハリディヤーリ、ミナルムウミニーナ ワルムスリミーン。ワ ヤルハムッラーフルムスタクディミーナ ミンナー ワルムスアヒリーン、ワ インナー イン シャーアッラー、 ビクム ララーヒクーン（ムスリムの伝承）

意味： 信仰者とムスリムからなる墓の住人たちよ、あなた方の上に平安 あれ。私たちはアッラーの思し召しにより、あなた方に合流します。（ムスリムの伝承）

もしくは アスアルッラーハ ラナー ワ ラクムルアーフィヤ。 く意味： 私はアッラーに、私たちとあなた方のご加護を求めます。（ムスリムの伝承）

またもし彼らのためにアッラーに慈悲と罪の赦しなどを祈願したとしてもそれは許されます。

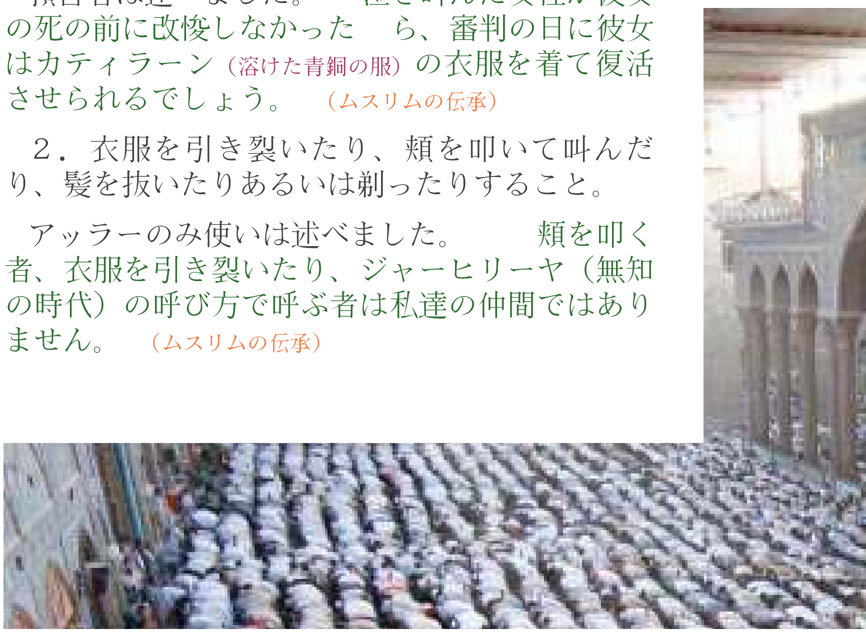
葬儀の際に禁止される行為

１．嘆き泣いて泣き叫んで（死者の美徳を泣きながら数え上げたり、大きな声で泣き叫ぶこと。）、落胆を表に出しアッラーの決定と運命に不満を示すこと。

預言者は述べました。 泣き叫んだ女性が彼女の死の前に改悛しなかった ら、審判の日に彼女はカティラーン（溶けた青銅の服）の衣服を着て復活させられるでしょう。（ムスリムの伝承）

２．衣服を引き裂いたり、頬を叩いて叫んだり、髪を抜いたりあるいは剃ったりすること。

アッラーのみ使いは述べました。 頬を叩く者、衣服を引き裂いたり、ジャーヒリーヤ（無知の時代）の呼び方で呼ぶ者は私達の仲間ではありません。（ムスリムの伝承）



3.　墓を照らすこと

イブン・アッバスの伝承によると彼は次のように語りました。　アッラーのみ使いは墓地を訪問する女性、墓地の上にマスジドを建設する者やそこで照明（ランプ）を照らす者を呪いました。（ティルミズィーの伝承）.

4.　墓の上に座ること、あるいは色や漆喰を塗ったり、その上に建物を建てること。

ジャービルの伝承によると　アッラーのみ使いは墓が漆喰で塗（色を塗ること）られたりその上に座ることや、その上に何かを建てたりすることを禁じました。　（ムスリムの伝承）

5．墓で祝福を願うこと、墓の周りを回ること、死者への祈願。

もしこれらの行いが利益や危害を齎すと信じるならば、これらは全てシルク（アッラーに並べる者を結びつけること）です。何故ならアッラー以外に利益も危害を与える御方はいないからです。至高のアッラーは仰せられました。｛言ってやるがいい。「わたしはアッラ　ーが御好みにならない限り，自分自身のための利害すら自由に出来ない。｝［高壁（アル・アアラーフ)章188節］

6．遺体をマスジドの中に埋めること、墓の上にマスジドを建てること、それに祈ること。

アッラーのみ使いは述べました。　アッラーは預言者たちの墓を礼拝所としたユダヤ教徒とキリスト教徒を呪います。　（ブハーリーの伝承）



墓地の周囲を回ることは許可されません。



墓の上に座ること、あるいは色や漆喰を塗ったり、その上に建物を建てること。



葬儀の規定から

1．葬儀の礼拝を逃した者は誰でも埋葬の前か後に墓でそれを行うことができます。これはマスジドを掃除していた女性の話しの中で、預言者はその女性の墓で礼拝をしたことによります。（ブハーリーの伝承）

2．故人の家族の為に食事を用意すること　が奨められます。何故なら彼らはその悲しみに呉れていて食事を用意するのが困難だからです。これはジャアファルの家族の誰かが亡くなった時、預言者は述べました。　ジャアファルの家族に食事を用意しなさい。何故なら彼らは心を奪われる問題に直面しているからです。

3．アッラーの定めに不満足感を見せることなく、声を挙げて無く事なく、故人の為に泣き言を言うことなく泣くことは、許可されています。預言者は息子のイブラーヒームが亡くなった時こう言いました。　本当に涙が流れ、心は悲しむが、我々の主が喜ぶ事以外は口にしません。本当に我々はあなたとの別れを悲しんでいます。イブラーヒムよ。　（ブハーリーの伝承）

4．戦場での殉教者は殉教した時に着ていた衣服のままで埋葬されます。洗体もされず、礼拝も行いません。　預言者はウフドの戦いの殉教者たちを洗わず血が付いたままの状態で埋葬するように命じました。（ブハーリーの伝承）

5．ハッジまたはウムラ中にムフリム（巡礼着を着たまま）で亡くなった場合は、洗体し香水は付けずに頭は覆わず、礼拝を行います。これはハッジの間に亡くなった男性に関することで制定されたものです。　水とシドルで洗体しなさ　い。2枚の布で遺体を覆い、香水も付けず頭を覆ってはいけません。何故なら彼は審判の日にタルビヤを唱えながら復活されるでしょう。（ブハーリーの伝承）



故人の家族に食事を用意する



殉教者は彼の衣服のまま埋葬

簡潔にイスラム法を学ぶ

図解付き崇拝行為に関する諸規定



斎戒 サウム

斎戒（サウム）：その規定と徳

第1課

斎戒（サウム）：その規定と徳

目次

言語的な意味:

特定の物の消費を避けることです。

イスラム法においてのサウムの意味:

偉大なアッラーの奉仕と服従として暁から日没まで、飲食や性交などを控えることです



サウムの徳

｛信仰する者よ，あなたがた以前の者に定められたようにあなたがたに斎戒が定められた。恐らくあなたがたは主を畏れるであろう。

（斎戒は）定められた日数である。だがあなたがたのうち病人，または旅路にある者は，後の日に（同じ）日数を（斎戒）すればよい。それに耐え難い者の償いは，貧者への給養である。すすんで善い行いをすることは，自分のために最もよもしあなたがたがよく（その精神を）会得したならば，斎戒は更にあなたがたのために良いであろう。ラマダーンの月こそは，人類の導きとして，また導きと（正邪の）識別の明証としてクルアーラが下された月である。それであなたがたの中，この月（家に）いる者は，この月中，斎戒しなければならない。病気にかかっている者，または旅路にある者は，後の日に，同じ日数を（斎戒する）。アッラーはあなたがたに易きを求め，困難を求めない。これはあなたがたが定められた期間を全うして，導きに対し，アッラーを讃えるためで，恐らくあなたがたは感謝するであろう.｝
[雄牛章183節ー185節]

サウムには幾つかの膨大な利点と沢山の報酬があります。その位を絶賛するため全能のアッラーはサウムを自分自身に結びつけました。アブーフライラが伝えたクドゥシーハディースによると預言者（彼に平安あれ）は述べました。「：本当にアーダムの子（人間）の全ての行いは、その10倍から700倍の善行として倍増させられる。偉大かつ荘厳なるアッラーは仰った：「但しサウムは別である。それはわれのためのものであり、われはそれに（特別な）報奨を授ける。（というのもサウムする者は）われゆえにその欲望と食事を放棄したからである。そして（サウムする者の）口臭は、アッラーの御許において麝香の香りよりも芳しいものなのだ。（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承）」（合意）

サウムの啓示に潜む知恵

偉大かつ荘厳なアッラーへの服従として彼の規定に従うためです。全能のアッラーは仰せられました ｛恐らくあなたがたは主を畏れるであろう｝［雄牛章183節］

サウムは人に困難に耐える訓練を施し、自らを規律づけることを教えてくれます。

サウムは、同胞の痛みを分かち合う心を養います。飢えを感じる時　心は優しくなり貧者や困窮者への善行や奉仕へといざないます。

消化器官を過労から休息させ、その活力と回復を促します。

サウムに関する規定

至高のアッラーの仰せられるサウムは2種類あります。

1．義務のサウム

義務のものにも2種類があります。

アッラーのしもべに初期から義務とされたサウム。ラマダン月のサウムはイスラの五柱の一つです。

アッラーのしもべ自らによって課せられた義務のサウム。例えばサウムは契約破棄や不平等の結果の罪滅ぼしのためです。

2．奨励されるサウム

崇高で壮大なアッラーとアッラーのみ使いに推奨された全ての種類のサウムを含みます。この例として月曜と木曜日のサウム、月3日のサウム、ムハラム月10日目、ズー・アル＝ヒッジャ月の初めの10日間とアラファの日です。

斎戒の義務の条件

1．イスラーム:サウムは不信仰者には義務ではありません

2．　成人：サウムは子供には義務ではありません。しかしサウムに親しむために可能であればサウムを命じたり奨めることができます

3.理性が健常な者：サウムは障害者には義務ではありません

4.能力；サウムを遂行不可能な者には義務ではありません

ラマダン月のサウム

ラマダン月のサウムは至高のアッラーに命じられたしもべへの義務であり、イスラムの柱です。

至高のアッラーは仰せられました：　｛信仰する者よ，あなたがた以前の者に定められたようにあなたがたに斎戒が定められた。恐らくあなたがたは主を畏れるであろう｝［雄牛章１８３節］

預言者（彼に平安あれ）は述べました：　イスラムは5柱から成ります。そして彼はラマダン月のサウムについて言いました　ブハーリの伝承.

ラマダン月の斎戒の幾つかの徳

1.ラマダン月にサウムを行い、夜の礼拝に努めることで過去の罪が許されます。預言者は述べました。：信仰心と、ご褒美ゆえの努力をもってラマダーン月にサウムする者は、それ以前に犯した罪を赦される　（合意）また預言者はこう述べました：　信仰心と、ご褒美ゆえの努力をもってラマダーン月に礼拝（サラー）する者は、それ以前に犯した罪を赦される　（合意）

2.荘厳なる夜（ライラトル・カドル）に礼拝する者は、それ以前に犯した罪を赦されます：信仰心と、ご褒美ゆえの努力をもってライラトルカドルに礼拝する者は、それ以前に犯した罪を赦される　。（合意）

3.ラマダーン期間中の小巡礼（ウムラ）は預言者とハッジを行った者と報酬に関して同等です。預言者は述べました。：ラマダーン月のウムラは、私と一緒のハッジと報酬に関して同等です（ムスリムの伝承）

4.　ラマダーン期間中は、天国の諸門は開け放たれ、地獄の諸門は閉じられます。そしてシャイターンはかせをつけられて拘束されるのです。預言者は述べました：　ラマダーン月が来ると、天国の諸門は開け放たれ、地獄の諸門は閉じられる。そしてシャイターンはかせをつけられ（て拘束され）るのだ．（合意）　故にムスリムはアッラーに懺悔し、禁じられた事柄を避けるよう努め、引き続きアッラーのご慈悲と報酬を願います

5.　ラマダーン月はクルアーンが啓示された月です。従ってクルアーンを読みましょう：｛ラマダーンの月こそは，人類の導きとして，また導きと（正邪の）識別の明証としてクルアーンが下された月である.｝［雄牛章185節］

6.ラマダーン月は寛大さと慈悲と慈善の1ヶ月です。イブン・アッバースは言いました　預言者は男性の中で最も気前が良く、ラマダン月には更に気前が良かったです。本当に預言者はジブリールに出会った際に、善行に関して言えば吹き込む風よりもより良く、より優しかったです。（合意）



ラマダン月の始まりの合図

ラマダン月の開始は新月の確認によって始まります。シャーバン月の9日目の日没後に新月が確認されると、ラマダンの開始を示唆します。しかしながら30日目の夜の日没後に三日月が曇り、または塵または空中の煙の為に観察されなかった場合は、シャーバン月は30日と数えられます。預言者は次のように述べました：三日月が見えたら斎戒し、それが見えたら斎戒を解きなさい、しかしそれが視界から隠れたら、30数えなさい.（合意）

ラマダン月にサウムを解くこと

ラマダン月に斎戒を解くことは禁止で重大な罪です。したがって正当な理由なしに斎戒を解き、アッラーへの懺悔を拒否した誰もが、その年に斎戒したとしても、その一年の間の斎戒は受け入れられないでしょう。これは預言者の言行によるものです。：誰もが全能のアッラーに与えられた正当な理由なしに１日の斎戒を解いたとしたら、１年の斎戒は罪の償いとして十分ではないでしょう（アブ・ダウードの伝承）

斎戒を解いたことによる罰は重大です。アブ・ウママ・アルーバヒリーの伝承によると、かれは次のように預言者が述べるのを聞きました：　睡眠の経過中に2人の男がやって来て私の上腕部を抱え、私達は険しい山へと向かいました。その男たちは私にそれに登れと頼みましたが、私はできないと伝えました。彼らは私に容易にすると言いました。私がその山に登り、その真ん中に到達すると、大声が聞こえました。私は「あの声は何ですか？」と尋ねました。彼らは「それは地獄の住人の遠吠えです。」と言いました。そして私は違う場所へと連れていかれ、私は大腿後筋から吊るされ、口角が裂け、血がしたたっている人々を見ました。私は「彼らは誰ですか？」と尋ねました。彼らは、「彼らは斎戒を解く適切な時間の前に斎戒を解いた人々です。」と言いました.（アブ・ダウードの伝承.）

ラマダン中の（初期の預言者の同胞）サラフのマナー

ムハンマド（彼に平安と祝福あれ）はサラフ（初期の預言者の同胞）の見本でした。

イブン・アル・カイーム（アッラーの御慈悲がありますように）は述べました。ラマダン月の預言者の指導の1つは：ラマダン月にジブリールが預言者と共にクルアーンの修正をしたように全能のアッラーへの崇拝の強化です。そして預言者は最も寛大で、特にラマダン月は更に寛大でした。預言者はジブリールに出会ったときは涼しい風よりも更に寛大でした。 （ザードゥル・マアード・フィ・ハディーカイリル・イバード（2/30））

ラマダン中のサラフ（初期の預言者の同胞）とクルアーン

ラマダン月のように好まれる時、特にライラトル・カドル（荘厳なる夜）を待つ夜は、この月のこの時の利点を得られるように、クルアーンの朗誦を増やします。

ラマダン月の最初の夜は、イマーム・ブハーリ（彼にアッラーの慈悲がありますように）は同胞を集めて、礼拝を先導していたものでした。彼は一つのラクア（アッラーへの礼拝を捧げる間のムスリムによる特定の動きの単位）に20節を朗誦し、クルアーンの全ての章を終わらせるまで続けました。またクルアーンの半分から3分の1をスフール（夜明け）前の時間に朗誦し、毎晩サウムを解く時間までにクルアーンの全ての章を終わらせようとしました。彼は次のように言ったものでした。「クルアーン朗誦を終了するたびに、アッラーが受け入れて下さるドゥアー（祈願）があります。」 （シファット・アル－サフワ（4/170））

シャーフィーの伝承によると預言者はラマダン月はサラート中に朗誦する以外に、60回クルアーンの全ての章を朗誦し終えました。（シファット・アル－サフワ（５/255））

サラフ（初期の預言者の同胞）とラマダン月に夜の礼拝に立ち上がること

サーイブ・イブン・ヤズィドの伝承によると彼はこう述べました； オマン・イブン・アル－カタッブの時代は、ラマダン中に20ラクアの礼拝でクルアーンの200節を朗誦していたものでした。。オスマン・イブン・アッファンの時代は、礼拝に立つ間の時間の長さの為に、自分自身を杖で支える必要がありました．（その章は100より多いという意味です。スナン・アル－クブラのアル・－バイハキ（2/699）

アブドゥッラ・イブン・アビ・バクルの伝承によると「私は父がこう言うのを聞きました；　ラマダン中にサラートを終えた時には、使用人はファジャールの時間が来るのを恐れて、急いで食事を準備したものでした．（ムワッタ・アル－イマム・マリク－アブドゥル・バキ（1/116））

ナフィはイブン・ウマルがラマダン月の間に家でサラートを行っていたと伝えました；　人々がモスクから去ると、彼は水の容器を持って預言者のモスクに出向きました。ファジャールのサラートの後までモスクを去ることはありませんでした． （スナン・アル－クブラのアル・－バイハキ（2・699）



簡潔にイスラム法を学ぶ

図解付き崇拝行為に関する諸規定



斎戒 サウム

柱、許可、奨励と忌まわしいサウムの行動とそれを無効にするもの

第2課

柱、許可、奨励と忌まわしいサウムの行動とそれを無効にするもの

目 次

サウムの支柱

第1の柱：日没から夜明けまでのサウムを無効にするものからの棄権

至高のアッラーは仰せられました： ｛また自糸と黒糸の見分けられる黎明になるまで食べて飲め。その後は日暮れまで斎戒を全うしなさい｝［雄牛章:187節

「白糸と黒糸」上記の節で述べられているのは、昼間の明るさと夜の暗さです

第2の柱:ニーヤ（意図）

これは飲食や他のサウムを無効にする全ての形態から慎む者は、全能のアッラーのみを崇拝する目的で行うべきという意味があります。預言者は述べました。； 全ての行動はニーヤによって判断されるべきで、全ての人間の行動に潜むものは、特定のニーヤです．（合意）

サウムのニーヤ（意図）

サウムのニーヤは夜明け前の夜にされなければなりません。しかしながら、これ（夜明け前の夜のニーヤ）は任意のサウムの場合は義務ではありません。従ってもしサウムを無効にする行いがなければ、昼間に任意のサウムのニーヤを考えることが可能です。これはアーイシャ、信者の母、（彼女にアッラーが悦ばれますように）のハディースによるものです; 預言者はある日入って来て、こう述べました。「何か食べる物はありませんか？」私達はここにはありませんと答えました。すると彼（預言者）は言いました。:「したがって私はサウムを行います（ムスリムの伝承）

サウム中の許可される行為

1. 入浴やプールに座って、冷やします.

2. 自分の唾や粘液を飲み込みこと.

3. それのどれもが喉に滑らって入らないことを条件に味見をすること .

4. 空気清浄剤の香り、またはどの物質の匂いも嗅ぐこと

ミスワークの使用

午前と午後に、ミスワークが濡れていても乾燥していてもサウムをしている者がミスワークを使用することは許可されています。しかしながら、ミスワークを使用中にはその1分が喉に入らないように気をつけなければなりません。何故ならそうなった場合はサウムが無効になるからです。



サウムの間の推奨行為

1．スフール（日の出前の食事）を食べて、可能な限り日の出まで延期すること

預言者は述べましたe:　スフール（日の出前の食事）を食べなさい。本当にサフールには祝福があります．（合意）

食品の量、一滴の水でさえ、スフールには十分です。これは高貴な預言者のハディースによるもので、彼は述べました:　スフールは祝福ですので、たった一滴の水だと思っても、切り捨ててはいけません。本当に全能のアッラーとかれの天使はスフールを取る者達へ礼拝を捧げます．（アフマドの伝承）

スフールを遅らせることが推奨されます。ザイド・イブン・サービットは述べました；我々はある日預言者とスフールを取りました。そして座っていたところからサラートへと向かいました。」アナス・イブン・マーリクは言いました：「あなたの食事とサラートとの両方の間の時間の範囲はどのくらいですか？？」彼は言いました。「聖なるクルアーンの50節を朗誦するくらいの長さ　.（合意）

アザーン（礼拝への呼びかけ）の間の飲食

もし飲食の間に礼拝への呼びかけ（アザーン）が聞こえたら、飲み終えるまで、飲み続けることが許可されます。アブー・フライラの伝承によると預言者は次のように述べました:　手の中に（水のカップ）容器がある間に、もし礼拝への呼びかけを聞いたとしたら、それの必要性を満たすまで、それを置くべきではありません（アブ・ダウードの伝承）

学者はこのハディースは夜明けの外観に疑問を持つ者に適していると説明しています。しかし、もし夜明けの外観に確信があれば、飲食するべきではありません。もし飲食すれば、特に夜明けの外観を確かめた後に、サウムは無効になり、そのようなサウムの日数を行うことが義務となります

2．サウムを解くよう急ぐこと

それは日没が確認されたらすぐにサウムを解くことが奨励されています。預言者は述べました。：　人々は急いでサウムを解除する時はいつでも祝福に恵まれないことはありません　（アブ・ダウードの伝承）

同様にイフタール（サウムを解く時の食事を新鮮なナツメヤシ、もしくは新鮮なものがない場合は乾燥ナツメヤシを摂ることが奨励されます。また奇数のナツメヤシを食べることも奨められます。アナス・イブン・マーリクは述べました。預言者はサラート（礼拝）の前に新鮮なナツメヤシでサウムを解除していたものでした。もし新鮮なものがなければ、乾燥のナツメヤシ、さもなければ、水を一口（ハッサ）飲みました。　（ティルミズィーの伝承）　もし全ての努力にも関わらず、これらのひとつも見つからず、もしサウムを解除する意向があれば、それで十分です。

3.サウムを解く時のドゥアー（祈願）

預言者はサウムを解く時に次のように述べました：　喉の渇きは癒され、血管は潤い、そしてアッラーの思し召しならば（サウムの）報奨は確定しました．（アブ・ダウードの伝承）

預言者はまた述べました：　本当にサウムをする全ての者へ、サウムを解く時に行う礼拝は拒絶されません　(イブン・マジャの伝承)

間違ってサウムを解いた者

もし誰かが日没の前もしくは夜明けにまちがって飲食してしまい、それが間違いだったと気が付きました。そのようなサウムの日数は義務ではありません。何故なら、至高のアッラーは次のように述べたからです：　{あなたがたがそれに就いて誤ることがあっても，罪ではない。だがあなたがたの心に悪い意図のある場合は別である。アッラーは覚容にして慈悲深き御方であられる}［部族連合章:5節］

預言者は述べました。：　全能のアッラーは謝りと忘却と強勢によって犯した私の共同体の罪を和らげました。．(イブン・マジャの伝承)

4．無駄話と淫靡の回避

預言者は述べました：　あなたのうちの誰かがサウムをする日は、無駄話（アル・ラファス）を話さなければならず、喧騒と大声をあげてはなりません。もし誰かが虐待されたり争いを持ちかけられたら、私はサウムを行っています　(合意)

と言いなさい。預言者は言いました：　偽のスピーチと虚偽の行為を破棄しない者は、アッラーは飲食物を彼らの為に破棄する必要はありません．（アブ・ダウードの伝承）

5.全能のアッラーへの礼拝の強化

クルアーンからの朗誦と全能のアッラーの唱念と夜の礼拝に立つこと、荘厳なる夜に立つこと、毎日の任意のサラートを行うこと、慈善を施すこと、正義の道に執拗に努力し、斎戒している者へイフタールを供給することと小さいハッジを行うこと、ラマダン月の善行は重々に褒章されます。

イブン・アッバスは伝えました：　預言者は最も寛大な男性でラマダン月にはさらに寛大になり、ジブリールが彼に出会った際は、ラマダン月は毎晩、ジブリールとクルアーンを修正したものでした。本当に預言者はジブリールと出会った時は、吹く風よりもさらに寛大になりました．　(ブハーリの伝承)

6.特にラマダン月の最後の10日間の間に礼拝に務めること

アーイシャ（アッラーが彼女に悦びますように）は述べました。；　ラマダンの最後の10日間がやって来ると、預言者は元気を出して、腰巻を締めて、夜を礼拝に費やし、家族を（夜間）に起こしました　(ブハーリの伝承)



サウム中の忌まわしい行為

1.口を漱ぐことと鼻からの水を吸い込む洗浄の過度

これは水が喉に入ることへの恐怖に起因するものです。預言者は述べました。:そして（洗浄の為に水をすすり入れる間）サウムを行っている時を除いて、水を引き入れる （アブ・ダウードの伝承）

2.貪欲なキス

キスすることはもしサウムを行っている者が、射精や性的衝動の切迫の可能性を恐れるなら、薦められません。また性的衝動を起こさせる何事も避けることが必要です。しかし、サウムを無効にする衝動がコントロールできると確信するなら、キスをすることは許可されます。アーイシャ（彼女にアッラーが悦ばれますように）は伝えています。； 預言者はサウムをしている中、キスや抱擁を交わしていたものでした。更に、彼は衝動をコントロールする最良の人です （合意）

こうしたことが理由で、老人とは違って若者の間では抱擁は好まれません。アブー・フライラの伝承によると； ある男は預言者がある男がサウムの途中に彼の妻を抱擁することを許可したこと、しかし他の男には他の時には賛成しなかったことに関して尋ねました。そして許可した者は年老いた男で、賛成しなかった者は若者であったことが明らかになりました （アブ・ダウードの伝承）

サウムを無効にするもの

1.ラマダン月の昼間に故意に飲食すること

全能のアッラーは申されました：｛また白糸と黒糸の見分けられる黎明になるまで食べて飲め。その後は日暮れまで斎戒を全うしなさい｝ ［雌牛章:187節］



斎戒(サウム）の章

> ## 人間の性質上の為にサウムを解除すること
>
> 例えば、パン屋さんや、退屈で厳しい雇用の労働者はサウムから免除されません。何故ならサウムは他の人にもそうであるように、彼らにとっては義務であるからです。

重要点:

うっかり飲食した者のサウムは本格的で許容されます。しかし、思い出したら直ぐに、それ以上の消費は止めることが義務です。預言者は述べました: サウムの最中に忘れて飲食した者は誰でもサウムを完了しなさい。何故ならその者に飲み物を与えたのはアッラーだからです （ムスリムの伝承）

斎戒は口や鼻:を通じて喉にはいるもの食べ物や飲み物の意味を示すものは何によっても無効となります。:食べ物や飲み物の意味を示すもの。

例えば、栄養素の静脈内注射です。

しかしもしそれがペニシリン注射のような治癒的注入がある場合は、サウムを無効にはしません。何故なら、それは食物の形態、飲み物やそれらの誘導体にはみなされないからです。


栄養剤はサウムを無効にします。


ペニシリンの注射はサウムを無効

他にも特別な条件が必要な喘息患者の為のサウムを無効にしない喘息用吸入器や他の医療用変異体のようなものがあります。


喘息患者の為の吸引機はサウムを無効にしません


アイライナーの使用はサウムを無効にしません nabe.

アイライナーの使用、目と耳の薬またはその種のものはサウムを無効にしません。何故ならそれらのものはサウムを無効にしないという証拠はないからです。

さらに、目は通常は飲食物への道ではありません。

これは耳と鼻の薬にも当てはまります。ただ鼻は胃へと直通なので、サウムをする者がウドゥーの最中に水を鼻にすすり入れる過度に関する預言者の制限の為に鼻の薬には注意することが重要です。


口の中に残った食べ物はサウムを無効にしません。


喫煙はサウムを無効にします

2．性行為

至高のアッラーは仰せられました：　{あなたがたは斎戒の夜，妻と交わることを許される} [雌牛章:187節]

ですので、サウムの途中に性行為を行った者はサウムを無効化しました。そして従ってその日の（サウムが無効になった日）サウムを後程行わなければなりません。その上で、奴隷を解放することで償わなければなりません。それが不可能であれば、次のように表示された順序で次のいずれかを実行する必要があります。；連続で2ヶ月サウムと行うか60人の貧者に施します。アブー・フライラによると彼は述べました；ある男が預言者の元へやって来て言いました。：「私は破壊されました。」預言者は答えました。「あなたに何が起こったのですか？」その男は言いました。：「ラマダン（サウム）中に私は私の妻と性行為をしました。」預言者は尋ねました。「あなたは奴隷を解放できますか？」預言者は続いて尋ねました。「あなたは2カ月連続でサウムをすることができますか？」その男は尋ねました。「いいえ」さらに預言者は尋ねました。「60人の貧者に施すことができますか？」彼は言いました。「いいえ」そこで預言者はその男に座るように言い、彼は座りました。しばらく後に大型計量容器（アル・アラク）一杯のナツメヤシが贈り物として預言者の元へ運ばれてきました。預言者はそれを彼に差し上げて言いました。」その男は答えました。「私は私と私の家族より貧しい人へ施すのですか？」そこで預言者は大臼歯が見えるほど激しくわらいました。そして預言者は言いました。「それであなたの家族を養いなさい．（合意）

これは罪の償い（カッファラ）の配列です。もしサウムができるのなら、60人の貧者に施す必要はなく、奴隷を解放する事ができる者がサウムを行うと同様に間違っています。

それはもし女性が夫を誘う、もしくは夫の衝動に応答するとしたら、女性にも罪の償いは必須になります。しかしもし女性が余儀なくされたなら、サウムは無効となり彼女のサウムが無効となった日を罪滅ぼしなしに、その日のサウムを後程補うでしょう。

性交の意味に関連:意図的な射精、もしサウム中の男性が妻にいそいそとキス、自慰、その他を行い、射精した場合は、その男性のサウムは無効となります。何故ならその欲望はサウムの行為と矛盾し、それ故に償うことなくその日のサウムを補わなければなりません。原文では特別に言及している為、罪滅ぼしは実際の性行為の時のみ必要とされます。

もし夫が妻を愛撫し、彼女に触れ、または思いがあり、マディー（初期の精液）が排出された場合は、夫のサウムは無効です

何故ならマディーによってサウムが無効になるという証拠の文章はないからです

サウム中の者がもし睡眠を摂り夢精する、もしくは願望なしに射精、病気が原因の場合はサウムは無効にはなりません。何故なら意図的に射精しようと選択したのではないからです。

もしジュヌブ（性行為による儀式的な不純）で目覚めたら、性行為またはファジャールの前の夢精の結果のサウムは有効です。夜明けのサラートをジャマア（モスクでの合同）を行う為のグスル（主要な儀式的不純に続く儀式的な洗浄）を行わなければなりません。:アーイシャが伝承したところによると、アッラーのみ使いは時折妻たちと性行為を行った後のジャナバ（儀式的不純）の状態でファジャールの時間に起きていたものでした。彼は風呂に入りサウム（サ一回）を行いました。

3．意図的な嘔吐

定義:口を通じて意図的に胃の中にある飲食物を嘔吐すること。もし、しかし、意図せずに嘔吐したいという欲望に追い抜

かれたなら、そのサウムはまだ有効です。預言者は言いました。：意図なしに嘔吐する者は誰でも、そのサウムを補う必要はありません。しかし意図的に嘔吐する者は誰でも、サウムの日数を後程補わせなさい

4.ハイド（月経）の血の放出とにファース（出産後の出血

女性がハイドの血もしくはナファス一日没の最後の時間でさえ一サウムを解除しなければならず、その日のサウムを後程補わなければなりません。

斎戒（サウム）の章



利点

学者の大多数はヒジャーマ（吸角法）（特別な道具を使用して体内から血液を引くこと）はサウムを無効にしないという意見です。預言者はサウム中にヒジャーマを施行しました。アビ・サイード・アルーコドリの伝承によると「アッラーのみ使いはサウム中の者のキスとヒジャーマを有効としました。しかし弱点の為に嫌悪されました。アナス・イブン・マリクは尋ねられました。「サウム中の者のヒジャーマを嫌悪しましたか？」彼は答えました。「いいえ、弱くなるという理由以外では

傷跡からの出血、歯の抽出から、鼻血からまたサンプル抽出の為の血液採取を通じて、または血液の寄付はサウムを無効にしません。



簡潔にイスラム法を学ぶ

図解付き崇拝行為に関する諸規定



斎戒サウム

ラマダンのサウムの解除の許可される理由と逃したサウムの日数の補い

第三課

ラマダンのサウムの解除の許可される理由と逃したサウムの日数の補い



目 次

ラマダン月にサウムを解く許可された理由

1．病気

病人はラマダン月に斎戒を解くことが許可されます。至高のアッラーは述べました：｛だがあなたがたのうち病人，または旅路にある者は，後の日に（同じ）日数を（斎戒）すればよい.｝［雌牛章:184節］

サウムの解除が許可される病気は、もし病人がサウムをすれば深刻な痛みを起こしたり、それに繋がるものです。

病人が斎戒を解くこと

もし病人が斎戒を解き、その病気が治癒する予想がつくなら、逃した日数を斎戒するのが必須です。至高のアッラーは仰せられました：｛だがあなたがたのうち病人，または旅路にある者は，後の日に（同じ）日数を（斎戒）すればよい.｝［雌牛章:184節］

しかしもし病気の治癒が期待できない場合は、例えば疾患または老人が永久にサウムをする能力がない場合、１日につきサアーの半分の米、もしくはコミュニティー内の一般的な食品を(サアーは平均的な男性の４度の一握りの尺度です。1サアーはおおよそ2.25キログラムで、従って一日に施す良はおおよそ1キロと25グラムです）人の貧者に施さなければなりません

2．旅行

旅行者はラマダン月にサウムを解除することが許可され、逃した日の日数を後程斎戒します。全能のアッラーは申されました：｛だがあなたがたのうち病人，または旅路にある者は，後の日に（同じ）日数を（斎戒）すればよい｝［雌牛章:184節］

アル・カスル（礼拝中のスジュードの回数の削減）（サラート）が許可される同じ距離は、人々の習慣による旅行と許可される形の旅行と知られていれば、サウムの解除も許可されます。もし、しかし、それが罪のある旅行もしくはサウムから解除される為の旅行であれば、サウムの解除は禁じられるでしょう。

しかし、もし旅行者がサウムを決心するなら、それは有効になるでしょう。これはアナス・イブン・マーリクの伝承によるもので、彼は述べました；　我々はサウムをしながら預言者と旅行したものでした。そしてサウムをしている者達はサウムを解除した者達を罵倒したり、見下したりはしませんでした．（ティルミズィーの伝承）

しかし、この許可はサウムがその者にとって重荷であったり痛みを起こさないことが条件です。これは何故なら預言者が旅行中のある日、厳しい暑さの為にある男がサウムが重荷になった（酷く弱体化して）ところを見ました。そしてそのような人々が彼の周りに集まりました。それ故に、預言者は述べました：旅行中のサウムは正義の一部ではありません（ティルミズィーの伝承）



3. 妊娠と授乳

妊婦と授乳中の女性でサウムを行うと重荷になるという恐れがある者は、サウムを解除することが許可され、病人の場合のようにサウムの日数を後程補います。預言者は述べました; 全能のアッラーは旅行者のサウムとサラート（毎日の礼拝）の一部を和らげられ、妊婦と授乳中の女性のサウムを和らげられました. （ティルミズィーの伝承）

しかしもし自分の子供や胎児のみへの負担を恐れるなら、サウムを行わなかった日の日数に付き1人に施し、その日数分を後程サウムしなければなりません。イブン・アッバスは述べました: 妊婦と授乳中の女性に関しては、もし子供へのサウムの負担を恐れるなら、サウムを逃した日数を後程サウムし、逃した日の日数分、貧者に施します. （アブ・ダウードの伝承）

4. 月経と産後の出血

しかし月経中の女性もしくは出産後の出血はサウムが禁じられているので、サウムを解除する義務があります。もし、しかし、サウムを行ったなら、それは有効ではなく:サウムを逃した期間と同等のサウムを返済しなければなりません。アーイシャ（アッラーが彼女に悦んで下さいますように）は何故月経中の女性が逃した礼拝ではなく逃したサウムを支払うのか尋ねました。彼女は述べました; それ（出産後の出血と月経の出血）は私達に降りかかり、逃したサラート（礼拝）ではなく、我々は逃したサウムを支払うように命じられました （合意）

逃したサウムの支払い

もしムスリムがラマダン中有効な理由なしに、サウムの日を逃したとしたら、アッラーに懺悔し、かれの許しを得なければなりません。何故ならその犯罪は偉大であり、忌まわしい行為だからです。彼はまた反省と許しを請うことに加えて、サウムを行わなかった日数をラマダン後に補わなければなりません。最初の段階でサウムを解除する資格はなく、正確な時間の日々をサウムしなければならなかったので、学者の最も正確な見解によれば、ここでラマダン後直ぐ翌日（複数日）にサウムの日数を補う必要があります

もし女性のハイド（月経）と二 ： 私はラマダンのサウムを逃した日をシャアバン（次のラマダンの前の最後の月）まで補うことができませんでした。」助手の語り手のやひやーは言いました。「彼女は預言者に仕えることに忙しくしていました. （合意）

しかし逃したサウムの日々を早急に支払うことが好まれ、高く奨励されています。何故ならそうして債務から解放されるからです。そしてサウムから妨げるような病気やそのような予期せぬ何かの為に、そうすることは人の為にも安全です.

もし次のラマダンまでに逃した日数を補うことを延期し、その延期の理由があるなら、またその同じ理由がまだ続くなら、次のラマダンの後にその日数を補う必要があります

しかしもし理由もなく次のラマダンまでに日数を補うことを延期させるなら、大多数の学者の見解によると、その国の主食である1サアーの半分（約1.5キロ）を日数分貧者にふるまうことが義務とされます。ハナフィスとタヒリスはしかし貧者を養う必要はないという見解です。逃した日々を補う為にサウムは連続して行う必要はありません。連続した日もしくは別の日に日数を斎戒する事ができ、両方が正解です: ｛だがあなたがたのうち病人，または旅路にある者は，後の日に（同じ）日数を（斎戒）すればよい｝ [雌牛章:184節]

崇高なアッラーはこれらのサウムの日々を連続である必要はないと言います。もしそれが全能のアッラーが明らかにした条件であれば

ラマダンの逃した日々を補わなければならないなら、自発的なサウムを行う前にそのサウムを行うべきです。何故なら、サウムの義務はより偉大で重要だからです。しかしラマダン中の義務的なサウムの日を補う前に任意のサウムが許可されます。もし任意のサウムの日がその美徳の為に、逃したくない場合です。

例としてはムハッラムの10日目、

アラファの日、シャウワルとそのような6日間のサウム、

ラマダンのサウムの日を補う機会は次のラマダンの前までの6日間のサウム、

ラマダンの日数を補う為の機会は次のラマダンまであるからです。

しかし、早急にラマダンの日数を補うほうが良いです。

有効な理由で死ぬまでにラマダンの日数の補いを延期する者

は誰でも、意図的にサウムを残したのではないので、彼に反対はありません。しかしもし、理由がない場合は、ラマダン中にサウムをしなかった日数の貧者に施しますが、もしそのサウムがナスル（もしなにかが起こったらアッラーの為にサウムすると誓うこと）であれば、かれの、後継ぎは彼の変わりにサウムしなければなりません。数人の学者はもしある者が死にラマダンからの補う日数がまだあったとしたら、ラマダンの義務のサウム、もしくはナスルサウムまたそのようなものであろうと、彼の後継ぎは亡くなった者の変わりにサウムするべきです。アーイシャ（彼女にアッラーが悦んでくれますように）の伝承によるとアッラーのみ使いは述べました：亡くなり（ラマダンに逃した日数を）サウム（斎戒）しなければならない者は、保護者（後継者）が彼の変わりにサウム（斎戒）しなければなりません（合意）

;イブン・アッバス（彼がアッラーに悦んでもらえますように）は述べました：　ある男が預言者へやって来て言いました。「アッラーのみ使いよ！私の母は亡くなり.（合意）



簡潔にイスラム法を学ぶ

図解付き崇拝行為に関する諸規定



斎戒

義務ではない（任意の）サウム

第4課 義務ではない（任意の）サウム

義務ではない（任意の）サウム

これらは至高のアッラーに近付く為の任意のサウムの全ての形態を含みます。

義務以上のサウムは素晴らしい美徳と壮大な報酬を含みます。クドゥスイーのハディースはアブーフライラによって報告されました。預言者は述べました；本当にアーダムの息子によって全ての正義の行為は10から700倍に報われます。しかし全能のアッラーは「サウムは例外です。それは何故ならサウムは我の為であり、それに応じて（サウムする者）に報酬を与えるでしょう　（合意）.

目 次

任意のサウムが推奨される日

1．シャウワル月の６日間（ラマダン月後）



預言者は述べました。：ラマダン月にサウムを行い、その後シャウワル月の6日間に続く者は誰でも、完全な1年のサウムが一緒に記録されることでしょう　（ムスリ承）

もしそのサウムを連続して行おうが、1カ月の間に行なおうが同じです



2．ズルヒッジャ月の最初の9日間（イスラーム暦の12か月目）

預言者は述べました。：「これらの日（12カ月の初めの10日間）以外に善行を行うことをアッラーがお悦びになる日はありません。同胞は問い合わせました：アッラーの為のジハード（闘い）についてはどうですか？」預言者は言いました。「アッラーの道（報酬次第）でのジハードさえも、但し生命と富をかけてアッラーへの道へと出かけ、それらのいずれかとも一緒に戻らなかった者以外は.（ブハーリの伝承）

しかし大巡礼を行わなかった者達にとっては、これらの日で最も重要なのはアラファの日です。アラファの日はイスラム暦の12カ月目の9日目です。預言者は言いました:　アラファの日のサウムに関しては、私は全能のアッラーが過ぎ去った1年と来たる1年の罪をお許しになることでそれを褒賞して下さると期待します.（ムスリムの伝承）



3. アーシュラの日のサウム

アーシュラ（ムハッラムの10日間）

ムハッラムの10日目、全能のアッラーの月

これは何故なら預言者は述べたからです：　アーシュラの日にサウムする為に、私は全能のアッラーがその以前の1年の罪を許して下さると期待します　（ブハーリの伝承）

この日にサウムをする理由はアブドゥッラ・イブン・アッバスの権限によると、彼は述べました。；　預言者はマディーナに到着すると、アーシュラの日にユダヤ教徒がサウムしているのを見つけました。そして彼は（何故その日にサウムを行うのか？）質問しました。彼らは答えました。「これは良い日です。全能のアッラーがイスラエルの子供を敵から救った日、そして預言者ムーサは（彼に平安あれ）その日の後日にサウムを行いました。」その時預言者は言いました。「私はあなたよりムーサに権利があります。」そして彼はサウムを行い、ムスリムにその日にサウムを行うように命じました　（ムスリムの伝承）

イマーム・ムスリムの伝承によると、預言者は述べました：　もし私が来年までに生き残るなら、9日目にサウムを行うでしょう（ムスリムの伝承）

4. 毎月の輝かしい日々

輝かしい日々：

これはイスラームの毎月の13日、14日と15日目です。この日は月光によって輝く夜なので、輝かしい日々と言及されます.

アブドゥル－マーリク・イブン・アル－ミンハールは父親から、預言者が「輝かしい」日々の3日間を彼らにサウムするように命じたと伝えました:　このサウムは１カ月間のサウムに相当します.（イブン・ヒッバンの伝承）

5. 毎週の月曜日と木曜日のサウム

アブー・フライラは伝えたところによると預言者は述べました。:善行は全能のアッラーによって毎週月曜日と木曜日に報告され、私はサウム中に私の善行が報告されるのを好みます.（ティルミズィーの伝承）

6. １日おきのサウム

任意のサウムの最良の形は預言者ダウド（彼に平安あれ）のサウムです。彼は1日サウムしたら、次の日に解除しました。アブドゥッラ・イブン・アーミル’は預言者が次のように述べたと報告しました:　サウムの最良の形はダウードのサウムです。（彼に平安あれ）:彼は1日サウムしたら次の日に休んだものでした.　（アン・ナサーイの伝承）

7. ムハッラム月のサウム（イスラーム暦の初めの月）

アブー・フライラーの伝承によると、預言者は言いました: ラマダン以外の最善のサウムはアッラーの月であるアル・ムハッラム月中にあります. （ムスリムの伝承）

8. シャーバン月のサウム（イスラム暦の８ヶ月目

「アッラーの預言者よ！私はシャーバンの月ほどにサウムを行っている月を他に見たことはありません。」預言者は答えましたt: それはラジャッブとラマダンの間の月で、その月についてはあまり沢山の人は気が付かず、そしてその間に善行は世界の主に返却されます。したがって私はサウムをしている間に、私の善行が全能のアッラーの元へ返却されることを好みます. （アン－ナサーイの伝承）

預言者のハディースに含まれる禁止に関して、彼は述べました: シャアバンが半分までになると、ラマダンまでサウムを行ってはなりません （イブン・クザイマの伝承）

これは意図的に1カ月が半分過ぎたことに関して、もしくはラマダンとシャアバンを結びつけるかのどちらかの禁止を意味します。しかし、1カ月の最初の部分の間のサウムの後で第2の半分のシャアバンをサウムする者は、その月をラマダンとサウムと結びつけません。すると彼のサウムには間違いはありません。サウムが禁止の日とサウムの忌まわしい行い

初めに:サウムが禁止される日

1.イードの2日間にサウムを行うことは不許可です。:アブー・フライラはアッラーのみ使いが2日間:アドハーとフィトルの日にサウムすることを禁じました。 roja Fitr qede e kirine.（ムスリムの伝承）

2.アイヤムット・タシュリーク、イードゥル・アドハー（ズルヒッジャの11日、12日と13日目）の3日後にサウムを行うことは許可されていません。アッラーのみ使いは言いました: タシュリークの日々は飲食の日々です （ムスリムの伝承）

しかしハッジを行っている者は、もしキラーンもしくはタマットゥハジを行っていて犠牲動物が見つからないならこれらの日々にサウムを行うことができます。クルアーンの雌牛章196節で説明されています: ｛またあなたがたが故障もないのに小巡礼をして，巡礼までの間を楽しむ者は，容易に得られる犠牲を捧げなければならない。もしそれを捧げることが不可能な時は，巡礼中に3日，帰ってから7日，合せて10日間（の斎戒）をしなさい｝［クルアーン雌牛章196節］

3.ヤウムル－シャク（疑惑の日）、空に三日月の観測を妨げる雲もしくは霧がある日に、その日がシャアバンの最後の日、もしくはラマダンの最初の日か疑われる日にサウムする事は許可されません。アンマールは述べました: 疑いの日にサウムを行う者は誰でもアブル・カーシム（ムハンマド）に背きました。. （ティルミズィーの伝承）

第２:サウムの忌まわしい行動

1.ラジャッブをサウムの為に選ぶのはマクルー（嫌われる）です。何故ならそれはジャヒリーヤ（イスラームの前の無知の時代）で、その人々はその月をサウムによって尊び、その慣習の復活になるからです

2.金曜日をサウムの日として選ぶのはマクルー（嫌われる）です。何故なら預言者様はそのように禁じたからです。アブー・フライラはアッラーのみ使いが次のように述べたと伝えました:あなたがたの誰も金曜日にサウムするべきではありません。（１日）前後にサウムしない限りは（ムスリムの伝承）

3.ウィサール、間の休みなしに途切れることなく毎日サウムすることはマクルーです。アブドゥッラ・ビン・オマルはアッラーのみ使いはウィサールを禁じたので預言者はウィサールを禁じました。彼ら（預言者の同胞の数人）は言いました。「しかしあなたは途切れることなくサウムしました。」そこで彼は述べました: 私はあなたのようではありません。私は食べ物を与えられ、アッラーによって飲み物を提供されました （合意）

説明

1.礼拝の為に、ムスリムはアッラーの法律に準拠する必要があります。禁じられた日にサウムをしたり、預言者が行わなかったサウム、例えばラジャブの２７日目もしくはシャアバンの真ん中の日、を採り入れるのは禁じられます。預言者は述べました：　イスラム（私達の事柄に、イスラームの部分ではないいくつかの事項を取り入れる者は誰でもそれを却下されるでしょう。（ムスリムの伝承）

2.ムスリムは異教徒の儀式を崇拝することは避けます。したがって彼らはサウムやまたそうでなければ、異教徒が崇拝する崇拝行為への献身を示してはなりません。

“

サウムに関する医療の視点

サウムはいくつかの肌の病の治療に効果的です。これは何故ならサウムは血液の中の水の割合を減少させ、したがって肌への比率を可能にします。これはそれゆえに身体の幾つかの微生物の存在に起因する幾つかの一般的な疾患に対する身体の免疫力を改善します。

”



簡潔にイスラム法を学ぶ

図解付き崇拝行為に関する諸規定



斎戒

カドルの夜

第5課 カドルの夜



目 次

何故カドルの夜と名付けられたか？（力・王座）

1.これはそれ（その夜）がクルアーンの啓示とその中の天使、祝福、慈善と許しの降臨の為に高い地位にあると意味します： {かれらが「アッラーは人間に何も（啓示を）下されていない。」と言うのは，アッラーを尊崇すべきように，尊崇していないからである}[家畜章９１節]

2.一部の人々は言いました。：「アル・カドルは「制限」を表す」これは全能のアッラーの御言葉からわかります; {また資力の乏しい者には，アッラーがかれに与えたものの中から支払わせなさい} [離婚章:7節]

ここで言う制限とはそれがどの夜に起こるのか知っていることを隠すことを意味します.

3.一部の人々は言いました。：「アル・カドルは「定め」と意味し、アッラーはその夜に次の年の事柄を下すという意味です。これは全能のアッラーのお言葉によるものです; {その（夜）には，英知に就いて凡ての事が明確にされる} [煙霧章：4節）

ライラトゥル・カドルの徳と位置

1.クルアーンはその夜に啓示されました。

全能のアッラーは申されました: {本当にわれは，みいつの夜に，この（クルアーン）を下した} [みいつ章:1節]

2.これは1000の月より良いです

全能のアッラーは申されました: { みいつの夜は，千月よりも優る} [みいつ章:3節]

これは:ライラトル・カドルに行われたどの善行の報酬も、ライラトル・カドルを含まない1000の月に行われたそれら（善行）の報酬よりも良いものである:という意味を表します

3.そこで天使とアル・ルーフ（ジブリール）が下降します。

全能のアッラーは申されました: {（その夜）天使たちと聖霊は，主の許しのもとに，凡ての神命を齎して下さる } [みいつ章:4節]

アブー・フライラの権限によると、預言者は述べました：　ライラトゥル・カドルはラマダンの27日もしくは29日目の夜に下り、天使たちはその夜に小石の総数よりも地球上にいるでしょう（イブン・クザイマの伝承）

4.この夜は平和に溢れています

全能のアッラーは申されました；　{暁の明けるまで，（それは）平安である }［みいつ章:5節］

5.これは祝福の夜です。

全能のアッラーは申されました；　{本当にわれは，祝福された夜，これを下して，（悪に対して不断に）警告を与え（ようとす）るものであろ}［煙霧章:3節］

6.その中で毎年の事項が下されます.

全能のアッラーは申されました；　{その（夜）には，英知に就いて凡ての事が明確にされる}［煙霧章:４節］

7.その中で礼拝に立つ者、信仰しアッラーからの報酬を期待する者は、過去の罪が許されるでしょう

預言者は（彼に平安と祝福がありますように）は述べました：ライラトゥル・カドルに礼拝の為に立ち上がる者は誰でも、全能のアッラーからの報酬を期待し信じる者は、過去の罪が許されるでしょう（合意）

ライラトゥル・カドルの実際の日時

全てのムスリムがラマダンの最後の10日間、特にその期間の奇数の夜（例:21日、23日、25日、27日、29日）のに努力するよう、全能のアッラーはライラトゥル・カドルの知識を隠します。預言者は述べました：　ライラトゥル・カドルをラマダン月の最後の10日間の奇数の夜に探しなさい　（合意）

ライラトゥル・カドルに関する幾つかのアハディィスの勉強後、学者の数人はその夜は奇数の夜の間に交差しますと言いました。

ライラトゥル・カドルの推奨された行い

1.アル・イアティカーフ（礼拝の為の隠居

アル・イアティカーフはラマダン月の最後の１０日間でライラトル・カドルに限られません。アーイシャ（彼女がアッラーに悦ばれますように）は預言者が次のように伝えたと報告しています；預言者はラマダンの最後の10日間に礼拝を行う為彼自身隠居していたものでした　（合意）

2.夜間に礼拝に立つこと、信仰しアッラーからの報酬を期待する（イイマナン・ワフティサーバン）：

預言者は述べました：　ライラトル・カドルの間に礼拝に立ち、信仰して全能のアッラーからの報酬を期待する者は誰でも、過去の罪が許されるでしょう　（合意）

3.アッラーへ祈ること

アーイシャ（彼女がアッラーに悦ばれますように）は預言者に次のように述べたと伝えています。：　アッラーのみ使いよ！もしライラトル・カドルを目撃する祝福を受けたとしたら、何という礼拝にすべきでしょうか？」預言者は答えました。：「アッラーフンマ・インナカ・アフウウン・トゥヒッブル・アフワ・アンニ」と言いなさい。意味　（ティルミズィーの伝承）

4.礼拝に務める為に家族を起こすこと

アーイシャ（彼女にアッラーが悦んでくれますように）は言いました；（ラマダンの）最後の10日間が来る時、預言者は自身を発揮してイザール（腰巻）を締め、夜の礼拝に務めて夜間に彼の家族を起こしました．（ブハーリの伝承）

ライラトル・カドルの印

1.ライラトル・カドルは暑さも極寒もない輝かしい夜です

ジャービルはアッラーのみ使いが次のように述べたと伝えました：私はライラトル・カドルのがどの日であるか見せられました、そしてその後その日がどれであるか忘れるようにされました、しかしそれは最後の10日の夜です。それは自由で輝かしい（バラジャトゥン）そして、暑すぎもなく寒すぎもありません （ イブン・フザイマの伝承）

2.次の朝に光線なしに昇る太陽

ウバイ・イブン・カアブは述べました。ライラトル・カドルについて尋ねられた時こう答えました：　アッラーのみ使いが教えて下さった印の中に、その日太陽は光線なしに昇るとあります

他の伝承でムスリムは述べました：　太陽は光線なしに輝き、昇ります （ムスリムの伝承）





案内

1.ラマダンの最後の10日間は、これらはその年の最高の夜なので、ムスリムは豊富に様々な崇拝行為を行うべきです。.

2.ムスリムは高潔な時間と有益な季節を、アミューズメントや遊び、買い物や不要なものとみなされることをしたり、うろついて無駄にするべきではありません

簡潔にイスラム法を学ぶ

図解付き崇拝行為に関する諸規定



斎戒

イアティカーフ

第６課　イアティカーフ

言語的な意味は：

何かの持続性とそれに自身を閉じ込めること

イアティカーフのシャーリアによる意味は：

全能のアッラーを崇拝する目的の為にマスジッド（モスク）に隠遁すること

目 次

イアティカーフの許可制

イアティカーフは最も高貴な行いの１つで従順の素晴らしい形です。アーイシャ（彼女にアッラーが悦んでくれますように）は言いました；預言者は亡くなるまでラマダーンの最後の１０日間に（モスクに）籠っていたものでした（ブハーリ）

イアティカフは私達以前の者達に加えられたように私達にも下されまさした：｛またイブラーヒームとイスマーイールに命じた。「あなたがたはこれをタワーフ（回巡）し，イアテカーフ（御籠り）し，またルクーウ（立礼）し，サジダする者たちのために，わが家を清めなさい｝［雌牛章:127節］

イアティカーフの規定

イアティカーフは推奨されていますが義務行為ではなく、いつでも行うことができます。しかし、イアティカーフの最高の形はラマダーンの最後の10日間の間に行われます。これは何故なら、預言者が熱心にラマダーンの最後の10日間の間にそれを行ったからです．（ザードゥル・マアード）

イアティカーフを行う条件

1.ニーヤ（意図）

イアティカーフを行う者はアッラーに近付く為にモスクの中に滞在するという意図を持たなければなりません。これは預言者のお言葉によるものです：　本当に全ての行いは意図によって判断されるでしょう（合意）

2.イアティカーフを行っているモスクがジャマア（合同）礼拝を行う場所であること

それはモスク以外の場所で行われることは許可されません：｛マスジドに御籠りしている間，かの女らに交わってはならない｝雌牛章：187節］

これは何故ならサラートを行うことが義務とされる、もしくはジャマアサラートの時間の度に繰り替えしイアティカーフを去るように強勢される時、どのジャマアサラートもそのサラートの破棄を必要としない、モスクでのイアティカーフだからです。

これは女性に有効ですが、しかしジャマアサラートが行われているかいないか不確かのモスクでイアティカーフを行うことは、それは女性のイアティカーフがフィトナ（反乱）にはならないことが条件です。

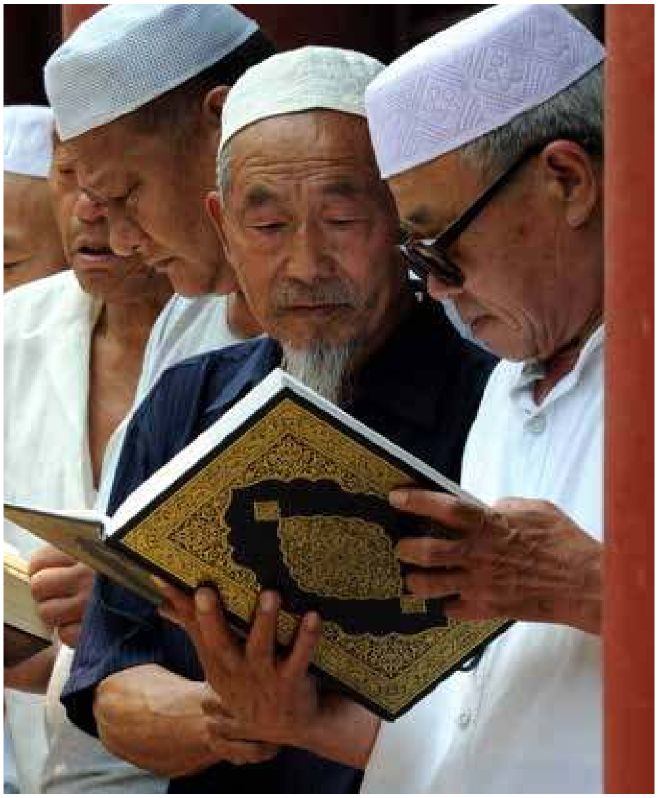
もしフィトナがイアティカーフを行うことからの結果であれば、そうすることは禁じられます。もしイアティカーフを行うモスクでジュムア（金曜）サラートが行われるのであればそれがより良いです。しかしそれはイアティカーフを行う条件ではありません


中央モスク

3.主要な儀式的不浄から自由であること

したがってジャナバ（儀式的不純）から清浄していない男、

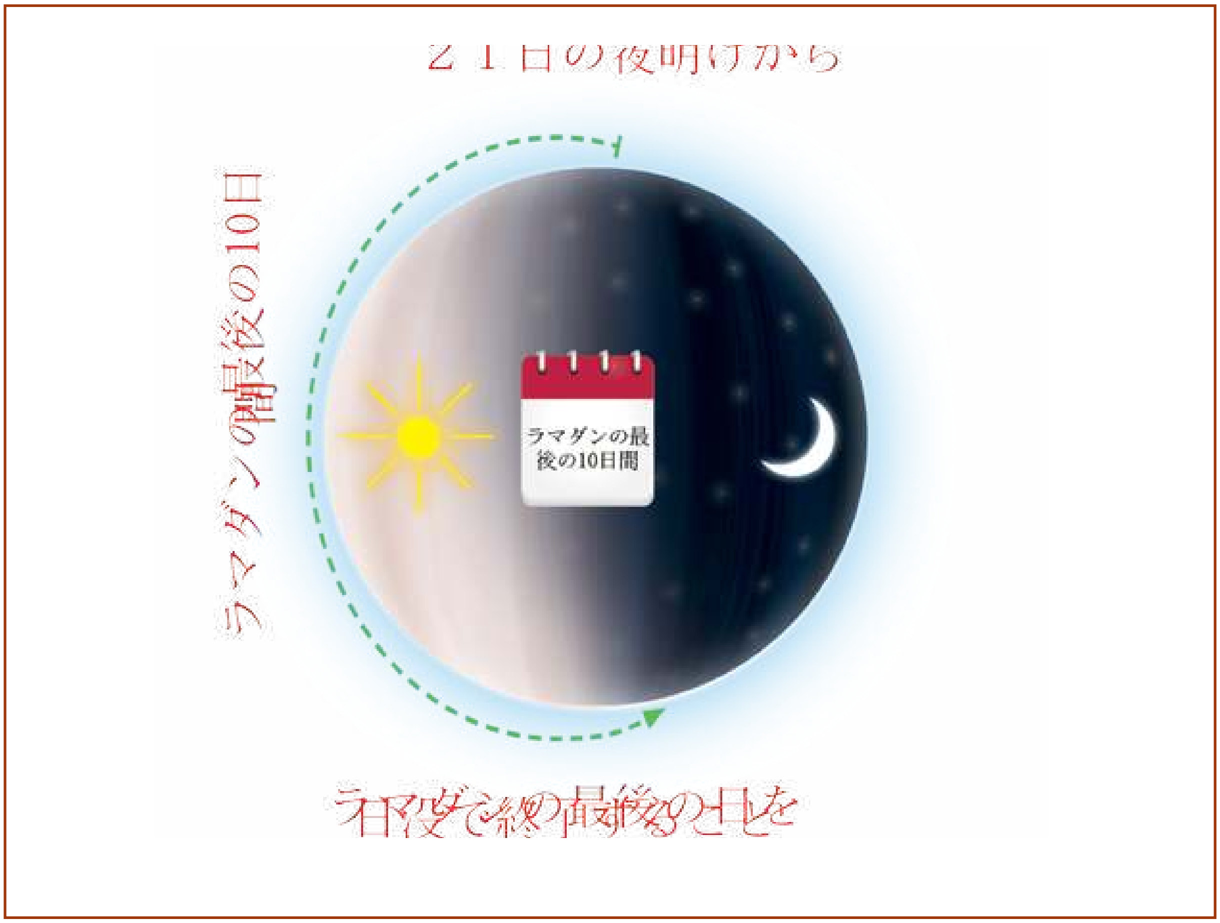
もしくは出産後の出血もしくは月経の出血のどちらかである女性はイアティカーフを行うことが許可されていません。これは何故ならこれらの2つの項目の人々は不純である為にいつでもモスクに滞在することが許されないからで



サウムはイアティカーフの条件ではありません。

サウムはイアティカーフの初期条件とみなされます。何故ならアブドゥッラ・イブン・ウマルは彼の父、ウマルが預言者にこう言ったと伝えているからです。：「私は聖なるマスジッドゥル・ハラームに籠る事をジャーヒリーヤ（イスラムの前の無知の日々）の間にアッラーに宣言しました。」そして預言者は述べました：　私は聖なるマスジッドゥル・ハラームに籠る事をジャーヒリーヤ（イスラムの前の無知の日々）の間にアッラーに宣言しました。　（ブハーリ）そして預言者は述べました。　約束を守りなさい　（ムスリム）もしサウムがイアティカーフの初期条件なら、ウマルによる夜間のお籠りは有効ではありません。その上サウムが禁じられているシャウワルの最初の１０日間に預言者がイアティカーフを行うことは創設されていました。更に、両方（サウムとイアティカーフ）は２つの別々の独立した崇拝の形です。したがって１つはもう片方の初期条件ではありません。





イアティカーフの期間

イアティカーフをどの日そしていつでもある期間の為もしくは間に行うことは許可されますが、イアティカーフは完全な昼間もしくは夜よりも短い間に行われるべきではないことが一番好まれています。これはその期間より短い間に預言者、彼の同胞がイアティカーフを行ったという事は預言者も預言者の同胞の誰からも記録されていないからです。.

ラマダンの最後の10日間のイアティカーフ

これがイアティカーフを行う最良の期間です。これはアーイシャのハディースで伝えられています; 預言者は全能のアッラーが彼の魂を引き抜くまでラマダーンの最後の10日間を崇拝の為にお籠りしていたものでした　（ブハーリの伝承）.

イアティカーフを行う意図のある者は誰でも、その月の21日目のサラートウス - スブーフをイアティカーフを行うモスクで行い、次にお籠りに入るでしょう。アーイシャ（彼女にアッラーが悦んでくれますように。）は伝えました;　預言者は毎年ラマダーン月に、イアティカーフを行っていたものでした。:預言者はサラートウス - スブーフを行った時、イアティカーフの場所に入りました（ブハーリの伝承）.

イアティカーフはラマーダンの最後の日の日没で終了します。しかしイードの早朝までモスクを去る事を延期する事が勧められます。何故なら、それは初期のムスリム同胞がそう行っていたと記録されているからです



Hイアティカーフに潜む叡智

イアティカーフの目的は全ての現世の事柄から自由になり、全能のアッラーの崇拝のみに務めて集中することです。したがってイアティカーフを行う者はこの理由から全ての現世の事項から精神を自由にすることが命じられます。

イアティカーフの間の許可される行為

1.もし誰かがその者に食品を持ってくるなら、飲食などの必要性の為、モスクを去ること。またトイレに行く為に去る事も許可されます。アーイシャの伝承によると、次のように伝えています；預言者はイアティカーフを行っている間に、私に頭を近付けていたものでした。彼は人間の必要性の為以外には家には入りませんでしたが、私は彼の紙を梳く手伝いをすることが出来ました（ムスリム）

2.上記のハディースに示されたように、髪をとくこと

3.人々との利益のある議論に参加することと彼らのことについて尋ねること、しかしそれをし過ぎるのは良くありません。何故ならそれはイアティカーフの目的を否定するからです

4.彼を訪れる家族のメンバーや親戚を招いたり見送ること。サフィーヤ・ビントゥ・フイェイ、預言者の妻は言いました；　私は一度夜間に幾つかの事を議論する為に、預言者がイアティカーフを行っている間に、預言者を訪ねたました。その時、私が去ろうと立ち上がると、預言者は立って私のお供をしてくれました。（見送った（合意）

イアティカーフを無効にすること

1.その時が長いか短いかは関係なく、正当な理由なしに、意図的にモスクを去ること。　これはアーイシャ（彼女にアッラーが悦んでくれますように）は伝えています；　そして預言者は人間的な必要性以外にはその部屋に入りませんでした（ムスリム）　またイアティカーフの柱である、モスクを去ることは彼がモスクに滞在することに存続させません

2.夜間に行われた時でさえ、性行為

全能のアッラーは申されました：｛マスジドに御籠りしている間，かの女らに交わってはならない｝[雌牛:187節]

このカテゴリーに含まれるのは、自慰もしくは性行為なしに妻を抱くような貪欲な射精に繋がる全てです.

3.ムスリムはある特定の期間の間イアティカーフを行う意図を持ち、後程それを中断し、それを彼に払い戻すことは許可されます。アーイシャ（アッラーが彼女に悦んでくれますように）は伝えました； もし預言者がイアティカーフを行う意図があったとしたら、彼はサラートゥスースブーの後に彼の隠居の場所（モスクのテント）に入りました。ある日、ラマダーンの最後の１０日間の為のイアティカーフを意図し、それは行われたのでテントが建てられるべきだと命じました。その後、ザイナブ（アッラーが彼女に悦ばれますように）（預言者の妻）は彼女のテントが建てられるように命じ、そのほかの預言者の妻達の数人も彼らのテントが建てられるように命じました。その後サラートゥスースブーの完了後、預言者はモスク内にある幾つかのテントを見ました。そして彼は質問しました。：「あなたがたは皆正義を意図しますか？」その後彼は彼のテントを閉じて、シャウワルの最初の１０日間にそれを支払うまで（その年の）ラマダーン月のイアティカーフを延期しました （合意）

他の伝承では、彼はシャウワルの最後の１０日間に支払うまでと伝えられています。

4．病人を見舞うことと葬儀に参加すること

ムゥタキフ（イアティカーフをしている者）は祈りに専念している時は、病人の見舞いも葬儀への参加も行わない。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）











Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ザカート：その規定と条件

第1課 ザカート：その規定と条件

ザカートの定義：

ザカートの語義：;
成長と増加

ザカートの法的意味：
資産の決められた量を決められた時期に決められた一団の人々に提出すること。

目 次

ザカートの位置:

ザカートは、イスラームの義務の一つであり、イスラームの5柱の3番目の柱です。アッラーは、語りました。{礼拝を行い、ザカートを出しなさい。}［御光章56節］{

}預言者は、おっしゃいました。（イスラームは、5つの柱の上に建てられています。それは、アッラー以外に神はないと証言し、ムハンマドはその僕にして使徒であると証言することと、礼拝を行うことと、ザカートを出すことと、カアバ聖殿へのハッジと、ラマダーン月の断食です。）（合意の伝承）

ザカートを拒む者の規定

ザカートを拒む者は、それを否定（その義務性を拒否すること）して拒むか、吝嗇によって拒むかのどちらかです。

1．ザカートを否定して拒む者

ザカートの義務性を否定する者は、もしそれが義務であることを知っているなら、ウンマのイジュマー（合意）により彼は不信者になります。何故ならアッラーとその使徒を嘘つきとしたことになるからです。

2．吝嗇によりザカートを拒む者

ザカートを吝嗇から拒否する者は、強制的にそれは徴収されますが、そのことで不信者にはなりません。例え彼が大罪の一つや重大な罪を犯したとしてもです。それは預言者の次の言葉によります。（金の所有者であっても銀の所有者であってもそのうちの義務を果たさない者は、審判の日、火のプレートが敷かれ地獄の業火の中のその上で熱せられ、彼の脇も額も背中も焼かれます。そしてそれが冷めるたびに同じことが繰り返されます。僕たちの裁きがなされるまでその一日は、5万年の長さに相当します。そして彼は、その行き先を見せられます。それは天国か地獄かのどちらかです。）（ムスリムの伝承.）

もし彼がそれに対して戦うなら彼がアッラーの命令に従いザカートを支払うまで戦われます。それはアッラーの言葉によります。{だがかれらが悔悟して、礼拝の務めを守り、定めの喜捨をするならば、かれらのために道を開け。本当にアッラーは寛容にして慈悲深い方であられる。}［悔悟章5節］

また預言者の次の言葉によります。（私は、人々がアッラー以外いに神はなく、ムハンマドがアッラーの使徒であると証言するまで、また彼らが礼拝をし、ザカートを出すまで戦うことを命じられました。もし彼らがそれを行えば、彼らの生命と財産はイスラームの権利によるもの以外は私から守られ、彼らの清算はアッラーに委ねられるでしょう。）（合意の伝承）

かつてアブーバクルは、ザカートを拒んだ者と戦い、こう言いました。（アッラーに誓って、私は礼拝とザカートを切り離した者とは、必ず戦います。何故ならザカートは、お金の権利だからです。アッラーに誓って、例えアッラーの使徒様へ差し出すイカール（駱駝の脚を縛る縄）一つでもそれを私に拒むなら、私はそのことで彼らと断固として戦います）。（ブハーリーの伝承.）

ザカート義務の叡智

１．心を吝嗇や罪や悪行から浄化する。全能なるアッラーは語っています。{かれらの財産から施しを受け取らせるのは、あなたが、かれらをそれで清めて罪滅しをさせるためである}。［悔悟章103節］

２．財産とその増加分を清め、それを祝福の根拠とする。それは預言者の次の言葉によります。（サダカは、財産を減らすことはありません。）（ムスリムの伝承）

３．僕をアッラーの命に従うかどうかを試し、アッラーへの愛情がお金への愛情に優先することを試す。

４．貧者への慈善であり、困っている人の必要を満たす。それは愛情を増し、ムスリム社会の個人間での連帯責任の最高の段階を実現することになる。

５．アッラーの道のために惜しみなく与え施すことに慣れる。



ザカートの徳

1．アッラーの慈悲の獲得の原因になる。全能なるアッラーは語っている。｛またわれの慈悲は、凡てのものにあまねくおよぶ。それ故われは、主を畏れ、喜捨をなし、またわが印を信じる者にそれを授けるであろう。｝［高壁章156節］

2．アッラーの援助請求の条件。全能のアッラーは語っている。｛アッラーは、かれに協力する者を助けられる。本当にアッラーは、強大で偉力ならびなき方であられる。（かれに協力する者とは）もしわれの取り計いで地上に（支配権を）確立すると礼拝の務めを守り、定めの喜捨をなす者である。｝［巡礼章40，41節］

3．過ちを除く原因になる。預言者はおっしゃっています。（サダカは、水が火を消すようにその罪を消してくれます。）（テルミズィーの伝承.）



ザカートが義務となる条件

1．イスラーム

不信者からのものは無効です。何故なら至高なるアッラーは、不信者たちの行いを受け入れないからです。

2．自由人

奴隷には義務付けられません。何故なら彼の財産は、主人の所有物だからです。

3．資産のニサーブ

ニサーブ：
資産でザカートが義務付けられる最低限の決められた量や額。

ニサーブの条件：

a．ニサーブは、人がそれが無くてはならない食品や衣服や住居のようなものの必要最低限を超えた部分になります。何故ならザカートは、貧者への慈善を課すもので資産の所有者は、それを必要としない者でなけらばならないからです。

b．ニサーブは、完全に特定の個人の所有物であること。それで特定の個人の所有物ではないものにはザカートは課されません。例えば、マスジド建設のために集められたお金や公共の利益のためにワクフにされたお金や慈善団体の基金などです。



4．ハゥル（一年）の経過を経た財産

ハゥル：
ヒジュラ暦で満1年

それはニサーブの所有者が陰暦の12ヶ月間それ所有したものです。これは、特に貨幣と商品と家畜（ラクダ、牛、羊）についての条件で、農作物や果実や鉱物や財宝についてはハゥルの条件はありません。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

土地の生産物のザカート

第2課 土地の生産物のザカート

土地の生産物の定義

土地の生産物：
土地から生産される物の全てで、利用できるもの。

土地の生産物は2種類：穀物と果実、鉱物と財宝

目 次



第1：穀物と果実

穀物と果実の定義：

穀物：

全ての貯蔵された大麦や小麦などの穀物。

果実：

全ての貯蔵されたナツメヤシや干しブドウやアーモンドなどの果実。

穀物と果実のザカートの規定

穀物と果実のザカートは、義務です。全能なるアッラーの次の言葉によります。{収穫の日には、定めの喜捨を供出しなさい。}［家畜章141節］また預言者の次の言葉によります。(空（の雨）と泉が灌漑したりアサリーヤー）(アサリーヤー：自己灌漑によるもので、水源からまたは雨や川を仲介にしたもの)(によるものは、10分の1です。またナドフ)(ナドフ：散水による灌漑と生産に労力をかけること)(による灌漑された物は、10分の1の半分です。)(ブハーリーの伝承)

穀物と果実のザカートの義務の条件

1．貯蔵されたものであること：

それで毎日の食料のように貯蔵されないものについてはザカートはありません。何故なら貯蔵されないものは、資産で利用することができないために彼の資金を完結させないからです。．

2．升で量れること。

それはアゥサクで量られるものになることで、アゥサクは、量りの単位のことです。その根拠は、預言者の次の言葉によります。(穀物とナツメヤシには5アゥサク）(アゥサク：ワスクの複数形、ワスクは60サーア)(に達するまでサダカは、ありません。)(ムスリムの伝承)

それで升で量られない野菜や草などにはザカートはありません。

3．農場で人の手によって植えられたもの：

自生する植物は、ザカートはありません。．

4．ニサーブに達すること：

それは5アゥサクです。預言者は、おっしゃいました。(穀物とナツメヤシには5アゥサクに達するまでサダカは、ありません。)(ムスリムの伝承)

それは300サーア（預言者の時代）で高品質小麦612キログラムに相当します。ニサーブに達するためにそれぞれが一年ものの数種類のナツメヤシを纏めることもできます。例えば、シュガー・ナツメヤシにバルヒー（新鮮）・ナツメヤシを含めることなどです。それは一つの種で異なる種類だからです。しかし、異なる種を含むことはできません。例えば、小麦と大麦は一緒になりませんし小麦にナツメヤシを入れることはできません。



穀物と果実のザカートが義務になる時間

穀物でザカートが義務となるのは、その成長が最盛期になった時で、果実については、それが食べられる熟した状態になった時です。ザカートが義務となった後でその穀物や果実の売り手は、ザカートが課されます。何故なら彼は、それが義務となった時の所有者だからです。

穀物と果実の義務のザカートの量

１．灌漑で雨水や泉による人の手が入らず労力がかけられない作物については、10分の1（10%）です。

２．灌漑で井戸からの水やりのように人の手が入り労力もかかった作物については、10分の１の半分（5%）です。

３．灌漑で時には雨水で、時には井戸水のように上記の両方の方法で水やりをする場合は、10分の1の4分の3（7.5%）が義務となります。

その根拠は、預言者の次の言葉によります。（空や川や泉が灌漑したものは、10分の1です。サーニヤ（サーニヤ：それは井戸から水を灌漑する家畜）による灌漑の場合は、10分の1の半分です。）（ムスリムの伝承）



穀物や果実の損傷

穀物や果実が損傷した場合、それが意図的なものではなくまた過失によるものの場合は、ザカートは義務となりません。もし義務となった後で、過失や故意による損傷は、ザカートは免除されず、それを支払わなければなりません。

蜂蜜のザカート

イブヌ・アブドルバッル（アッラーの慈悲がありますように）は、法学者の総意として次のように伝えています。それにはザカートはありません。この見解は、最も正しいものです。何故ならその義務性についての明白で正確な根拠を示す記述がクルアーンにもスンナにもないからです。義務性を示す証明がない限り、基本は関わりがないことになります。

第2：鉱物と財宝

鉱物と財宝の定義

鉱物：

土地から採掘されるもので、土地そのものとは異なるもの。例えば、金、銀、鉄、宝石、鉛など、地中から採掘される原材料。

財宝：

人間によって地中に埋められた金や銀などの資産。



金の原料



銀の原料



鉛の原料



鉄の原料

鉱物と財宝のザカートの規定

それは義務です。至高なるアッラーはおっしゃいました。{信仰する者よ。あなたがたの働いて得たよいものと、われが、大地からあなたがたのために生産したものを惜しまず施せ。} [雌牛章267節] また預言者様は、おっしゃいました。（財宝については、5分の1です）。（合意の伝承）

財宝のザカートの条件

財宝のザカートの条件は、特にありません。それを取得した人は、すぐにザカートを支払います。

鉱物と財宝の義務のザカートの量

それが多くても少なくても5分の1が義務になります。それは、次の預言者の言葉による一般法則によります。（財宝については、5分の1です。）（合意の伝承）

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）











Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

二つの貨幣のザカート

第三課

二つの貨幣のザカート



目 次

二つの貨幣の定義

二つの貨幣：

金と銀、またその二つの位置にある今日流通している紙幣。

二つの貨幣のザカートの規定

それは、義務です。全能なるアッラーは、おっしゃいました。{また金や銀を蓄えて、それをアッラーの道のために施さない者もいる。かれらに痛ましい懲罰を告げてやれ。}［悔悟章34節］また預言者様はおっしゃいました。（金の所有者であっても銀の所有者であってもそのうちの義務を果たさない者は、審判の日、火のプレートが敷かれ地獄の業火の中のその上で熱せられ、彼の脇も額も背中も焼かれます。そしてそれが冷めるたびに同じことが繰り返されます。）（僕たちの裁きがなされるまでその一日は、5万年の長さに相当します。そして彼は、その行き先を見せられます。それは天国か地獄かのどちらかです。）（ムスリムの伝承）

二つの貨幣のザカートの義務の条件

1．ハウル（満1年）の経過。

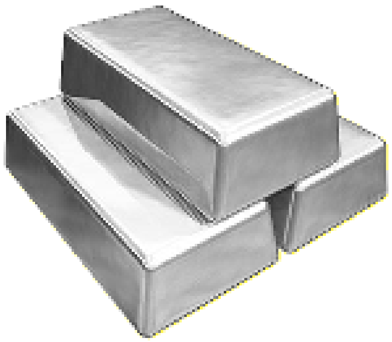
2．完全な所有。

3．ニサーブに達していること。





紙幣



銀



金

二つの貨幣のザカートのニサーブ

1．金の二サーブは、20　ディナール（85グラム）で、１ディナールは、金で４グラムと４分の１グラム（4.25グラム）です。ゆえに金のニサーブは、4.24×20＝85グラム（純金）となります。

2．銀の二サーブは、200ディルハム（595グラム）で、1ディルハムは、銀で2.975グラムです。それで銀のニサーブは、2.975×200＝595グラム（純銀）となります。

3．紙幣の二サーブは、ザカートを出す際に金と銀の二サーブを元に計算されます。二つのうちのどちらかの二サーブに達した時、ザカートが義務になります。

4．　例：もし1グラムの金が30ドルだとするとザカートは、30×85＝2550ドルになった時、義務となります。

二つの貨幣のザカートの量

金と銀と紙幣の義務のザカートの量は、2.5%です。

金は、20ディナールごとに2分の1ディナールをザカートとして出します。多くなった分については、少なくても多くてもそれに応じて計算します。

また銀は、200ディルハムごとに5ディルハムをザカートとして出します。多くなった分については、それに応じて計算します。それは預言者の次の言葉によります。（もしあなたが200ディルハムを持っていて、1年経っていれば、それには5ディルハムです。またあなたには義務はありませんーつまりー金の場合は、20ディーナールを持っていて、1年経っていれば、それは半ディナールです。多くなった分については、それに応じて計算します。）（アブー・ダーウードの伝承.）

実践例

9000ディナール所有する人物がいます。彼は、そのお金を自分の財産として1年経過しました。彼には、ザカートの義務はありますか？

初めに：私たちは、金か銀に関してのザカートのニサーブを次のように計算します。

二サーブは、純金で85グラムです。

85にザカートが義務となった日の純金1グラムの金の値段を掛けます。ここでは、それを30ドルとして計算すると、

85 ×30 = 2550ドルとなります。

ニサーブは、2550ドルですからこの人のお金は、二サーブに達していて1年経過していますからザカートが義務となります。

第2：私たちは、彼が出すべきザカートの量を次のように計算します。

ザカートの額は、2.5%です。

9000 × 2.5 ÷ 100 ＝225ドル

以上の計算によりこの人の払うべきザカートは、225ドルとなります。



私たちは、金のニサーブ純金85グラムをザカートが義務となる日の金の価格を30ドルとして計算します。

85 金のニサーブの量（グラム）

X

30 ザカートが義務となる日の金の価格

=

2550 貨幣のザカートのニサーブ

2550$



支払うザカートの額は、財産の2.5%で計算する。

9000 X 2.5 ÷100 = 225 支払う義務のザカート

金と銀を一方に纏めることに関して?

金と銀を所有しているが、どちらもニサーブにまで達しない場合、それにはザカートは、ないという見解が正しいです。それは金は金で、銀は銀でそれぞれでザカートを行い、ニサーブにするために二つを纏めることはしません。何故ならそれぞれは異なる二つの種だからです。また二つの貨幣をニサーブにするために一方を他方に纏めるという根拠は、示されていません。預言者様は、おっしゃいました。（５アワーク（アゥサク）にならないものにはサダカはありません。）（合意の伝承）金と銀を合わせた者は、銀で５アワーク未満でザカートを義務としたことになります。

装飾品のザカート

装飾品には二つのタイプがあります。金銀の装飾品とそれ以外の装飾品です。

1. 金銀の装飾品

第一区分：貯えと保管あるいは商業を意図した装飾品については、ザカートは義務になります。

第二区分：使用を意図した装飾品については、義務の履行としてザカートを出すことは、より良い予防措置となります。かつて一人の婦人が自分の娘を連れて預言者様の所にやって来た時、娘の手には重い二つの金のマサカト（マサカト：腕輪）がありました。そこで彼女にあなたは、これのザカートを出しますか？　と言うと、彼女はいいえ。と言ったので、審判の日にアッラーがあなたに地獄の業火でできた二つの腕輪をつけることをあなたは喜びますか？　とおっしゃったところ。彼女は、それを外して預言者様にそれを投げてよこし、言いました。（それは、アッラーとその使徒様のものです。）（アブー・ダーウードの伝承）

　法学者の中にはその装飾品にザカートを義務付けない人がいます。何故ならこの装飾品は、増やすためにプールされた資産ではなく、服や家具や所有物のような個人的に使用し利用し楽しむためのものだからです。それは女性の必需品であり装飾品です。基本は、その資産が増加する物であるか、ザカートが実現するくらいの増加が可能な物であることです。

　合法的な使用と装飾を意図した装飾品についてザカートを出すことは、より良い予防措置となります。何故ならこの言葉は、義務に対する最も良い予防であり証明になるからです。それは預言者の次の言葉によります。（あなたに疑いを抱かせるものから疑いのないものへ離れなさい。）（ブハーリーの伝承）



銀の装飾品



金の装飾品

2. 金銀以外の装飾品

ダイヤモンドやルビーや真珠などは、どんなに高価な物であってもザカートはありません。しかし、商品となっているものは除かれます。それは商品のザカートに入ります。









図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

商品のザカート

第4課

商品のザカート



目 次

商品の定義

商品（取引の展示物）：

それは、利益を求めて売買するために用意された全ての物です。

そのように名付けられたのは、それらの物が留まらずに展示されそれから移動されるからです。それで商人は商品そのものを求めている訳ではなく、その利益のお金を求めているからです。

商品は、お金以外の全ての種類の資源を含みます。例えば、自動車や衣服や布地や鉄や材木など取引のために用意されたものです。

商品のザカートの規定

商品のザカートは、義務です。それは至高なるアッラーの次の言葉によります。｛信仰する者よ。あなたがたの働いて得たよいものを惜しまず施せ。｝[雌牛章267節]学者の大多数は、この節の意図するところは、商品のザカートについて言っているとしています。また至高なるアッラーの言葉。｛かれらの財産から施しを受け取らせるのは、・・・｝[悔悟章103節] 取引の資金は財産の中の最も明白な財産の一つです。故にそれに対するザカートは、義務になります。.



商品のザカートが義務となる条件

1．その価値が、二サーブに達していること。その二サーブは、金と銀の価値によって計られます。

2．1年経過していること。

3．商売のために準備されたものであること。それはそれによって稼ぐことを意図することです。アッラーとその使徒様は、おっしゃいました。（行いは、その意図によります。）（合意の伝承）

それでもし意図が取引から使用に変わったら、その1年の期間が中断されたことになります。またその意図が取引に再び戻った時には、1年の期間が新たに始まることになります。しかし、その意図がザカートを免れるための欺瞞であったならその時は、1年の期間の中断にはなりません。

その例として：もし取引の目的で1月に土地を買ったとします。それから8月に自分がそこに住むための建築に目的を変えます。するとその1年の期間は、中断します。それから10月に再び目的を元の取引に変えたとします。その時には、1年の期間は、新たにその10月から始まることになるのです。しかしその行為がザカートを免れるための欺瞞からだとすれば、1年の期間は、中断することはありません。

.

商品のザカートの支払い方法

1年の期間が過ぎた時、商品の値段がその時の市場価格によって定められます。それからザカートがその商品からか或いはその同じ額が貧者の必要に応じて支払われます。

商人は、どのように商品のザカートを計算するか？

1．手元にある商品を時価で評価する。

2．手元にある現金を加える。それは商売で使うものもそうでないものも含めます。

3．支払いが保証されている債権の追加をします。

4．この総額から負債を差し引きます。

5．残りの金額からザカートが支払われます。それは、2.5%です。

義務のザカート＝商品の評価額＋現金＋支払いが保証されている債権－債務×陰暦による1年の期間のザカート率2.5%

－商業のザカートを計算するためには、ザカートが義務となる日の在庫一覧表や査定表によりザカート可能な資産を調べます。それには損益計算書における損益の存在に関わらず、予算決算書を参考にして行われます。

－包装や梱包のための資材は、それを単独で販売する意図で買ったものでなければそれだけの管理となりません。しかし、商品の販売で使用し、特別なバッグのような商品価値を高めるために使用するためである時には、評価されます。ただし普通の包装紙のように価値を高めるものでなければ評価には含まれません。

全ての商人－卸売り業者か小売業者に関わらずーにとっての評価は、通常1年の期間の終わりに買うことができる商品価格（置換価格）になります。それは、販売価格（市場価格）と異なりますし、取得原価あるいは簿価とも異なります。（参照：現代のザカート問題に関する第7回シンポジューム、ヒジュラ歴1417年・西暦1997年の勧告と決議）

－ザカートが義務となる最終日とそれが支払われる日の間で、価格が変わるならば、考慮された価格は、価格が増大するか、減少したかどうかにかかわらず、それが義務となる日のそれになります。

－輸送中の商品のザカートは、それらを手に入れる前はその元の所有者の責任です。購入された商品の所有権は、その受け取りに従って実現します。それで移動中の状態にある購入された商品は、もしそれが例えば販売者の港での受け取り時を基本にしている時には、その荷物の受け取りによりすぐに所有権が移ります。もしそれが買手の港での受け取り時を基本にしている時には、その荷物が到着港に達した時に、所有権に入ります。

－取引のお金が、異なる通貨や金や銀を含んでいるなら、商人は商品の評価をするために使っている通貨で支払うべき量を知って評価します。それはザカートが義務となる日の優勢な価格によります。

－買い手が代金を先払いし、まだ現物を受け取っていない取引商品についてのザカートは、買い手に支払う義務はありません。それは売り手の義務になります。

製造における原材料と副材料のザカート

1．自動車製造のための鉄や石鹸製造のための油脂のように製品の素材の構成に入れるために意図された（加工前の）原材料は、1年の期間の終わりにそれを買うことができる価格に従ってザカートが義務になります。これは製造のための動物とそれに類するものや穀物や植物にも当てはまります。

2．燃料のように製品の素材の構成に入らない副材料は、固定資産のようにザカートはありません。

3．非製造品と未完成品のザカート：

4.非製造品と未完成品のザカートは、（普通の）取引品と同様1年の期間の終わり時の現価に応じたザカートが義務になります。.





商品と一緒にザカートに対し別の原因が合わさること

商品と共に植物のようなザカートに別の原因が合わさった時は、商品のザカートが支払われます。（カダーヤー・フィクヒーヤ・ムアースィラ/ サラーフ・アッサーウィー博士著。51ページ以降参照。）

ザカートが義務とならない資産の種類

－真珠やサンゴや魚のように海から採れたもの。ただし、それが商品になった時は、除外されます。

－不動産や車などのようなレンタル目的の品物には、ザカートが課されません。ただし、その賃料が二サーブに達して1年の期間が経っていたらザカートが課されます。

－家や自動車のように自分が使用する必需品。

資本金のザカート

商業資産でザカートが課されるのは、利益を目的として売買のために用意されている流動資本です。一方、固定資産については、評価時には計算されません。そこからはザカートは支払われません。例えばラックや商品を保存するための冷蔵庫や輸送するための車両や商品を上げ下ろしするための機材などです。

ニサーブの所有

ニサーブの所有は、1年の期間（ハゥル）の最初から最後までの全てにおいてが条件になるのでしょうか？それともその期間の最初と最後だけそれを満たしていれば十分なのでしょうか？それともその最後だけ考慮すればよいのでしょうか？

重要なのは、ハウル（1年の期間）の最初と最後においてニサーブを達成していることです。それはハウル全てを通して評価することが困難だからです。ですからその最初は、ザカートが義務となる原因が定まった時でその最後は、決められた期間がやって来たと考えられるからです。ムスリムにとって最も容易なのは、特定な期間を限定することです。例えばラマダーン月などでこの期限で財産を評価しザカートを支払います。

株のザカート

株の定義

株：
株式会社の資本金の等しい部分の一つ。

例：資本金3百万ドルの株式会社は、創業時に資本金を10万株に分けたとしますと一株は3百ドルになります。この１つの部分が株となります。株の所有者は、その所有する株の量に応じてその会社の共同事業者となります。

株取引の規定

それはムバーフ（許容行為）です。会社がハラーム（禁止行為）を行っていないかリバー（利子）による取引が派生していなければです。

株のザカート支払い方法

－それについて会社の定款に記載されていたり株主がその支払いを委任した時には、会社が彼らに代わってそれを担います。

－会社がザカートの支払いを担ったとするならそれはOIC（イスラーム諸国会議機構）に属するフィクフ（法学）協議会が決定した法人と結び付けられるザカートは、スンナで記述されている家畜についての共同所有権の原則にしたがって支払われます。そしてそれは一部の法学者が全ての資産について一般化しています。つまり全ての株主のお金は、一人の人物の財産と見做され、ニサーブやザカートの量を考慮してザカートが義務付けられます。

－学者の大勢は、会社のザカートで共同所有権の原則を適用しないとして、むしろ個々の株主それぞれの配当金に目を向けるとしています。

またイスラーム研究学会の第２回会議は、この問題について多数見解を取り共同所有権の原則を取りませんでした。むしろそれぞれの資産を見ることにしました。それについての決定は以下の通りです：





”多くの個人が株を分担する会社においては、これらの規則を適用する時には、会社の利益の総体を考慮するのではなく、それぞれの株主ごとに割り当てられたものを考慮する。”

－このような状況では、会社は資本金からザカートが義務とならない株、例えば慈善のワクフ（寄付）株や慈善団体に割り当てられている株とザカートが義務とならない建物や事務所や家具や業務用車両などザカートの対象でない固定資産は差し引かなければなりません。

もし会社がザカートを支払はない時は、株主が自分自身にそれが課されます。それは次のようなケースです：

１．農業会社の株のザカートは、農作物や果実のザカートと同様に出されます。

２．営利企業の株のザカートは、資本と利益の両方から出されます。その株価の評価はザカートが義務となった時の市場価格によります。

３．製造会社の株のザカートは、純粋な利益から出され、機械や建物などからは出されません。

４．株主が、ハウル（１年の期間）内に自分の株を売った時には、その価格を自分の資金に加えザカートのハウルが来た時に一緒にザカートを出します。またその買い手については、前述のように買った株のザカートを出します。（カダーヤー・フィクヒーヤ・ムアースィラ/　サラーフ・アッサーウィー博士著。54ページ以降参照）

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

家畜のザカート

第5課 家畜のザカート



目 次

家畜のザカートの定義

家畜：

ラクダ、牛、羊。

家畜のザカートの規定

それは義務です。預言者の次の言葉によります。（ザカートを出さないラクダや牛や羊の所有者は、審判の日にそれらが以前よりもっと丈夫で肥えて所有者の所にやってきてその角で彼を突き刺し、アズラーフ）（ズィルフの複数形。蹄のこと）（で踏みつけます。最後が終わるたびに最初のものが再びやり直され、人々が裁かれるまでそれが続きます。）（ムスリムの伝承）

家畜のザカートが義務となる条件

1．家畜を所有してハウル（1年の期間）が経過していること。預言者の次の言葉によります。（資産においてハウルを経るまでザカートはありません。）（イブヌ・マージャの伝承）

2．サーイマ（放牧された家畜）であること。預言者の次の言葉によります。（40頭のサーイマのラクダごとに2歳の雌ラクダ一頭がザカートとして出されます。）（ナサーイーの伝承）ラクダのサーイマとは、その食物が地上の植物と許される草ー人の手によらない自然に生えているものーから供給されたものです。もし栽培された食物を食べる場合は、サーイマに数えられず、ザカートもありません。



3. それらがミルクや繁殖などの利益を得るために保持されていて、労働させるためではないこと。労働のラクダとは、耕作や土地の灌漑や商品の運送や重荷の運搬などに労働に使用されるラクダのことです。

労働のラクダは、ザカートが義務付けられません。何故ならその時点で衣服のような人の基本的な必需品になるからです。ただし、もしそれがレンタルとして用意されている時、ザカートはその代金がハウルを経ていればその中から出されます。

4. 規定のニサーブに達していること。.

家畜のザカートのニサーブ

第1：ラクダのニサーブとそれぞれのニサーブごとに義務となる量。

アナス・ブン・マーリクによるとアブーバクル・スィッディークが彼に次のように手紙を書いてきたと伝えています。（これは、アッラーの使徒様がムスリムに命じられた義務のサダカです。それは24頭のラクダとそれ以下については、5頭ごとに羊が1頭です。25から35頭に達した場合は、雌のビント・マハード）（ビント・マハード：満1歳の雌ラクダ。）（です。36から45頭までは、雌のビント・ラブーン）（ビント・ラブーン：満2歳の雌ラクダ。）（です。46から60頭までは、交尾可能なヒッカ）（ヒッカ：満3歳の雌ラクダ）（です。61から75頭までは、ジャザア）ジャザア：満4歳の雌ラクダ）（です。そして4頭のラクダしか持たない者には、その所有者が望むことを除いてザカートはありません。ラクダ5頭に達した時には、1頭の羊です。）（ザカートの支払いの羊は、6か月の羊、ジャザウと１年の山羊、サニーウ以外には分割できない。））(ブハーリーの伝承）

ラクダのザカートのニサーブ

ラクダの数	義務のザカートの量
9:5	羊1頭
14:10	羊2頭
19:15	羊3頭
24:20	羊4頭
35:25	ビント・マハード（満1歳の雌ラクダ）
45:36	ビント・ラブーン（満2歳の雌ラクダ）
60:46	ヒッカ（満3歳の雌ラクダ）
75:61	ジャザア（満4歳の雌ラクダ）
90:76	2頭のビント・ラブーン
120:91	2頭のヒッカ
........120	40頭ごとにビント・ラブーン 50頭ごとにヒッカ

第2：牛のニサーブとニサーブごとに義務となるものの量

ムアーズ・ブン・ジャバルは次のように語りました。（預言者様は、私をイエメンに派遣しました。そして私に牛の30頭ごとに雄か雌のタビーウ）（満1歳の雌牛か牡牛）（を1頭取り、40頭ごとにムスィンナ）（満2歳の雌牛）（を取るように命じました。）（アブーダーウードの伝承）

牛のニサーブとザカート

牛の数	義務のザカートの量
30:39	タビーウ
40:59	ムスィンナ
60:69	2頭のタビーウ
70:79	タビーウとムスィンナ

第3：羊のニサーブとそれぞれのニサーブで義務となるものの量

前述のアナスの伝承に次のように述べられています。（またサーイマ（放牧されている）の羊のサダカについては、40から120頭までは、羊1頭。120から200頭まで増えれば、羊2頭。200から300頭まで増えれば、羊3頭。300頭からは100頭ごとに羊1頭です。また人のサーイマが40頭より1頭でも少なければ所有者が望まない限りサダカはありません。）（ブハーリーの伝承.）

羊のザカートのニサーブ

羊の数	義務のザカートの量
40:120	羊1頭
121:200	羊2頭
201:300	羊3頭（百頭増えるごとに羊1頭）

ワージブ（義務）の特質

ザカートにおけるワージブは、所有物のうちで一番良いものからでも一番悪いものからでもなくその中間の物から得らることです。それで管理者は、義務となるものの歳を考慮しなければなりません。その時、それよりも年少は受け入れられません。何故ならそれは貧しい人たちを害するからです。またそれよりも高齢なものを取ることも許されません。何故ならそれは金持ちに不正を行うことになるからです。また病気なものや欠陥のあるものや老齢なものを取ることも許されません。何故ならそれらは貧しい人たちの役に立たないからです。それに対して食料とするために用意された肥えたアクーラや子供を育てているルバーや妊娠中のマーヒドを取ることは許されません。また保管された最も貴重な財産は取ることは許されません。何故ならそれは貴重品で、それを取ることは金持ちを傷つけることになるからです。



アッラーの使徒様の次の言葉によります。（人々の貴重品を取り立てることに気をつけなさい）。　（ブハーリーの伝承）

家畜の共同所有権

それには2種類あります：

最初の種類：動産の共同所有権

それは、財産がその所有権で二人の間で共有されていて、その二人の間で互いの取り分が区別されていないものです。この共同所有権は、相続と取引で起こります。

第二の種類：属性の共同所有権

それは、それぞれの取り分が明瞭に区別されているもので、二人の間を集めるのは、隣り合うというだけです。



二種類による共同所有権を持った二つの財産は、纏めた時二サーブになった時、一つの財産として、二人の共同所有権者はザカートが義務となります。もし二人のうちの一人がムスリムでない時は、共同所有は無効です。二つの共同所有された家畜は、夜を明かし避難し、全員がそこで休息する安息所を共有し、全員が草をはむ牧草地を共有します。また搾乳所や牧場や畑を共有します。またそれらと共有される繁殖用の雄牛が1頭いることが必要です。もしこれらの条件が満たされた時、二つの財産は共同所有権の効果により一つとみなされます。それは預言者の次の言葉によります。（サダカの不利益を恐れて、二つに分けられた群れを一つにしてはいけません。また一つの群れを分けてはいけません。二人の共同所有者に関することは、等しく相手の発言を取り消すことができます。）　（イブヌ・フザイマの伝承）

共同所有権は、ザカートを義務にすることも義務にしないことにも影響します。またそれは家畜において特別なものでそれ以外ではありません。

別個の群れを集めた例：3人の人物がそれぞれ40頭ずつ羊を所有していていて合わせると120頭になります。もしそれぞれをひとつずつと見做すなら彼らに対する義務は3頭の羊になります。しかし、それらの羊をすべて合わせたものにすれば羊は1頭だけになります。そこで彼らは、義務の3頭の羊を1頭にするために別々の群れを一つに集めたのです。

一つの群れを別々の群れに分ける例：40頭の羊を持った人物が、ザカート徴収人が来るのを知って、20頭を一か所に、ほかの20頭を別の場所に分けてそれぞれが二サーブに達しないようにしてザカートを取られないようにすることです。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ザカートの他の種類

第６課



ザカートの他の種類

目 次

負債のザカート

負債：

負債者が払うべきお金

ザカート支払い者が負わされている負債のザカートの規定

負債額が二サーブに達するか、負債額が二サーブより少なくさせる場合は、ザカートの義務はありません。もしその負債が二サーブより減らすことがなければ、資産から負債を引いてからその残ったものでザカートを払います。

例：1万ドルを持った人が1万ドルの借金がある時、その人にはザカートの義務はありません。何故なら借金がニサーブを吸収しているからです。同様に借金が9950ドルの時は、ザカートは義務となりません。なぜならそれは二サーブを減少させるからです。もし借金が4000ドルの時は、資産から借金分を差し引きます。そして残りの6000ドルがザカートの対象になります。

ただしこの借金は、取引のために使われないことです。例えば数年にわたる分割払いで購入した住居や巨大プロジェクトのための数百万もする機械を所有するため使われる借金などです。もしある実業家が事業拡大を決意して、手持ちの生産ラインに加えて新たな生産ラインを数百万ドルの借金で購入したとすると、この投資の借金はそれに応じたザカートを無効にすることになるのでしょうか？

この言葉の意味が貧しい人たちの得る莫大なザカートのお金を失うことを意味し、現在の企業家の多くがそれにはザカートは課されないとする結論に至っているかもしれない状況で、ヒジュラ歴1409年11月、西暦1989年6月、クウェートで開催された現代のザカート問題に関する第2回シンポジュームで次の結論に達しました。



第2：工業プロジェクトで資金調達に投資された債務－活用資産－は債務者が必要以上の固定資産を所有していなければ、それを債務の代わりとすることでザカートが義務となる資産から差し引かれます。この投資債務が期日指定であれば、求められる年賦がザカートの義務となる資産から差し引かれます。その商品が存在し、その価値が十分なら、それは負債の代わりになります。その時、負債は義務となる資産から引かれません。それでもしその債権が債務を払うのに十分でない時には、残ったものは義務となる資産から引かれます。

第3：通常、長期分割払いで返済される住宅ローンは、その求められている年賦を引いた残りが二サーブより多ければ、そこからザカートを出します。

他人への貸しつけ金についてのザカート支払い者の義務のザカートの規則

1．破産や遅延や負債を否定する債務者の返済不可能な債務については、債権者にはザカートはありません。ザカートが義務となるのはそれを手にした時で、その１年の期間についてだけです。

2．遅延をしない債務者の借金のようにそれが返済可能であれば、債権者は毎年ザカートが義務となります。何故ならそれは彼の資産の支配の許にあるからです。

債券のザカート

債券：

それが満期になった時、それを持参した者に発行人が、額面価格とそれに応じたファーイダ（利益）を一緒に支払うことを義務付ける証明書。

これは、明らかなリバー（利子）ですし、禁じられています。何故ならそれはファーイダの見返りとして債務になるからです。それで債券は、一般的に許されていません。何故ならそれは明白な利息を伴う貸付だからです。それを行う者は、至高なるアッラーにタゥバ（改悛）すべきです。

債券のザカートの規定とその分量

債券は、その発行人に対してそれを持参する者に支払われるべき期日指定の借金です。従って債券のザカートは、債務のザカート規則が適用されます。もしその額がそれ自身でニサーブに届くか、その所有者の現金や商品による資産に加えてニサーブに達し、かつ１年の期間を経ているならザカートが義務となります。その時には、その額の2.5%を支払います。もしその債券が、一定期間の後でなければ両替できない時は、ザカートは、放棄されませんがそれぞれの過去の年数分をその両替時に支払います。

作業終了の報酬と退職金と年金のザカート

業務終了の報酬：

それは、労働者が業務の終了において、法律や規則に規定される条件が満たされた時に、支払われるべき雇用者に課される決められた金額のこです。

退職金：

それは国家あるいは民間企業が、社会保険の法律で保護されている従業員や労働者が年金を受けるのに求められている条件の全てを満たされない時に彼らに支払う決められた金額です。

年金：

それは、従業員や労働者が業務の終了において、法律や規則に規定される条件が満たされた時に、毎月支払われるべき国家や企業に課される決められた金額のこです。

その規則

労働者や従業員は仕事に従事している間は、これらの権利においてザカートは義務となりません。何故ならザカートが義務となる条件を満たす完全な所有権が定まっていないのでそれを支払うことが出来ず、仕事をしている期間中は所有権のいかなる義務も遂行できないからです。

これらの権利は、従業員や労働者にそれを限定し、一度にあるいは定期的な期間で引き渡す決定が出された時、それらの所有は完全になり、その取得したものから利益を得たお金のザカートを支払います。これは第１回ザカート会議で、ザカートを支払う者が持つ、ニサーブと１年の期間が過ぎた資産に加えてザカートを支払うと決定されました。（カダーヤー・ファキーヒーヤ・ムアースィラ（現代のイスラーム法学問題）：サラーフ・アル＝サーウィー博士著、58ページ）

利用された資産のザカート

利用された資産：

全てのレンタルを意図したもので売買を意図しないもの。例えば土地や車両や製造工場などです。

学者の一致した考えは、そのもの自身にはザカートは無いが、所有するお金と商品に二サーブと１年の期間の計算でその利用益を加えたものにザカートが課されます。その額は、お金のザカートに準じ2.5%です。（カダーヤー・ファキーヒーヤ・ムアースィラ（現代のイスラーム法学問題）：サラーフ・アル＝サーウィー博士著、58ページ）

借り手が支払う保証金のザカート

保証金：

借り手が信用のために貸し手に前納するお金。

借り手にはザカートはありません。何故ならそれは彼の所有ではなく、ザカートが義務となる条件である完全な所有権が実現していないからです。（カダーヤー・ファキーヒーヤ・ムアースィラ（現代のイスラーム法学問題）：サラーフ・アル＝サーウィー博士著、60ページ。）

無形資産のザカート

無形資産：

これは物質以外のものに対する個人に属する権利です。それは文学や科学書籍における著作権や工業発明品における特許権や商人が顧客を引き付けるために行った商業活動の成果－商品名や商標－などの知的生産によるものです。

無形資産のザカート規則

無形資産は、慣習法において法的に財産価値があるものと見做されています。それで法的指針に従ってそれを自由に利用することは認められています。またそれは犯すことが出来ないものとして守られています。

著作権と特許そのものにはザカートの条件が満たされていないためにその義務はありません。しかしそれから収益が発生する時、活用される資産の規則が適用されます。（カダーヤー・ファキーヒーヤ・ムアースィラ（現代のイスラーム法学問題）：サラーフ・アル＝サーウィー博士著、60ページ。）



賃金と給料と自由契約の仕事による利益に対するザカート

賃金と給料：

労働者が得たその労働に見合うお金。

その規則：

これらのお金には、それを取得した時点ではザカートはありません。しかし他の二サーブと１年の期間が過ぎたザカートが義務となる資産に加えられ１年の期間が過ぎ二サーブに達した時、それら全てにザカートがかかります。１年の期間を通して儲けが出るものについては、例えそのものすべての部分でその期間が過ぎていなくてもザカート支払い者の財産全体で二サーブと１年の期間が過ぎていれば、その期間の最後にザカートを支払います。その額は、2.5%です。

ハラーム（非合法）な財産のザカート

ハラームな財産：

それは宗法がその獲得や利用を禁じている全ての資産で、その禁止が死体や酒のようなそれ自身に有害または邪悪さのある場合でも、あるいは略奪のような許可なしに他人の資産から取得し損害を与える他人に対する禁止の場合、あるいはリバー（利子）や賄賂のような、たとえ同意があっても宗法が認めていない方法による取得の禁止があります。

ハラームな財産のザカートの規則

酒や豚のようにそれ自身ハラームな財産のザカートは、ザカートの対象となりません。何故ならそれは、法的に財貨と見做されないからです。このような財貨については法的に決められた方法によって処理すべきです。

－その取得で法的欠陥が起こった外部に原因があるハラームな財貨は、その所有者がザカートが義務となる条件の完全な所有権がないことから、そこにはザカートはありません。もしそれがその所有者に戻ったら１年の期間が過ぎた分について、または選ばれた見解では例え何年経過していたものでもザカートが義務となります。

－ハラームな財貨の所有者は、それを元の所有者に返さないで、その分のザカートを払ったとしても彼の手元にあるものによってその罪は残ります。それは、法的に義務となるものの一部を出しただけで、ザカートを出したと見做されないからです。もしその持ち主が分かればそれを全て返還しなければ義務が果たされません。もし所有者が、分からなければ代わってそれをサダカにしない限り義務が果たされたことになりません。（カダーヤー・ファキーヒーヤ・ムアースィラ（現代のイスラーム法学問題）：サラーフ・アル＝サーウィー博士著、61ページ。）

指針

ハラームな財貨の処理の仕方?

a-　他人の所有物を不法な方法で取得したハラームな財貨の所有者は、例えどんなに時間が経っていたとしてもそれを所有者に、あるいはもし分かればその相続人に返還すべきです。もし分からないなら、それから解放されるには慈善活動の面で処理すべきです。サダカをする時は、その意図は所有者に代わって行われます。

b-禁じられた労働に対する賃金として受け取った時は、それを慈善活動の面で処理すべきで、それを提供した者に返還しません。それはその返還が、罪を助けることに含まれることになるからです。また雇用者が支払う者とそれを受け取る者の関係になる禁じられた労働に対してお金を集めないようにするためです。

c−ハラームな財貨は、それを取り去られた者が利子のようなハラームな財貨となるような違法な行為を続けるなら彼へは返還しません。むしろそれは慈善活動へ向けられるべきです。

d−もしハラームな財貨そのものを返還できない時には、その保有者はそれに似たものもしくはその価値に相当するものを元の所有者が分かればその人に返還しなければなりません。分からなければ、その所有者に代わってサダカの意図で慈善活動にそれと同等なものかその価値に相当するものを出すべきです。（カダーヤー・ファキーヒーヤ・ムアースィラ（現代のイスラーム法学問題）：サラーフ・アル＝サーウィー博士著、61ページ。）



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）











Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修

広島ムスリム協会

日本語訳者

あかね

ザカートを受け取る人々とザカートの支払い

第六課

ザカートを受け取る人々とザカートの支払い



ザカートを受け取る人々

ザカートを受け取る人々：それに値する人たちで、アッラーがクルアーンの中で限定した８つの種類の人たちです。｛施し〔サダカ〕は、貧者、困窮者、これ（施しの事務）を管理する者、および心が（真理に）傾いてきた者のため、また身代金や負債の救済のため、またアッラーの道のため（に率先して努力する者）、また旅人のためのものである。これはアッラーの決定である。アッラーは全知にして英明であられる。｝［悔悟章60節］

目 次

1ー貧者

貧者（フカラーウ）：

ファキールの複数形。それは、自分自身と家族に必要な衣食住を満たすだけの物を所有していない者です。

ザカートから彼と彼の家族に一年間必要な物が与えられます。



2ー困窮者

困窮者（マサーキーン）：

ミスキーンの複数形。それは、必要に十分なものの半分かそれより多いものを持っている者で、例えば200必要な者が、100しか持っていない場合です。その時は、彼と彼の家族に丁度必要なものをザカートから一年間与えられます。



3ー管理人

管理人：

統治者によってザカートを集めるように命じられ、必要な人々へそれを分配する役目を負った人々。彼らは、ザカートからその仕事に対する報酬を与えられます。例え彼らが裕福であってもそれを与えられます。何故ならその管理者は、この仕事に専念したからです。しかし、彼が国家から給料や報酬を得ているならザカートから与えられることはありません。

また管理者は、ザカートを徴収し、それを記録し、それを保管し、対象者にそれを分配する仕事に従事する全ての者です。



4ー心がイスラームに傾いた者（新入信者）

心がイスラームに傾いた者：

それらは集団の中の慕われる指導者たちで、ザカートから与えられることによってイスラームに入信することが期待される者。あるいはそれによって害悪を控えるようになる者。または入信間もなくで信仰心の強化になる者。または敵からムスリムを守るためです。

彼らは、ザカートから彼らの心がイスラームに傾くために与えられます

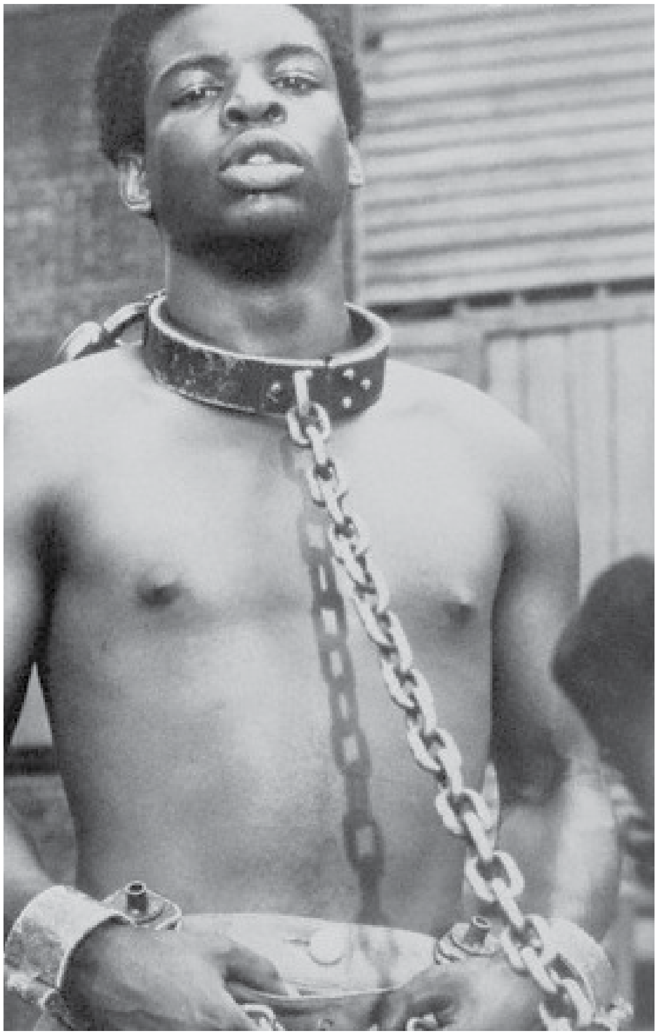


5ー奴隷

奴隷：

アブド（奴隷）とムカーティブ（部分奴隷）があります。ムカーティブとは、自分自身を主人から買い取る契約をした奴隷で、その契約の負債を支払う分をザカートから与えられます。

その結果、それぞれが自由に振舞える自由人になり、社会の中で有益な一員となります。そして至高なるアッラーを完全な形で崇拝できるようになります。同様にその範疇には、ムスリムの戦争捕虜の身代金も含まれます。



6ー債務者（ガーリムーン）

債務者（ガーリムーン）

ガーリムの複数形。それは、債務を負った人のことです。

債務者は、2種類あります。：

第1：自分自身の必要による債務を負った人。もし彼が貧者であるならザカートからその負債が支払われます。

第2：債務を負わされた原因が、ムスリムの中の二つのグループ間の調停をするためであった時は、例え彼が金持ちであったとしてもその負債を支払うためにザカートからそれが出される。



7ーアッラーの道のため

アッラーの道のため：
それらはアッラーの道のためにジハード（奮闘努力）する人々です。

これらの人々は、アッラーの道におけるジハードに十分なものを与えられます。

この範疇には、多くの布教活動が含まれます。それらはアッラーの道におけるジハードと数えられそれを行うサダカ（寄付）が見込めないものです。



8ー旅行者

旅行者：
それは、お金がなく旅が中断された旅行者です

彼は、国に到着できるだけのものをザカートから与えられます。それは、国では金持ちであってもです。



注意事項

1－前述の8種類の人以外にザカートは支払われないこと。例えばマスジドや学校や病院などの建設やそこに慈善的な面や慈善団体に向けたものであってもです。それらの慈善活動は、サダカ（任意の寄付）から出すことが出来るからです。

2－ザカートを分配する時、前述の8種類の人全てに当てはまることは条件で無く、どの種類の者にもそれは支払われます。

ザカートが支払われない者

1－金持ちと稼ぐ能力の持ち主

預言者の次の言葉によります。（金持ちにも稼ぐ力がある人にもそこ（ザカート）には分け前はありません。）（アブー・ダーウードの伝承）

2－養うことが義務付けられている両親や子供や妻。

両親や祖父母や子供や孫などムスリムが扶養を義務付けられている者へのザカートは許されません。何故ならこれらの人達へのザカート支払いは、彼に対する義務の出費を免除することになるからです。その上ザカートの利益が彼に戻り、その支払いが彼自身になされるようになるからです。

3－まだ心がイスラームに傾いていない不信者

不信者へのザカートの支払いは、彼らの心をイスラームへ傾けさせる意図がない限り許されません。それは預言者の次の言葉によります。（それ（ザカート）は、金持ちから取って貧しい人たちに与えるものです。）（ブハーリーの伝承）つまりそれは、ムスリムの金持ちであり、貧しい人々のことでそれ以外ではありません。またザカートの目的は、貧しい人を豊かにすることであり、ムスリム社会の個人個人間の愛情と連帯の基礎を強化することにあるからです。故にそれは、不信者と一緒にすることは許されません。

4－預言者の一族（ハーシム家の子孫）（預言者の一族：ハーシム家の子孫。）

預言者の一族に対するザカートは、彼らに対する敬意と名誉により認められません。それは預言者の次の言葉によります。（本当にこれらのサダカ（喜捨）は、人々の汚れに外ならない。そしてそれらはムハンマドにもムハンマドの一族にも許されません。）（ムスリムの伝承）



5ー預言者一族の解放奴隷

彼らは、預言者一族が解放した奴隷たちです。これは次のハディースによります。（サダカは、私たちには許されません。またその人たちの解放奴隷も彼らの自身の一部です。）(テルミズィーの伝承)自身の一部とは、かれらの規則は、彼の規則と同じだということで、ザカートは、ハーシム家の解放奴隷にも禁じられます。

6ー奴隷

奴隷へはザカートは支払われません。何故なら奴隷の財産は、その主人の所有物だからです。もしザカートが支払われたら、それは彼の主人の所有物に移動します。また彼への出費は、主人の義務だからです。これの例外は、ムカーティブ（契約奴隷）で、彼には契約に従った負債を払うためのザカートが支払われます。またザカート管理者も同様です。もし奴隷がザカートを管理していたら、それは雇われた者としてザカートから与えられます。奴隷は、主人の許可があれば雇われることは認められています。

ザカートの支払い

その時間

ザカートの支払いは、その能力と共に義務の時間が過ぎた時に直ちに行われなければなりません。それは例えば、その財産が遠くの国にあったり隔離されているなどの必然性による以外は遅らされることは許されません。　ザカートの直ぐの支払いについての根拠は、次のクルアーンによります。{収穫の日には、定めの喜捨を供出し・}　[家畜章141節]{定めの喜捨をしなさい}[御光章56節]この命令の形は、直ぐの行動への働きかけを求めています。

先払いの規則

二年より少ない分のザカートは、その先払い時に二サーブに達していれば認められます。

ザカート管理者への供与

ザカートを集める者や、債務者は、例え彼らが金持ちであってもザカートから与えられます。また稼ぐことの出来る者であっても、法の知識を求めことに専念しお金の無い者もザカートから与えられます。何故なら知識を求めることはアッラーの道におけるジハード（奮闘努力）だからです。ムジャーヒド（聖戦戦士）や新入信者と同様になります。しかし稼ぐことが出来て、仕事を放棄し任意の信仰行為に専念する者について言えば、ザカートを受けられません。何故なら崇拝は知識と異なり、その利益が、崇拝者に限定されるからです。{信仰する者よ。あなたがたの働いて得たよいものと、われが、大地からあなたがたのために生産したものを惜しまず施せ。悪いものを図って、施してはならない。目をつむらずには、あなた（自身）さえ取れないようなものを。アッラーは満ち足りておられる方、讃美されるべき方であられることを知りなさい。悪魔は貧窮をもってあなたがたを脅し、また恥じ知らずの行いを命じる。だがアッラーは寛容と恩恵をあなたがたに約束されておられる。アッラーは厚施にして全知であられる。}（雌牛章267・268節）

その支払いの場所

ザカートの支払いで最も良いのは、その資産が存在する土地の人に支払うことです。しかしザカートをその土地から必要に応じてその他の近くや遠くの土地に移動させることも認められます。例えば、その遠くの土地の方がより貧困が厳しい場合やザカート所有者に彼の国の貧しい人々と同じくらいの貧しい親類が遠くの土地にいる場合、彼らにザカートを支払うことが有益になり、それは慈善であり血縁の強化になる場合です。このザカートの移動を認める見解は、次の至高なるアッラーの言葉の普遍性により正しいです。{施し〔サダカ〕は、貧者と困窮者のもの}［悔悟章60節］つまり貧者と困窮者は、あらゆる場所においてという意味です。ザカートとして出されるものと出されないもの

ザカートとして出されるものは特に良いものでも特に悪いものでもないその中間のものです。それで家畜では、良く肥えたものや妊娠したものや雄山羊を出す必要はありません。また果実でも最も良いものを出す必要はありません。しかしそれに満足し心が喜ぶなら別です。

同様に良いものの代わりに欠陥品を出すことは許されません。しかし、もし資産の全てが欠陥品であったり、持っている家畜の全てが病気に感染してたらそこからザカートを出すことは認められます。



至高なるアッラーは、おっしゃいました。{悪いものを図って、施してはならない。目をつむらずには、あなた（自身）さえ取れないようなものを。}［雌牛章267節］またハディースにも（サダカにはハリマ）（ハリマ：年老いた家畜）（やザート・アワーリ）（ザート・アワーリ：通常取引されない欠陥を持った家畜。）（やタイス）（タイス：雄山羊。それはまだ大人になっていない山羊で交尾による益が得られず、子供も得られないもの。）（は、サダカをする人が望んだもの以外は、出されません。）また預言者様は、ムアーズにおっしゃいました。（最も貴重な財産に注意しなさい。）（ブハーリーの伝承）

指針

ザカートを支払う者は、それを受け取るにふさわしい者を求めるべきです。それは毎年の慣習としてそれにふさわしくない者であっても与えられるものではありません。それは預言者の次の言葉によります。（金持ちや稼ぐことが出来る力のある者には、ザカートの分け前は、ありません。）（アブー・ダーウードの伝承）

ザカートに最も値する者

ザカートを出す者は、ザカートに最も値する者またそれを最も必要としている者を探す努力をすべきです。そして一人の人物にそれに値する要件が多くなればなるほど、ザカートに最も値する者となります。例えば、近親者で貧しい人や知識を探求していて貧しい人などです。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ザカート・フィトル

第8課 ザカート・フィトル

ザカート・フィトルの定義

ザカート・フィトル：
それは、アッラーの使徒様がラマダーン月のフィトル（明け）にそれを義務としたサダカ（喜捨）。

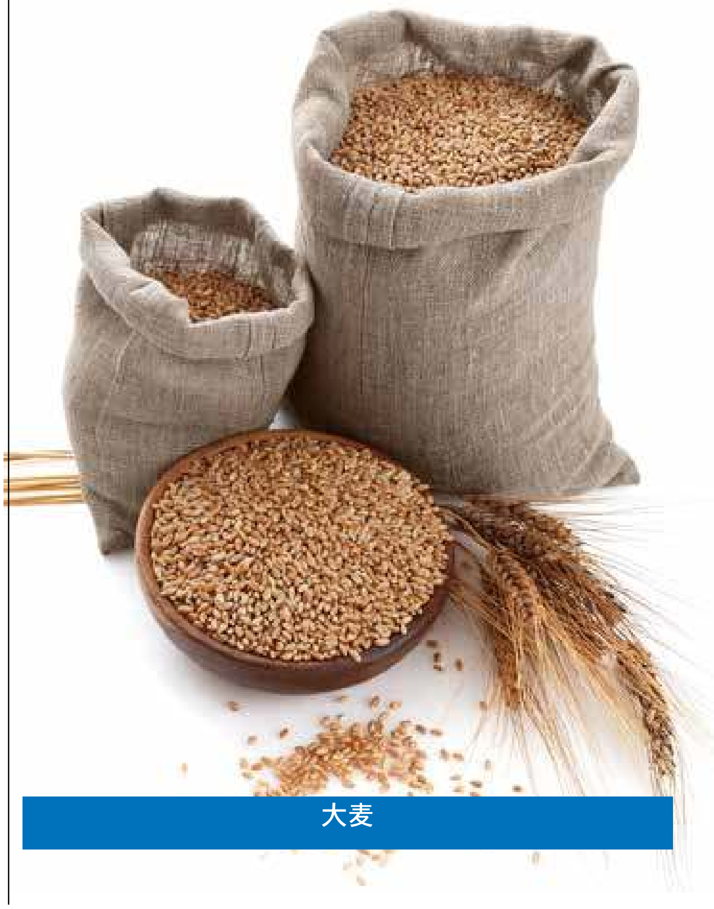
ザカート・フィトルと名付けられた理由は、ラマダーン月のフィトルに義務付けられるから。

ザカート・フィトルの規定

ザカート・フィトルは、イードルフィトル（断食明けの祭り）の日とその夜（前の日の夜）の時点で自分と家族の分の食料より１サーア以上所有している全てのムスリムに課された義務です。ザカート・フィトルを出す者は、自分の分と妻の分と彼が養育している者の分のザカート・フィトルを出さなければなりません。また母のお腹の中にいる胎児の分についても出すことは好ましい事とされます。

それが義務となる根拠は、イブヌ・ウマルの伝える次の言葉によります。（アッラーの使徒様は、１サーアのタムル（乾燥ナツメヤシ）あるいは大麦をムスリムの奴隷と自由人、男と女、子供と大人、ザカート・フィトルとして義務付けられました。そしてそれを人々が礼拝に出る前までに出すことをお命じになりました。）（合意のハディース）

目 次



大麦

ザカート・フィトルを出す時間

ザカート・フィトルを出す最良の時は、イードルフィトルの日のファジュルの時間からイードの礼拝の前まででです。またイードの日より１，２日前に出すことはサハーバ（教友たち）の行いによって認められています。しかしイードの礼拝後まで遅らされることは認められません。それは、前述のイブヌ・ウマルのハディースによります。（そしてそれを人々が礼拝に出る前までに出すことをお命じになりました。）またイブヌ・アッバースのハディースでは、（それを礼拝の前に行えば、それは受け入れらるザカートです。しかし礼拝後に行うと、それは一般的なサダカ（寄付）となります。）（アブー・ダーウードの伝承）

ザカート・フィトルの量

それは、それぞれ１人ごとに１サーア（サーアは、小麦で1キロ40グラムに相当します。）の米やタムルや小麦などの人の食べ物です。その根拠は、アブー・サイード・アルフドリーによる次のハディースによります。（私たちは、アッラーの使徒様の時代、フィトルの日、１サーアの食物を出していました。 またアブー・サイードは、私たちの食物は、小麦や干しブドウやアキト（アキト：料理で使用される粉ミルク。）やタムルでした。）（ブハーリーの伝承）と言いました

ハナフィー学派では、１サーアは、3.25キログラムで、大多数派は、2.04キログラムです。また同様に平均的男性の手のひらですくう4回分でも計算されます。



ザカート・フィトルの支払い先

ザカート・フィトルは、ザカートが支払われる8グループに支払われます。それは次のクルアーンの記述によるものです。﹛施し〔サダカ〕は、貧者、困窮者・・﹜［悔悟章60節］

ザカート・フィトルの叡智

1－斎戒者を無駄話や猥褻さから清める。それはイブヌ・アッバースの次の伝承によります。（アッラーの使徒様は、ザカート・フィトルを斎戒者を無駄話やラファス猥褻さ（ラファス：下劣な言葉）から清めるために義務付けられました。）（アブー・ダーウードの伝承）

その理由は、殆どの斎戒者は無駄な行為や話から免れないからであり、このサダカは行為の報酬を損ない、斎戒を破るような禁じられるか好ましくない言葉を使った斎戒者を清めことになります。

2－貧者や困窮者に対する寛容さを培うことと喜びと幸福を感じるイードの日に恥辱と屈辱をもつ物乞する人たちが他の人たちと同じイードの喜びに参加させるために彼らの物乞いを埋め合わせること。

ザカートについての重要な情報

ザカートの価値：

ザカートの基本は、義務となったその現物を出すことです。しかし、必要性や優勢な利益がある場合は、その価値を取ることが許されます。

国家とザカートの関係：

ザカートの資産は、基本的に当局に与えられるものです。ザカート支払い人の裁量に任せられていません。しかし、当局がこの義務を怠るなら、責任は全てのムスリムの首に掛けられた個人的なものになります。

ザカート資産を受取人の利益のために投資すること：

ザカート資産を受取人の利益に還元する計画に投資することは、もしザカート資産に直ぐの配布が求められようか緊急の支払いがなければ、認められます。

資産にザカート以外に税金のような義務がありますか？

ザカートは、資産において見積もられる定期的な義務です。それは支払い能力のある者に課せられた個人的義務です。

また資産にはザカート以外に外の義務があります。それらは突然のものや、決まった計算で量られないものや、確定したザカートとして定まっていないものなどによって特徴付けられます。またそれらは、資産が原因で義務とならず、偶然の理由で義務となります。資産は、それが義務となる条件です。例えば、両親や近親者や配偶者への出費や災難時に国庫の収入が十分でない時に害の防止などです。

税金は、例え公平であってもザカートに役立ちません。何故ならザカートは、信仰行為の一つであり、税金は市民としての義務です。それぞれが他のものには役立ちません。





図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ

ザカート

斎戒（サウム）

礼拝（サラート）

タハーラ（清め）











Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修

広島ムスリム協会

日本語訳者

あかね

任意のサダカ

第9課　任意のサダカ

目 次

任意のサダカの定義

任意のサダカ：

至高なるアッラーに近づくために義務以外で与えるもの。

この定義からは、愛情や友愛を示すために与えられるプレゼントなどは外れます。それらは、シャリーアでいくつかの規則によって限定されるサダカと名付けられるものに入りません。

任意のサダカの規定

任意のサダカは、どんな時でもまた特に必要とされる時は好ましいものです。クルアーンとスンナではそれを奨励しています。

クルアーン{アッラーによい貸付をする者は、誰であるのか。かれはそれを倍加され、また数倍にもなされるではないか。}[雌牛章245節]ア



ブー・フライラは、アッラーのみ使い様がこう言われたと伝えた。(収穫物の中で良いタムルに相当するものでーアッラーは良いもの以外は受け入れませんがーサダカをする者は、アッラーはそれを右手で受け入れます。それからそれを彼の友のために丁度あなたたちの一人が仔馬を育てるように、山のようになるまで育てます)(合意の伝承)

預言者様は、密かにサダカをする者をアッラーが彼の陰以外には陰が亡くなる日にその陰に入れる7人に数え言いました。(それはサダカをする者で、右手が施すのを左手が知らないくらいそれを隠して行う者です。)（合意の伝承）Lewra p ember Xuda [dir d カアブ・ブン・ウジュラは、預言者が次のように語ったと伝えた。(サダカは、水が火を消すように過ちを消します。)（テルミズィーの伝承）

任意のサダカの礼儀

1ー礼儀の義務

a．至高なるアッラーに対する純粋な信仰。ザカートはアッラーの顔を求めて与えられるべきで、見栄や名声を求めて行われないこと。

b．負担と侮辱を避けること。クルアーン{信仰する者よ、あなたがたは人びとに見せびらかすため、持物を施す者のように、負担侮辱を感じさせて、自分の施しを無益にしてはならない。}［雌牛章264節］

2ー礼儀における好ましいこと

1ームスリムにとって生活費が義務付けられていない叔父や伯父たちや貧しい夫を持つ妻のような近親者の中でそれを必要としている者にサダカをすることは好ましいことです。それは他人に与えるサダカより良いものです。クルアーン{近い縁者の孤児}［町章15節］

ハディース（困窮者へのサダカは、一つのサダカの報酬がありますが、近親者へのサダカは2倍になります。その人へのサダカと近親者の関係を強めたことへの報酬です。）（ナサーイーの伝承）

b．資産の中からハラールで上品質で自分の好みの物を選択する。クルアーン{あなたがたは愛するものを（施しに）使わない限り、信仰を全うし得ないであろう。}［イムラーン家章92節］

c．それを密かに出す。それはより献身に近く、見栄や名声からより遠い行いになるからであり、貧しい人により敬意を示すことになるからです。クルアーン{あなたがたは施しを、あらわにしても結構だが、人目を避けて貧者に与えれば更によい。}［雌牛章271節］もしサダカを大っぴらに出すことで当事者に施しを真似させたり奨励することに益があるなら、大っぴらに出すことはその意図に気を付けそれを守ることで好ましいことになります。

d．サダカは、どんなに僅かなものであっても困難にならないものであること。預言者はおっしゃいました。（地獄の業火から身を守りなさい。例えタムルの半分によってでも。）（ブハーリーの伝承）

任意のサダカの効用

第1：個人に還元する効用

1ー魂を清める。クルアーン{かれらの財産から施しを受け取らせるのは、あなたが、かれらをそれで清めて罪滅しをさせるため}［悔悟章103節］

2ー我らの指導者ムハンマド様を見習う。それは、彼の性格のうち、寛大さと気前の良さがあります。彼は、かつて貧困を恐れることなしに与えていました。そしていつもビラールに次のように言っていました。（ビラールよ、施しなさい。玉座の持ち主からの減少）（減少：貧困）（を恐れるな。）（アル・バザールの伝承）

3ー至高なるアッラーは、人が施したものを返され、その時その所有者の魂は高く上げられる。そのことについて至高なるアッラーはおっしゃいました。{言ってやるがいい。本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。}［サバア章39節］

4ー取引の喧騒から得たお金を清める。それについてカィス・ブン・アブーガラザは、語っています。私たちはアッラーの使徒様の時代、サマースィラ（仲買人）（サマースィラ：商人を意図する）と名付けられていました。するとアッラーの使徒様が、私たちのそばを通られた時こうおっしゃって、それよりも良い名を私たちに付けて下さいました。（商人の人たちよ、売買は無駄話と誓約が付随するものです。ですからサダカそれをでそれを混ぜなさい。）（混ぜなさい：彼らの間に起きる嘘などのに対する償いにしなさい。）（アブー・ダーウードの伝承）

5ー善行の習得と罪の償い。預言者様の次の言葉によります。（良い収穫物の中の一個のタムルに相当するものでーアッラーは良いもの以外は受け入れませんがーサダカをする者は、アッラーはそれを右手で受け入れます。それからそれをその所有者ために丁度あなたたちの一人が仔馬を育てるように、山のようになるまで育てます）（合意の伝承）

6ーサダカ・ジャーリヤ（ワクフ・寄進となるサダカ）は死後にもムスリムの役に立つ。アブーフライラは、アッラーの使徒様が次のように語ったと伝えました。（人は亡くなった時、かれの行いは次の3つのことを除いて途切れてしまいます。それは、サダカ・ジャーリヤ、あるいは役立っている知識、または彼のために祈る敬虔な子供です。）（ムスリムの伝承）

7ーサダカは富の増加と繁栄の原因になります。その時、それは恩恵の贈与者への感謝を示すものであり、増加が約束されていることへの感謝するものとなります。クルアーン{その時主は（ムーサーの口を通じて）宣告された。もしあなたがたが感謝するなら、われは必ずあなたがたに（対する恩恵を）増すであろう。だがもし恩恵を忘れるならば、わが懲罰は本当に厳しいものである。}（イブラーヒーム章7節）

第2：社会に還元される効用

1ーサダカは社会に関してザカート（義務の喜捨）の使命を完成させるものです。

2ーそれは、ムスリム社会において連帯と協力と安定と愛情を実現させるものです。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

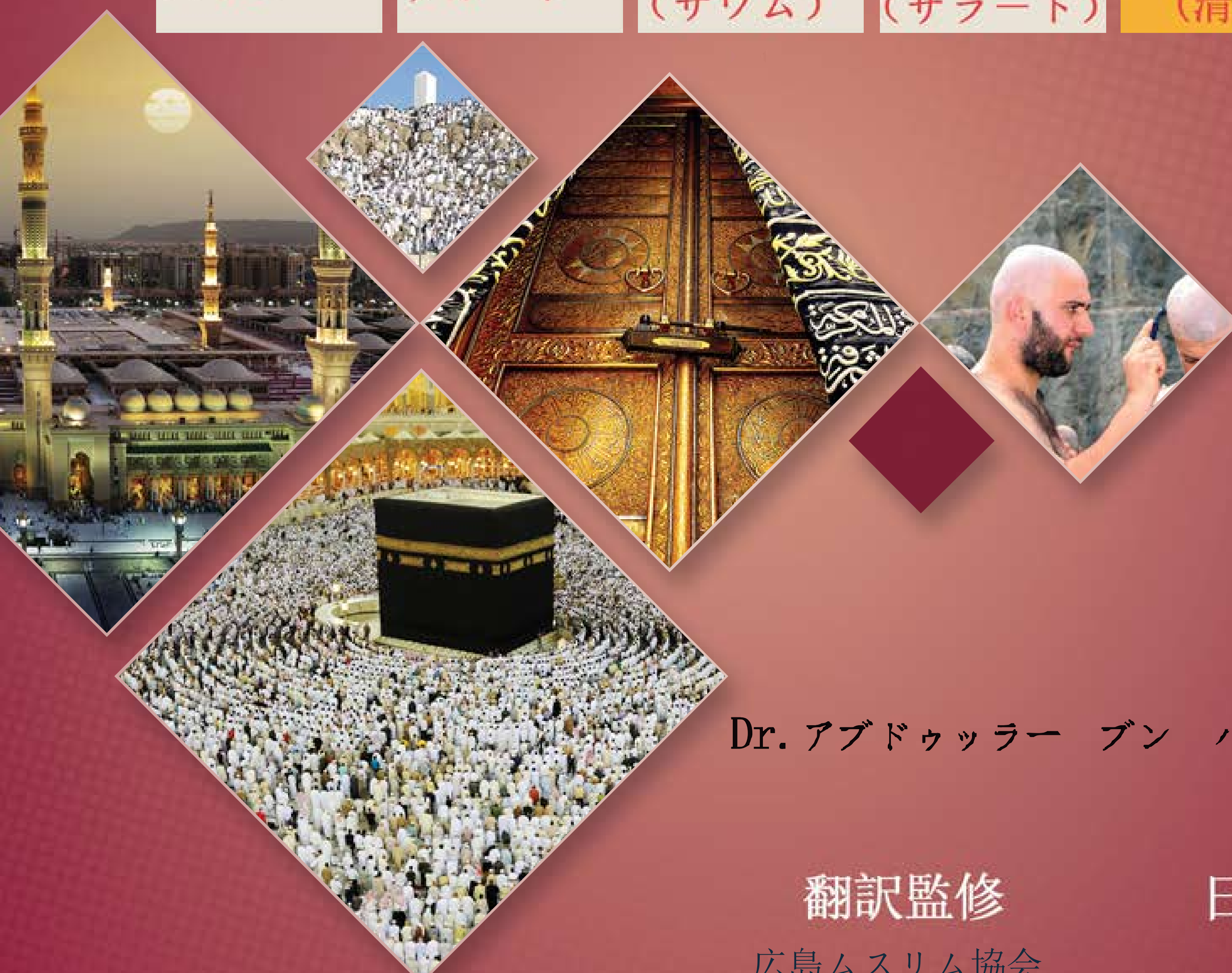
ハッジ

ザカート

斎戒（サウム）

礼拝（サラート）

タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

巡礼の解説導入

第1課

巡礼の解説導入

マッカの歴史と現在

マッカ：

ワジ（枯れ谷）を意味するセム語のバッカに由来する名前。

クルアーンでマッカの名前がバッカという言葉で出ています。{本当に人々のために最初に建立された家は、バッカのそれで、それは生けるもの凡てへの祝福であり導きである。}[イムラーン家章９６節]

マッカの歴史は、紀元前１９世紀のイブラーヒームと息子イスマーイールの時代までさかのぼります。二人は最初にそこに住んだ者でした。至高なるアッラーは、イブラーヒームについて次のように語りました。{主よ、わたしは子孫のある者をあなたの聖なる館の側の耕せない谷間に住まわせました。主よ、かれらに礼拝の務めを守らせて下さい。そうすれば人びとの心をかれらに引き付けるでしょう。またかれらに果実を御授け下さい。きっとかれらは感謝するでしょう。}[イブラーヒーム章３７節]イブラーヒームの祈願の徳によりイスマーイールの母ハージャルの持つ水と食べ物が尽きた時、赤子イスマーイールの足元からザムザムの泉が湧き出しました。その時から諸部族がその水場へやって来るようになり、そこで生活がゆっくりと始まりました。

その後も諸部族がやって来て数が増えて行きました。そしてクライシュ族がそこを管理支配するようになりました。クライシュ族は、預言者が現れるまでそこを支配し続けました。預言者は、マッカだけではなく全世界の生活を変化させる上で最も大きな影響を与えました。

目次



預言者は、マッカに遣わされ、カアバ聖殿はムスリムのキブラとなりました。またマッカは、イスラーム布教の発祥の地となりました。しかし、その住人はそれに反抗し信者を迫害する最も激しい人たちでした。その結果、ムスリムたちはマディーナへのヒジュラ（移住）を余儀なくされました。そしてイスラーム国家がそこで形作られました。その後、預言者はマッカを開城しそこへ戻りました。その時以来、今日に至るまでマッカは、イスラームの偉大な土地となりました。

マッカー特にそのハラム（聖域）ーは、各カリフやムスリムの為政者から最大の関心を向けられました。彼らは、そこを開発し拡張しました。そしてイスラームの光がそこから世界全てへ発する中心地としました。

マッカの徳

1．そこに入った者には、安全であること。

至高なるお方はおっしゃいました。｛また誰でもその中に入る者は、平安が与えられる。｝[イムラーン家章97節]その中とは、マッカのハラム（聖域）のこと。

2．そこにはダッジャール（偽キリスト）も疫病も入らない。

アブーフライラは、預言者が次のように語ったと伝えています。（マディーナとマッカは天使によって取り巻かれています。全てのナクブ（裂け目））(ナクブ：道)（には天使がいてダッジャールも疫病も入ってこれません。）(アフマドの伝承)

3．マスジド・ハラーム（聖モスク）での礼拝は10万回の礼拝に匹敵する。

ジャービルは預言者が次のように語ったと伝えている。（マスジド・ハラームでの礼拝は、その他のところでの礼拝より10万回の礼拝より良いものです。）(イブヌ・マージャの伝承)

4．そこはアッラーにとって最も好ましい場所です。

アッラーのみ使いはおっしゃいました。（アッラーに誓って、あなた（マッカ）は、アッラーの土地で最良のところです。またアッラーにとって最愛の土地です。）(テルミズィーの伝承)



マッカ

マッカとハラムでの特別な規則

1．ハラムで悪事を意図する者には、それが実行されてもされなくても厳しい警告がある。

至高なるアッラーは語った。　。｛われが人びとのために建立した聖なるマスジド（に入ること）を拒否する者、そしてその中で神聖を汚し（イルハード）不義を企む者には、われは痛ましい懲罰を味わせるであろう。｝[巡礼章25節]（イルハード：アッラーに対する全ての反逆行為）

イブヌ・アッバースは、預言者が次のように語ったと伝えている。（アッラーにとって最も嫌われる人は、3つあります。 彼はそれらから述べたーそれはハラムで悪事を行う者です。）(ブハーリーの伝承)

2．そこでの戦いと流血の禁止

アッラーは語った。｛われは人びとのため、不断に集る場所として、また平安の場として、この家（カアバ）を設けた時を思い起せ。｝[雌牛章125節]それでマッカに入った者は安全である。預言者も次のように語りました。（誰もマッカに武器を持って来る事は許されない）。（ムスリムの伝承）

預言者は次のように語った。（アッラーはマッカを聖域とされた。しかし人にはそうしなかった。それでアッラーと審判の日を信じる者にはそこで血を流すことと木を切ることは許されません。）（ブハーリーの伝承）



戦いと流血

3.不信者と多神教徒がハラムに入ることは禁じられる。

至高なるアッラーは語った。｛われが人びとのため、不断に集る場所として、また平安の場として、この家（カアバ）を設けた時を思い起せ。｝[悔悟章28節]

かつて預言者は、ミナーで、この年以後多神教徒はハッジをしてはならないし、裸でタワーフ((カアバ聖殿を周回すること)をすることも禁じられると告知するよう命じました）。（ブハーリーの伝承）

4.ハラムで狩猟と木の切断と落とし物（持ち主が分からない落とし物）を取ることは禁じられる

イブヌ・アッバースは預言者が、次のように語ったと伝えている。（アッラーはマッカを聖域とされた。それで私以前の者も私以後の者も誰にも許されません。私には昼の１時間だけ許されました。そこの草は刈られる）（新鮮な草を引き抜く）（こともそこの木が切られる）（樹木の伐採）（こともありません。またそこの獲物は探される）（恐怖を与える）（こともありません。また落とし主が明らかにしているものを除いて、落とし主が分からない物を取ることはできません。）（ブハーリーの伝承）

ハッジの儀式の場

> **ハッジの儀式の場：**
> ハッジの信仰行為を特色づける明らかな場所

1．アラファート

アラファートはアラファの複数形。由来は、アーダム（アダム）とハゥワー（イブ）がここで互いに認め合った（タアーラファ）したことによるとも人がそこで自分の罪を認める（ヤタリフ）することから名付けられました。

そこはハラム（聖域）の境界の外にある儀礼場です。マスジド・ハラームから南東22キロに位置し、総面積は、10.4　です。巡礼者は、巡礼月の9日にここに集結します。



アラファート

マスジド・ナミラ

ナミラは、マスジドの西にある山で、それにちなんでマスジド・ナミラと名付けられました。

かつて預言者は、ウラナ・ワジ（枯れ川）で止まり説教と礼拝をしました。そこでアッバース朝の初め、その場所にマスジドが建設されサウジアラビアになってその場所と建物の拡張が完了しました。それは11万　の広さになりました。巡礼月9日巡礼者はここに集まります。



マスジド・ナミラ

マスジドッ・サハラート（複数の岩のモスク）

それは、アラファートにある慈悲の山の昇り口の右側、麓にあります。そこに大きな岩が多数あり、アラファの夜アッラーのみ使いはそこで留まりました。巡礼月9日巡礼者はここに集まります。



マスジドッ・サハラート

ジャバル・ラフマ（慈悲の山）

それは大きな岩からなる小さい山です。マッカの東20キロの所にあり、頂上は平らで広く、山の周りは640ｍあります。巡礼月9日巡礼者はここに集まります。



ジャバル・ラフマ

2．ミナー

この名前の由来は、そこで血が流された（ユムナー）ことによります。

そこはマッカとムズダリファの間に位置しマスジド・ハラームの北東7キロにあります。巡礼者は、そこで巡礼月11日と12日の夜を急ぐ人は過ごし、遅らせる人は13日の夜まで過ごします。そこは、ハラムの境界の内側にあり、マスジド・ハイフと３つのジャマラート（石投げの儀式を行う3つの悪魔の柱）があります。



ミナー

ジャマラート

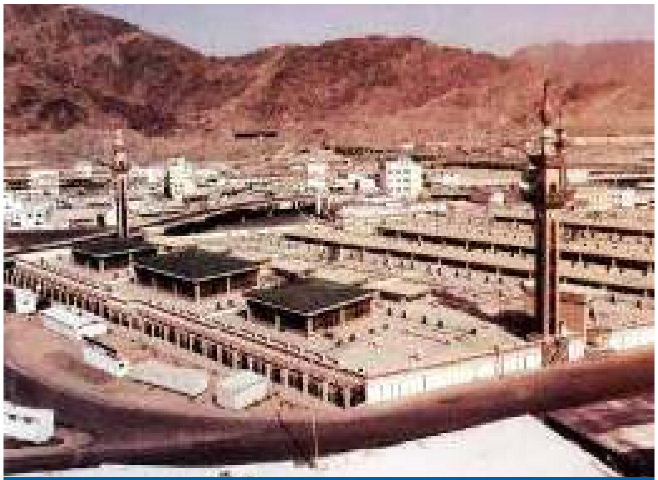
ジャマラートは、ジャムラ（小石）の複数形。ミナーにある3つのジャマラートは、それぞれジャムラ・スグラー（小ジャムラ）、ジャムラ・ウスター（中ジャムラ）、ジャムラ・アカバ（アカバのジャムラ）です。それらは３つの水盤の中央に立っている石の柱で、そこに悪魔が現れイブラーヒームがそれに石を投げて追い払った場所を示すものです。アカバの柱と中の柱の間の距離は、247mで中と小の柱の間は約200mです。（現在は、柱ではなく大きな壁になっている）

ジャムラ・クブラー	ジャムラ・ウスター	ジャムラ・スグラー



マスジド・ハイフ

それはジャムラ・スグラー近くの南ミナー山の麓に位置しています。



マスジド・ハイフ

3．ムズダリファ

ムズダリファは、ミナーとアラファの間にある場所です。巡礼者は、アラファで滞在した後、そこで夜を過ごします。ムズダリファの中央には、マスアル・ハラーム（聖なる儀式場）があります。そこで巡礼者は、至高なるアッラーに祈り、念唱し、感謝することが勧められます。そこは、巡礼月９日の日没後アラファから下って来た時に巡礼者が夜を過ごす場所です。



ムズダリファ

4. マスジド・ハラーム

それはアッラーの聖なる館です。そこには幾つもの区別される場所があります。その重要なものは：

聖なるカアバ聖殿

カアバの由来は、その形ムカアブ（立方体）からつけられました。



カアバ聖殿

ヒジュル・イスマーイール（イスマーイールの囲い）

それはカアバの北の部分です。クライシュ族がカアバの再建を望んだ時、それを完成するのに費用が不足したため、そこがカアバの一部であることを喚起させるために半円形の壁を作ったことによります。この命名は、通称であって正式なものではありません。



ヒジュル・イスマーイール

ルクヌ・ヤマーニー（イエメン角）

それはカアバの南西の角で、ルクヌ・ヤマーニーと名付けられています。何故ならそれはイエメンの方角にあるからです。この柱の特徴は、イブラーヒームと息子のイスマーイールがカアバ建設で最初の基礎を置いた所です。



ルクヌ・ヤマーニー

ムルタザム，

それは黒石とカアバの扉の間の約２メートルの場所です。そこは祈りが叶うとされる場所で、そこに両頬と胸と両腕と両掌をくっ付けてドアー（祈り、祈願）するのがスンナです。

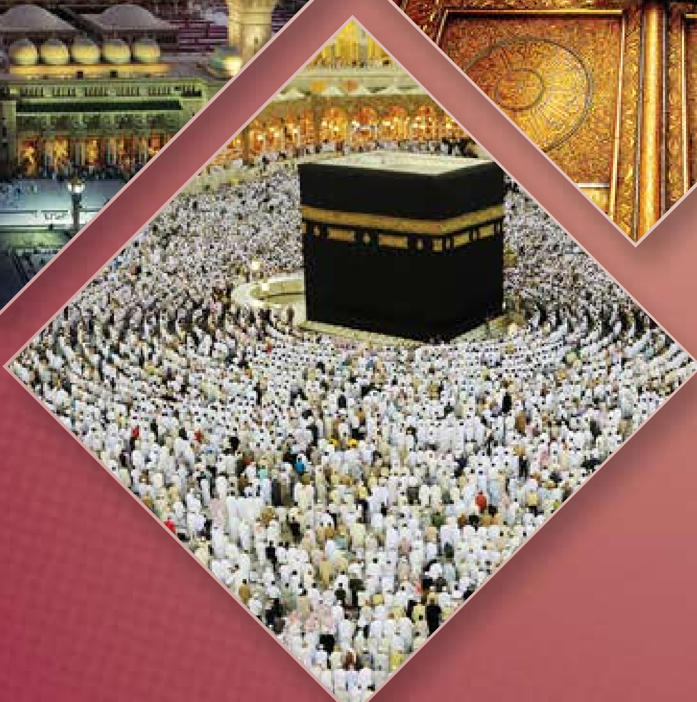
図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ハッジとウムラの規則ê

第2課



ハッジとウムラの規則

目次

ハッジ

ハッジの定義

ハッジの語義：
意図、向かうこと

ハッジの法的意味：
特定の時期に特定の儀礼を行うためにマッカを目指すこと。

ハッジの規定と徳

ハッジは、イスラームの５柱の一つです。至高なるアッラーは、信者にそれを義務としました。クルアーン{この家への巡礼は、そこに赴ける人びとに課せられたアッラーへの義務である。背信者があっても、まことにアッラーは万有に（超越され）完全に自足されておられる方である。}[イムラーン家章９７節]

預言者はおっしゃいました。（イスラームは、５つの（柱）うえに建てられました。：それは、アッラー以外に神はないと証言し、ムハンマドがその僕であり使徒であると証言するシャハーダ、礼拝を行うこと、ザカート（喜捨）を出すこと、アッラーの館へのハッジ（巡礼）、ラマダーン月の斎戒です）。（合意の伝承）

アッラーのみ使いはおっしゃいました。（巡礼を行い、醜行）（ラフス：卑猥で醜い行為）（を行わず、アッラーへの不服従）（フスーク：アッラーの命に叛くこと）（を行わなかった者は、彼の行った罪が赦されます。）（テルミズィーの伝承）

ハッジは、一生に一度の義務です

ハッジの条件

1．イスラーム

不信仰者にはその義務はありませんし、許されていません

2．理性

理性を失った者には義務となりません。預言者はおっしゃいました。（筆（義務）は次の３人から引き上げられました。それは、目覚めるまでの眠り人、大人になるまで（子供を作る事が出来ること）の若者、理性が戻るまでの脳障害者です。）（アブー・ダーウードの伝承）

3．成熟期

まだ成熟していない者には義務ではありません。もし巡礼を行った時にはそれは許されますが、イスラームの義務としての巡礼を果たしたことにはなりません。それは任意の巡礼となります。イブヌ・アッバースは、伝えています。（一人の婦人が子供を持ち上げ、預言者にこの子に巡礼がありますかと尋ねました。すると預言者は、はい、しかし報酬は貴女にありますと答えました。）（ムスリムの伝承）



子供の巡礼は許される

4．自由人

奴隷には義務でありません。預言者の次の言葉によります。（どんな奴隷でも巡礼を行い、その後に自由の身分になった場合は、もう一度巡礼しなけらばなりません）。（バィハキーの伝承）

5．能力

それは食料（巡礼に必要な食べ物や飲み物や衣服）と旅費（旅での自動車や飛行機や船などの乗り物）の存在です。クルアーン{この家への巡礼は、そこに赴ける人びとに課せられたアッラーへの義務である。}[イムラーン家章９７節]

6.女性と同行するマフラム（女性の身内にあたる男性で、父や兄弟や夫や義父や乳兄弟の父や兄弟など。）

これはイブヌ・アッバースの伝える次の伝承によります。私は、預言者が次のように説教されたのを聞きました。（女性は、マフラムと一緒でなければ旅行すべきでありません。）すると一人の男が立ち上がって言いました。（アッラーのみ使い様、私の妻は巡礼に出かけましたが、私はあちこちの戦場に出かけなければなりません。すると預言者は、行きなさい。そしてあなたの妻と一緒に巡礼しなさいとおっしゃいました。）（合意の伝承）

代理によるハッジ

老齢によりあるいは回復の望みのない病、あるいは乗り物に乗る事が出来なくらい体が弱いためにハッジとウムラが出来ない者は、代わりにハッジとウムラを行ってもらうべきです。それにより彼はその報酬を得る事が出来ます。例えハッジやウムラの代理人がイフラームになった後、病気が治ったとしてもです。アルファドル・イブヌ・アッバースは伝えました。ハスアム族の婦人が言いました。（アッラーのみ使い様、私の父は、巡礼でアッラーの義務を果たすことになりましたが、高齢の老人で、ラクダの背に乗る事が出来ません。すると預言者は、彼の代わりに巡礼をしてやりなさい。とおっしゃいました。）（テルミズィーの伝承）



巡礼が出来ない男性

代理で巡礼を行う者には二つの条件があります。

1．前述のハッジの条件を満たしていること。

2．代理人は、すでに自分のための巡礼を済ませていること。もし自分ために巡礼を済ませていなくて他の人の巡礼を行った場合は、他の人の巡礼は無効になり、それは自分のための巡礼になります。イスラームの巡礼として数えられます。その根拠は、イブヌ・アッバースの伝える次の伝承によります。（預言者は、一人の男が、ラッバイカ・アン・シュブルマ（シュブルマに代わってアッラーあなたの御前にいます。というのを聞いて、シュブルマとは誰ですか？と尋ねました。彼は私の兄弟です。あるいは私の親類ですと答えました。預言者は、自分の巡礼は終わっていますか？と尋ねると、いいえ。と答えたので、まず自分のために巡礼をしなさい。その後で、シュブルマのために巡礼しなさ。とおっしゃいました。）（アブー・ダーウードの伝承）





ウムラ（小巡礼）

ウムラの規定

ウムラの語義：

訪問.

ウムラの法的意味:

聖なる館に決められた儀礼を果たすためにいつでも訪問すること。

ウムラの規則と徳

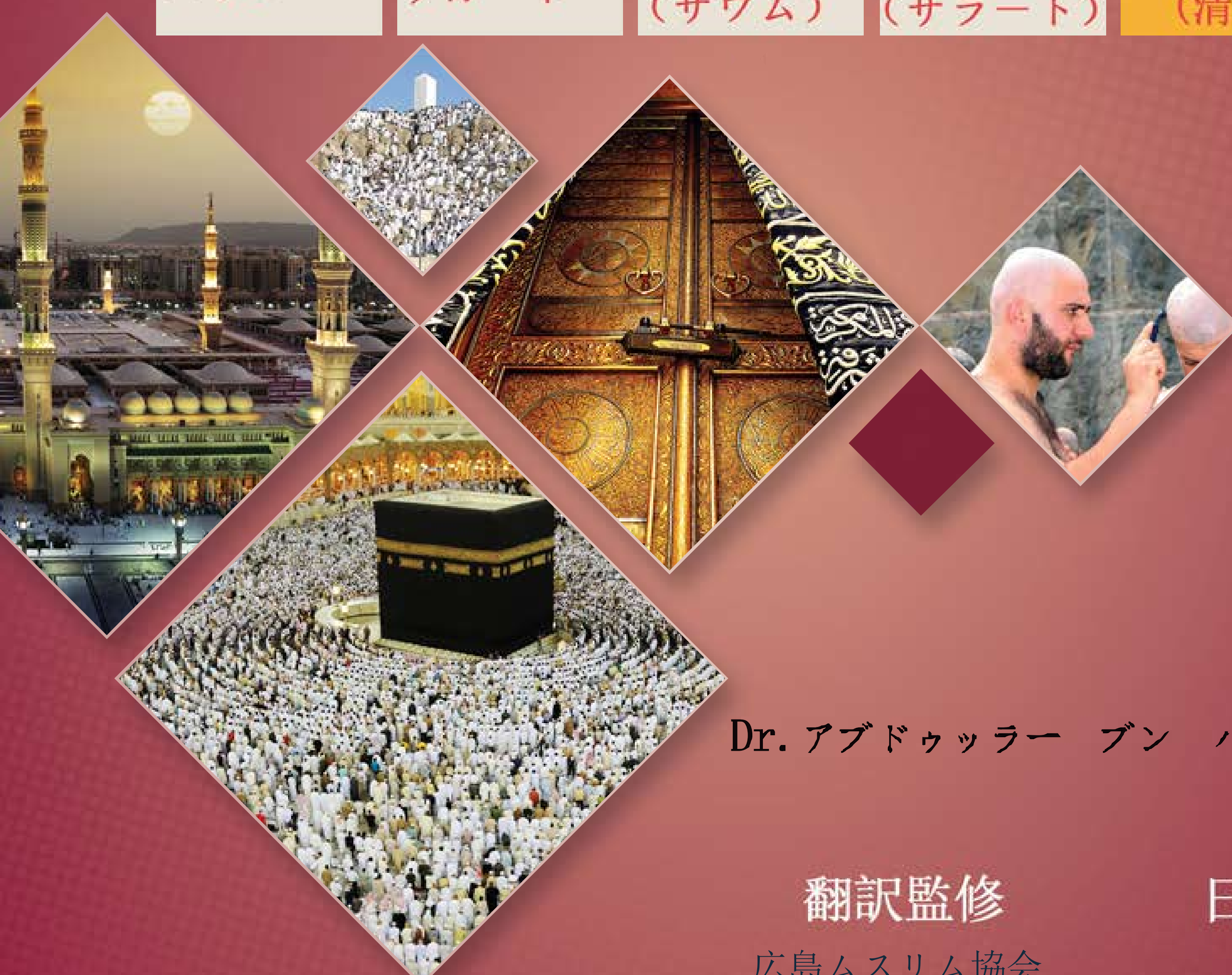
ウムラは、ハッジのように一生に一度の義務行為です。預言者はおっしゃいました。（イスラームは、アッラー以外に神は無く、ムハンマドがアッラーの使徒であると証言し、礼拝を行い、ザカートを出し、ハッジとウムラを行い、ジャナーバ（）にはグスル（沐浴）を行い、ウドゥー（清め）を十全に行い、ラマダーン月の斎戒を行うことです）。（イブヌ・フザィマの伝承）

アッラーのみ使いは、おっしゃいました。（ウムラは次のウムラまでの間にあるもの（罪）の償いです。またハッジ、それには天国以外の報酬はありません。）（合意の伝承）

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

マワーキート　（ミーカートの複数形)

第三課 マワーキート（ミーカートの複数形）

ミーカートの定義

ミーカートの語義：
二つの物事の境界.

ミーカートの法的意味：
立法者（アッラーまたは預言者）が信者に時間や場所を限定しているもの。

ミーカートの種類

第１：場所のミーカート

場所のミーカート：
立法者がそこからイフラームになるために定めた場所。

巡礼あるいはウムラを望む者は、そこをイフラーム以外では乗り越えることは許されていません。それは５か所あります。（シャイフ・アブドッラー・アルバッサーム氏による論考マワーキートとそれらの距離雑誌イスラーム法学会第３巻３号１５５３ページから引用）

１．ズルフライファ

それは、現在マディーナの南方にあり、アブヤール・アリーと名付けられています。マッカから約420km離れています。　それはマディーナの住人のミーカートです。



ズルフライファ

目次

２．ジュッファ：

それはラービグ市に近い場所でマッカから約186km離れています。

それはシリアとエジプトとモロッコの住人に対するミーカートです。



ジュッファ

3．ヤラムラム：

それはイエメンの人がマッカに行く道路にある大きなワジ（枯れ谷）です。現在は、サアディーヤと名付けられています。マッカから約120km離れています。

それはイエメンの住人のためのミーカートです。



ヤラムラム

4．カルヌルマナーズィル：

そこは現在、サイルルカビールと名付けられていて、マッカから約75km離れています。

それはナジドとターイフの住人に対するミーカートです。そしてハダー方面のターイフ道路の一番高い地点にある場所は、ワーディー・ムフリムと名付けられています。それらはナジドの住人とターイフ道路からやって来る者のミーカートです。



カルヌルマナーズィル

5．ザートイルク

現在、そこはダリーバあるいはハリーバートと名付けられています。そこはマッカから東に約100km離れています。しかし現在は廃棄されています。

それは東部の住人（イラク、イランとその背後にある地域の住人）に対するミーカートです。

前述の根拠は、イブヌ・アッバースが次のように語った伝承によります。（アッラーの み使いは、マディーナの住人にズルフライファを、シリアの住人にはジュッファをナジドの住人にはカルヌルマナーズィルをイエメンの住人にはヤラムラムをそれぞれミーカートに定めました。そして言いました。それらはその住人と住人以外でそこを通ってハッジやウムラを行う者たちのためのものです。それ以外の者は、育ったその場所から、マッカの住人は、マッカから巡礼に出かけます）。（合意の伝承）（またザートイルクについては、前述のハディースには記述されていません。それはカリフ・ウマル・ブン・ハッターブによって定められたものです）。（ブハーリーの伝承）



ザートイルク


ズルフライファ
（アブヤール・アリー）
ジュッファ
（バーリグ）
ザートイルク
（ハリーバート）
カルヌルマナーズィル
（サイル）
ヤラムラム
（サアディーヤ）

要請

イフラームなしにこれらのミーカートを越えてしまった者は、可能であれば再びその場所まで引き返さなければなりません。もし不可能であれば、フィドヤ（賠償）をしなけらばなりません。それはマッカで一頭の羊をザバハ（犠牲に捧げること）し、ハラムの貧者に分配することです。

住人以外でこれらのミーカートを通過する者は、そこでイフラームになります。もしナジドの住人がマディーナ道路から巡礼する時にはアブヤール・アリーでイフラームになります。

マッカの方角からミーカートの内側に住居のある者（ジェッダやバフラやシャラーイウなどの住人）は、ハッジやウムラのためのイフラームはその場所からになります。

陸路なり海路なり空路なりでミーカートを通過しない道を通ってやって来る者は、一番近いミーカートに面した時にイフラームになります。それはウマルの次の言葉によります。（あなた方の道路からそのミーカートに面した所を見なさい。）（ブハーリーの伝承）

第2：時間のミーカート

時間のミーカート

ハッジとウムラの時間

a．ハッジの時間的ミーカート：

巡礼の月は、シャウワール月（　月）とズルカアダ月（11月）とズルヒッジャ月（12月）の10日です。

b．ウムラの時間的ミーカート：

一年中

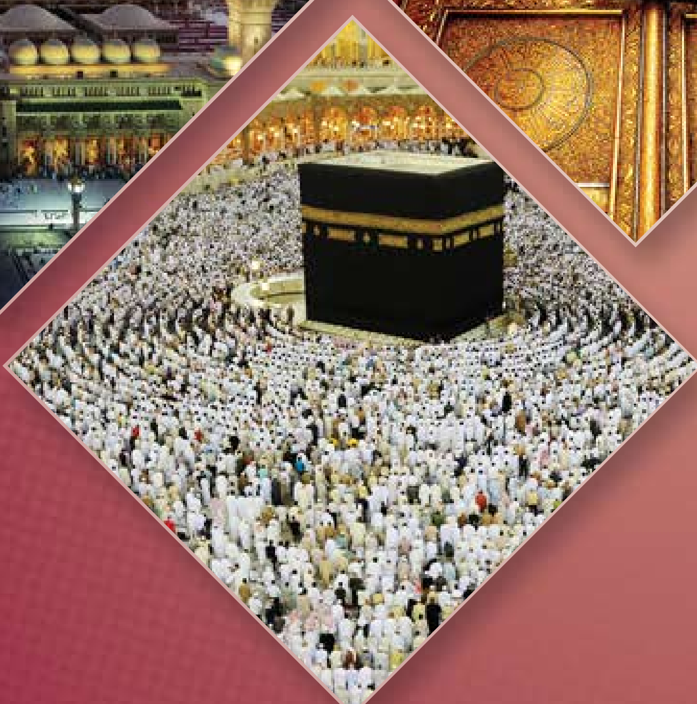


図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



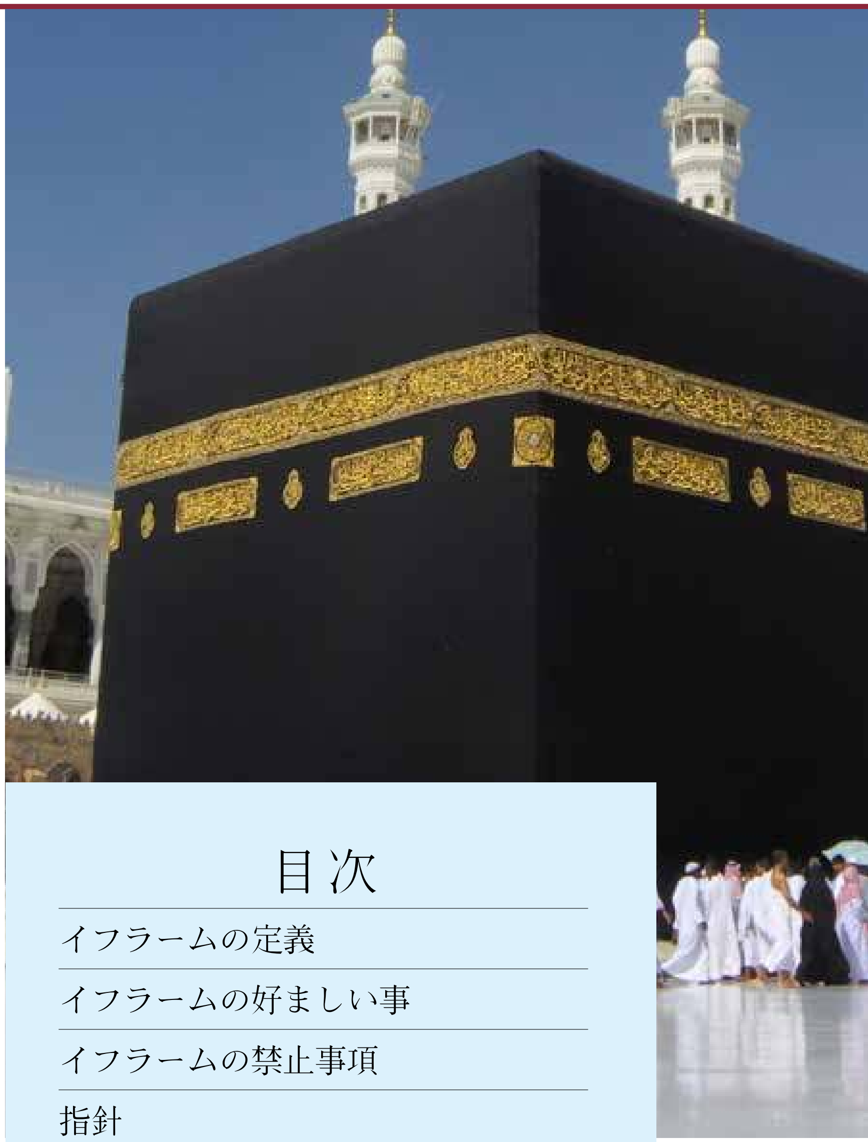

Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

イフラーム

第4課　イフラーム



イフラームの定義

イフラームの語義：
禁止

イフラームの法的意味：
ハッジの行為の一つと結びついて宗教儀礼を始めるという意思決定。

イフラームは、ニーヤ（意思決定）なしには成立しません。それでハッジあるいはウムラを決意せずにはムフリム（イフラームになた人）になりません。何故なら彼が国からハッジあるいはウムラを決意して旅に出た時からイフラームを着たりタルビヤを言うだけではムフリムになりません。そこに儀式に入るというニーヤがないからです。それは預言者の次ぎの言葉によります。（全ての行為はニーヤによります。全ての人はそのニーヤしたものを得ます。）（合意の伝承）

目次

イフラームの好ましい事

１．沐浴

ハーリジャは、彼の父ザィド・ブン・サービトからの伝承を伝えています。（彼は預言者がイフラームのために服を脱ぎ、沐浴するのを見ました。）（テルミズィーの伝承）

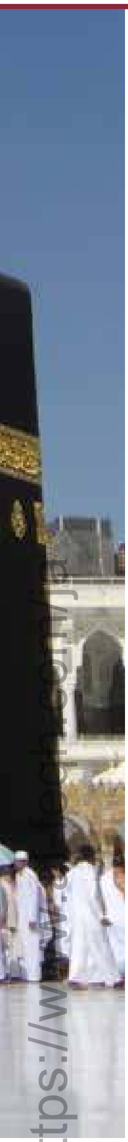


２．身ぎれいにすること

それは両脇の毛や恥毛をそること。口ひげと爪を短く整えること

３．香水を使うこと

アーイシャは語りました。（私は、アッラーのみ使い様がイフラームになる時、いつも彼に香水をかけていました。）しかしみ使いの次の言葉によりイフラームにはかけませんでした。（サフランやワルス）（染料に使われる、香りのよい黄色い植物）（を付けた服を着てはいけません。）（合意の伝承）









4．男性は、イフラームの前（一方、イフラームの後は、縫い目のある服を脱ぐことは義務になります。何故ならそれはイフラームの禁止事項だからです）に縫い目のある服（それは体の部分や全体を覆うために縫われたもので、シャツやパンツなどです。）を脱いで、白いイザール（腰布）とリダー（上布）を着てサンダルを履くこと

預言者はおっしゃいました。（誰でもイザールとリダーとサンダルでイフラームになりなさい。もしサンダルがなければホッフ（靴の下に履く履物）を踝が出るように短く切って使いなさい。）（アフマドの伝承）一方、女性は好きな服装でイフラームになります。決まった色はありません。しかし、男性に似た格好や飾りの多い服装は避けます。またニカーブ（顔を覆うベール）と手袋（女性が手を覆うために身に着けるものです。）はイフラームの時は着けません。

しかし、身内でない男性が同席する時は、頭からすっぽりと服を垂らし顔を覆います。これはアーイシャの次の言葉によります。（私たちがアッラーのみ使い様と一緒にムフリムとしていた時、ラクダに乗った男たちがそばを通り過ぎました。彼らが私たちに対面するくらいになった時、私たちの一人が彼女の外套を頭の上から顔の上に垂らしました。そして彼らが行き過ぎた時、私たちはそれを取り除きました。）（アブー・ダーウードの伝承）



ムフリムのイザールとリダー



ムフリムのためのサンダル



女性のムフリムのための手袋



女性のムフリムのためのニカーブ

イフラームの禁止事項

1．男性が頭部に接するもので頭を覆うこと

イブヌ・ウマルが伝えました。二人の男が、（アッラーのみ使い様、ムフリムは何を着ればいいのですか？と尋ねました。アッラーのみ使いは、シャツやターバンやスィルワール）（ズボンとして知られているもの）（やバラーニス）（フード付きの服）（を着てはなりません。とおっしゃいました。）（合意の伝承）

ムフリムで亡くなった者について預言者は、おっしゃいました。（彼の頭を覆ってはなりません。）（頭を覆うものを被せはならない）（彼は審判の日、タルビヤを唱えながら復活するからです）。（ブハーリーの伝承）

例えば傘やテントや家や自動車の屋根のように頭に接していなければ、それらを利用することは罪にはなりません。



ムフリムにとってのターバン



ムフリムにとってのキャップ



ムフリムにとってのズボン着用



ムスリムにとっての傘

2．男性にとって縫い目のあるものの着用

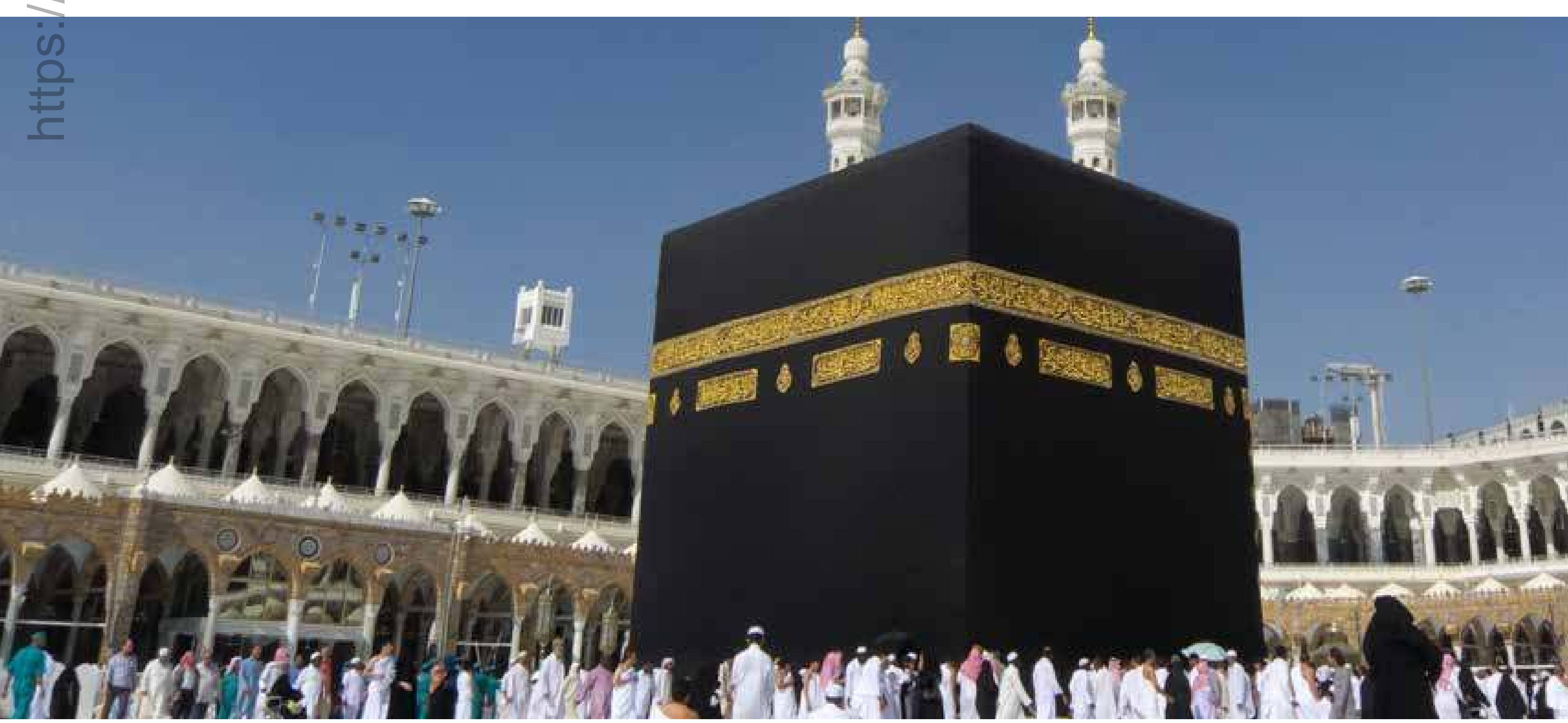
縫い目のあるものの意味は、体の一部や全体の大きさに縫われたもので、服やズボンやシャツやホッフや靴下や手袋のようなものです。根拠は。前述のイブヌ・ウマルの伝承によります。（シャツやターバンやスィルワールやバラーニスやホッフを着てはなりません）。（合意の伝承）

イフラームを望む人がイザールがない場合は、イザール（旅行に行くときに飛行機や船にイフラームの布を入れた旅行鞄を預けてしまい、手元にイザールがないときは、自分の服を脱ぎ、ズボンをイザールの代わりに履き、シャツをリダーのように体に巻き付けて代わりにする事が出来ます。そして目的地に到着してイフラームを取り出し、それに着替えることは問題ありません。）が手に入るまでは代わりにズボンを履くことが出来ます。サンダルがない時にはホッフを履くことが出来ます。預言者は、おっしゃいました。（サンダルが見つからない人はホッフを履きなさい。そして踝が出るように上を切りなさい。）（イブヌ・フザィマの伝承）

3．狩猟や漁労

クルアーン：{信仰する者よ、あなたがたが巡礼者の間は、狩猟して鳥獣を殺してはならない。}[食卓章95節]つまり、巡礼やウムラでムフリムである間。クルアーン{だが陸上の狩猟は、巡礼着の間は禁じられる。}[食卓章96節]陸上の狩猟の意味は、食用が許されている野生の動物や鳥の猟のこと。

家畜は猟の中に含まれません。それでムフリムは、鶏や家畜の動物などは屠畜して食べることは許されます。また漁労については許されます。クルアーン{海で漁労し、また獲物を食べることは、あなたがたにも旅人にも許されている。}[食卓章96節]また食べることが禁じられている蛇やサソリのような動物を殺すことは許されます。そしてムフリムに対して襲ってくる全ての動物は、殺すしか身を守れない場合は、殺すことが許されます。





サソリを殺すことは許される



蛇を殺すことは許される



漁労は許される



家畜の屠畜は許される



鳥の狩猟は禁じられる

4. 剃髪あるいは短髪あるいは髪を引き抜くこと

クルアーン{そして供物が犠牲を捧げる場に到着するまで、あなたの頭を剃ってはならない。}[雌牛章196節]この禁止規定は、頭髪から類推して体全ての毛についても適用される。



剃髪と短髪

5. 爪を切ること

両手と両足のすべての爪を切ること



ムフリムに対する両足の爪を切ること



ムフリムに対する両手の爪を切ること

6. 体と衣類に香水を付ける

イフラームになったムフリムは、体と衣服に香水を付けることあるいはその匂いを嗅ごうと意図することは禁じられます。これは前出のイブヌ・ウマルの伝承によります。その中で(サフランやワルス)(染料に使われる、香りのよい黄色い植物)(を付けた服を着てはいけません。またムフリムとして亡くなった者の伝承によりますと預言者は、彼に香水)(ハヌートという死者を包む布に香水を混ぜた物を使用すること。)(を付けてはいけません。とおっしゃいました)。(ブハーリーの伝承)

7．結婚契約

ウスマーンの伝える次の伝承によりますとアッラーのみ使いは次のようにおっしゃいました。（ムフリムは、結婚をしてはいけません。また結婚させることも婚約することいけません。）（ムスリムの伝承）

8．性交

クルアーン｛巡礼の務めを果たそうと決心した者は、巡礼中、猥褻な行いをしてはいけません。｝［雌牛章197節］イブヌ・アッバースは、これは性交のことで、イフラームで一番厳しい禁止事項のことだと言いました。

9．性器を除いた接触

キスや愛撫のようなことです。それらは性交へ導くことになりますからイフラームの禁止事項になっています。

女性がイフラーム中禁じられる行為

女性にとってイフラームの禁止事項は男性と同じです。

ただし次のことは異なります：

1．縫い目のある衣服を身に着けること。

2．頭を覆うこと。

3．ニカーブ（ニカーブ：女性が顔を覆うもの。）と手袋（カッファーズ（手袋）：手に着けるもの。）をしないこと。預言者は、おっしゃいました。（ムフリマ（女性のムフリム）はニカーブをしてはなりません。また手袋を付けてはなりません。）（ブハーリーの伝承）

近親者以外の男性が同席する場では、女性はニカーブ（1）を使わない、服を頭から垂らすやり方で顔を隠します。また彼女が金の装飾を付けることは許されます。



指針

1．イフラームになってから2ラクアのスンナの礼拝は根拠のない物です。同様にイフラームの時の決められたドアー（祈り）は定められていません。

2．もし飛行機で移動する時ミーカートに着いた時にイフラームに着替えられない恐れがある時は、先に自宅か飛行場でイフラームに着替えます。しかしその時はミーカートに来て巡礼のためのニーヤをするまでは、ムフリムになりません。



3．一部の巡礼者は、イフラームの右肩を出して着ていますが、そしてそれをイドティバーウと名付けています。しかしこれは正しくありません。イドティバーウは到着のタワーフの時だけ行うことで、それ以外では、両肩を覆います。



イドティバーウ

巡礼者への全体的アドバイス

ムスリムがハッジまたはウムラへの旅を決意した時、次のガイドラインに従わなければなりません。

1．家族や仲間に偉大なるアッラーへの恐れを忠告すること。それはアッラーの命令を実行し禁止事項を避けることです。

2．彼の持っている債権と負債を書き出し、それを証言すること。

3．全ての罪から心からの改悛を急ぐことは義務となります。信仰する人々よ、アッラーに改悛しなさい。おそらくあなた方は、成功するでしょう。至高なるなるお方はおっしゃいました。{あなたがた信仰する者よ、謙虚に悔悟してアッラーに帰れ。恐らく主は、あなたがたの様々な悪を払い、川が下を流れる楽園に入らせるであろう。}[禁止章8節]

4．もし彼に人やお金や名誉に不正がある時には、旅立つ前にそれを持ち主に返すか、彼らをそれから解放します。それは預言者の次の言葉によります。（同胞にお金や名誉で不正がある者は、１ディーナル（金貨）も１ディルハム（銀貨）もなくなる（審判の日の）前に、今日、それから解放されなさい。もし彼に善行があれば、彼の不正からその分が取り去られるでしょう。しかし、もし取り除かれる善行がなければ、彼はそれを背負うことになります。）(ブハーリーの伝承)

5．ハッジやウムラの費用にはハラールなお金から費やすこと。これは預言者の次の言葉によります。（至高なるアッラーは、良きものです。良いもの以外には受け入れません。それでアッラーは、使徒たちに命じたことによって信者に命じられました。使徒たちよ、良いものを食べ、善い行いをしなさい・・信仰する者よ、われがあなたがたに与えた良いものを食べなさい。そしてアッラーに感謝しなさい。もしあなたがたが本当に、かれに仕えるのであるならば。（雌牛章172節）それから旅が長くなり髪がぼさぼさで埃まみれになって両手を天に伸ばし主よ、主よ、と祈る男について、述べ、彼の食べ物はハラームで、飲み物はハラームで、衣服はハラームで、またハラームで養われているとしたら、どうやってそれに応えられますか？とおっしゃいました）。（ムスリムの伝承）



6．ハッジやウムラで意図されるのはアッラーと来世に向かうこととアッラーに近づくことでなければなりません。それにはその高貴な場所でアッラーの喜びを得るような言行を行うことによります。またハッジで現生とその虚飾や名声や体裁や見せびらかしを意図することには細心の注意を払わなければなりません。

7．ハッジやウムラで定められている規則を学ぶ必要があります。そして疑問があるところについては質問し、その識者となるためによく理解すべきです。しかし残念なことに巡礼者の多くは、巡礼のやり方を知らないまま巡礼に出かけています。そのためにいくつかの義務行為を行わずハッジを無効にしてしまうことになります。

イフラームの規則から

ムフリムは、ウドゥーやグスル（沐浴）の時頭を撫でて髪の毛が落ちても（巡礼を）害することはありません。同様に口髭や顎鬚や爪などが落ちても、そこに意図的なものが無ければ害することはありません。またこのことは男性女性にかかわらず髪の毛や爪が落ちても同じく害することはありません。ムフリムは、もし必要があったり益があるなら足に（紐やリボンなど）結ぶことは許されます。

ニーヤ（意思決定）の条件

病気があったり事故があって行事を完結できないと恐れる者は、イフラームになるとき次のように言って条件を付けることが好ましい事です。（ラッバイカッラーフンマ・ビ・ウムラ（あるいは、ウムラの代わりに別のもの）。ファ・イン・ハバサニーハービス・ファ・マヒッリー・ハィス・ハバスタニー）意味：アッラー、私はウムラのためにあなたの御前にやって来ました。もし私を妨害するものがあれば、あなたが妨害した処が私のそれを解く場所です。

またアーイシャは伝えました。（アッラーのみ使いは、ドゥバーア・ビント・ズバィルの処に入られ、彼女におっしゃいました。貴女は、ハッジがしたいのでしょう？彼女は言いました。アッラーに誓って、私にはワジア（痛み））（ワジア：病気）（しかありません。彼は彼女に言いました。条件を付けてハッジをしなさい。そしてこう言いなさい。アッラーホンマ・マヒッリー・ハィス・ハバスタニー意味：あなたが妨害した処が私のそれを解く場所です。）（合意の伝承）ですからそのように言えば、妨害がある者はそこで償いをすることなしにイフラームを解いても問題はありません。



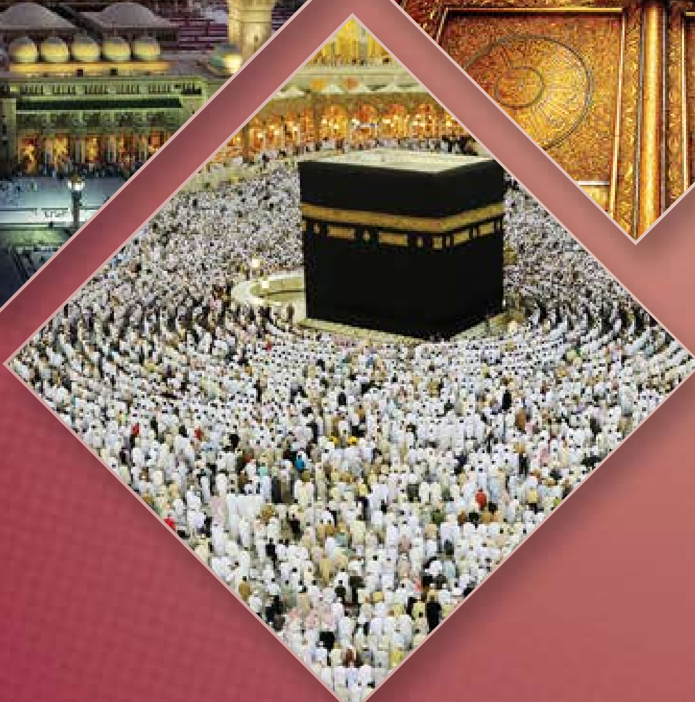
図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ヌスクとタルビヤ

第5課

ヌスクとタルビヤ



目次

ヌスク（宗教儀礼）

ヌスクの語義：

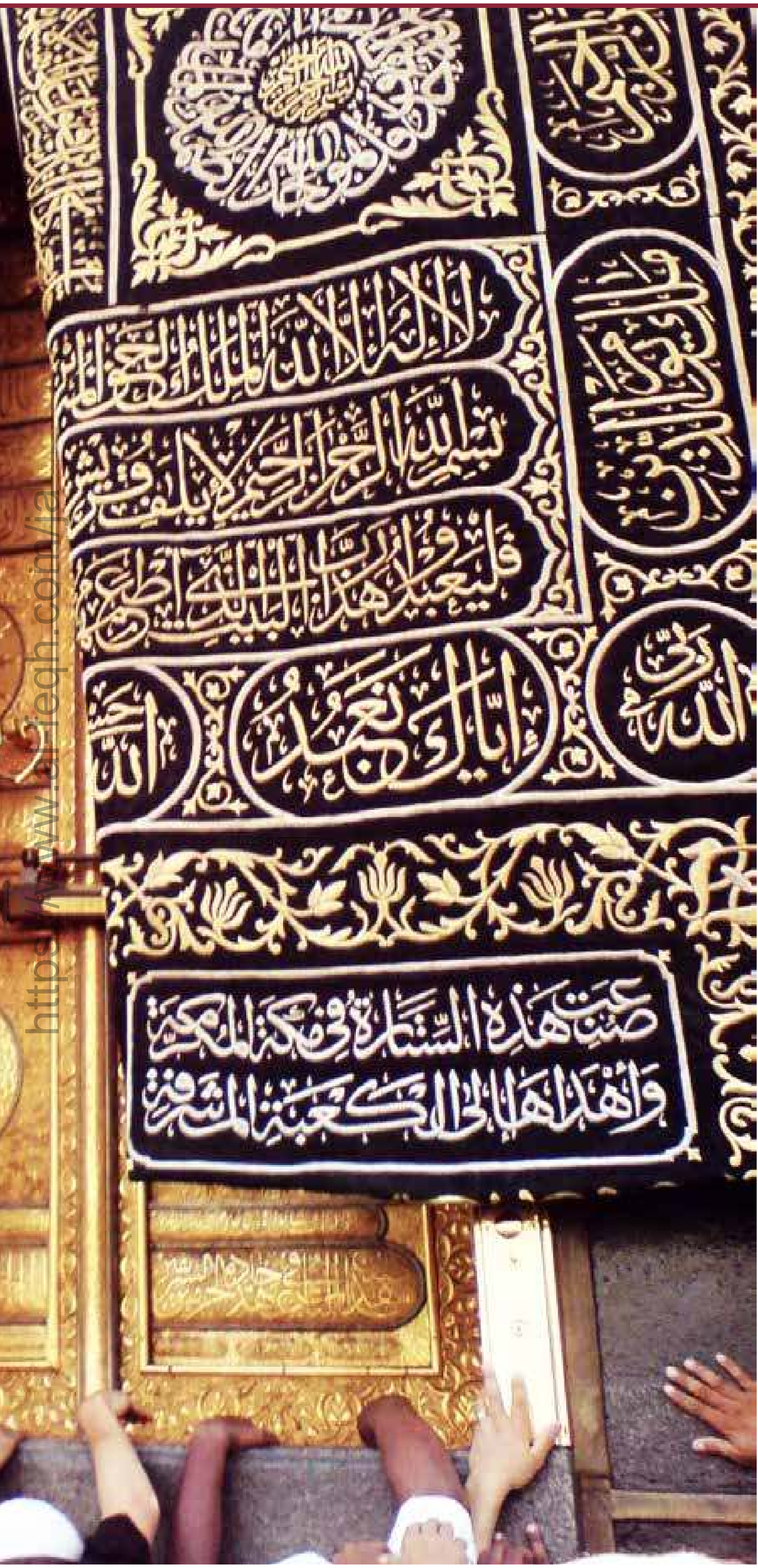
崇拝

ヌスクの法的意味：

ハッジやウムラをする者が言ったり行うこと。

ヌスクのニーヤ

イフラームを望む者が、沐浴をして身綺麗にして、イフラームを着て縫い目のあるものを脱ぎ終わった時、初めてハッジかウムラのヌスクのためのニーヤを行います。そのニーヤを口に出して言うのは好ましいことです。ウムラをしてからタマッタウのハッジをすると時の言葉は、ラッバイカッラーホンマ・ウムラタン・ムタマッティアン・ビハー・イラルハッジ（意味：アッラーよ、ウムラを行いハッジをタマットウで行うためにあなたの御前にやって来ました。）あるいはラッバイカッラーホンマ・ウムラとだけ言って、ハッジの時に再びラッバイカッラーホンマ・ハッジャーンといいます。またウムラとキラーンのやり方でハッジをする者は、ラッバイカッラーホンマ・ハッジャンワウムラと言います。これはアナスの伝承によります。私はアッラーのみ使いが、（ラッバイカッラーホンマ・ハッジャンワウムラ）（合意の伝承）と言われるのを聞きました。もし口に出して言わなくても心でニーヤをするだけで十分です。



ヌスクの種類

1．タマットウ：

これは巡礼できる月の間に、ウムラのためにムフリムになり、それが終わると、イフラームを解除し次に同じ年に改めてハッジのためにイフラームになることです。ムタマッティウ（タマットウでハッジをする人）は、マッカに到着するとまずウムラを行います。それは、タワーフ（カアバ聖殿の周りを７周すること）とサアイ（サファートマルワの丘の間を７回往復すること）と剃髪または短髪にしてからイフラームを解き、普段着に着替えます。そしてハッジ月の８日になるとハッジのためにムフリムになります。それからハッジの行事を行います。彼には、タマットウのための犠牲が義務となります。

2．キラーン：。

これは、ハッジとウムラを一緒にするやり方とウムラのためにムフリムになり、（ウムラの）タワーフを行う前にハッジのためにイフラームをすることです。

キラーンは、ハッジを終えるまでムフリムの状態が続きます。またキラーンのための犠牲が義務になります。

3. イフラード：。

これは、ハッジだけのためにムフリムになることです。この状態は、ハッジの行いが終わるまで続きます。また犠牲は、必要ありません。

一番良いハッジのやり方は、タマットウです。何故なら預言者が、サハーバにそれを命じたからです。（ムスリムの伝承集にあるアーイシャの伝承によります。）それからキラーンで次がイフラードになります。

ムスリムの伝承集のアーイシャの伝承

３つのやり方の違い

	タマトウ	キラーン	イフラード
特質	ウムラそれからハッジ	ウムラとハッジ	ハッジのみ
イフラーム	イフラームを２回行う。最初はウムラのために行い、それを解いてから再びハッジのためにイフラームになる。	イフラームをハッジとウムラのために１回だけ行う	ハッジのためだけに１回イフラームを行う
タルビヤ	最初のイフラームの時の言葉ラッバィカ・ウムラそれからハッジの時のイフラームの言葉ラッバィカ・ハッジャンあるいは、ラッバィカ・ウムラ・ムタッマティアン・ビハー・イラルハッジ	イフラームの時の言葉ラッバィカッラ・ウムラワハッジャン	イフラームの時の言葉ラッバィカッラ・ハッジャン
犠牲	犠牲が義務になります。	犠牲が義務になります。	犠牲は義務ではありません
タワーフ	そこではタワーフは２回行います。最初は、ウムラのためで、２回目は、ハッジのためです。	そこではハッジのために１回の義務的タワーフフを行います。	そこではハッジのために１回の義務的タワーフフを行います。
サアイ	そこでは２回のサアイを行います。最初は、ウムラのためで、２回目はハッジのためです。	そこではハッジのための１回のサアイだけです。	そこではハッジのための１回のサアイだけです。

タルビヤ

タルビヤの定義

タルビヤ：

ムフリムがいう言葉：ラッバィカッラーホンマ・ラッバィク。ラッバィカッラ・ラー・シャリーカラカ・ラッバィク。インナルハムダ・ワンーニアマタ・タカワルムルク。ラー・シャリーカラク意味：アッラーよ、あなたの御前にやって来ました。あなたの御前にやって来ました。あなたに並ぶものはありません。あなたの御前にやって来ました。称賛と恩恵と大権はあなただけにあります。あなたに並ぶものはありません。

これはイブヌ・ウマルの伝承によります。（アッラーのみ使いのタルビヤは、このようでした）。（合意の伝承）

ラッバィカッラーホンマ・ラッバィク。の意味は、あなたに答えます。アッラーよ、あなたに答えます。

タルビヤには、アッラーへの称賛と感謝、彼の命令への応答、彼の指針への表明、シルク（多神）との関わりの否定が含まれます。

タルビヤの規定

タルビヤは、スンナです。男性は、大きな声で唱えます。女性は、人を惑わさないように声を低めて唱えます。

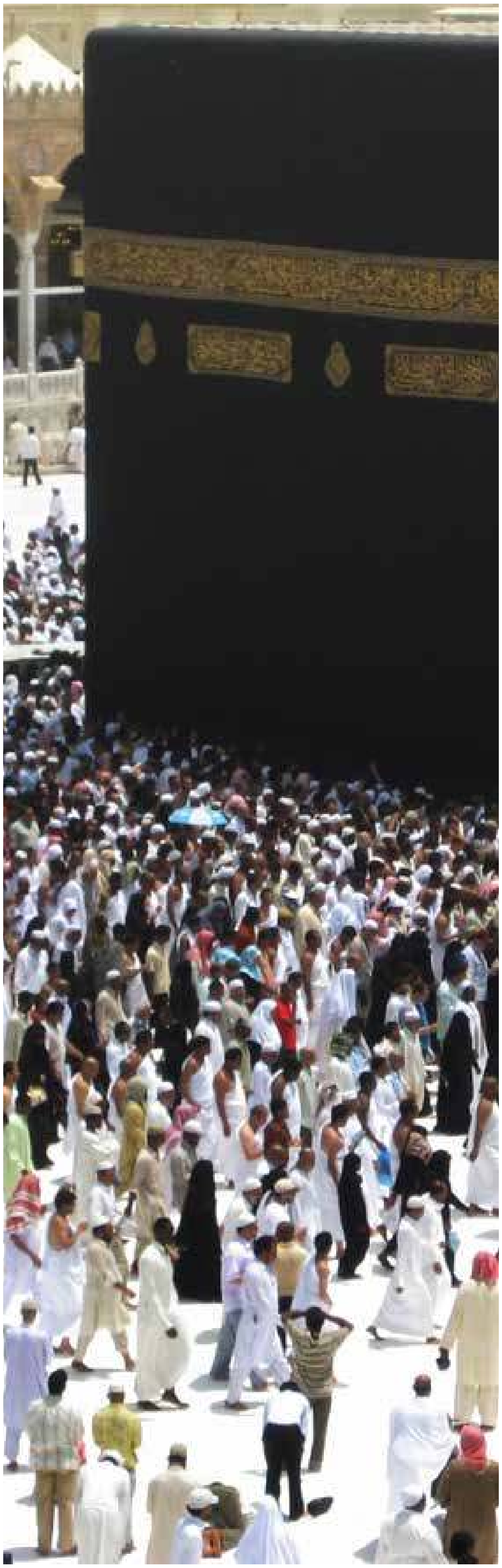
タルビヤの時間と場所

イフラームに入った直後に始め、道中それを多く行います。

以下のような処では特に行います。：

高くなった場所に上ったり、ワジ（谷）のような処に下ったり、義務の礼拝をしたとき、夕方や明るくなったとき。

ウムラではカアバ聖殿を見て（タワーフ開始場所の）黒石の場所に至った時、タルビヤを止めます。ハッジでは、犠牲祭の日にアカバの石柱への石投げを始める時、タルビヤを止めます。



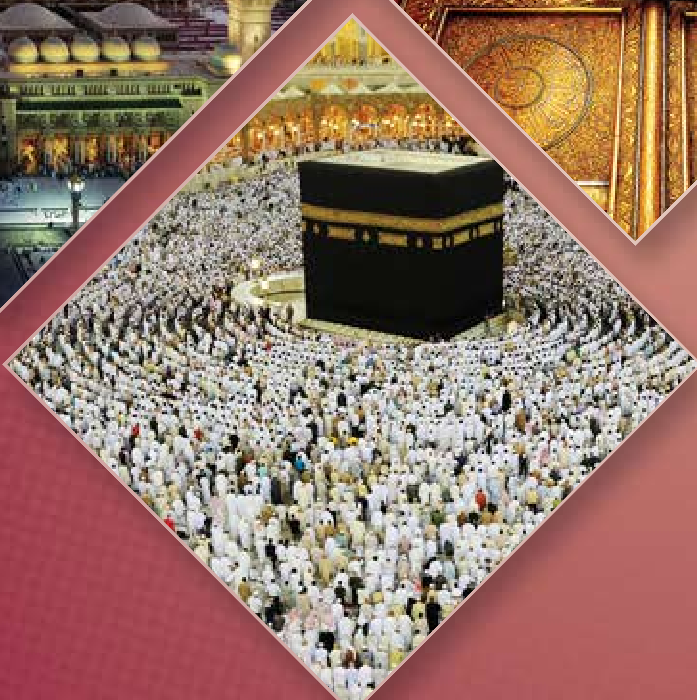
図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ハッジとウムラの特質

第６課



ハッジとウムラの特質

ハッジの特質

ハッジのためにやって来た者は、タマットウかキラーンかイフラードのいずれかのやり方を選びますが、タマトウの場合は、ウムラをやって一旦イフラーム状態を解きます。キラーンとイフラードはイフラーム状態がハッジの行事が始まる8日から13日の終わりまで続きます。次に日ごとの行事の解説をします。：

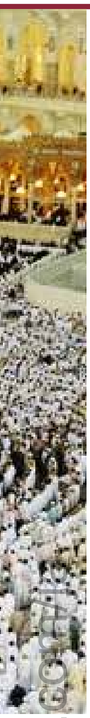
巡礼月８日（タルウィヤの日）

（この日がタルウィヤ（給水）の日と名付けられたのは、この日、巡礼者が水が無いミナーやアラファートで必要な水を準備したところからきています）

１．8日のズフルの前に、その時いる場所でムフリムになるのがスンナです。もしマッカにいればそこからムフリムになり、ミナーにいればそこでムフリムになります。その時、沐浴し、香水をふり、イフラームに着替えます。そして次のように言ってタルビヤを唱えます。（ラッバイカッラーホンマ・ハッジャン。ラッバイカッラーホンマ・ラッバイク。ラッバイカ・ラー・シャリーカラカ・ラッバイク。インーナルハムダ・ワンーニアマタ・ラカワルムルク。ラー・シャリーカラク）（ブハーリーの伝承）

目次

２．それからミナーへ向かい、そこでズフルとアスルとマグリブとイシャーと次の日のファジュルの礼拝をそれぞれの時間に4ラクアの礼拝については短縮した形で行います。ミナーには9日の日の出まで留まります。またタルビヤを多く唱えることはスンナです。




イフラーム


香水を使う


沐浴


ミナー

巡礼月9日（アラファの日）

１．この日の日の出から巡礼者は、タルビヤを唱えながらアラファに向かって移動します。ナミラ（アラファにあるモスク）に向かい、もし困難がなければそこでズフルまで留まるのはスンナです。ズフルになるとイマームまたはその代理は、そこで巡礼者に向けて巡礼にふさわしい説教を行います。その中では、唯一なアッラーへの信仰を確認し、宗教の重要事項や巡礼の規則を教えます。

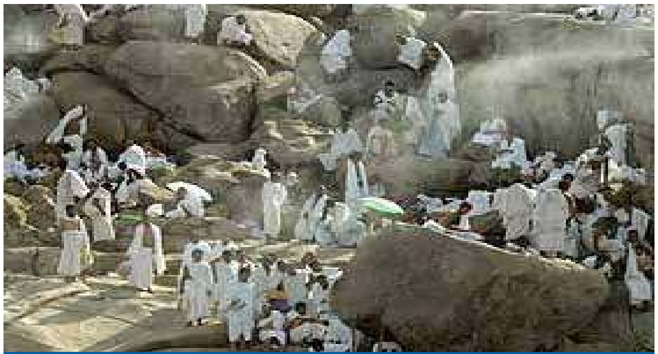
２．それからそこでズフルとアスルの礼拝を短縮と前倒しの纏めの礼拝として行います。巡礼者には、この日キブラに向かいドアー（祈願）を多くし謙虚さと羞恥心と弱さを表し威厳あるアッラーへの渇望を表明します。そしてドアーに専念し、それを繰り返します。預言者は、語りました。最も良い祈り（ドアー）は、アラファの日の祈りです。私と以前の預言者たちが祈った言葉で最も良いものは、（ラー・イラーハ・イッラッラー・ワフダフダフー・ラー・シャリーカ・ラ。ラフルムルク・ワ・ラフルハムド。ワ・ホワ・アラー・クッリ・シャィイン・カディール）（ティルミズィーの伝承）（意味：アッラー以外に神は無し、唯一で並ぶものはない。彼には大権と称賛がある。そして彼は、凡てのことが可能である。）また伝えられているドアーの言葉で祈ることが勧められ、形式的で新しく作られたものは避けます。クルアーンを読む方が勧められます。また預言者への祈りを多く行います。（ ）

３．巡礼者は、アラファからムズダリファへ日没後に移動します。日没前に移動することは許されません。もしその前にアラファを出たときには、もう一度アラファに戻ります。たとえ夜になっていたとしてもです。もし戻らなければ、償いが義務になります。それは羊かラクダの7分１か牛の7分の1です。




ムズダリファ


ナミラ


アラファート

指針

1．ウクーフ・ビアラファ（アラファで立つこと）の行事は、巡礼者が9日アラファに滞在することで実現します。その場合、立っていても座っていても横になっていても乗り物に乗っていても同じで立つという言葉の意味にとらわれる必要はありません。

2．ウクーフ・ビアラファは、ハッジの柱（ルクヌ）の一つでこれ無しにはハッジは成立しません。もしこれに間に合わなけれハッジを逃がしたことになります。それは預言者の次の言葉によります。（ハッジは、アラファです。）（アフマドの伝承）

3．このウクーフは、9日のファジュルから始まり、10日のファジュルまでの間です。この間アラファに留まった者は、たとえ瞬間であっても、巡礼は成立します。そしてこの時間内に留まれなかった者のハッジは、成立しません。これはイブヌ・アッバースの伝える預言者の信頼される次の言葉によります。（ファジュルの前にアラファに達した者は、ハッジに届いた者です。）（アルバーニーが伝承集アルジャーミウの5995番の伝承）

4．アラファは、その全がウクーフの場所です。預言者は、アラファ山の岩場の近くでキブラに向かい、しかしそこに登らず、おっしゃいました。（私は、ここに止まりました。しかしアラファは全てその場所です。）（ムスリムの伝承）それでもし容易ならアッラーのみ使いが止まったその場所に留まるほうがより良いことですが、出来なければアラファのどの場所でも留まります。しかしアラファのすぐそばのワジ（涸れ川）ーその名前はワーディー・アラファと言いますがーでは無効になります。またアラファ山にもその岩場のも登りません。アラファには古くはその境界を示す印が置かれていましたが、現在は新しくて大きな目立つ印が設置されており、全ての方角にその境界を明らかにしています。

5．巡礼者は、この日の重要さと徳を思い出さなければなりません。またアッラーはその日信者に寛大であり、天使たちの前で彼らを誇りとすします。そして地獄の業火から多くの者を解放します。預言者は、おっしゃいました。アッラーが地獄からしもべを解放する日で、アラファの日より多い日はありません。その日、アッラーは（巡礼者に）近づき、それから天者たちの前で彼らを誇り、この者たちは何を望んでいるのか？と言います。ですから巡礼者は、この大切な日の時間を有益にとらえるべきです。そして改悛を新たにし、自身を評価します。決して歩き回ったり議論や無駄話でその時間を無くしてはなりません。

9日の夜、ムズダリファへ移動しそこでムビート（夜を過ごす）する

1．巡礼者は、日没後アラファからムズダリファへ移動します。その時、人を傷つけないように静かに節度を持って移動し、アッラーを念じタルビヤを唱えるのがスンナです。

2．巡礼者は、ムズダリファに到着した時、荷物を解く前にまずマグリブとイシャーの礼拝を短縮で纏めて行います。

3．その夜のムビートとそこでのファジュルの礼拝は、義務です。ファジュルの前にムズダリファを出ません。しかし、子供や女性のような弱者と彼らに同行する者や巡礼者の世話をする者のように理由がある人は、月が沈んでからその夜の遅くにムズダリファから移動することが許されます。

4巡礼者は、ファジュルの礼拝を終えるとマシュアル・ハラーム（聖なる場所）へ行き、キブラに向かい、ズィクル（稔昌）やタクビールやドアー（祈願）を両手を挙げて多く行います。それは十分に明るくなるまで続けることが好まれます。しかしムズダリファのどこでもどの時間でもそれは許されます。それは、預言者の次の言葉によります。（私は、ここに止まりました。しかしジャムウは全てその場所です。）(ムスリムの伝承)ジャムウとはムズダリファのことです。

5．ムズダリファから移動する時、石投げ行事の初日の分の7個の小石だけを拾うことは好ましいことです。残りの日の小石についてはミナーで拾います。また小石は、どの場所で拾っても許されます。

巡礼月１０日（イードの日：犠牲祭）

1．ファジュルの礼拝を行った後、日の出までズィクルやドアーに専念します。

2．巡礼者はムズダリファから日の出少し前にミナーに向かって移動します。その道中は、タルビヤを多く唱えます。ムズダリファとミナーの間にあるムハッスィルのワジ（涸れ川）に到着したら、先を急ぎます。そしてミナーに到着した時には、イードの日の行事を行います。それは、概略すれば、アカバの石柱への石投げと犠牲と剃髪あるいは短髪とタワーフとサアイです。

3．巡礼者は、ミナーに到着するとアカバの石柱に向かいます。それはミナーから見て最後の石柱でマッカからは最初の石柱になります。そこに到着した時には、タルビヤを中止し、7個の小石を一個づつ投げます。その時、一回ごとにタクビールを行ってから投げます。好ましい開始の時間はイードの日のファジュルからですが、その前の夜の終わりであっても受け入れられます。この石投げの時間は、11日のファジュルまで続きます。

指針

ムスリムは、石投げや残りの巡礼行事を行う際には同胞の巡礼者を傷つけないようにしなければなりません。

巡礼者は、その小石が石柱の立っている場所（その周りを囲っている場所）に入ったことを確認すべきです。一部の人は石投げは、柱にするものだと誤解していて、その石がその囲いの中に入らないことになります。また一部の人は、遠くから投げてそこに入らないとかし石投げの義務を果たさないことになっています。

ムスリムは、石投げでは大げさな振舞いは避けるべきです。例えば大きな石や履物を投げるとかすることです。スンナは、石の大きさをひよこ豆より少し大きいぐらいにすることです。これはジャービル・ブン・アブドッラーの伝承によります。私は、預言者が石投げの小石のようなものを石柱に投げるのを見ました。石投げの小石とは、二本の指の間に挟んで投げるぐらいの小石です。

もし全部の石を一度に投げてしまった時には、一個の石を投げただけにしか数えられません。もしそれらの石を囲いの中に置いただけならそれは正しくありません。投げることが必要です。

4．男性は、頭全部を剃るか全体の髪の毛を短くします。剃る方がより良いとされています。女性については、指先の長さだけ髪を短くします。

5．（その後）マッカへ下り、イファーダ（溢れ出す）のタワーフを行います。このタワーフでは速足もイドティバーウ（右肩を出すこと）もありません。タワーフの後、2ラクアの礼拝を行います。このタワーフで一番良いのは、石投げと剃髪を終えた後、イフラームを脱ぎ普段着に着替え香水を付けてから行うことです。アーイシャは、言いました。（私は、アッラーのみ使いが、イフラームになる時にもそれを解いてタワーフをする前にも香水をつけて差し上げていました。）（合意の伝承）

6．タワーアフの始まりの時間は、イードの日のファジュルになった時からです。しかし、イードの日に前夜の終盤でファジュルの前であってもムズダリファから早く出た弱い人は、タワーフを行っても受け入れられます。

またイードの日から遅らせることもできますが、そうしない方が一番です。

7．イファーダのタワーフを終えたタマットゥウの巡礼者は、サファーとマルワの間をサアイする必要があります。イフラードとキラーンの巡礼者は、到着のタワーフの後にもしサアイを終えていれば、このタワーフの後にサアイをする必要はありません。巡礼者がこのタワーフ（タワーフルイファーダ）とサアイーサアイが義務であればーを終えれば、イードの日の行事は完了したことになります。巡礼者は、11日の夜をそこで過ごすためにミナー戻らなければなりません。

イードの日の行事の順番

イードの日の行事を次のような順序で行うことはスンナです：石投げ、犠牲、剃髪、タワーフ・イファーダ、サアイ（義務である人に対して）。もしそれぞれが前後しても許されます。何故なら預言者は、それを認めたからです。それでもし最初に剃髪してから石投げを行っても認められますし、もし最初に犠牲をしてからタワーフを行い、それから石投げを行うといったようなことでも認められます。何故なら預言者は、この日に先にすることや遅らせることについて尋ねられることはなかったからです。しかし、（行いなさい。罪はありません。）（合意の伝承）とおっしゃいました。



アカバの石柱への石投げ


犠牲の屠畜



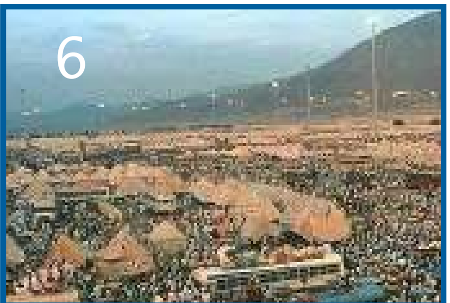
剃髪と短髪



タワーフ



サファートマルワの間のサアイ



ミナーでの宿泊

最初と二回目のイフラームの解除：

最初のイフラームの解除：それは、ムフリリムに禁じられていることで妻との性行為とそれに結び付く行為と結婚契約を除いて解放されることです。それは次の行為の中から二つ行うことによって許されます。それは、アカバの石柱の石投げ、剃髪か短髪、それが義務な者にとってのサアイを伴ったタワーフです。

二回目の解除：それは、前の解放されるための全てのことを行うことでムフリムが禁じられている全てのものからの開放されることです。ですからこの解除には、犠牲の屠畜との関係はありません。例え犠牲やその他のイードの日の行事が11日に遅れても変わりません。また例え屠畜が行われなくても解除されます。

タシュリークの日々

それは、次の3日間です。：巡礼月の11日と12日と13日です。この名前が付いた由来は、犠牲にされた肉がそれらの日に日干しにされたからです。つまり切り分けられ広げられて天日干しにされました。これらの日についてアッラーのみ使い様は、おっしゃいました。（見なさい。これらの日々は、食べ、飲み、偉大なるアッラーを稔昌する日です）。（アブー・ダーウードの伝承）

11日とその夜（11の前夜のこと）

11日の夜をミナーで過ごすことは義務です。また11日には、ズフルになってから3つの石柱への石投げを行います。それぞれの石柱には7個の小石をなげます。（そぞれの石柱には囲いがあり、ミナーの一番マッカ寄りに位置し、最初のものはジャムラ・スグラー（小石柱）で二番目はジャムラ・ウスター（中石柱）で三番目はジャムラ・クブラー（大石柱）でジャムラトルアカバ（アカバの石柱）とも呼ばれてます。そこはマッカとミナーの境界になります）

石投げの特質

最初の石柱では、7個の小石を投げます。その際それぞれの石投げではタクビールを行います。小石は囲いの中に入れるべきです。それから少しそこから前進し立ち止まって両手を上げてアッラーにドアー（祈願）します。

次にジャムラ・ウスター（中柱）では、最初の石柱と同じ7個の小石を投げ、その後に両手を上げてドアー（祈願）をします。

それからジャムラトルアカバ（アカバの石柱）では、7個の小石をなげてから、ドアーのために立ち止まりません。


ジャムラ・ウーラー（最初の石柱）


ジャムラトルアカバ（アカバの石柱）


ジャムラ・ウスター（中石柱）

12日とその夜（前夜）

ミナーでの12日夜を過ごすことは義務です。ズフルになったら3つの石柱に11日と同様に石投げを行います。

もしこの日に早退を望む者は、石投げの後、日没前にミナーを出ます。太陽が沈んだ時、ミナーにいる者は、13日の夜を過ごすことと石投げが義務になります。それは、追加になりより良いことです。クルアーン{アッラーを畏れる者の中、誰でも急ぐならば、2日目（に帰っ）ても罪にはならない。また留まっても罪ではない。}[雌牛章203節]つまりこの2日間とは11日と12日のことです。また留まる時は、13日を完了します。

13日とその夜

13日のズフル後、11日に述べられたように石投げを行います。そして石投げの時間は、この日の日没で終わります。

石投げを遅らせる

巡礼者がもし石投げを一日、一日と遅らせて最後の日まで遅らせても認められます。何故ならタシュリークの日は全てが石投げの時間だからです。

石投げを遅らせた時の特質

まず石投げの最初の日の分を行い、再び最初の石柱（小石柱）に戻り次の日の分を行います。このようにしてそれぞれの日の石投げを行います。しかしそれは、ズフルの後でなければなりません。

別れのタワーフ

巡礼者は、マッカを離れることを望んだ時には、別れのタワーフを行います。それは、ハッジの義務行為の一つです。その後でサアイはありません。別れのタワーフは、月経中や産後の女性には課されません。

イファーダのタワーフを別れのタワーフまで遅らせること

もし巡礼者が、イファーダのタワーフを別れのタワーフまで遅らせても許されます。しかしそうしない方がより良いことです。イファーダのタワーフを別れのタワーフに充てることは許されますが、その時のニーヤは、イファーダのタワーフだけで十分です。例えその後にサアイをしてもです。

タワーフの叡智

タワーフやサアイや石投げにある叡智は、アッラーをズィクル（唱念）することです。



ウムラ（小巡礼）の特質

１．ミーカートに到着したら、沐浴し、香水を体につけてからイフラームを着ます。そしてウムラのニーヤを次のように言って行います。ラッバィカ・ウムラ

２．タルビヤを次のように言います。（ラッバィカッラーホンマ・ラッバィク。ラッバイカ・ラー・シャリーカラカ・ラッバィク。インーナルハムダ・ワンーニアマタ・ラカワルムルク。ラー・シャリーカラクタルビヤは、カアバ聖殿を見て）（ブハーリーの伝承）（タワーフの開始の印）黒石の位置を確認する時あるいはそれに触るまで続けます。

３．マスジド・ハラーム（聖モスク）に入るときは、右足から入りマスジドに入る時のドアー（祈願）を唱えます。

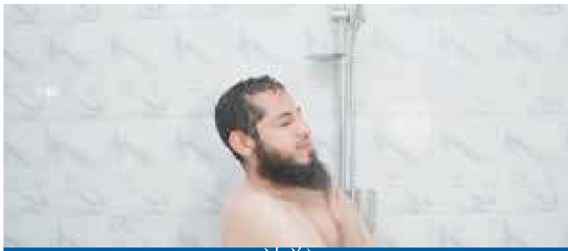
４．タルビヤを止めて、タワーフを始めます。その時、もし容易なら黒石に触り、キスをしてから始めますが、出来なければそれを指し示せば済みます。

５．タワーフは、カアバを左にして7回周回します。黒石から始まりそこで終わります。

６．最初の3週は、速足で回るのがスンナです。それは、飛び跳ねることなく短い歩幅で急いで歩くことです。またこのタワーフ中は、イドティバーウで行うのがスンナです。それは上の布端を右下から入れて右肩を出して左肩の上に回します。

タワーフの条件

タワーフの条件は、以下の通りです。：ニーヤ、清浄とアウラを覆うこと、7回の周回、黒石からの開始、カアバ聖殿を左にして回る、連続（礼拝や葬儀の中断は除く。礼拝が終わったら中断したところから続ける）、タワーフは、カアバ聖殿全体を回る。もしヒジュルに入った時には、タワーフ成立しません。何故ならヒジュルはカアバ聖殿の一部だからです。



沐浴



イフラーム



香水をつける

７．タワーフの最中は、好きなドアー（祈願）を行う。ルクヌ・ヤマーニ（イエメン角）に来た時には、それに触れタクビールを行います。もし出来なければ、それを指したりタクビールも行いません。そこと黒石の間では、

（ラッバナー・アーティナー・フィッドゥンヤー・ハサナタン・ワ・フィルアーヒラティ・ハサナ・ワ・キナー・アザーバンナール）(アブーダーウードの伝承)意味、われらの主よ、現世でも来世でも良きものをお与え下し。そして地獄の業火からお守りください。

8．7回目の周回が終わった時には、リダーウ（上掛けの布）で両肩を覆い、イドティバーウ（右肩を出す着方）を止めます。何故ならイドティバーウはウムラのタワーフと到着のタワーフ以外ではスンナではないからです。

その後、容易ならマカーム・イブラーヒーム（イブラーヒームの御立ち処）へ向かい、その後ろで2ラクアの礼拝を行います。最初のラクアではファーティハ（開端章）の後に不信者章を詠み、2ラクア目では純正章を詠みます。もし困難があればその場所の後ろのどこでも礼拝することができます。

指針

a．ムスリムは、タワーフをする人たちを押しのけたりすべきではありません。また黒石に触れたりキスをするために、自分や他の人たちを困難な目に合わせないようにすべきです。同様に速足で回る時も他の巡礼者たちにその速足が害を及ぼしそうならそれを止めるべきです。

b.タワーフでのドアーは、容易なものであって以前に述べられたものを除いて特別に決まったものはありません。もしクルアーンを朗誦しても問題ありません。

c.イドティバーウ（右肩を出すイフラームの着方）はウムラと到着のタワーフで全部の周回において行うことは、スンナです。

d.女性は、タワーフで着飾ること香水の匂いをさせることは避けなければなりません。またドアーやズィクルで大きな声を上げることもです。

9．サファーに向かいそこに近づいたときに次のクルアーンを朗誦します。インナッサファー・ワルマルワタ・ミン・シャアーイリッラー。ファ・マン・ハッジャルバィタ・アウィウタマラ・ファラー・ジュナーハ・アライヒ・アン・ヤトーファ・ビハー。ワマン・タタッワア・ハィラン・ファインナッラーハ・シャーキルン・アリーム（雌牛章158節）意味：本当にサファーとマルワは、アッラーの印の中である。だから聖殿に巡礼する者、または（小巡礼のためにそれを）訪れる者は、この両丘をタワーフ（回巡）しても罪ではない。進んで善い行いをする者には、本当にアッラーは嘉し、それをよく御認め下さる。

10．サファーに登り、キブラに向かい、両手を上げてアッラーへのタクビールと賞賛をしてから次のように言います。（ラー・イラーハ・イッラッラー・ワフダフー・ラー・シャリーカ・ラ。ラフルムルク・ワ・ラフルハムド。ワ・ホワ・アラー・クッリ・シャィイン・カディール。ラー・イラーハ・イッラッラー・ワフダ。アンジャザ・ワアダ。ワ・ナサラ・アブダ。ワ・ハザマルアフザーバ・ワフダ。）(ブハーリーの伝承)意味：アッラー以外に神は無し。唯一にして並ぶもののないお方。大権と賞賛の所有者。あらゆることが可能なお方。アッラー以外に神は無し。唯一のお方。約束を果たされ、僕を助け、部族連合を破った唯一のお方。（ムスリムの伝承）

それからアッラーにドアー（祈願）します。これを三回繰り返します。またハディースに彼は、マルワでもサファーと同じことを行ったとあります。



11. サファーを降りるとマルワに向かいます。途中緑の二つの標識（それはハージャルが、サファーとマルワの間をサアイした時に急いで歩いた場所を示すものです。）の間は速足で歩きます。そしてマルワに登り、サファーで行ったと同じことを行います。

12. サファーとマルワの間を7回往復（行きが1回、帰りが2回と数えて）します。タハーラ（清浄）であることはスンナです。もしタハーラでなくてもサアイは成立します。またサアイとタワーフは、連続して行うことは、スンナです。

13. サアイの後に男性は、髪の毛を短くします。その際、それが明らかに分かるくらいにします。しかし女性は、髪の毛の全ての端を指先の長さだけ短くします。

一番良いのは、男性は剃髪です。それはアブーフライラの伝える次の伝承によります。（アッラーのみ使いはおっしゃいました。アッラーよ、剃髪した人々の罪をお赦し下さい。人々は、短髪にした人にもですかと尋ねました。するとアッラーよ、剃髪した人々の罪をお赦し下さい。とおっしゃいました。そこで人々は、短髪にした人にもですかとまた言いました。すると同じ言葉を3回繰り返してから、また短髪にした人にもとおっしゃいました。）(ブハーリーの伝承)もしタマットウの巡礼で、ウムラの後でハッジまで頭髪が十分に伸びるだけの期間がければ短髪が優先され、剃髪はハッジまで遅らせます。



サファーとマルワの間のサアイ

14．イフラームを解く。

これによりウムラは、終わります。

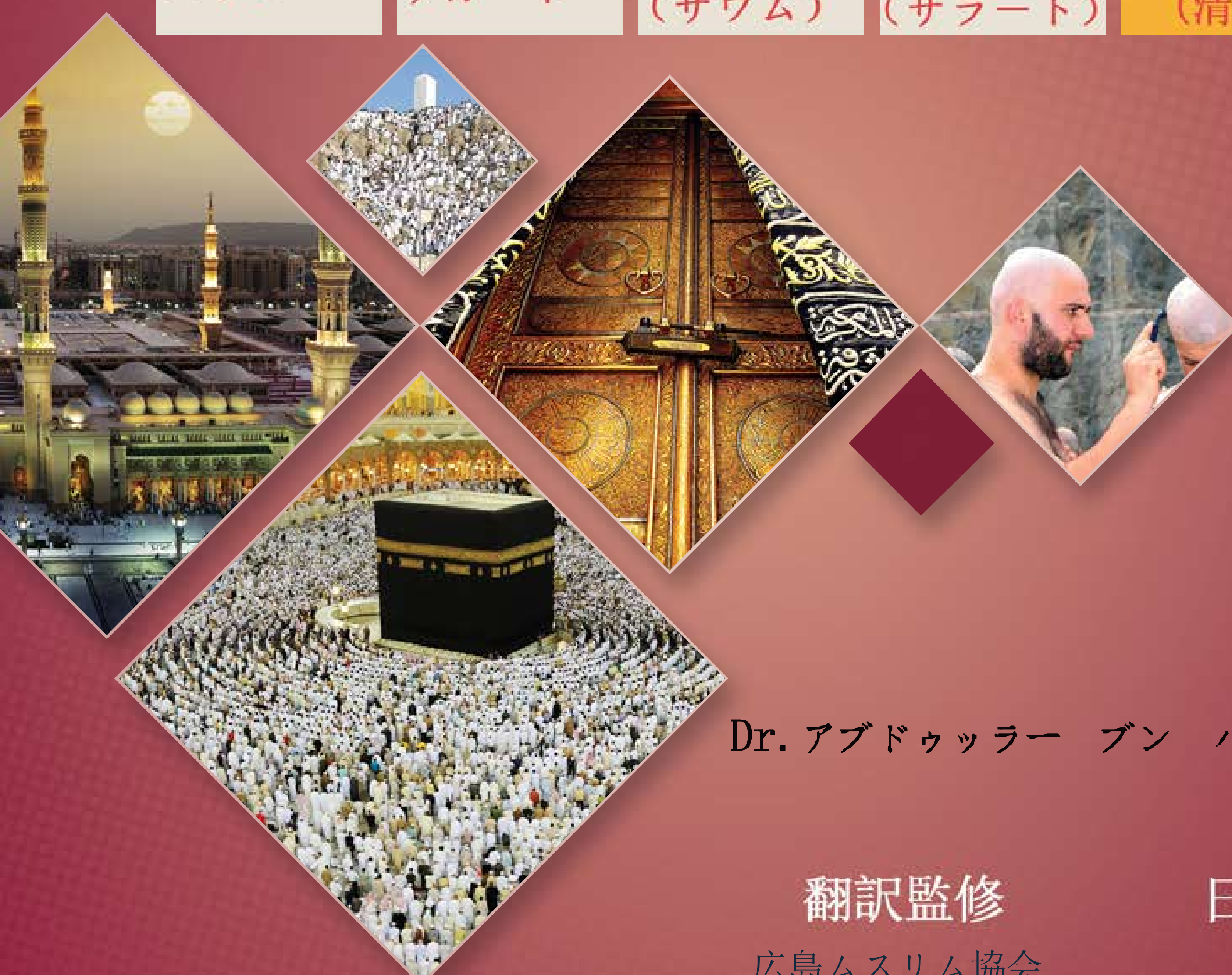
女性は、タワーフトサアイで男性と同じですが、タワーフでの速足とサアイでの緑の二本の柱の間の速足はしません。また剃髪もしませんが、指先の長さで髪の毛を短くします。それは丁度指の第一関節から先の長さです。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ハッジのルクヌ（柱）とワージブ（義務）とスンナ

第六課



ハッジのルクヌ（柱）とワージブ（義務）とスンナ

目次

ハッジのルクヌ

1．イフラーム：

預言者は、おっしゃいました。（あらゆる行為は、そのニーヤ（意図）によります。人はそれぞれニーヤしたものを得ます。現世の（目的の）ためにヒジュラ（移住）した者は、それを得るでしょう。または（結婚のために）女性を求めてヒジュラした者は、結婚するでしょう。つまりその人のヒジュラは、ヒジュラした目的のためのヒジュラになるのです。）（ブハーリーの伝承）

2．サファーとマルワの間のサアイ：

預言者は、おっしゃいました。（サアイを行いなさい。アッラーはあなた方にサアイを定められました。）（アフマドの伝承）

3．アラファでのウクーフ（滞在）：

預言者は、おっしゃいました。（ハッジは、アラファです。）（ティルミズィーの伝承）

4．イファーダのタワーフ：

至高なるアッラーの言葉。｛そして古来の家（カアバ）を、タワーフしなさい。｝[巡礼章29節]

注意

これらのルクヌのうち一つでも行わない者は、例えイフラームであってもその儀礼は成立しません。なぜならそれは、ニーヤがないからです。ニーヤのない信仰行為はありません。またもしそれ以外のルクヌであればそれを行うまではその儀礼は完結しません。

ハッジのワージブ

1．ミーカートからのニーヤ：

預言者は、ミーカートを挙げた後おっしゃいました。それらは、ハッジとウムラを望む者に対する住人と住人以外でそこになって来る者へのミーカートです。（ブハーリーの伝承）

2．アラファで日中ウクーフをした者は、日没まで留まること：

何故なら預言者は、日没までそこでウクーフされたからです。

3．ムズダリファで夜を過ごすこと：

何故なら預言者は、そこで夜を過ごされたからです。また次のようにおっしゃいました。（私のウンマ（共同体）は、私からその儀式を採るべきです。何故なら私には、分かりません。恐らくこの年の後、彼らに会えないかもしれません。）（イブヌ・マージャの伝承）



また預言者は、巡礼者の弱い者たちに真夜中過ぎにムズダリファを出ることを許可しています。これはムズダリファで夜を過ごすことが義務であることを示しています。またアッラーは、マシュアル・ハラーム（ムズダイファ）でのズィクルを命じました。

４．タシュリークの日、ミナーで夜を過ごすこと：

それは、（預言者が駱駝飼いにミナーで夜を過ごさないことを許可した）(アブー・ヤアラーのムスナド（伝承経路）による伝承)ことによります。これは、本来ミナーで夜を過ごすことが義務であったことを示しています。

５．ジャムラ（石柱）への石投げ：

至高なるアッラーはおっしゃいました。{定められた数日間、アッラーを念じなさい。}[雌牛章203節]定められた数日とは、タシュリークの日のことです。

そしてこの石投げは、預言者の次の言葉によりアッラーを念じることになります。（カアバ聖殿でのタワーフとサファーとマルワの間のサアイとジャムラの石投げは、アッラーを念ずること（ズィクル）に定められました。）(アブー・ダーウードの伝承)

６．剃髪または短髪：

クルアーン{もしアッラーが御望みなら、あなたがたは、安心して必ず聖なるマスジドに入り、あなたがたの頭を剃、または（髪を）短かく刈り込んで（ハッジやオムラを全うする）。}[勝利章27節]

７．別れのタワーフ：

これはイブヌ・アッバースの伝える伝承によります。（人々は、最後の任務はカアバ聖殿で行うように命じられました。しかし月経中の女性は、免除されました。）(ムスリムの伝承)

ハッジのスンナ

１．イフラームでの沐浴と香水を付けること。

２．白い2枚の布（リダーウとイザール）を着ること。

３．イフラームに入った時からアカバの石柱への石投げまでタルビヤを唱えること。

４．イフラードとキラーンの巡礼者に対する到着のタワーフ。

５．到着のタワーフの最初の3周を速足で行うこと。

６．到着のタワーフでイドティバーウ（右肩を出したイフラームの着方）になること。それはリダーウ（上布）の真ん中を右肩の下にして、両端を左肩の上に掛けることです。

７．アラファの夜ミナーで過ごすこと。

８．黒石にキスすること。

９．ムズダリファでマグリブとイシャーの礼拝を纏めて行うこと。

10．ムズダリファではマシュアル・ハラームにファジュルから日の出まで出来るならウクーフすること。出来なければムズダリファのどこでもウクーフの場所になる。

ハッジのスンナ

ハッジのスンナを行わなくても罪はありませんし、その巡礼は成立します。

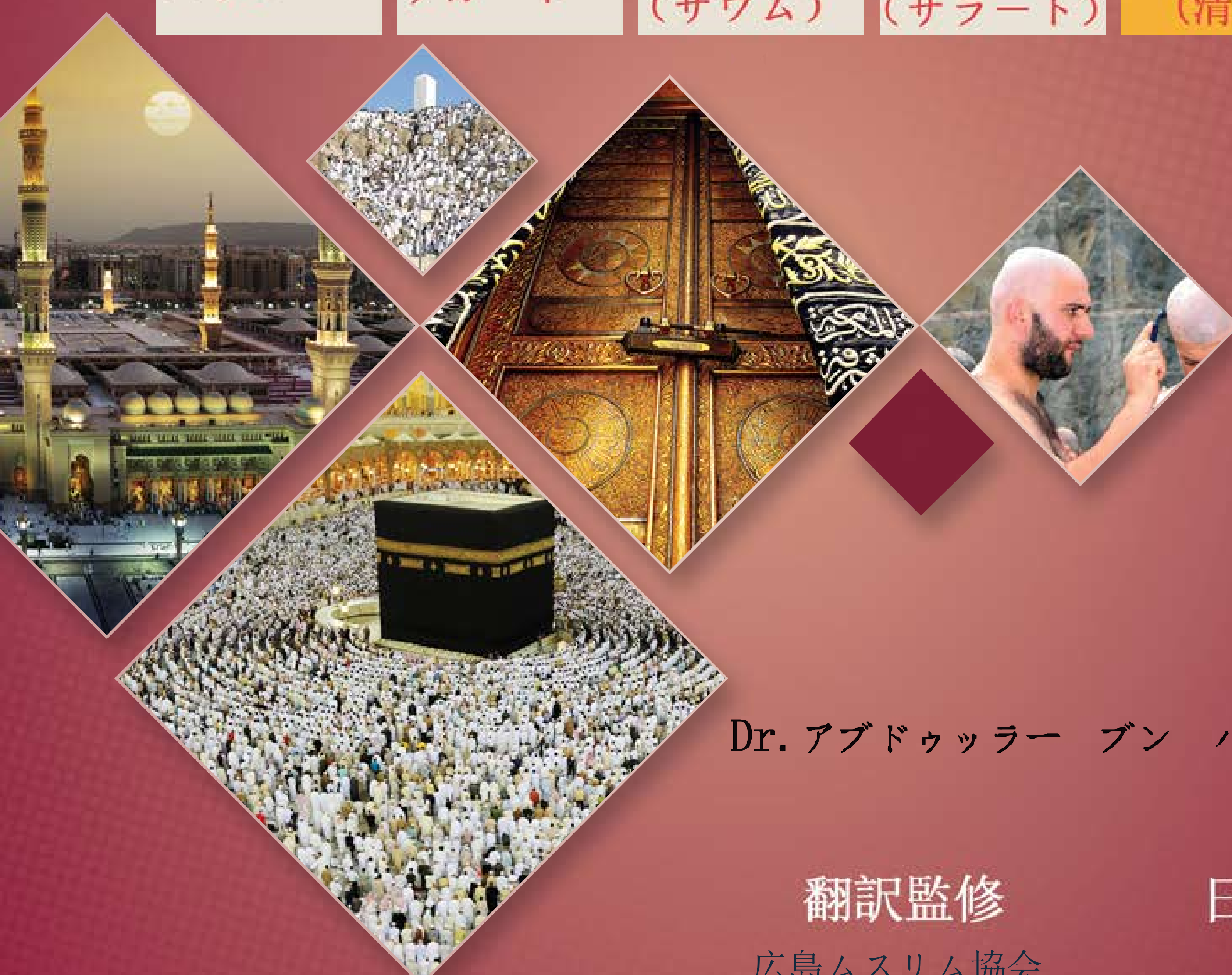
ハッジのワージブ（義務）

ワージブを行わなかった者は、その不足を補うための犠牲をしなければなりません。

図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）



Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ウムラのルクヌとワージブとスンナê

第8課

ウムラのルクヌとワージブとスンナ

目次

ウムラのルクヌ

1．イフラーム：

預言者は、おっしゃいました。（あらゆる行為は、そのニーヤ（意図）によります。人はそれぞれニーヤしたものを得ます。現世の（目的の）ためにヒジュラ（移住）した者は、それを得るでしょう。または（結婚のために）女性を求めてヒジュラした者は、結婚するでしょう。つまりその人のヒジュラは、ヒジュラした目的のためのヒジュラになるのです。）（ブハーリーの伝承）

2．サファーとマルワの間のサアイ：

預言者は、おっしゃいました。サアイを行いなさい。アッラーはあなた方にサアイを定められました。（アフマドの伝承）

3．タワーフ：

至高なるアッラーの言葉。｛そして古来の家（カアバ）を、タワーフしなさい。｝［巡礼章29節］



イフラーム





ウムラのワージブ

1．ミーカートからのイフラーム：

預言者は、ミーカートを挙げた後おっしゃいました。それらは、ハッジとウムラを望む者に対する住人と住人以外でそこになって来る者へのミーカートです。（ブハーリーの伝承）

2．剃髪と短髪：

クルアーン{もしアッラーが御望みなら、あなたがたは、安心して必ず聖なるマスジドに入り、あなたがたの頭を剃、または（髪を）短かく刈り込んで（ハッジやオムラを全うする）}［勝利章27節］

ウムラのスンナ

ルクヌとワージブを除いたものがスンナです。

注意

1．これらのウムラのルクヌのうち一つでも行わない者は、それを行うまではその儀礼は完結しません。

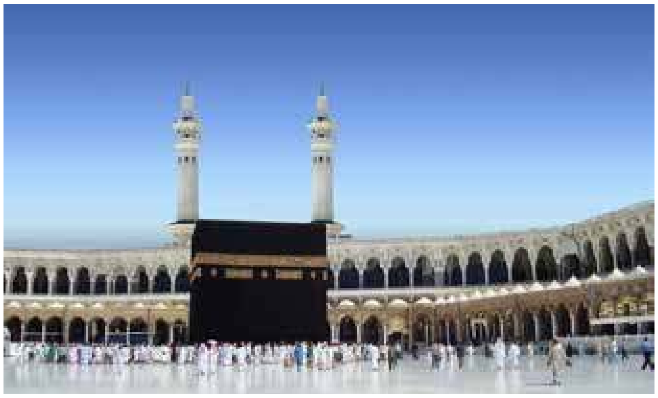
2．ウムラのワージブを行わなかった者は、犠牲をしなければなりません。つまり羊を1頭屠畜するか、牛かラクダの屠畜の7分の1を提供しなければなりません。

3．ウムラのスンナを行わなくても罪はありませんし、そのウムラは成立します。


イフラーム


剃髪と短髪


沐浴



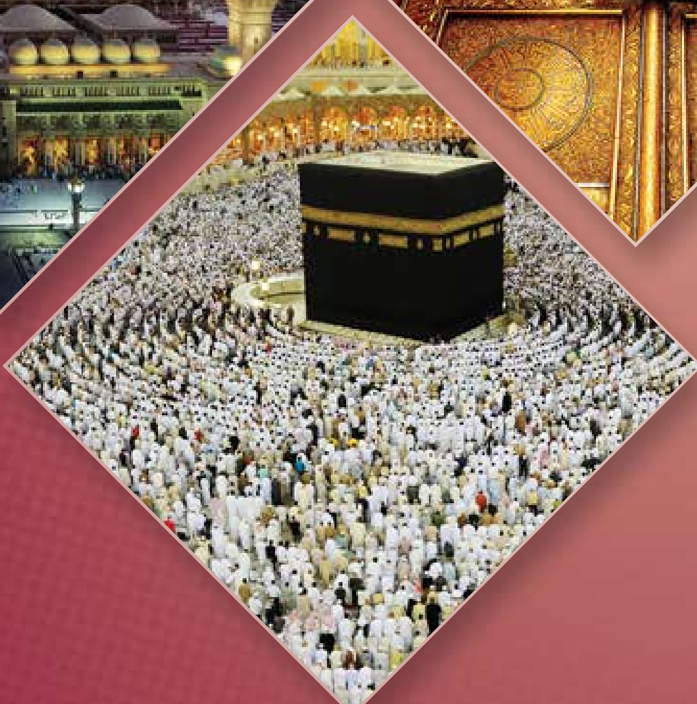
図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ | ザカート | 斎戒（サウム） | 礼拝（サラート） | タハーラ（清め）







Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

フィドヤ（償い）とハドユ（犠牲)

第9課

フィドヤ（償い）とハドユ（犠牲）

第１：フィドヤ

フィドヤの定義

フィドヤ

ハッジまたはウムラを行う者がワージブを行わないか禁止行為を行ったことにより課されること。

第1：ワージブを行わなかった時のフィドヤ

例えばムズダリファで夜を過ごさないといったハッジやウムラのワージブを怠った者は、フィドヤが課せられます。それは犠牲です。

この犠牲は、駱駝または牛の７分の１、あるいはサニーウ（１歳）（サニーウ：満１年を過ぎたもの）のヤギ、あるいはジャザウ（ジャザウ：6ヶ月かそれ以上過ぎたもの。）の羊を聖域で屠畜し貧しい人々に分けることです。

もしそれらが見つからない時は、10日間の断食をします。出来るなら3日間は、巡礼中に残りは家族の許へ帰ってから行います。クルアーン{もしそれを捧げることが不可能な時は、巡礼中に３日、帰ってから７日、合せて１０日間（の斎戒）をしなさい。これは聖なるマスジド（の所在地マッカ）に、家を持たない者に対する掟である。あなたがたはアッラーを畏れ、またアッラーの懲罰は本当に厳しいことを知りなさい。}[雌牛章196節]

目次



第2：禁止事項を行った時のフィドヤ

1．縫い目のあるものを着る、頭部を覆う、香水を付ける、髪を剃る、爪を切るなどの行為を行った時のフィドヤ

これらの場合は、次の３つの選択肢があります。

ａ．3日間の断食。

ｂ．6人の貧者への食事提供。それぞれに半サーアの米などを提供する。

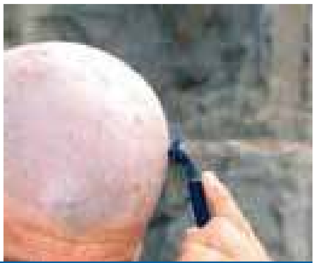
ｃ．羊を屠畜。

この根拠は、次のクルアーンによります。｛そして供物が犠牲を捧げる場に到着するまで、あなたの頭を剃ってはならない。あなたがたの中に病人、または頭（の皮膚）に患いのある者は、斎戒をするか施しをなし、または犠牲を捧げて（頭を剃る）償いとしなさい。｝[雌牛章196節]

上記の5つの禁止事項を意図的に行ったり、それをする必要に迫られ行った教友カアブのような場合は、フィドヤを行います。それはフィドヤ・アザー（損害のフィドヤ）と名付けられています。

これらの禁止事項を知らずに行った場合は、フィドヤはありません。


爪を切る


髪の毛を剃る


香水を付ける


頭に被り物をする


縫い目のある服を着る

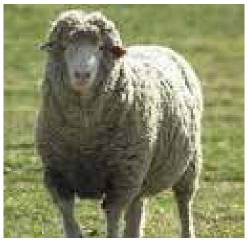
2．性器以外の性的接触と巡礼中の最初のイフラーム（石投げを行った後でタワーフをする前）解除後の性交。

これは前述のフィドヤ・アザーと同じ規定です。

3．最初のイフラーム解除前の性交を行った時のフィドヤ。

それは、バダナ（バダナ：雌ラクダ）一頭の屠畜です。もしそれが見つけられなかった時は、巡礼中に3日と家族の許に帰ってからの7日間の断食が課されます。そしてその巡礼は、成立しないために翌年それをやり直し完結しなければなりません。

4．ウムラでの性交のフィドヤ


羊

それは、羊を一頭屠畜することです。そのウムラは、無効になりもう一度やり直さなければなりません。

5．狩猟のフィドヤ


ラクダ

狩猟した場合のフィドヤは、同じものを出すことになります。その場合、同じものを出すかお金に換算してその金額で食料を買ってそれをムッドごとに分け、それをそれぞれの困窮者に２ムッド（２ムッド：サーアの半分で約1020グラム。）ずつ提供します。または、それぞれ２ムッドごとに１日の断食をします。

狩猟によるフィドヤで同じものの意味は、それと似たものまたはそれに近いものという意味であって完全に同じものではありません。何故ならそれは、不可能だからです。

その例として、例えばダチョウを狩猟した場合は、ラクダ1頭がフィドヤになります。何故ならそこに類似性があるからであり、その価値をはかると同じになるからです。その値段で米や大麦を買い、困窮者一人につき2ムッドずつ分けます。あるいは（動物がいない時には）2ムッドに対して1日の断食を行います。もし野生のロバを狩猟した時には、1頭の牛になります。もしその狩猟が家畜に同じものがないバッタや小鳥のようなものの時には、その価値で食料を買い困窮者にそれを配るか、2ムッドに対して1日の断食を行うかのどちらかを選択します。その価値を決める人は、2人の公正な専門家によります。

結婚契約は、ハッジでもウムラでも成立しませんし、そのフィドヤもありません。

> **ハドユ（犠牲）に関わる規則から**
>
> 巡礼は、タマットウでもキラーンでも自分のハドユを代理人に任せることが許されています。ただし、その人物は信頼できる人でなければなりません。一番良いのは預言者が行ったように自分で行うことです。
>
> ハドユは、ウドヒヤ（犠牲祭で屠畜される犠牲）を示すものでもそれに代わるものでもありません。何故ならウドヒヤは巡礼者にもそれ以外の人にも行われるスンナですが、ハドユはタマットウでの巡礼のためのものだからです。

第2：ハドユ（犠牲）

> **ハドユ：**
>
> 至高なるアッラーに近づくために犠牲に捧げられた家畜、またはタッマトウやキラーンやイフサール（障害のために巡礼が続けられなくなった状態）などの理由で義務付けられたもの。

ハドユの種類

1．タマットウとキラーンのためのハドユ

タマットウとキラーンのやり方で巡礼する者は、ハドユが義務です。それは、ヒツジ1頭かラクダの7分の1か牛の7分の1です。もしそれが見つけられない時は10日間の断食（3日は巡礼中に７日は家族のところに帰ってか

ら）が義務となります。これはマッカの住人以外の者への規定です。マッカの住人は、ハドユも断食も課されません。クルアーンまた小巡礼をして、巡礼までの間を楽しむ者は、容易に得られる犠牲を捧げなければならない。もしそれを捧げることが不可能な時は、巡礼中に３日、帰ってから７日、合せて１０日間（の斎戒）をしなさい。これは聖なるマスジド（の所在地マッカ）に、家を持たない者に対する掟である。（雌牛章196節）

２．任意のハドユ

これは、イフラードの巡礼者やウムラを行う者が任意で行う犠牲やタマットウとキラーンの巡礼者が義務の犠牲に加えて行う犠牲や巡礼(者以外の者がアッラーに近づくためにマッカで屠畜するために送った犠牲です。これは、預言者がかつて行ったことです。預言者は、100頭の駱駝を犠牲に捧げました。)（ブハーリーの伝承）

タマットウとキラーンと任意のハドユについて：その所有者は、その一部を食べることは許されます。任意のハドユについては食べることが勧められます。それは、預言者が行った次の伝承によります。(アッラーのみ使いは、それぞれの駱駝の一部を求め、それらは料理されました。またそのスープも召し上がりました。)(テルミズィーの伝承)

３．イフサールによるハドユ

ハッジやウムラのためにイフラームになった者が、カアバ聖殿に入るのを阻止されたり、アクシデントが起きてそこに辿り着けなくなった時、彼はその場所で犠牲を捧げ、イフラームを解きます。クルアーン{もしそれを捧げることが不可能な時は}、[雌牛章196節]イフサールの犠牲は、羊1頭か駱駝の7分の1か牛の7分の1になります。

ハドユの場所

タマットウとキラーンと任意のハドユについては、ハラム（マッカの聖域）の境界内で屠畜し、それを困窮者に分配します。もし境界の外で屠畜された場合は、認められません。

イフサールのハドユは、所有者が妨害を受けた場所で屠畜します。

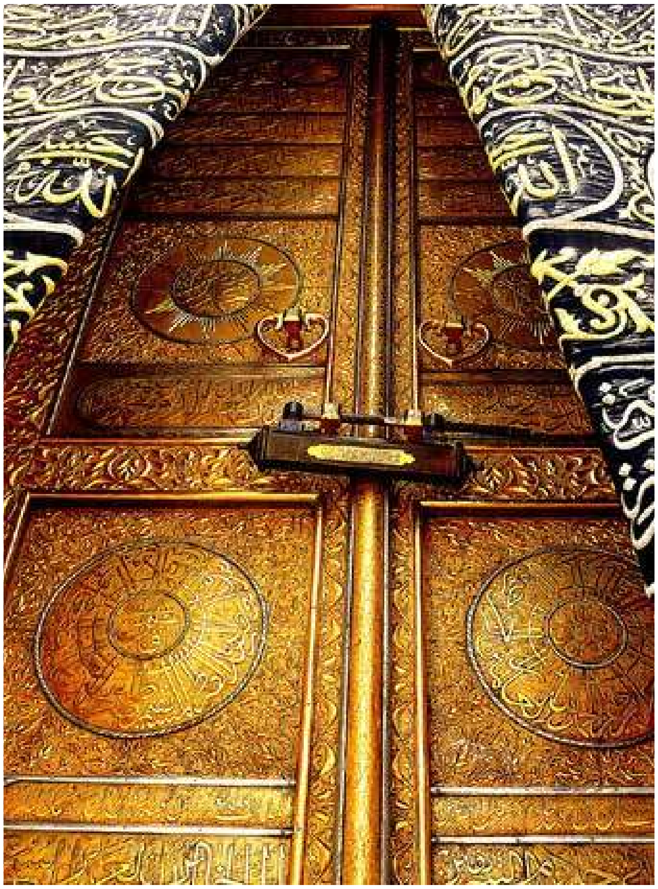
ハドユの時間

１．タマットウとキラーンと任意のハドユ

犠牲祭の日のイードの礼拝後からその時間は始まり、タシュリークの最後の日（13日）の日没までです。

2．イフサールのハドユ

その時間は、イフサール（妨害）があった時です。



図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

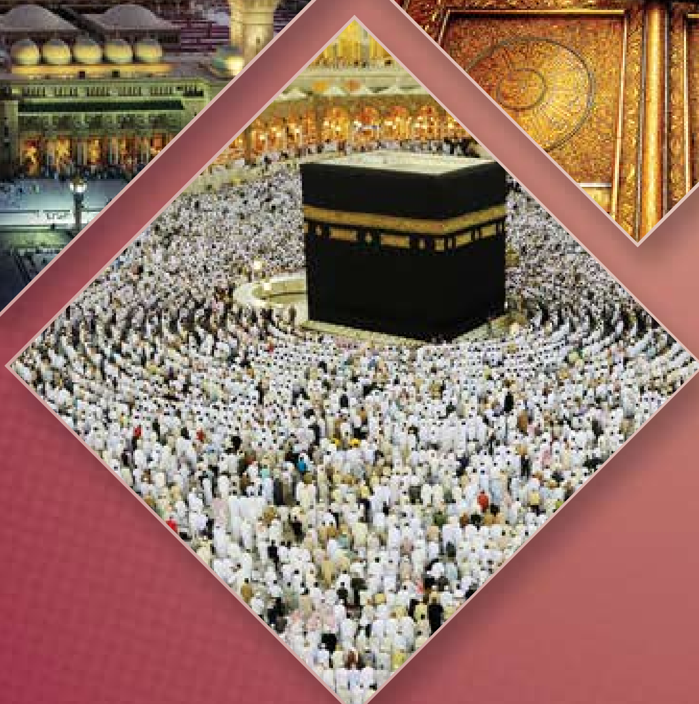
ハッジ　ザカート　斎戒（サウム）　礼拝（サラート）　タハーラ（清め）











Dr.アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ウドヒヤ

第10課 ウドヒヤ

目次

ウドヒヤの定義

ウドヒヤ

それは、犠牲の日においてアッラーに近づくために家畜を屠畜することです。

ウドヒヤの規定

Ew sunneteke m ekked e.

スンナ・ムアッカダ（強調されるスンナ）：根拠：クルアーン（さあ、あなたの主に礼拝し、犠牲を捧げなさい。（潤沢章２節）ハディース預言者は、２頭のアムラフ）(アムラフ：白と黒の毛があって白の方が多い羊)（とアクラ）ン（アクラン：カルヌ（角)を持つ羊)（な子羊を犠牲に捧げました。自らの手で屠畜しました。その時、バスマラとタクビールを唱え、足をスィファーフ）(スィファーフ：サフハの複数形。首の側面。)（の上に置きました。）(テルミズィーの伝承)

ウドヒヤを屠畜する時間

屠畜の時間は、イードの礼拝後から始まり、タシュリークの最後の日の日没までです。タシュリークの日とは、巡礼月の１１，12，13日です。

ウドヒヤの値

1．羊の一頭は、一人分に相当します。またその報酬として望む者を一緒にそこに加えることができます。何故なら預言者がウドヒヤを屠畜する時、次のようにおっしゃったからです。（ビスミッラー。アッラーホンマ、タカッバル・ミン・ムハンマディン・ワ・アーリ・ムハンマディン・ワ・ミン・ウンマティ・ムハンマド意味：アッラーの御名によって。アッラーよ、ムハンマドから、またムハンマドの家族から、またムハンマドのウンマ（共同体）からのものを受け入れて下さい。）(合意の伝承)





２．駱駝と牛１頭は、７人分に相当します。それで駱駝または牛1頭には7人がそれに加わることができます。それはジャービルの次の言葉によります。（アッラーのみ使い様は、私たちに駱駝と牛の犠牲について1頭のバダナ）（バダナ：雄と雌の駱駝）（につきそれぞれ7人が共有するように命じられました）。（ムスリムの伝承）

ウドヒヤの犠牲の歳

ジャズウ（羊）：6ヶ月を経たもの。

サニーウ（ヤギ）：1年を経たもの。

サニーウ（牛）：2年を経たもの。

サニーウ（駱駝）：5年を経たもの。

犠牲で最も良いもの

もし全部の肉が提供されるなら最も良いものは、ラクダです。何故ならそれは値段が一番高く、貧しい人たちにとって最も有益だからです。その次は、もし全部の肉が提供されるなら牛になります。それから羊で、それから駱駝の7分の１で、その次は、牛の7分の1になります。

ウドヒヤの欠陥

1．受け入れられない欠陥

-アウラーウ：

それは片目を失ったもので、それには全盲も含まれます。

- アルジャーウ：

それは、歩けないものです。

- アジュファーウ：

それは、痩せ細ってモッホ（髄、活力）がないものです

- マリーダ：明白な病気

その根拠は、バッラーウ・ブン・アーズィブの伝承によります。（アッラーのみ使いは、おっしゃいました。犠牲で許されない）（ウドヒヤが認められないもの。）（のは、片目が潰れているのが明白なアウラーウであり、不具が明白なアルジャーウであり、病気が明白なマリーダであり、痩せて脂肪のない）（それにはモッホ（髄）がないこと。）（アジュファーウです）（ムスリムの伝承）

2．受け入れられる欠陥

バトラーウ：

尻尾がないもの。

ジャンマーウ：

生まれつき角がないもの

ハスィーユ：

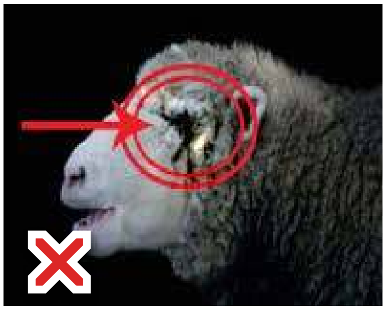
去勢された羊

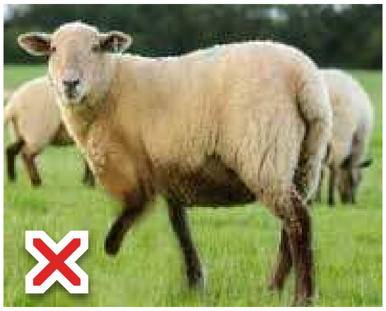
その他の欠陥：

耳が割けたり穴が空いているものや角が欠けてているもの。

ウドヒヤで述べられた受け入れるられるものと受け入れられないものは、そのままハドユでもフィドヤでも同様です。


痩せた羊


片目の羊


障害のある羊


角が欠けた羊


角なしの羊


尻尾なしの羊

https://www.al-feqh.com/ja

ウドヒヤの分配

所有者が3分の1を食べ、3分の1をハドユにし、3分の1をサダカ（寄付）にすることが定められていますが、もし全てをサダカにしてもまたほとんどを自分で食べたとして許されます。

追加

犠牲を捧げる者は、12月10日（犠牲祭の日）になったら屠畜するまで犠牲からは毛や爪や皮のいくらかでもとることは許されません。これはウンム・サラマの伝える預言者の次の言葉によります。（10日になって犠牲を捧げたたい者は、その毛やその皮に何も触れてはなりません。）(ムスリムの伝承)一方、家族や子供のような犠牲を代わって捧げられる者は、それをいくらか取ることは禁じられません。



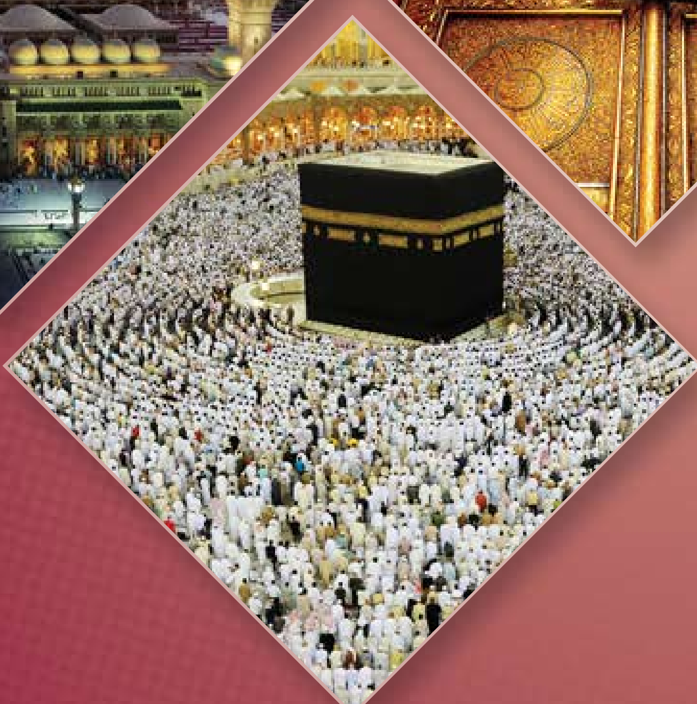
図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）







Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

マディーナ訪問とその徳とその地位



第11課

マディーナ訪問とその徳とその地位

目次

マディーナの別名

1．マディーナ：

クルアーンかれらは、{わたしたちがアル・マディーナに帰れば、そこの高貴な者が卑しい者たちを必ずそこから追うでしょう。と言う。}[偽信者章8節]

2．ターバ：

ジャービル・ブン・サムラは言いました。(私は、アッラーのみ使い様が至高なるアッラーはマディーナをターバと名付けられたとおっしゃるのを聞きました。)(ムスリムの伝承)

3．Teyy be

ザイド・ビン・サービトは、預言者が次のように語ったと伝えました。(それは、タィバです。銀の不純物を火が取り除くようにそれは罪を取ってくれます。)(合意の伝承)

マディーナの徳

1．サアド・ブン・アビーワッカースは、アッラーのみ使い様が次のようにおっしゃったと伝えています。(もしアッラーがそこでより良い者と取り換える場合を除いて、そこを嫌って出ていく者は一人もいないことを彼らが知っているならば、マディーナは彼らにとって最も良いところです。そして私が審判の日に執成す者や証人とならずに誰でもそこの困難)(困難で厳しい生活)(や苦労を持ち続けることはありません。)(ムスリムの伝承)

２．アブー・フライラは預言者が次のように語ったと伝えました。（私は、ほかの村々を食べつくす一つの村を命じられました）（私は、そこへヒジュラ（移住）し、そこで降りてそこに住むように命じられた。）（。人々はそれをヤスリブと呼んでいますが、それはキール（鞴））（鍛冶屋が火に空気を吹き込む道具。）（が鉄の不純分）（鉄に含まれる汚れや不純物。）（を取り除くように人の悪）（人々の中から邪悪なものを排除する。）（を取り除くマディーナです）。（合意の伝承）

ヤスリブ：預言者がヒジュラするまでの地名。ヒジュラ後は、マディーナト・ナビー（預言者の町）からマディーナ（町）と呼ばれる。

マディーナの特殊性から

１．そこは、アイルとサゥル（二つの山）の間にあって神聖で安全な場所です。ですからそこでは木を切ることも狩猟をすることもできません。

アッラーのみ使い様は、おっしゃいました。（マディーナは、アィルとサゥルまでの間はハラム（聖域）です。そこで事件を起こす者やその犯行者を匿う者は、アッラーも天使も人々からも全ての者から呪いを受けるでしょう。また審判の日には、アッラーは、彼の行為も公正さも受け入れません。）（合意の伝承）

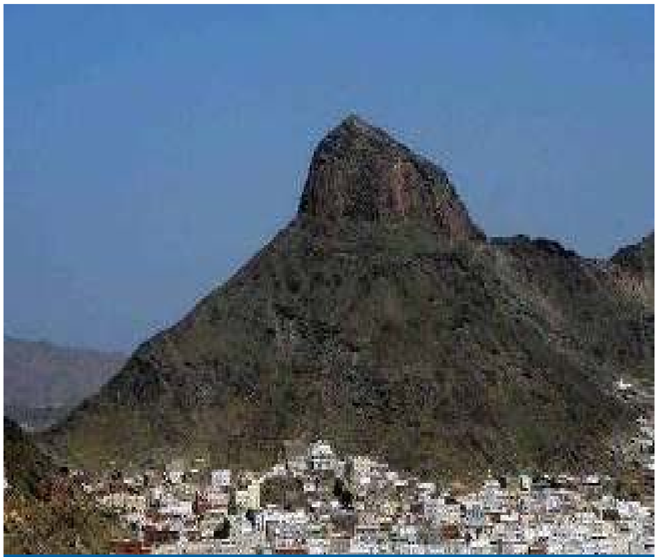
アッラーのみ使い様は、預言者イブラーヒームがマッカを聖域にしたようにマディーナを聖域としました。これはアブドッラー・ブン・ザィドが伝える次の預言者の言葉によります。（イブラーヒームがマッカを聖域にされたように、私はマディーナを聖域としました。またそこを丁度イブラーヒームがマッカにしたようにムッドとサーア（それぞれは量りの単位だが意味は売買）について祝福しました。）（ブハーリーの伝承）

マッカのハラム（聖域）とマディーナのそれの違いは、

マッカのハラムは、クルアーンとハディースのテキストとイジュマー（合意）によって定められていますが、マディーナのハラムはそこに相違がみられます。しかし、そこがハラムであることは正当とされます。

２．そこでの礼拝は、倍加されます。

預言者様は、おっしゃいました。（私のこのマスジドでの１回の礼拝は、マッカのマスジド・ハラームを除いてそれ以外の場所での礼拝の１千回以上良いものです）。（ブハーリーの伝承）



サウル山



アィル山

３．その中には天国の園の一つの園（ラウダ）があり、そこで礼拝することはスンナです。

アブー・フライラは預言者が次のように語ったと伝えました。（私の家と私のミンバル（説教台）の間には天国の園の一つの園（ラウダ）があり私のミンバルは、私のハウド（水飲み場）のそばにあります）。（合意の伝承）

４ 終末の時、マスィフ・ダッジャール（偽キリスト）は、そこに入ることはありません。またターウーン（ターウーン：ペストなどの疫病。）も入りません。 アナス・ブン・マーリクは言いました。（アッラーのみ使い様は、こうおっしゃいました。マスィフ・ダッジャール（偽キリスト）がマディーナにやって来た時、天使がそこを守っているのを知ります。そのためにアッラーがお望みなら、ターウーンもダッジャールもそこに入ることはありません。）（ティルミズィーの伝承）



ラウダ

５．アッラーのみ使い様は、マディーナのために祝福をお祈りになりました。

アナスが預言者の次の言葉を伝えました。（アッラーよ、あなたがマッカに与えた祝福の2倍をマディーナにお与えください）。（合意の伝承）

６．マッカでの狩猟は、罪と罰があります。マディーナの狩猟は、罰のない罪になります。マッカの狩猟による罪は、マディーナの狩猟による罪よりも重大です。（ムムティウ第7巻257ページ参照）

預言者モスク訪問の規定

預言者モスクの訪問は、ハッジの条件でもルクヌでもワージブでもありません。それはスンナです。それはいつでも行えます。

その訪問の意図は、預言者の墓所を除いたマスジドでの礼拝でなければなりません。それはアブーフライラによる預言者の次の言葉によります。（3つのマスジド：マスジド・ハラームとマスジド・ナバウィーとマスジド・アクサー以外には旅をしてはなりません。）（ムスリムの伝承）

イスラームのシャイフ（長老）イブン・タイミーヤは、語りました。もし旅の目的が預言者のマスジドでの礼拝ではなく彼の墓参だったら・・・それに対してイマームたちと殆どの法学者は、それは規定されていないし、命じられてもいません。・・また預言者の墓の訪問についてのハディースは全て伝承経路が弱いことでハディース学者は、一致しています。むしろそれらは、マウドゥーウ（偽造されたハディース）で、信頼される伝承者は、それらに関わっていません。またイマームの誰もそれらを正当性の根拠としていません。

マジュムーウ・アルファターワー（27巻26ページ）

訪問の規則と礼儀

１．訪問者がマスジ度に到着した時のスンナは、右足から次のように言いながら入りま

す。(アッラー・フンマ、イフタフ・リー・アブワーバ・ラフマティカ)(ムスリムの伝承)

意味：アッラーよ、私にあなたの慈悲の扉をお開け下さい。

2．タヒーヤトルマスジド(マスジドへの挨拶）の礼拝を２ラクア行います。最も良いのはそれをラウダ・シャリーファ（高貴な園）で行うことです。

3．預言者と彼の二人の教友（アブーバクルトウマル）の墓を訪問することは、スンナです。品よく敬虔に声を低くし墓に向かって立ち次のように祈って言います。アッサラームアライカ・アィユハンナビーユ・ワ・ラフマトッラーヒ・ワ・バラカートフ。サッラッラーフ・アライカ、ワ・ジャザーカ・アン・ウンマティカ・ハィラン。意味：預言者様、あなたに平安がありますように。またあなたにアッラーの慈悲と祝福がありますように。アッラーの祈りがあなたにありますように。アッラーがあなたのウンマの代表ととして良いもので報いてくださいますように。

それから一歩か二歩右に進んでアブー・バクルの墓の前に立ち次のように言って挨拶します。アッサラームアライカ・ヤー・アバー・バクリン・ハリーファタ・ラスーリッラー。サッラッラーフ・アライヒ・ワサッラム。ワ・ラフマトッラーヒ・ワ・バラカートフ。ラディヤッラーフ・アンカ・ワ・ジャザーカ・アン・ウンマティ・ムハンマディン、サッラッラーフ・アライヒ・ワ・サッラム、ハィラン。意味：アブー・バクル様、あなたに平安がありますように。アッラーのみ使い（アッラーの平安あれ）の後継者。またあなたにアッラーの慈悲と祝福がありますように。アッラーがあなたに満足され、アッラーがムハンマド（アッラーの平安あれ）のウンマの代表として良いもので報いてくださいますように。

それから一歩か二歩右に進んでウマルの墓の前に立ち次のように言って挨拶します。アッサラームアライカ・ヤー・ウマル・アミーラル・ムゥミニーン。ワ・ラフマトッラーヒ・ワ・バラカートフ。ラディヤッラーフ・アンカ・ワ・ジャザーカ・アン・ウンマティ・ムハンマディン、サッラッラーフ・アライヒ・ワ・サッラム、ハィラン。意味：ウマル様、あなたに平安がありますように。信者の長。またあなたにアッラーの慈悲と祝福がありますように。アッラーがあなたに満足され、アッラーがムハンマド（アッラーの平安あれ）のウンマの代表として良いもので報いてくださいますように。

4．マスジド・ナバウィーを訪問した人は、５回の義務の礼拝をそこで行い、多くアッラーを稔昌し祈ることがスンナです。特にラウダでの任意の礼拝を多く行うこともスンナです。

5．マスジド・クバーを訪問し、そこで礼拝することはスンナです。もしその日が土曜日であれば最も好ましいことです。それはイブヌ・ウマルの伝承によります。かつてアッラーのみ使い様は、マスジド・クバーをラクダに乗ったり徒歩で訪問し、そこで２ラクアの礼拝をしていました。また別の言葉によります。(マスジド・クバーに毎土曜日やって来られました。）（ムスリムの伝承）（ムスリムの伝承）

6．バキーウ霊園（バキーウ：マディーナの住人のための霊園。）の訪問と殉教者たちとハムザー（預言者の叔父）の墓を訪問することはスンナです。何故なら預言者は、かつてそこを訪れ彼らのためにこう祈っておっしゃいました。(アッサラームアライクム・アハラッディヤーリ・ミナルムゥミニーナ・ワルムスリミーン、ワ・インナー・インシャーアッラーフ・ビクム・ラ・ラーヒクーン、アスアルッラーハ・ラナー・ワ・ラクムルアーフィヤ意味：ムゥミン（信徒）とムスリムの墓の人たちよ、私たちはアッラーがお望みになられれば、あなた方に合流します。私はアッラーに私たちとあなたたちの赦しを求めます)。(ムスリムの伝承)

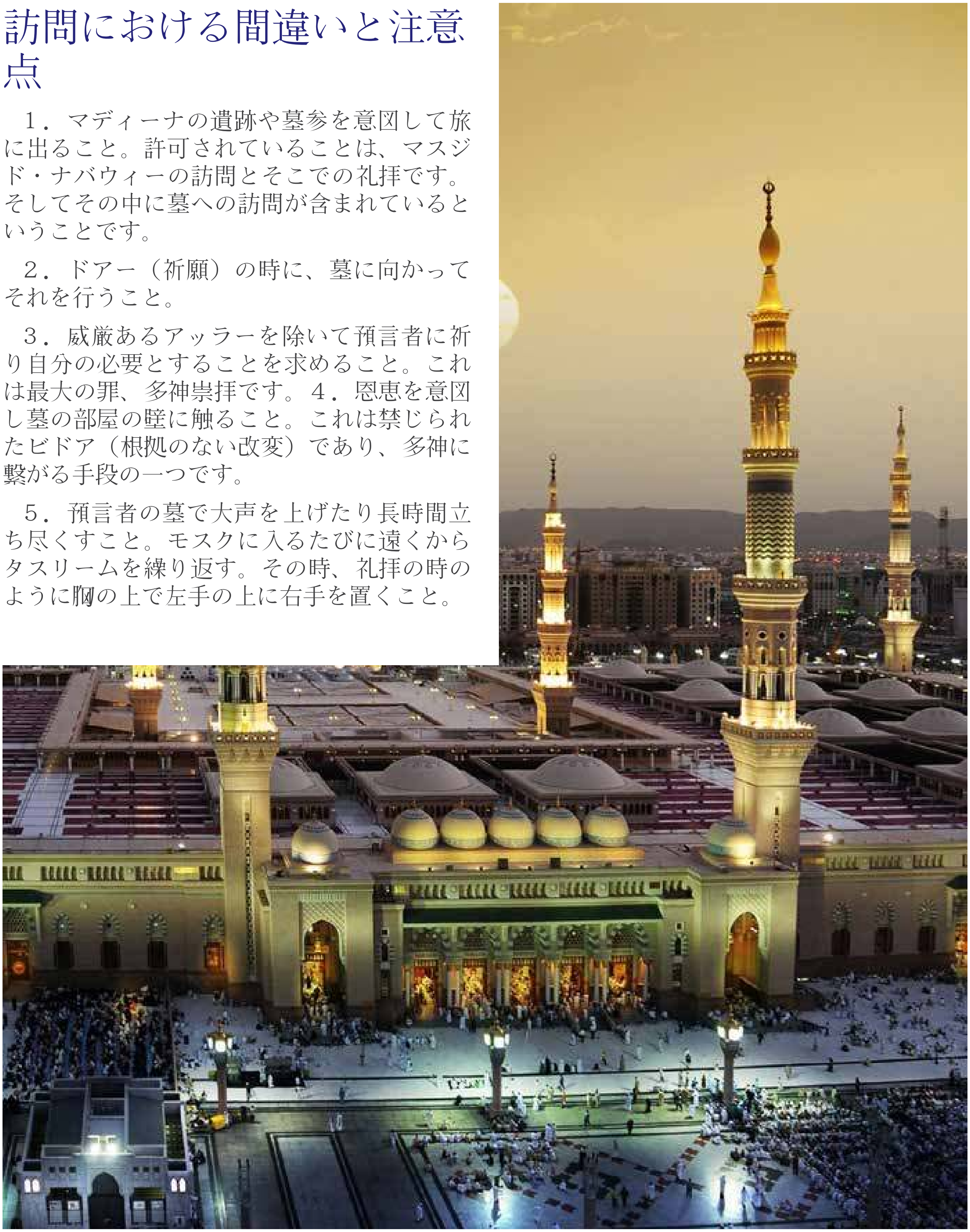
訪問における間違いと注意点

１．マディーナの遺跡や墓参を意図して旅に出ること。許可されていることは、マスジド・ナバウィーの訪問とそこでの礼拝です。そしてその中に墓への訪問が含まれているということです。

２．ドアー（祈願）の時に、墓に向かってそれを行うこと。

３．威厳あるアッラーを除いて預言者に祈り自分の必要とすることを求めること。これは最大の罪、多神崇拝です。４．恩恵を意図し墓の部屋の壁に触ること。これは禁じられたビドア（根拠のない改変）であり、多神に繋がる手段の一つです。

５．預言者の墓で大声を上げたり長時間立ち尽くすこと。モスクに入るたびに遠くからタスリームを繰り返す。その時、礼拝の時のように胸の上で左手の上に右手を置くこと。



使いやすいウェブサイト

[redacted] — [redacted].